



Christoph Blumhardt

Abendgebete

夕べの祈り

クリストフ・ブルームハルト

夕べの祈り

一年すべての日々のために

クリストフ・ブルームハルト

祈りの学校 第三巻

Abendgebete

für alle Tage des Jahres

von Christoph Blumhardt

Schule des Gebets Band 3

Im Furche-Verlag / Berlin 1937 の全訳です。

オイゲン・イエックによる、新しく検証された改訂版

表紙はアルブレヒト・デューラーの木版画による小受難物語から

エマオの場面（ベルリン銅版画館蔵）

導入のことば

クリストフ・ブルームハルトの死後、生前、彼が生涯最後の年月を過ごした家では、この祈りを集めた書物が、最初はブルームハルトの友人たちのグループのために出版されたのでした。この祈りは、ブルームハルトが年を通じてバード・ボルで守っていた、夕べの祈りの集いから集められたものであり、それゆえすべてが実際に祈られたものであって、発表するようなことを考えてなされたものではありませんでした。そのように生活の中から育まれたものでしたから、当時からすでに、用いる多くの人々から愛されるようになっていたのです。

ブルームハルトを生前から知っていた人は、彼の人柄が祭司的であることに印象深く向き合うこととなりました。その生活の外面がどんなに平静であっても、どれだけ強く彼が、自分に身近な者や、訪問してくる人々のことばかりではなく、全世界のことを心にかけていたことだったでしょう。彼は「絶えず」祈りました。多くの言葉を用いて祈ったわけでもありませんでした。彼は静かに神の前に立ち、人々と彼らの苦しみを思い、彼らのためにとりなしたのでした。

人が心にかけている事柄は彼にとって重要なものとなりました。なぜなら彼にとって、それらは神が心にかけておられる事柄となったからです。彼が祈る際には無意識に、何度も繰り返して、主の祈りの最初の三つの願いが、口から出かかったことは、特徴的です。この三つの願いの中に彼は生き、他のすべてをその下位に置いたのでした。「あなたの御名が地上においても天においてのようたたえられますようにとの、最も大いなる願い事のゆえに、私ども皆の願い事はすべて、最も小さな願い事まですべて、私どもはあなたの御手におゆだねしよう」〔訳注：1月12日の祈り〕。「私どもの心にかかることはこんなにも多いのです。私どもはどれほどたくさんの方が心にかかるのか、口にすることができないのです」〔訳注：10月12日の祈り〕。短く、集中的に祈られる、ブルームハルトの祈りには、一度も彼はひとつひとつのことや、小さなことがらのそばにいないのにもかかわらず、私たちが神の御前に持って行きたいすべてのことが常に含まれています。ブルームハルトすべての本質とそれゆえにまた彼の祈りは、まったくひとつの御言葉、「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる」〔訳注：マタイによる福音書第6章33節〕のもとにあると言えるのです。だから私たちは、

彼が他のことを祈っているのをほとんど聞くことはありません。

ブルームハルトの祈りには不思議な静けさと平安〔訳注：ドイツ語 Ruhe 静けさ、平安、憩い、安息〕の息づかいがあります。何か嵐のうずまくようなもの、差し迫ったものはまれなのです。この静けさと平安は祈るブルームハルトに、神の国がまさに来ていること、その時代のいかなる変化と嵐の中にあっても来ているのだとの、揺り動かされることのない確信からもたらされるものです。それゆえに彼は「神が、私どもに神の御国への希望を心の中にお与えくださったのです。そして私どもはそのことによって、常に繰り返し強く、常に繰り返し新鮮なもの、若いものとなることを許されています。そして常に繰り返し、いかに力強く、あなたの御国がすでに隠されたもののうちに来ているかということを経験することが許されているのです」〔訳注：1月23日の祈り〕と感謝をしますし、しかしまた彼の心は、内では震えながらも、この神の国の到来を待つ者たちとともに、「神が私どもと共に語りくださることができる」〔訳注：1月22日の祈り〕ように願い、また「私どもが必要とする平安をお与え下さい。あなたの御前に立ち、私どもに迫り来ようとする、あらゆる事を忘れ」〔訳注：同上〕させてくださいと祈り願うのです。

パウロの手紙が、ほとんどすべて感謝によって始まるのと同じように、祈りの中でのブルームハルトも、いつも賛美と感謝とに満ちています。それは感謝以外の何ものも私たちの心をより軽くすることができないからです。感謝の中で私たちはポジティブになり、感謝の前であらゆるネガティブなものやいやなものは消え去ります。しかしまたこの感謝もひとつひとつのこと、外面的なことにはとどまりません。そうではなくて神が与えてくださったもつとも内面的なこと、中心的なことに向けられます。それは私たちが神の子となっているということです。だから彼は、神が私たちの父であり、私たちが神の子どもたちであることが許されているということに、全く単純に幼子のように感謝して疲れることがないのです。

「もし子供であれば、相続人でもあります。神の相続人、しかもキリストと共同の相続人です。キリストと共に苦しむなら、共にその栄光をも受けるからです」〔訳注：ローマの信徒への手紙第8章17節〕。ブルームハルトの祈りは全世界と共に、共に苦しむところから流れ出ます。しかしその祈りは決して何かためいきをつくようなものではなく、強く、喜びつつ、勝利を確信して、私たちに与えられた神の約束を見つめます。その根本に

において、すべての祈りは同じものに向かっています。神の国が来ますこと、救い主が来ますことを祈り願っているのです。そしてどんな罪も危機も、神がその御業を完成され、あらゆる悲しみは終りを告げるとの、確かな神の約束を信じる信仰において、祈る人を強めることができるだけでありました。

祈りに添えられた聖書の箇所は、その大部分が後に付け加えられたものであり、より古い版で選ばれたものすべてが検証され、改訂されました。祈りのスタイルは、その言葉づかいの変更はできる限り最小限にとどめられています。口に出して言われた言葉の独自性が失われてはならないからです。ただいくつかの箇所だけが、印刷のためより分かりやすくされねばなりませんでした。しかしそれ以外は、まったくをそのままにとどめられています。また本書のおわりに、祝いの季節に、特にふさわしい祈りのリストを示しておきました。

「夕べの祈り」と、この祈りは呼ばれています。なぜなら、その大部分がバード・ボルにおける、夕べの祈りの集いで祈られたものだからです。しかし少し変えるだけで一日のどの時間においても用いることができるでしょう。

この祈りに、デューラーの小受難物語の木版画を添えました。その絵が私たちにエマオで弟子たちが願った願いをするようにとすすめます。「〔主よ、〕一緒にお泊まりください。そろそろ夕方になりますし、もう日も傾いていますから」〔訳注：ルカによる福音書第24章29節〕。一日の夕べだけに限らず、この願いは私たちの口にあるでしょう。そればかりでなく、この願いは、私たちの中に、もう夕べとなってしまった時間に、また私たちがイエス・キリストの日を待ち望む時に生きています。そして私たちはそのような時に、そのような願いに対する主のお答えの言葉を確信するのです。「〔見よ、〕わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」〔訳注：マタイによる福音書第28章20節〕と。

E. J. 〔訳注：オイゲン・イエック〕

1月1日

マタイによる福音書 第6章9－10節 天におられるわたしたちの父よ！御名が崇められますように。御国が来ますように。御心が行われますように、天におけるように地の上にも。

この祈りのうちに、どうか私どもをお守りください。そしてどうか私どもがお互いに永遠なるお方、聖なるお方との交わりのうちに入れられますように。私どもの歩む道において、私どもがこの地上を歩む道において、どうか私どもを祝福してください。それにより私どもが、たとえこの地上がなお、こんなにも悪く見えたとしても、あらゆることにおいて自由であり続けて、あなたがしてくださるあらゆる良いことのゆえに、昼も夜も感謝することが出来ますように。私どもはあなたのお名前をたたえて祈ります。救い主が私どもにおっしゃってくださったようにです。アーメン。

1月2日

エフェソの信徒への手紙 第3章14－15節 こういうわけで、わたしは御父の前にひざまずいて祈ります。御父から、天と地にあるすべての家族がその名を与えられています。

主、私どもの神、私どもはあなたの御言葉を聞くために御前に集いました。私どもはあなたに感謝致します。あなたのすべての御言葉を通して、あなた御自身の何かをくださり、私どもをあなたに従う者、あなたの子どもとなることができるのです。そして、いかなる時、いかなる運命、いかなる人生の中にあっても、信頼と信仰とにより堪え忍ぶことができるのです。どうか私どもの日々において、あなたの御手を強いものとしえください。そして日々が困難なものとなり、この時代が悲しいものとなりましても、あなたの民をしっかりとあなたの御腕に抱いてください。なぜなら私どもは堅く立ちたいのです。信じたいのです。この地上がさらに悪く見えましても、そのようにありたいのです。あなたは私どもを強くしてくださることができるのです。私ども人間の力で

はそうは参りません。しかしあなたの力、あなたの霊の力は、私どもを立たせて、常に元気に、喜ぶ者としてくださいます。なぜなら私どもはあなたの民であり、あなたの子どもであり、悲しい時にも、私どもはあなたの御手のうちにあつて、喜びたいのです。アーメン。

1月3日

イザヤ書 第62章 11節 見よ、主は地の果てにまで布告される！ 娘シオンに言え。 見よ、あなたの救いが進んで来る。 見よ、主のかち得られたものは御もとに従い 主の働きの実りは御前を進む。

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。私どもが明るい心で、歓声をあげる信仰をもって、至るところで、神の救いが来た！と叫びつつ、御前に行くことが許されているからです。それはイエス・キリストにおいて、すべての民のもと、この地上にはっきりとあらわれるのです！ですからこれからも私どもと共にいて、私どもを助け、悪しき日々においても私どもを強くしてください。どうか私どもと共にいてくださいますように。どうかすべての民をあなたの御前に来させてください。すべての民に私どもは、慰めを受けなさい、あなたがたの神でもある、私どもの神の救いが来る、そしてこの救いのうちに私どもは、私どもの神をたたえるため、互いに永遠に喜ぶのだ、と言いたいからです。アーメン。

1月4日

イザヤ書 第49章 3-4節 [主は、] わたしに言われた あなたはわたしの僕、イスラエル あなたによってわたしの輝きは現れる、と。わたしは思った わたしはいたずらに骨折り うつろに、空しく、力を使い果たした、と。 しかし、わたしを裁いてくださるのは主であり 働きに報いてくださるのもわたしの神

である。

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。あなたが私どもを助けてくださったからです。そして繰り返し常に助けてくださいます、私どもがあなたの御前に立つことを許され、私どもの心のうちに、信仰のあらゆる確かさのゆえに喜ぶことが許されているからです。あなたは私どもの人生の先頭に立って導いてくださいます。すべての人間に明らかに示されています、ひとつの目標を仰ぎ臨むことが許されています。孤独の中で静かにいる時も、私どもをお守りください。そしてどうか私どもを、試練の中にあっても、この人生のたくさんの混乱の中でも、確かなもの、強い者としてください。そして私どもを、すべて過ぎ去るものを越えて、あなたの御手の中を歩み、高く立ち上がることを許された者として、明るくあり続けることができますように。アーメン。

1月5日

マタイによる福音書 第4章16節 暗闇に住む民は大きな光を見、死の陰の地に住む者に光が射し込んだ。

愛する天の父。私どもがあなたを求め心静かにしている中で、どうか私どもをお囲みください。それにより私どもはあなたの御霊にあずかり力を得るのです。そして私どもの力ない生活の中にあっても、なお強くありまして、あなたの助けを忍耐して待つのです。あらゆる善いことによって私どもをお守りください。自分もあなたの子供であり、あなたの父としての御守りの中にあつて喜ぶことが許されていることを、どうか私ども一人一人に感じさせてください。どうかますますあなたの御心が私どもに、また私どものまわりにも成りますように。それにより私どもがもっと自由となり、あなたの御光が、今なお暗闇があるところにも来ることができるようになりますように。アーメン。

1月6日 (Erscheinungsfest 顕現日)

マタイによる福音書 第2章 1－2節 イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」

主、私どもの神。私どもはあなたのご顕現をあなたに感謝し、あなたに祈り願います。どうか常に繰り返し、あなたの福音を聞く者たちのうちに、また異教の世界の中で誠実な心を持つ者たちのうちに、ひとつの光を輝かせてくださいますように。そしてそれらの者たちが、あなたの光を経験することが許され、またイエス・キリストにおいて救いを得ますように。あなたの光が私どもを照らしますように。あなたのご顕現が私どもに、ますますはっきりと、ますます明らかになりますように！あなたを呼び求めるすべての者たちのことを御心にとめてください。あなたの民を御心にとめてください。そして彼らが、集まることを許し、あなたのお名前により光となり、その歩むすべての道行きにおいてあなたにお仕えしますように。アーメン。

1月7日

イザヤ書 第60章 1－2節 起きよ、光を放て。あなたを照らす光は昇り 主の栄光はあなたの上に輝く。見よ、闇は地を覆い 暗黒が国々を包んでいる。しかし、あなたの上には主が輝き出で 主の栄光があなたの上に現れる。

愛する天の父。あなたのみ守りのもとに生き、あなたから命の力を得たいと願う、あなたの子どもたちとして、私どもをご覧ください。そして戦いに満ち、試練に満ちた、この世界において、あなたの愛と善による確かさの中で私どもをお守りください。どうか私どもが共に助け合い、あなたのお名前が地上においてたたえられますように、あなたの救いが全世界にもっと広められるます

ように。あなたが私どもに与えてくださいました希望が、私ども自身の生活のために、あなたがキリスト・イエスにおいて愛してくださいます、すべての人々のために、光と力とに満ちたものとなりますように、アーメン。

1月8日

ルカによる福音書 第17章5-6節 使徒たちが、「わたしどもの信仰を増してください！」と言ったとき、主は言われた。「もしあなたがたにからし種一粒ほどの信仰があれば、この桑の木に、『抜け出して海に根を下ろせ』と言っても、言うことを聞くであろう。

愛する天の父。私どもはあなたに感謝致します。あなたが私どもに与えてくださいます、こんなにもたくさんの力のことを。そしてあなたが私どもにお示し下さいます、こんなにもたくさんの命のしるしのことを。私どもはあなたにすべての御守りを、私どもの信仰と、私どもの希望をもお守り下さいますことを感謝致します。そしてあなたに祈り願うのです。どうかあなたから来ます霊によって、わたくしどもがますます満たされますように。そして私どもが、悪く、幸せではない世界においても、あなたの証し人となって、この命について、そしてまた未来の命について希望を持つことができますように。アーメン。

1月9日

コリントの信徒への手紙一 第15章57-58節 わたしたちの主イエス・キリストによってわたしたちに勝利を賜る神に、感謝しよう！わたしの愛する兄弟たち、こういうわけですから、動かされないようにしっかり立ち、主の業に常に励みなさい。主に結ばれているならば自分たちの苦労が決して無駄にならないことを、あなたがたは知っているはずです。

主、私どもの神、私どもはあなたに感謝致します。私どもがあな

たの愛のうちに生きることが許されており、こんなにも大いなる約束をお与えくださったからです。その約束はさらに、この地上のあらゆる困難にさえ終わりをもたらしてくださるのです。私どものあらゆる状況においてあなたにお向かいする時に、どうか私どもを御心にとめてください。私どもが弱い時には、あなたは強くいてくださいます。私どもはあなたの御力に希望を置きたいのです。そして、私どもの人生が、地上においても常にあなたの御手のうちにあることを信じたいのです。あなたが大いなる御業をなしとげてくださって、全世界がなお罪の赦しをも感じて、あなたに感謝し、あなたを永遠に讃えるようになるまで。アーメン。

1月10日

マタイによる福音書 第9章2節 **すると、人々が中風の人を床に寝かせたまま、イエスのところへ連れて来た。イエスはその人たちの信仰を見て、中風の人に、「子よ、元気を出しなさい。あなたの罪は赦される」と言われた。**

主、私どもの神。あなたの愛とあなたの助けは何と大きいことでしょうか！どうか私どもすべてに、私ども一人一人個人が、あなたの御手の中に立っていますこと、私どもの誤りやもろさが、もう決して意味を持つことが許されないことを感じさせてください。私どもはなお、あなたが立ててくださり、そこに至るまでは、罪の赦しと、あなたが私どもの心にお与えになることができる、あらゆる善いことにより、あなたが助けようとしていてくださいます、ひとつの目標に向かってまっすぐに進むのです。ですからどうか私どもと共にいてください。そして私どもは忠実でありたいのです。あなたの大いなる憐みへの信仰を固く持ちたいのです。それによってあなたのお名前が私どものもとで栄えあるものとなりますように。ひとりひとりの心の中へ慰めが入り来たり、あなたのお名前がたたえられるため、すべてがなお良いものとなりますように。アーメン。

1月11日

詩編 第27編 1節 主はわたしの光、わたしの救い わたしは誰を恐れよう。 主はわたしの命の砦 わたしは誰の前におののくことがあるう。

私どもの愛する父。あなたは天より私どものもとへと来てくださり、あなたの慈しみと憐れみにより、あなたの御光と生命により私どもを囲んでくださいます！私どもは弱く、私どもがしっかりと立ち、持ちこたえねばならないような時にも、いかに貧しくいかに途方にくれる者であることでしょうか。しかしあなたはなお誠実に、私どもと共に続けて歩んでくださり、私どもを助けてくださいます。ですからこのように私どもはあなたに願い求めるのです。私どもをさらに助けてください。私どもを支えてください。どうか私どもがつぶされませんように。どうか私どもが生きていかなければならないすべてのことにおきまして、永遠であるもののうちの何かを私どもに伴わせてください。そして私どもが繰り返し常に生き生きとして、繰り返し常に新しく始めて、前進することができますように。アーメン。

1月12日

詩編 第55編 23節 あなたの重荷を主にゆだねよ 主はあなたを支えてくださる。 主は従う者を支え とこしえに動揺しないように計らってくださる。

愛する天の父。あなたが私どもと共にいてくださることがどれほど良いことであるか、私どもは感じ取り、そして見る事が許されています。そしてそのように私どもの心を助けてくださいます。私どもが救い主によってついには打ち勝つ者となり、まことの信仰、まことの忠実、まことの霊の力により救い主のおそばにいて、すべてのことから自由となり、あなたの御手にゆだねる喜びを得させてください。ですから私どものはあなたに願い求めます。私どもがお互いに次のように言います時に、私どもの声をお

聞き届けくださいますように。あなたの御名が地上においても天においてのようにたたえられますようにとの、最も大なる願い事のゆえに、私ども皆の願い事はすべて、最も小さな願い事まですべて、私どもはあなたの御手におゆだねしよう、と。アーメン。

1月13日

コリントの信徒への手紙一 第16章13-14節 目を覚ましていなさい。信仰に基づいてしっかり立ちなさい。雄々しく強く生きなさい。何事も愛をもって行いなさい！

愛する天の父。私どもに子供としての心をお与え下さい。そしてすべてを正しく理解することができ、私どもの誤りや弱さにもかかわらず、何ものかを成し遂げる、そのような仕事にもつくことができますように。なぜなら私どもはその仕事を、愛を理解して行いたいからです。私どもは確かに立っています、天の父。あなたはご存じなのです。私どもが昼も夜も、多くの困難と反対、そして妨げのもとに立っていますことを。しかしあなたは私どもを見ていてくださいます。私どもを助けようとしてくださいます。そしてあなたの御名が聖なるものとされ、あなたの御国が来て、あなたの御心が天にあるように地にもなりますように。アーメン。

1月14日

コリントの信徒への手紙 第13章4節 キリストは、弱さのゆえに十字架につけられました、神の力によって生きておられるのです。わたしたちもキリストに結ばれた者として弱い者ですが、しかし、あなたがたに対しては、神の力によってキリストと共に生きています。

主、私どもの神。私どもはあなたの御前に参りまして、あなたの王座の前であって、心からあなたに祈り願います。あなたが私どもにあなたの霊をお与えくださいますように。そして私どもの人間としての生活が、ただおひとりの神であり、全生命の創造者で

あるあなたによって、整えられ、治められますように。どうか私どものためにあなたの御言葉を心に入らせてください。そして私どもを、私どもが生きるすべてのことにおいて祝福してください。それにより私どもがあなたに祈り願い、あなたの御前に立つことができますように。私どもは弱く、貧しく、私どもの霊は何もできず、私どもの心は疲れ切っています。しかしあなたは私どもを力づけることがおできになります。すべてを正しくすることがおできになります。それによりあなたの御国が全世界に明らかにされ、私どもの時代は特に経験することとなるでしょう。あなたが悲しみを望まれることはなく、あなたの善と、命と、永遠とをこの地上において望まれているということ。アーメン。

1月15日

ローマの信徒への手紙 第8章26節 同様に、”霊”も弱いわたしたちを助けてくださいます。わたしたちはどう祈るべきかを知りませんが、”霊”自らが、言葉に表せないうめきをもって執り成してくださるからです。

主なる神。私どもはあなたに願い求めます。どうかあなたの御霊を私どもに來たらせ、また全世界へと來たらせてください。そしてあなたの御光がこの地上へと、人間の内へと昇り、あなたの御力が明らかにされ、あなたの御支配が來ますように。あなたの御心になりますように、主なる神。私どもはあなたに願い求め、あなたの王座の前にひれ伏しています。私どもは弱いのです、主よ、私どもを助けてください！私どもを祝してください！あなたの御国を、あなたに喜んで従う者たち、イエス・キリストにおいて恵みを受けたいと願う者たちの心の内におこしてください。あなたの御力が私どもを助けてくださいますように。あなたの御支配が私どもの上に来ますように。あなたの聖なる御霊が私どもと共にありますように。主なる神、私どもの父であるお方。アーメン。

1月16日

**詩編 第145編 1-2節 わたしの王、神よ、あなたをあがめ
世々限りなく御名をたたえます。絶えることなくあなたをたたえ
世々限りなく御名を賛美します。**

愛する天の父、あなたの御顔の下に私どもは立ち、あなたに心から感謝致します。何を私どもがあなたに感謝致しますか、あなたのご存じなのです。ですから私どもはあなたに願い求めます。どうかこれからもさらに私どもを起きあがらせて、あなたが私どもを導いてくださる道を歩む、力と強さとお与え下さい。私どもがなお苦しみ、多くのことを戦い抜かなければならない時にも、私どもは知っているのです。すべてのことが正しいものとなり、なお目標へと導いて、このことのゆえに私どもはあなたを正しくたたえ、あなたに感謝することができるのだということ。どうか私どもの霊と、私どもの心を守ってくださり、私どもが強くなり続けて、何事が働こうとも、私どもを屈服させることがありませんように。むしろ、私どもの命を永遠に若くする、あなたの御霊のうちに心を高くたもち続けることができますように。アーメン。

1月17日

**詩編 第23編 1-3節 主は羊飼、わたしには何も欠けることがない。主はわたしを青草の原に休ませ 憩いの水のほとりに
伴い 魂を生き返らせてくださる。 主は御名にふさわしく わ
たしを正しい道に導かれる。**

愛する天の父。私どもはあなたに感謝致します。私どもが見放されたと感じることが許されないからです。そして私どもは、私どもを導き、治めてくださいます、あなたの御手をいただくことが許されているからです。私どもは皆お互いに、私どもがすでに体験してきたこと、私どもが霊において体験してきたこと、さらに、地上的なことがらにおいて、私どもがみずからの体によって体験したことをも、すべてのことに感謝致します。あなたは私どもに

よりたたえられなければなりません。そしてあなたはさらに私どもを導き、繰り返し常になにかを行われ、私どもは皆、良き羊飼いが私どもを導いてくださるのを、私どもは見て、経験しましたとすることができるとです。アーメン。

1月18日

ヤコブの手紙 第1章12節 試練を耐え忍ぶ人は幸いです。その人は適格者と認められ、神を愛する人々に約束された命の冠をいただくからです。

主、私どもの神。私どもと共にいてください。あなたの御霊で私どもに触れてください。それにより私どもの心が何かを受けることができ、私どもが戦いと試練の生活にあっても、多くの苦しみと、多くの死さえある生活にあっても、喜びを持つことができますように。あなたの御言葉により私どもをお守りください。どうか御言葉が私どもにとって繰り返し常に光となりますように。それにより私どもがあなたにも従い、あなたの御心を行うことができますように。私どもの歩むすべての道で私どもと共にいてください。そしてあなたがすべてのことをあなたの御手によって導いてください。それにより全人類の中にあってひとつの目標へと至り、最後には高い目標へと至るのですから、すべての苦しみと戦いの中にあっても喜びますように。アーメン。

1月19日

イザヤ書 第63章16節 あなたはわたしたちの父です。 アブラハムがわたしたちを見知らず イスラエルがわたしたちを認めなくても 主よ、あなたはわたしたちの父です。 「わたしたちの贖い主」 これは永遠の昔からあなたの御名です。

主なる神。私どもはあらゆる時代を振り返る時にもあなたに感謝致します。あらゆる時代に、あなたの僕は大きな声で、あなたは私どもの父であり、あなたは諸々の民を正しい目標へと導いてく

ださる！と証しをしてきたのです。そしてたとえもしももっと長く時間がかかろうとも、私どもはこの証しの中に立つことが許されていること、たくさんの愛と善とが、私どもの時代においてもやって来て、私どもの民を照らしてくださることを、私どもは感謝致します。ますますより大きなあなたの御霊の力で私どもをお守りください。あなたの御名をたたえるため、あなたの僕が告げ知らせた救いのために、どうかあなたの御光をあらゆる国々の上に輝かせてください。アーメン。

1月20日

イザヤ書 第41章10節 恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。 たじろぐな、わたしはあなたの神。 勢いを与えてあなたを助け わたしの救いの右の手であなたを支える。

愛する天の父。私どもはあなたに感謝致します。私どもはあなたを持つこと、そして、あなたが私どもをあなたの御手により導いてくださる！ことを知ることが許されているからです。いかなることがらにおいても、いかなる道を歩む時にも、私どもを導く、あなたの御手がどれほど強く、どれほど力あるものであるかを、見ることが許されていることを理解する御霊を、どうか私どもに得させてください。そしてもしそれが私どもに足りないなら、どうか私どもを助けてください。なぜなら私どもは弱く、どうしたら良いかわからない、たくさんの状況に入り込んでしまうからです。しかしあなたは力強く、私どもの心にも光をお与えくださり、私どもは何度も繰り返し、元気を得、喜びを与えられ、忍耐強く、大いなる目標へと向かう人生を歩むことができます。それは私ども、あなたの子供たちにとって、私どもとともにある全世界にとって、救い主イエス・キリストにより示されました目標なのです。アーメン。

1月21日

詩編 第18編7節 苦難の中から主を呼び求め わたしの神に向かって叫ぶと その声は神殿に響き 叫びは御前に至り、御耳に届く。

愛する天の父。私どもはあなたが私どもの父でもいてくださることを喜びます。そしてあなたは、私ども一人一人が生きなければならぬ人生を、ご支配し、導いて、正しいものへと至らせてくださるのです。そして私どもは、あれやこれやの中で動けなくなってしまふ必要もなく、むしろ常に繰り返し自由なものとなり、常に繰り返し新しく生き、常に繰り返し前進して、私どもにとりましても、私どもと共に生きる人々にとりましても、常に繰り返し喜ぶものとなるのです。そして私どもはそうすることにより、あなたをたたえ、そうすることにより、あなたの御力が私どもに現れることができるようにしてくださいます。この地上があなたの天となり、この地上であなたの御心になり、この地上で、貧しい者たち、弱い者たち、小さい者たち、病める者たち、苦しみ悩む者たちが助けられるようにしてくださいます。あなたの御名がたたえられますように！私どもはあなたのお名前によって喜ぶのです。アーメン。

1月22日

マタイによる福音書 第11章28節 疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。

愛する天の父。私どもはあなたに祈り願います。どうか私どもが必要とする平安をお与え下さい。あなたの御前に立ち、私どもに迫り来ようとする、あらゆる事を忘れ、あなたが私どもと共に語りくださることができるためなのです。どうか私どもに、あなたが生きておられ、まことに私どもの傍らにいてくださるのだということを経験させて下さい。たとえ悲しみや不安、苦しみの中にあってもです。どうか私どもの心があらゆることに喜び、感謝

し続けますように。それは私どもが常にあなたのもとにあって、イエス・キリストが私どもを助けることができるためであるのです。私どもの心に掛かるあらゆることにおいて、私どもと共にいて下さる方であり、助け手であるようにと、あなたがこのお方をお与え下さったのです。ですから私どもは私どもをあなたにお委ね致します。あなたの御霊にあって私どもをお守り下さい。アーメン。

1月23日

詩編 第103編 19、22節 主は天に御座を固く据え 主権をもってすべてを統治される。主に造られたものはすべて、主をたたえよ 主の統治されるところの、どこにあってても。 わたしの魂よ、主をたたえよ。

愛する天の父。私どもはあなたに感謝致します。あなたは私どもに神の御国への、あなたの御国への希望を心の中にお与えくださったのです。そして私どもはそのことによって、常に繰り返し強く、常に繰り返し新鮮なもの、若いものとなることを許されています。そして常に繰り返し、いかに力強く、あなたの御国がすでに隠されたもののうちに来ているかということを経験することが許されているのです。どうか私どもをそのことによってお守りください。そして私どもに必要なものをお与えください。正しいことが行われるはずです。何が来ようとも、私どもはあなたの御手のうちにいます。そして何ものも、私どもの心から喜びを取り去ることはありません。アーメン。

1月24日

イザヤ書 第45章 19節 わたしは隠れた所で、地の闇の所で語ったことはない。 ヤコブの子孫に向かって 混沌の中にわたしを求めよ、と言ったことはない。 わたしは主 正義を語り、公平を告知する者。

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。あなたがあなたの愛を私どもに与えてくださったからです。私ども人間はますます正義と善とに近づくことができますのです！どうかあなたの御霊をあらゆるところに満たしてください。それにより間違ったものが克服され、人間の理解する力でも、あなたの正義とは何かを認識することができますように。私どもの歩む道すべてにおいて、私どもをお守りください。肉体と人生を圧迫するもの、病気やあらゆる種類の苦しみの圧迫においても私どもをお守りください。そしてそのようなものの中にあっても、あなたのうちにあります、まことと正義とに向かうために、私どもを助けるものが生じますように。アーメン。

1月25日

マタイによる福音書 第5章 14－16節 あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない。また、ともし火をともして升の下に置く者はいない。燭台の上に置く。そうすれば、家の中のものすべてを照らすのである。そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。

主、私どもの神。義の神であるあなた。どうかあなたの御光を輝かせて、私どもの歩む道を、私どもと共にその光を進ませてください。それにより私どもがあなたの御言葉と御霊とによって明るくなりますように。試練と戦いの中にあっても、この光を繰り返し常に正義への光、善への光としてください！私どもを守り、私どもを祝福してください。どうか私どもの心が、その全体をもってあなたをほめ、たたえることができ、あなたが私どもにしてくださいましたすべてのことに感謝するようにならさせてください。アーメン。

1月26日

詩編 第145編 18-19節 主を呼ぶ人すべてに近くいましまことをもって呼ぶ人すべてに近くいまし 主を畏れる人々の望みをかなえ 叫びを聞いて救ってくださいます。

愛する天の父。全能の神。あなたの子供たちはあなたを仰ぎ望み、あなたに願い求めます。どうか私どもをあなたの御手の中にとどまらせ、あなたが私どもの願いを聞き届けてくださること、あなたが私どものもとにいてくださり、あなたの御名をたたえるために、私どもに最も良いものを備えてくださっていることを、私どもが知るための何かを、繰り返し常に私どもにお与えください。どうかこの時にも、あなたから善いもの、憐れみ深いものを経験させてくださいますように。そしてどうか、私どもが既に経験したこと、なお経験することすべてについて、私どもを常に喜ばせ、感謝させてくださいますように。アーメン。

1月27日

フィリピの信徒への手紙 第1章 10-11節 本当に重要なことを見分けられるように。そして、キリストの日に備えて、清い者、とがめられるところのない者となり、イエス・キリストによって与えられる義の実をあふれるほどに受けて、神の栄光と誉れとをたたえることができるように。

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。あなたが私どもの心に、こんなにも大きな確信を与えてくださったからです。私ども自身の生活の中で、繰り返し常にそのような経験を、イエス・キリストの、その命から力と命とを得る、大いなる経験までもさせてくださったのです。あなたのお名前がたたえられ、私どもの人生がひとつの目標を得ますように。私どもがこの地上に生きる、私ども自身の時代にありましても、私どもはしっかりと、強くあり、確信を持つことが許されますように。そして私どもが希望するものが、さらに明らかに示されますように。私ども

も、私どもが目にすることが許されているものから、さらに何かを見ることを許されますように。そしてあなたのお名前が、私どものうちの多くの者たちのもとで、大いなるものとなり、繰り返し常に、私どものうちから、弱い者たち、貧しい者たちのうちから新たなる生命がほとぼしり出ますように。あなたのお名前がたたえられますように。そしてあなたがそのようなものを私どもの目の前に置いてくださり、私どもがそれによって強くなりますように！アーメン。

1月28日

詩編 第32編8節 わたしはあなたを目覚めさせ 行くべき道を教えよう。 あなたの上に目を注ぎ、勧めを与えよう。

主、私どもの神。私どもはあなたの御前に歩み出て、あなたに祈り願います。私どもの人生すべての中で私どもを助けてください。たとえ私どもがしばしばそれを理解できない時においてもです。あなたの御霊によって、あなたの御手によって私どもと共にいてくださいまして、私どもの先に立ち、私どもを導いてくださいますように。そしてどうかあらゆる事柄においてあなたの御心になりますように。たとえ私どもが苦しみ、忍耐しなければならない時においてもです。あなたの御心はなお善いものであるに違いなく、すべてのものを正しくしてくださるに違いありません。ですから私どもを助け、あなたの御言葉によって、私どもの神であり、父であるあなた、あなたから私どもが聞くことを許されているすべてのことによって、私どもを祝福してください。アーメン。

1月29日

申命記 第6章4－5節 聞け、イスラエルよ。我らの神、主は唯一の主である。あなたは心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。私どもが、わ

れわれのすべての日々において、良い日にも、私どもに悪く思われる日にも、あなたの御心のうちに生きているのだと、あなたが
お望みであり、あなたが行われることのうちに生きているのだと、
知っているからです。このことについて私どもはあなたに感謝し、
この世界のあらゆるものにまさって、あなたを愛したいのです。
私どもの心はあなたにあこがれます。あなたが私どもの父であり、
私どものすべての人生においてあなたをたたえ、愛したいからで
す。ですからどうかこの世界においてあらゆるものを正しく裁い
てください。そして私どもを助けてください、主なる神。あなた
の御心を常に行うために。そしてあなたの戒めを守るために。ア
ーメン。

1月30日

**イザヤ書 第45章22-24節 地の果てのすべての人々よ
わたしを仰いで、救いを得よ。 わたしは神、ほかにはいない。**

**〔……〕わたしの前に、すべての膝はかがみ すべての舌は誓い
を立て 恵みの御業と力は主にある、とわたしに言う。〔……〕**

主なる神。私どもはあなたの御前にひざまずき、あなたに祈り願
います。あなたは天においても地においても大いなることをなさ
るお方。あなたは人間に、あなたの子ども、あなたのしもべとな
るのを許すことをお与えくださいます。あなたは今まで多くの者
たち、それぞれに大いなることをしてくださり、その者たちはあ
なたに仕えることを許されています。そしてさらなることをあな
たはしようとしてくださいます。それはあなたが約束してくださ
ったからです。人間の道が正しいものとなるように。私どもすべ
てのわがが、イエス・キリストにおいて、あなたにお仕えするこ
ととなりますように。イエス・キリストは、私どもがお従いする、
世界の救い主であって、なお全世界に対して明らかに示されるべ
きお方です。そしてもろもろの民は、地上においてあなたにお仕
えするために召されるのです。あなたに御心が、天においてのよ

うに地においてもなりますように。あなたのお名前がたたえられますように。主なる私どもの神！私どもの心はあなたに対して開かれねばなりません。死ぬにも生きるにも私どもはあなたのものであるのです。アーメン。

1月31日

イザヤ書 第62章1節 シオンのために、わたしは決して口を閉ざさず エルサレムのために、わたしは決して黙さない。彼女の正しさが光と輝き出で 彼女の救いが松明のように燃え上がるまで。

主、私どもの神。私どもはあなたに祈り願います。あなたは私どもを、あらゆるところで迎えてくださり、私どもが住む地上においてあなたの栄光を明らかにしてくださるお方です。どうか私どもを、あなたにふさわしい、自分のすべてにおいてあなたを代表することができる人間にしてください！そして私どもに、私どもが戦いや試練にある時においても、忍耐する力をお与えください。いかなる時も、救い主イエス・キリストにより、私どもに恵み深くあってください。そしてどうか体も魂も主の御手のうちにいさせてください。そして私どもが、天の父であるあなたのもとに、聖霊により再び生まれた、あなたの正しい子どもたちとして、赴かせてくださいますように！アーメン。

2月1日

ヨハネの手紙一 第3章1節 御父がどれほどわたしたちを愛してくださるか、考えなさい。それは、わたしたちが神の子と呼ばれるほどで〔す〕。〔…〕

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。私どもがあなたの子供たちであることを許してくださり、この地上において、あなたの御手に支えられ歩ませてくださるからです。たとえしばしば困難に見舞われようとも、私どもの人生に悩みや苦勞が多く

とも、私どもに忍耐と信仰をお与えください。しかしあなたは光であり、あなたの御言葉がお命じになる、自制と忍耐によっても、私どもを正しい道へと導いてくださいます。私どもが歩むあらゆる道行きにおいて、私どもをお守りください。そして私どもの中であなたの御国が促されますように。それによって人は認め、見るのです。神であるあなたが、まことに私どものもとにおられ、あなたの御業を行われていること。そしてたとえ私どもの業がうまくいかなくとも、私どもはあなたの御業を喜ぶことが許されているということ。しかしあなたの御業は変わることがありません。そしてあなたの御業によって私どもは喜び、あなたがしてくださいますすべてのことを、私どもは日々感謝したいのです。アーメン。

2月2日

イザヤ書 第35章10節 主に贖われた人々は帰って来る。とこしえの喜びを先頭に立てて 喜び歌いつつシオンに帰り着く。 喜びと楽しみが彼らを迎え 嘆きと悲しみは逃げ去る。

愛する天の父。私どもは、あなたが私どもを導いてくださいますあらゆる道に感謝を致します。そして私どもはあなたのお名前をお互いにたたえあって、あなたに願い求めるのです。たとえこの世界においてさらに困難なものになろうとも、私どもと共にいてください。どうか御力を働かせてください。私どもの願いからも。私どもがすべての人間のために願い、次のように告げることが許されます時にも。天にいらっしゃいます私どもの父よ、この人たちは私どもの兄弟、姉妹たちなのです。彼らに欠けがあり、罪を犯すような時にも、彼らを助けてください。ああ神よ。どうかすぐにでも、あなたがどなたであって、あなたが何をしてくださり、さらに何をしようとしてくださるのか、正しく認めることができますように。そして全世界が喜ぶことが許されるようになり、人間があなたの子供たちとして、この地上においても、救いを覚え

ますように。アーメン。

2月3日

ガラテヤの信徒への手紙 第3章26－27節 あなたがたは皆、信仰により、キリスト・イエスに結ばれて神の子なのです。洗礼を受けてキリストに結ばれたあなたがたは皆、キリストを着ているからです。

愛する天の父。あなたのもとへとおもむくことが私どもには許されています。なぜならあなたが私どもを、あなたの子供たちとして数えてくださったからです。私どもの心はあなたのみもとへと参りたいのです。私どもの神、救い主よ。ですからどうかあなたの御言葉も私どもに向かって、祝福されたものとしてください。そして私どもは新しく立ち上がらされ、私どもが地上で生きていかねばならない、この時代の悲しみの中にもありましても、私どもの心は強くなるのです。どうか私どもの日々にもありましても、光が来て、人間があなたの御心を心にかけるものとなりますように。そしてこの地上での苦しみが終わり、あなたのお名前が聖なるものとされ、あなたの御心がなりますように。主なる神、あなただけが、私どもの助けなのです！私どもに恵みをお与えください。あなたの御手が伸ばされて、あなたの御心がこの地上でもなり、人間があなたのみもとへと、あなたの戒めへとおもむくものとなりますように。アーメン。

2月4日

ヨハネによる福音書 第14章6節 イエスは言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。

主、私どもの神。イエス・キリストのお名前によって福音を聞きました私どもを助けてください。私どもの心が、全くをもって、私どもをあなたの御手の中へと導いてくださる救い主へと向けら

れますように助けてください。どうか私どもの請い求める願いが聞き届けられますように。そしてどうかあなたのみ顔をこの世に輝かせてください。あなたはまもなく新しい時代を、この地上での新しい救いを、あなたの御名をたたえるために送ろうとしてくださっています。そして私どもの全生命が、あなたのお名前をたたえるために、まことへと至り、天に入ることが許されるという、私どもがあなたについて知らされていますことがまこととなるのです。ですから主、私どもの神！私どもの言葉をお聞き届けください。私どもの日々の生活の中で私どもはあなたに身をおゆだねします。私どもは忠実でありたいのです。そしてあなたは私どもを助けようとしてくださいます。それにより私どもはあなたの子供たちとなり、一步一步、歩みつつ、私どもはあなたのものであると、いつも思わせてくださるのです。アーメン。

2月5日

詩編 第9編 2－3節 わたしは心を尽くして主に感謝をささげ驚くべき御業をすべて語り伝えよう。いと高き神よ、わたしは喜び、誇り 御名をほめ歌おう。

主、私どもの神、あなたの御霊にあって、あなたが私どものまわりからお広げになることがおできになる、あらゆることにおいて、どうか私どもをお守り下さい。それにより私どもが、あなたの御力を体と魂とでたたえることが許されて、悪が充ち満ちた世界においても喜ぶことができるためです。どうか私どもの心が照らされますように、それにより私どもが、正しいこと、良いことのため、永遠なるもののため、の目を持ちますように。そしてなお、遠く離れ、闇の中を歩む人々に対しても、[私どもの] 祈り願いと理解とを超えることをなさってください。それにより、あなたの永遠の恵みが彼らをさらに抱き、そしてこの地上が、創造者であり私どもすべての父である、あなたに対する感謝で満ちあふれますように。アーメン。

2月6日

詩編 第31編8節 慈しみをいただいて、わたしは喜び躍ります。 あなたはわたしの苦しみを御覧になり わたしの魂の悩みを知ってくださいました。

愛する天の父。私どもは感謝をもってあなたの御前に出で、この地上においてあなたが私と共にいてくださることを喜ぶのです。たとえ私どもが多く戦い、多くの争いの中にあるときも、たとえいやなことが私どもに迫るとも、私どもは知っているのです。私どもがあなたの御手のうちにあり、すべてがあなたの御意志によらねばならないことを。どうか私どもが本当にしっかりとあなたの御手のうちにとどまり続け、私どもも、私どもの心になわなないことをも、耐えることができますように。なぜなら私どもは知っているからです。あなたはこのことをしてくださり、すべてを良い目的へと導いてくださるのです。そしてしばしば、厳しいことに直面すれば、直面するほど、暗いことに直面すれば、直面するほど、ますますあなたの御手が、人間の人生の勝利というものを明らかにお示し下さるのです。人間の人生は、永遠の昔にその基礎が据えられ、悲しみのうちに決して終わる事はありません、あなたの栄光のうちにあるのです。アーメン。

2月7日

フィリピの信徒への手紙 第3章13-14節 兄弟たち、わたし自身は既に捕らえたとは思っていません。なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、神がキリスト・イエスによって上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。

愛する天の父。私どもが永遠なるものとなる、あらゆることにおいて、あなたは私どもの源であり、私どもの生命です。あなたのもとに私どもはおもむき、あなたに祈り願います。あなたが私どもにお与えくださったものにより、どうか私どもが強められます

ように。そして私どもに生命の光をお与えください。それを目指して私どもは、地上的なことがら、過ぎ去りゆくことがらにおける苦勞においても、多くの困難のもとにあっても、歩み続けることができるのです。欺きとあらゆる欺瞞から私どもをお守りください。そしてどうか私どもを強くし、私どもと多くの人間と、そして最終的にはあらゆるものに対する、あなたの常に変わらない、確かなご支配に希望を置くものとなりますように。アーメン。

2月8日

ローマの信徒への手紙 第8章14節 神の霊によって導かれる者は皆、神の子なのです。

愛する天の父。あなたは私どものもとにもいてくださいますから、私どもはあなたに次のように言うことができますのです。アッバ、愛する父よ！私どもはあなたの子供たちです。私どもはあなたの子供たちとなって喜び、私どもの全生涯をあなたの御手に委ねたいのです。それによりあなたの御手の中にあって正しく、幸せになりたいのです！羊飼いに養われる群れのように、私どもをお守りください。そして私どももお互い交わりの中にあることができまして、あなたが、ここにも、世界中の外にも、たくさんの子供たちを持っておられ、繰り返し常にひとりの子供の手を取っては、お前は私のもの。私はあなたに心を配る！と言ってくださいますことを感じ取らせてください。私どもはあなたに感謝致します。あなたはこの世界をもご覧になって、すべての人間によって治めてくださり、それによって人間が暮らす、この地上全体に善きものがもたらされるのです。それは間もなく救い主によって起きるでしょう。私どもは救い主に申し上げます。主イエス。来てください。すぐに来てください。そしてどうか私どもすべてがあなたの御手によって、天の父のもとに居続けさせてください！アーメン。

2月9日

詩編 第91編9－10節 あなたは主を避けどころとし、いと高き神を宿るところとした。あなたには災難もふりかかることがなく、天幕には疫病も触れることがない。

主、私どもの神。私どもはあなたの御前に歩み出るので。私ども苦しめ悩まず、こんなにも多くの事柄が起きる、この私どもの時代においても、あなたが私どもの避けどころであるからです。しかしあらゆる日々において、あなたは私どもの神であり、私どもの救い主であります！あなたは常に私どもの助け手であり、救い主でいてくださいましたし、今日なお、またこれからも常にそうあり続けてくださいます。そして私どもはあなたの御名をたたえ、あなたをほめたたえ、願い求めるのです。私どもの時代において新しい霊をお与えください。イエス・キリストがもたらしてくださいました福音による新しい助けをお与えください！あなたの御名が聖なるものとされ、あなたの御国が来て、あなたの御心が天においてのように地でもなりますように。アーメン。

2月10日

イザヤ書 第26章1、4節 その日には、ユダの地でこの歌がうたわれる。我らには、堅固な都がある。救いのために、城壁と堡壘が築かれた。どこまでも主に信頼せよ、主こそはとこしえの岩。

主、私どもの神。どうか私どもに道を見出させてください。あなたは私どもの父でありますから、その歩みにおいて私どもが常に慰めを受ける道であります！私どもに押しかけようとする、あらゆる思いを取り除いてください。この思いを私どもから、あなたの御霊によって取り除いてください。私どもの心があなたの御前に安らかになるためです。全能者であるあなたは、私ども地上の人間において、あらゆることを最善のものに変えてくださいます。なぜならあらゆるものがなお賛美と感謝とに終わるべきだからで

す。ですからどうか昼も夜も常に私どもとともにいてください。常にくりかえし生き生きと、私どもの神、救い主である、あなたにおいて私どもの心に歓声をあげさせてください！アーメン。

2月11日

ヨハネによる福音書 第16章13節 しかし、その方、すなわち、真理の霊が来ると、あなたがたを導いて真理をことごとく悟らせる。その方は、自分から語るのではなく、聞いたことを語り、また、これから起こることをあなたがたに告げるからである。

愛する天の父。私ども、あなたの子供たちに、あなたの御霊をお与えください。そうすることにより、この地上にもあなたからのものがいくらかでも明らかに示されて、人間のものだけではなく、神の御力と神の真理とが、私どものあらゆる業の中においても私どもに宿りますように。どうか私どもを、私どもの心において常に強くいさせてください。たとえあなたが私どものまわりにおられ、あなたの御国が私どものまわりにあるということが、しばしばよくわからなくなってしまうような時にもです。そうすることにより平和の力と救いの力とが、私どもにおいて明らかに示されますように。私どもが理解できないことも、あなたはすべて成し遂げることがおできになります。私どもは、私どもが理解することをしますが、あなたはその際に私どもを助けてくださいます。しかしあなたがおできになることを、私どもはすることができません。ですから私どもは希望を抱き、あなたがあなたの御力をもって、あなたの御霊をもって、私どもの全生活をご支配してくださるのだと信じるのです。また人生のまことの真理を求めて、心の中でため息をついている、多くの人々の生活をご支配してくださることも信じます。アーメン。

2月12日

ルカによる福音書 第10章20節 しかし、悪霊があなたがた

に服従するからといって、喜んではならない。むしろ、あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。

愛する天の父。私どもは心を尽くしてあなたに感謝致します。あなたが私どもにこんなにも多くの力をお示しくくださり、私どもを脅かし、私どもの命を損なおうとする、こんなにも多くの敵を克服してくださるからです。私どもはあなたが私どもにしてくださる数え切れない奇跡についてあなたに感謝いたします。しかしまた、私どもは特別な感謝をもって喜ぶのです。あなたが私どもの名前を書き取ってくださり、私どもの名前があるところに、私どももいるのだと感じることを許してくださるからです。私どもの主イエス・キリストがおられるところに、私どももいたいと願うのです。そしてこのお方より、私どもの言葉と私どものわざとが生まれなければなりません。どうかこのことにおいて私どもをお守り下さい。そしてどうか私どもが歩むあらゆる道行きにおいて、あなたが働いてくださっていることを喜ぶものでありますように。アーメン。

2月13日

シラ書 第2章4－5節 身にふりかかる艱難は、すべて甘受せよ。たとえ屈辱を受けても、我慢せよ。金は火で精錬され、人は屈辱のかまどで陶冶され、神に受け入れられる。

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。あなたは繰り返し常に、助けてくださるからです！あなたの御名前が、多くの危険、多くの悲しみにあっても、あなたが私どもにしてくださるすべてのことのゆえにたたえられますように！私どもは、イエス・キリスト、救い主にあって、あなたを確信しています。このお方は、どこにおいても、あらゆる悲しみの中にも、あなたの恵みを明らかに示され、私どもは強くあることができ、常に自由にあなたの御国を仰ぎのぞむことができるのです。私どもが苦しまなければならないときも、あなたはさらなる力を与えてください

ます。なぜなら私どもは、イエス・キリスト、十字架につけられたお方にお従いしたいのです。このお方はあらゆる悲しみを聖なるものとされ、私どもの悲しみを、今までも、永遠にまでも、あなたのために実を結ぶことができるようにしてくださるのです。アーメン。

2月14日

ローマの信徒への手紙 第4章24－25節 わたしたちの主イエスを死者の中から復活させた方を信じれば、わたしたちも義と認められます。イエスは、わたしたちの罪のために死に渡され、わたしたちが義とされるために復活させられたのです。

主、私どもの神。あなたは私どもをイエス・キリストの恵みの中で、私どもの恵みの中で、さらに守ろうとしてください。そして他の者たちをも、この恵みの中で守り、あなたを信頼し、あなたの御国を待ち望む者には、至る所であなたご自身をお示しくなさろうとしておられます。どうか私どもの家庭を祝福されたものとしてください！私どもはあなたに感謝致します。あなたが私どもを助けてくださったからです。そして私どもは、あなたが私どもをお守りくださいます限り、あなたに忠実でありたいと願います。たとえ悲しみの中を歩まねばならないとしても、私どもはあなたを知っています。救い主を知っているのです。そして聖霊を知っています。聖霊により私どもは交わりを持つことができ、あなたの栄光のために強くなるのです。アーメン。

2月15日

イザヤ書 第57章15節 高く、あがめられて、永遠にいましその名を聖と唱えられる方がこう言われる。 わたしは、高く、聖なる所に住み 打ち砕かれて、へりくだる霊の人と共にありへりくだる霊の人に命を得させ 打ち砕かれた心の人に命を得させる。

愛する天の父。あなたは力あるお方であって、あなたの子供たちを助けてくださいます。私どもはあなたに感謝致します。私どもが苦しみと窮まりをも経験します時にも、あなたが弱い者たちのかたわらにいてくださり、その者たちに力を与えてくださいますから。その者たちはあらゆる弱さと誤りにもかかわらず、あなたに仕えることが許されていますから。どうか私どもが私どもの心の中で、私どもがすることが許されており、生きることが許されているすべてのことについて喜びますように。なぜならそのすべてのことは、あなたに仕え、あなたの栄光とあなたの御国に仕え、他の人々もまたそれを見ることが許される日が来るまでに至らなければならないからです。アーメン。

2月16日

コリントの信徒への手紙一 第2章12節 わたしたちは、世の靈ではなく、神からの靈を受けました。それでわたしたちは、神から恵みとして与えられたものを知るようになったのです。

愛する天の父。私どもはあなたに祈り願います。私どもに扉を開いてくださり、私どもの靈があなたのもとへと行って、あなたのもとで安息を見出し、私どものすべての生活の中で力を得ることが出来ますように。あなたの御靈によって常に私どもを導いてください。私どもを助けてください。私どもが、なお立っていなければならない、この地上の生活においてもあなたの御心を見出すために。そして私どもにあなたの天の御力と結びついていることを得させてください。なぜなら私どもだけでは、それができないからです。あなたは私どもの信仰を、いづらか強めようとしてくださいます。私どもが常にあなたにお仕えすることができるようにです。ですからあなたの御言葉も私どもにおいて祝し、私どもの心が開かれるよう助けてください。そうです、主なる神、私どもの救い主、イエス・キリストにより、私どもはあなたの子供たちなのです。アーメン。

2月17日

詩編 第98編 1-2節 新しい歌を主に向かって歌え。主は驚くべき御業を成し遂げられた。右の御手、聖なる御腕によって主は救いの御業を果たされた。主は救いを示し 恵みの御業を諸国の民の目に現し

主、私どもの神。私どもは心から、最も深い心の奥底からあなたに感謝致します。あなたが私どもを、あなたと共に働くに値する者としてくださったからです。イエス・キリストにおける救いをこの世に来たらせ、今日すでに多くの人間が、自分たちの救い主において、希望と慰めに満ちて、喜ぶ者としてくださるからです。それは終わりが来るからです。あなたの栄光が明らかに示され、全世界、すべての民があなたを、偉大なる神であり、天の父であるあなたをたたえることが許される、夕べが来るからです。私どもはあなたに祈り願います。私どもの時代にあなたがいてくださいますように！主、私どもの神、助けてください！私どもは昼も夜もあなたを見上げて、あなたの栄光の時を仰ぎ望むことが許されているのです。あらゆる理性を越える平安を、すべて肉なる者の神である、あなたにおける救いを、天から来る大いなる救いを得ることが許されるのです。アーメン。

2月18日

イザヤ書 第40章 31節 主に望みをおく人は新たな力を得驚のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れぬ。

主、私どもの神。私どもの良き父。私どもが、私どもの心と、私どもの霊の中に、あなたからいただくことを許されているもの、またあなたが私どもに与えてくださっている交わりのことを、あなたに感謝致します。それにより私どもは、私どもの人生を担うため、強くなることができます。たとえそれが苦勞であり、戦いであり、貧しさに耐えるものであってもです。どう

かあなたのもろもろの御力が発せられまして、私どもの力となり、私どもの強さとなりますように。お与えください、それにより私どもがあなたを知ることができますように。そして常に繰り返し、あなたの御業の中に、あなたを見るのが許されますように。そしてどうか私どもを、私どもがなおいくらかでも苦しまなければならない中で、気力を失わせたり、疲れさせたりしないでください。どうかあなたの御霊を、私どものうちと、私どものまわりの、平安をもたらし、善をもたらすために満ちあふれさせてください！ついには、それが、この地上のすべての民の間にも及ぶのです。アーメン。

2月19日

ヨハネの手紙一 第4章16節 わたしたちは、わたしたちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛にとどまる人は、神の内にとどまり、神もその人の内にとどまってくださいます。

主、私どもの神。私どもはあなたの御前へと貧しい人間として参ります。多くの重荷を背負い、どう歩めば良いのか、しばしば分からなくなる人間なのです。しかし私どものあなたに対する確信は大きいのです。なぜならあなたは愛であるからです。私どもの人生の中に深く入っておいでになられます。そして間違ったものも正しく、うまく行かなかったものも再び良くしてくださいます。ですからこのように私どもは喜んで、私どもの歩むあらゆる道行きにおいて、あなたの恵みとあなたの助けとを待ち望むのです。どうか私どもを祝福し、あなたをたたえ、あなたの栄光のため、私どもがあらゆる事柄の中で正しいものを見出すことができますように。アーメン。

2月20日

箴言 第3章11－12節 わが子よ、主の諭しを拒むな。 主

**の懲らしめを避けるな。 かわいい息子を懲らしめる父のように
主は愛する者を懲らしめられる。**

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。あらゆる悪の中にも、私どもは善きものを見渡して、さらに良いものを見ることを許されているからです。なぜならあなたの愛は、あなたの愛の霊が、私どもと共にあることを許してくださり、私どもも、私どもの間違いを別ものに変えることができます。あなたの御前で、正しい信仰において、正しい者とされることが許されるのです。そしてすべてがなお良いものとならねばならず、諸々の民が喜ぶことを許されているのです。そして人生を喜ぶのです。なぜならあなたが、諸々の民にかかわるあらゆる出来事のうちにおいでになるからです。アーメン。

2月21日

エフェソの信徒への手紙 第5章25－27節 キリストが教会を愛し、教会のために御自分をお与えになった…のは、言葉を伴う水の洗いによって、教会を清めて聖なるものとし、しみやしわやそのたぐいのものは何一つない、聖なる、汚れのない、栄光に輝く教会を御自分の前に立たせるためでした。

主、私どもの神。どうか私どもに心をお留めください。たとえ私どもがほんの少しでも、どうか心を留めてください。あらゆる悪いこと、毎日まいにち私どもを脅かす、あらゆる内側の傷から私どもをお守り下さい。あなたの御手が私どもと共にありますように。そうして、最後には、あなたの教会共同体より、全世界へと大いなる力が出で来たり、そのことによって、あなたが約束して下さったことがもたらされますように。私どもは、あなたの良き業すべてに感謝して、祈り願います。「どうか私どもを守り、私どもが正しい心と意識とをもって、あらゆる正しくないこと、良くないことに抵抗することができますように、お保ち下さい。」なぜなら私どもはあなたにお仕えするのであって、この世界に仕えて

いる訳ではないからです。ですから、どうか私どもを、今日も、そしてこれからも日々お守り下さい。アーメン。

2月22日

出エジプト記 第34章6-7節 主、主、憐れみ深く恵みに富む神、忍耐強く、慈しみとまことに満ち、幾千代にも及ぶ慈しみを守り、罪と背きと過ちを赦す。しかし罰すべき者を罰せずにはおかず、父祖の罪を、子、孫に三代、四代までも問う者。

愛する天の父。この地上における、私ども死に行く、みじめさの中に立つ人間にとりまして、あなたの慈しみとあなたの憐れみとは何と大きいことでしょうか！このあなたの慈しみによって、あなたが救ってくださる方であられるということによって、どうか私どもの心を強くしてください。そのことをあなたは、私どもの救い主イエス・キリストを通してお示し下さいました、ですから私どもを今日の夜も守り、私どもを祝福して、そしてどうかあなたの御霊によって、私どもが、常に目の前にあります、あなたの慈しみと憐れみとを見出しますように。あなたの御名が永遠にたたえられますように！アーメン。

2月23日

ヨハネの黙示録 第7章9-10節 この後、わたしが見ていると、見よ、あらゆる国民、種族、民族、言葉の違う民の中から集まった、だれにも数えきれないほどの大群衆が、白い衣を身に着け、手になつめやしの枝を持ち、玉座の前と小羊の前に立って、大声でこう叫んだ。「救いは、玉座に座っておられるわたしたちの神と、小羊とのものである。」

主なる神。私どもはあなたを仰ぎ臨み、あなたに祈り願います。どうかあなたの御国を来たらせてください。あなたのエルサレムをまことにこの地上に来たらせてください。罪の赦しと復活とによってイエス・キリストのまわりに集う、祝福を受けたあらゆる

群衆と共に。私どもの日々において、どうかあなたが光となってくださり、罪の赦しと人間の救いへと至らせてください！ 厳しい苦難の中にある人々、死の苦しみ、罪の苦しみの中にある人々のことをお覚えください。そしてどうか助けを来たらせてください。なぜなら助けはあなたからしか来ないからです。イエス・キリストにおける、あなたの父親としての愛の他、何ものも私どもを助けることはできないのです。あなたの御名がたたえられますように！ アーメン。

2月24日

イザヤ書 第51章15-16節 わたしは主、あなたの神 海をかきたて、波を騒がせるもの その御名は万軍の主。わたしはあなたの口にわたしの言葉を入れ わたしの手の陰であなたを覆う。 わたしは天を延べ、地の基を据え シオンよ、あなたはわたしの民、と言う。

主なる神、全能のお方。あなたは全世界に目をとめておられます。私どもは、私どもを取り巻く悪とともにあなたの御前に立っているのです。どうか私どもの生活をあなたの御手の中に置いてください。そしてあなたの御力をお与えくださり、私どもが悩み苦しみの中にある時にもこれを切り抜けることができますように。なぜなら私どもはあなたのものであるからです、主なる神。そしてあなたはご自分のためにあなたの民を選び、その民を強くし、あらゆる悪から解き放ってくださいます。私どもは祈り願い、哀しみ訴えます。私どもを助けてください。あなたが私どもと共にいてくださることを経験させてください。あなたの御名を永遠にたたえるために、どうかあなたの御言葉も私どもにおいて祝福されたものとなりますように！ アーメン。

2月25日

イザヤ書 第42章1節 見よ、わたしの僕、わたしが支える者

を。 わたしが選び、喜び迎える者を。 彼の上になわたしの霊は置かれ 彼は国々の裁きを導き出す。

愛する天の父。私どもをあなたのみ恵みの中へ立たせ、どうかあなたのみ恵みのみ光を、あなたの御言葉の上に私どものものとしてください。約束された時を信じる確かな信仰によって、私どもを常にお守りください。その時あなたの救いは地上のすべての民の上に来なければなりません。私どもはしばしば不安になるのです。人間はその時を耐えることができるのだろうか？人間は学び、あなたの御言葉に注意を向けるだろうか？より困難な時代にも耐え抜いて、約束されたものを、私どもが体験する時をご存じで、その時をお決めになる、あなただけに向かうことができるのだろうか？と。ですからどうかあなたの御手を全世界の上に強くしてください。なぜならあなたこそがただおひとりの主であり、大きな悲しみから私どもを助けることができる、ただひとつの力であるからです。アーメン。

2月26日

詩編 第121編 1-2節 目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。わたしの助けはどこから来るのか。 わたしの助けは来る 天地を造られた主のもとから。

主、私どもの神。私どもの永遠の避けどころ。どうか、あなたの御前に集い、あなたにまみえる、私どもを祝福してください。どうか私どもを、素朴に信じることができ、自分たちの人生において、自分たちの職業において持ちこたえることができる、あなたの子供たちとしてください。あなたが私どもにこんなにもたくさん恵みを与えてくださり、繰り返しくりかえし助けを示してくださることを、私どもはあなたに感謝致します。そのことを私どもは喜ぶことができ、あなたをほめたたえるのです。あなたが私どもの父であり、私どもを決して一人にはなさいません。あなたのお名前が私どもすべての上に、私どもすべてによってたたえら

れますように。あなたのお名前がまた、全世界の人間においてた
たえられますように。それにより地上のすべてのものがあなたを
知り、あなたから必要なものを受けますように！アーメン。

2月27日

ヨハネの黙示録 第2章10節 あなたは、受けようとしている
苦難を決して恐れてはいけない。[...]死に至るまで忠実であれ。
そうすれば、あなたに命の冠を授けよう。

主、私どもの神。私どもはあなたの御前に立っています。あなた
は私どもの願いを、切なる願い求めを聞いてくださいます。そし
てあなたの御心が、私どものもとで、私ども一人一人すべてのも
とで、私どもの時代において実現することをお望みになっておら
れるのです。そしてすべてのことが、たとえ悲しみ、恐れ、苦し
みをも通して、あなたの御心どおりになるのです。ついにあなた
はあなたの目標に達せられました。ついにあなたはあなたのみ業
を完成させられるのです。そしてあなたの御国は来ます。あなた
の御名をたたえるため、地上にあってなお悩みの中にいるすべて
の人間の救いのために。ですから私どもにおいてあなたの御言葉
を祝福してください。それにより私どもが、イエス・キリストの
忍耐のうちに喜びをもって前進しますように。時が変わり、新し
い日が始まり、私どもが、あなたの栄光、あなたの平和を仰ぎの
ぞむことが許されるまで！アーメン。

2月28日

詩編 第57編11節 あなたの慈しみは大きく、天に満ち あ
なたのまことは大きく、雲を覆います。

愛する天の父。過去の時代も、現代の時代にも、あなたが私ども
に常に恵み深くいてくださいましたこと。そして、あなたの大い
なる善と力とをお明かしくくださいましたことを感謝致します。こ
のことが明らかになっていることのうちに、私どもは生きている

のです。主なる神、全能のお方。あなたは地上に奇跡を行い、天を治めておられますから、私どもの地上での歩みにおいて、私どもに祝福を与え、私どもを助けることがおできになります。世界全体を通して、あなたの善と正義とが明らかになりますように。お立ちください、主なる神。あなたを信じる、私どもの内で光となってください。世界全体において光となってください！あなたの御名が栄光を受けますように。天においても、地においても、あなたはまことに私どもの父です。ですから私どもの人生は、今も、永遠にまでも、確かさを持っているのです。アーメン。

2月29日

ヘブライ人への手紙 第4章12節 というのは、神の言葉は生きており、力を発揮し、どんな両刃の剣よりも鋭く、精神と霊、関節と骨髄とを切り離すほどに刺し通して、心の思いや考えを見分けることができますからです。

主、私どもの神。私どもと共に恵み深くいてください。この地上において、しばしば困難で暗くなる、私どもの歩むすべての道におきまして、私どもの力強い避けどころ、助けでいてください。どうか私どもにあなたのみ光をお見せください。なぜなら、あなたを愛して、祈り願いつつ、請い求めつつ、あなたのもとへと参ります、多くの人々の中で、この地上においてあなたの御名をたたえるために、あなたは私どもと共にいてくださり、私どもを助け、イエス・キリストの命の御力を私どもと共にいさせてくださるからです。あなたの御言葉のみ光をお与えください。それにより私どもが、正しく聞き、正しく生きることができ、またあなたが私どもを召された戦いにおいて、あなたの御力が私どものうちで、ますます強くなりますように。私どもすべてを祝福してください。どうかあなたのみ光を私どもの心の中で輝かせてください。それにより私どもが、あなたの御言葉が私どもに約束してくださいました、すべてのことを成し遂げることができるようになりますように。ア

ーメン。

3月1日

**詩編 第34編9節 味わい、見よ、主の恵み深さを。 いかにか
幸いなことか、御もとに身を寄せる人は。**

愛する天の父。あなたのもとに私どもはまいります。そして私どもは感謝をたずさえて行きたいのです。なぜならあなたは繰り返し常にたくさんのかたを私どもにしてくださるからです。繰り返し常にあなたの御光はのぼります。それにより私どもは喜ぶことができます。私どもの命はあなたの御手のうちにある！とすることができますのです。私どもをこの地上において必要な、特別な仕方でお守りください。それにより、ここにおいて、ますますまことの命の御光が現れ、あなたの御名が私どもによって、出来得るかぎりたたえられますように。この夜も私どものそばにいてください。そしてどうかあなたの御霊が私どもの心に触れてくださいますように！アーメン。

3月2日

ペトロの手紙一 第4章12-13節 愛する人たち、あなたがたを試みるために身にふりかかる火のような試練を、何か思いがけないことが生じたかのように、驚き怪しんではなりません。むしろ、キリストの苦しみにあずかれればあずかるほど喜びなさい。それは、キリストの栄光が現れるときにも、喜びに満ちあふれるためです。

愛する天の父。私どもの心はあなたのもとにまいります。そしてあなたは私どもに、あなたの平安をお与えくださり、何ものもそれを私どもから取り上げることはできません。あらゆる悪から私どもをお守りください。否まれる時にも私どもはあなたにお仕えするのだということ。あなたが私どもに、私ども一人一人にお与えくださいました、大いなる約束に向かって、あらゆる道行きに

において忠実であることが許されていますことを、どうか私どもが常に心にとめていきますように。あなたがこれまでもそうしてくださいましたように、これからも私どもをお守りください。そしてあなたが私どもの心にお与えくださいました、あらゆることについて賛美し、感謝して、私どもが慰められ、あなたのさらなる助けに信頼あふれるものでありますように。アーメン。

3月3日

イザヤ書 第53章4-5節 彼が担ったのはわたしたちの病
彼が負ったのはわたしたちの痛みであったのに わたしたちは
思っていた 神の手にかかり、打たれたから 彼は苦しんでいる
のだ、と。彼が刺し貫かれたのは わたしたちの背きのためであり
彼が打ち砕かれたのは わたしたちの咎のためであった。
彼の受けた懲らしめによって わたしたちに平和が与えられ
彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされた。

愛する天の父。あなたは私どもに主イエスを遣わしてくださいまして、この方に私どもの罪責と悲惨とを担わせてくださったのです。ですから私どもは今日に至るまで、私どもをすべての悪から救うことがおできになる、このお方がおいで下さったことを喜ぶことが許されているのです。このお方が歩まれた、十字架の道を私どもが理解しますようお教え下さい。そしてどうか、たとえ私ども自身が、十字架と苦しみとを受けるとも、常にこのお方に従わせて下さい。それにより私どもが、主が、天におられる父である、あなたのお名前をたたえるために歩まれた、その道を、喜んで歩むことが許されますように。それを理解していようとも、していなくても、私どもはあなたの子供たちとなってしまったのです。それでもあなたは私どもを守り、この時代において安からに保って下さいます。あなたの栄光が来て、この世の救い主イエス・キリストにおいて始まったもの、そのすべてが完成されるのです。このお方の御言葉において私どもを祝してください。私どもを助

け、私どもがまことのイエスの弟子となりますように！アーメン。

3月4日

ヘブライ人への手紙 第12章2節 信仰の創始者また完成者であるイエスを見つめながら。このイエスは、御自身の前にある喜びを捨て、恥をもいとわないで十字架の死を耐え忍び、神の玉座の右にお座りになったのです。

主、私どもの神であり父である方。私どもはあなたに感謝致します。あなたが私どもをイエス・キリストの道を歩ませてくださり、私どもを助けてくださるからです。その道は十字架へと至る道です。何が来ようとも、私どもは救い主に属する者、あなたの子どもたちであります。そして私どもは喜び続けます。信仰にあふれ、希望にあふれ、忍耐にあふれるのです。なぜならあなたの憐れみが私どもを導き続けてくださるからです。いくたび私どもは体験することが許されているのでしょうか。そしてこう言わないではいられないのでしょうか。神よ、感謝します。神がそこでも助けてくださった。あそこでも助けてくださった。この世のあらゆる悪にもかかわらず、すべての日々に助けてくださる、と。たたえと感謝と栄光とが、神に永遠にありますように！アーメン。

3月5日

ルカによる福音書 第12章32節 小さな群れよ、恐れるな。あなたがたの父は喜んで神の国をくださる。

主、私どもの神。私どもは小さな教会共同体として、あなたのもとへと参ります。そしてあなたは私どもをあなたのものとして受け入れてくださり、私どもを、あなたがあなたの時のために救おうとしてくださる、あなたのものとして支えてくださいます。私どもを常にお守りください。それにより私どもが信仰によって強くあり続けますように。どうか私どもの民すべてをこの信仰によって強くし、あなたが私どもと共にいてくださいます、私ども

を助けてくださいますように。そしてどうかあなたの民を、あなたのお名前をたたえるために、光へと至らせてください。それゆえこの夜も、私どもは私どもをあなたの御手におゆだね致します。主、私どもの神、あなたの御霊によって私どもと共にいてください。アーメン。

3月6日

詩編 第96編7、9、10節 諸国の民よ、こぞって主に帰せよ 栄光と力を主に帰せよ。聖なる輝きに満ちる主にひれ伏せ。全地よ、御前におののけ。国々にふれて言え、主こそ王と。 世界は固く据えられ、決して揺らぐことがない。 主は諸国の民を公平に裁かれる。

主、私どもの神。あなたは私どもの助け、私どもの慰めです。あなたを、あなたの約束を私どもは仰ぎのぞみます。どうか私どもが常に強くあって勇気を持ち続けることができますように。個人的なことがらにおいてもです。そして私どもが文句を言う子どもたちではなく、生き生きとして、喜んで、地上におけるあなたの大いなる勝利を待ち望むことができますように。あなたは私どもの民をあなたの民にしてください。どうかあなたの民にあなたの霊を注いでください。少しの者たちだけではなく、ついには多くの人々に注いでくださって、私どもの民はあなたのものです、と言えるようになりますように。主、私どもの神。これが私どもの願いです。あなたの御心が地上において、諸々の民のもとにおいてもなりますように。あなたの御心が天においてのように、地上でもなりますように！アーメン。

3月7日

詩編 第118編14－16節 主はわたしの砦、わたしの歌。主はわたしの救いとなってくださった。御救いを喜び歌う声が主に従う人の天幕に響く。 主の右の手は御力を示す。主の右の手

は高く上がり 主の右の手は御力を示す。

愛する天の父。私どもはあなたの子供です。私どもは、全生涯において、あなたを、あなたの助けを仰ぎのぞみます。私どもを覚えてください。特に、私どもがあなたにお仕えしようとする時には。あなたの御霊と共に、私どもといてください。そうして、あなたの御国のため、地上においてさらに宣べ伝えられなければならない、イエス・キリストの勝利のために、共に助けるために、すべてのものが形作られますように。そして、すべての人間が、このお方において、救い主を見出して、天の父であるあなたを仰ぎのぞむものとなりますように。そうです、天の父。あなたはこの世を、そして、これほどたくさんの不幸をこうむり、これほどたくさんの悪の下に耐えなければならない、多くの人びとを憐れんでくださいます。これらの人びとのことをお覚え下さい！そして強く、力ある主イエス・キリストにおいて、私どもに恵み深くいてください。アーメン。

3月8日

ヨハネの黙示録 第5章12節 屠られた小羊は、力、富、知恵、威力、誉れ、栄光、そして賛美を受けるにふさわしい方です。

主イエス。あなたの御前に私どもは膝をかがめます。すべての力が与えられております、あなたの御前にです。あなたを私どもは愛したいのです。あなたを私どもは大切にしたいのです。そしてあなたの心が私どもの心とならねばなりません。そして私どもは、あなたに、天においても、地上においても、地下においても、一つの名前が与えられていることを経験することが許されるのです。私どもを守り、私どもの共にいてください。あなたがおいでになることができるまで。時が満ち、あなたが人間のもとに現れ、神の御国が建てられる時まで。そして全世界がなお喜ぶことができ、一人の主、救い主である、あなたの御前に膝をかがめることが許されるのです。アーメン。

3月9日

ヨハネの手紙一 第1章7節 しかし、神が光の中におられるように、わたしたちが光の中を歩むなら、互いに交わりを持ち、御子イエスの血によってあらゆる罪から清められます。

愛する天の父。私どもはあなたの子供たちとしてあなたに感謝いたします。あなたは私どもを集め、不安に満ちた、嘆きに満ちた、罪にさえも満ちた世界のまっただ中で、私どもは驚くべき仕方であなたとの交わりの中に入れてくださっているのです。しかしあなたはあなたの子供たちをご存じであり、あなたとの交わりの中へと導いてくださり、子供たちを慰め、信仰の力、あなたの御支配と御国への確信をも与えてくださいます。あなたの御支配は、今なお人間の中で支配していると思われている、死に至るあらゆるもの、あらゆる悪をも貫ぬくのです。しかしあなたの御支配はさらに、さらにずっと広がります。そしてあなたは私どもをあなたの御手の中に保ち、あなたを信頼する者たちのために、全世界へとあなたの恵みと助けとを送ってくださるのです。アーメン。

3月10日

イザヤ書 第55章10-11節 雨も雪も、ひとたび天から降れば むなくく天に戻ることはない。 それは大地を潤し、芽を出させ、生い茂らせ 種蒔く人には種を与え 食べる人には糧を与える。そのように、わたしの口から出るわたしの言葉も むなくくは、わたしのもとに戻らない。 それはわたしの望むことを成し遂げ わたしが与えた使命を必ず果たす。

主、私どもの神、この世の光、私どもの人生の光であるあなたに、私どもは感謝致します。あなたが私どもの心の中にまでもあなたの御言葉を送り届けてくださいますことを。その御言葉は何かを生み出すものであり、その御言葉を私どもが喜ぶことが許されているのです。この地上において、しばしばつらく困難なことが起ころうとも、それでもなお歓声があがらねばなりません。あなた

が望まれ、あなたの御言葉が生み出さねばならないものが完成するのですから、全世界が歓声をあげますように、前もってすでに私どものうちにその歓声はあるはずなのです。私どもを守り、どうか私どもの霊を清く自由なものとして保って下さい。それにより私どもはあなたにお仕えする者となることができ、あなたが世に送ってくださいました、大いなる、力強い御言葉と響きあう、小さな言葉をひとたびでも口にすることができるのです。アーメン。

3月11日

ローマの信徒への手紙 第5章1節 このように、わたしたちは信仰によって義とされたのだから、わたしたちの主イエス・キリストによって神との間に平和を得ており

愛する天の父。どうか私どもをあなたの聖なる御霊の交わりのうちに立たせてください。そして、私どもを地上的に苦しませようとするすべてのものが私どもから離れ、すべての私どもの誤りと、もろさとにもかかわらず、私どもが喜んで捧げなければなりません、すべての苦労にもかかわらず、私どもがあなたの平安のうちにあり続けますように。私どもを守り、私どもの心が澄みわたった、しっかりとしたものであり続けて、いかなるものによっても揺れ動くことなく、むしろ、あなたの御国が来て、もうすでに始まっているとの、確信をもって立つことができますように。そして御国が明らかとなり、あなたが与えようとしてくださる良いことが、すべての人のものとなりますように。ですからこの夜も私どもと共にいてくださいますように！アーメン。

3月12日

イザヤ書 第43章1-2節 恐れるな、わたしはあなたを贖う。あなたはわたしのもの。わたしはあなたの名を呼ぶ。水の中を通るときも、わたしはあなたと共にいる。大河の中を

通っても、あなたは押し流されない。 火の中を歩いても、焼かれず 炎はあなたに燃えつかない。

愛する天の父。私どもはあなたに感謝致します。あなたが私どもに、心の中にこんなにもたくさんのみ光を与えてくださったからです。私どもは信じることができ、たくさん経験することが許されました。あなたが苦しみと死とから、闇から救い出してくださいましたことを。そしてもろもろの闇のただ中においても、もろもろの心を守ってくださいますから、私どもは忠実であることができるのです。あなたがあなたご自身をこの世界にも明らかに示される、あなたの時が来るまで。そうです、天の父、私どもはあなたに感謝致します。あなたは私どもすべてを救ってくださいました、と、声がひとつになる時まで。アーメン。

3月13日

マタイによる福音書 第5章6節 義に飢え渴く人々は、幸いである、その人たちは満たされる。

愛する天の父。どうか私どもが心の中にひとつの言葉を見いだしますように。私どもがお互いに、あなたをたたえ、お互いに心をひとつにしてあなたに祈り願うようになるためです。そして私どもが、私どもが体験するすべてのことと共に。私どもの存在すべてと共に、あなたの交わりの中へと入れられるためであります。あなたは、正しいことと正しくないこととを通し、完全なものと完全でないものを通し、私どもを今まで導き、率いてくださいました。そして私どもは、全ての者がお互いに意識して立っています。私どもがあなたのものであることを。そしてあなたが私どもに成し遂げようとしてくださっていることを。それはあなたが一人ひとりにおいて成し遂げようとしてされ、またあなたが、義と真実とに飢え渴いている、まことに多くの人々において、大いなることを成し遂げようとしてくださっていることでもあります。どうか私どもと共に、あなたの霊がいてくださいますように。どうかイ

エス・キリストの御手を通して私どもに触れてくださいますように。このお方は私どもの救い主であって、このお方に私どもはしっかりとすがり、私どもは、このお方の御名前によって、あなたをたたえることができるのです。アーメン。

3月14日

イザヤ書 第4章5－6節 主は、昼のためには雲、夜のためには煙と燃えて輝く火を造って、シオンの山の全域とそこで行われる集会を覆われる。それはそのすべてを覆う栄光に満ちた天蓋となる。昼の暑さを防ぐ陰、嵐と雨を避ける隠れ場として、仮庵が建てられる。

愛する天の父。今日も、これから未来も、あなたは私どもの避け所です。あなたの力あるみ指で私どもに触れてください。そして私どもに、あらゆる攻撃、あらゆる闇に対抗する、守りと、強い武具とをお与え下さい。暗闇の中からあなたを仰ぎのぞんでいる人間にも、あなたの目からその人々の目に差し込む光によって、自分自身の目も明るいものとされますように！私どもの内に、私どものまわりに、光がありますように。あなたのご計画を勝利へと、終わりの時イエス・キリストの大いなる日へと導いてください。アーメン。

3月15日

ヘブライ人への手紙 第13章20－21節 平和の神が、御心に適うことをイエス・キリストによってわたしたちにしてくださり、御心を行うために、すべての良いものをあなたがたに備えてくださるように！

主、私どもの神。あなたは私どもに御霊を与えてくださいました。私どもはあなたに祈り願います。どうか私どもをあなたの交わりの中に入れてください。そして私どもは時には促されて、繰り返し常に力が増し加えられ、善いもの、まことのものを求めますよ

うに。どうかあなたの善とあなたの恵みとが私どもの心の中に、外にある地上的な事柄の中でも助けとなりますように。私どもが生きるあらゆる場所において、御力からいくらか与え、私どもが持つことを許してください。その御力によってイエス・キリストは生き、苦しみ、死んで、再び生きられたのです。どうかこの世界が、一人の救い主を持っていること、そしてこの世界はあなたの御名のために、あなたのものであることを経験させてください。アーメン。

3月16日

イザヤ書 第53章 12節 それゆえ、わたしは多くの人を彼の取り分とし 彼は戦利品としておびただしい人を受け。 彼が自らをなげうち、死んで 罪人のひとりに数えられたからだ。 多くの人を過ちを担い 背いた者のために執り成しをしたのはこの人であった。

愛する天の父。どうか私どもにあなたの御霊を得させてください。そして私どもが私どものうちにおられ、私どものまわりにおられるイエス・キリストの御名によって、私ども人間の粗雑さ、力、叫びなどでなく、イエス・キリストの御名による、あなたの御霊によって勝利することが許されますように。私ども一人一人、それぞれの境遇において、私どもをごらんください。私どもは皆知っているのです。私どもは戦わなければならないこと。私どものまわりに多くのよくないものがあることを。しかしイエスのお名前によって私どもは入って行くのです。この世の中へも。私どもが苦しまなければならないことがらの中へと。なお克服されていない悪の中へと。私どもはイエスの御名によって来るべき大いなる勝利へと向かうのです。そして天の父であります、あなたの御名が、歓声をあげることが許されている、すべての心によりたたえられますように。アーメン。

3月17日

ヨハネによる福音書 第8章31-32節 わたしの言葉にとどまるならば、あなたたちは本当にわたしの弟子である。あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。

愛する天の父、私どもはあなたに願い求めます。どうか私どもを御霊によってあなたのみもとへと来させて下さい。そして私どもと、地上におります多くの者たちを、あなたの御霊によって、人間の大きいなる救い主、私どもの主イエス・キリストのまわりに集めてください。どうか私どもの心を、私ども自身の性質のゆえのあらゆる縄目から、私どもを取り巻く世界から、多くの救いによってまことに解きはなってください。それにより私どもは、悲しみ、不安、不自由、苦しみや死からも、解き放たれた者として確かに導かれ行くことができ、イエス・キリストが命を得るようにと招いてくださった者たちに、全世界に明らかとされるまで至ることが許される、あなたの御国において、悲しみの中ではなく、喜びの中にある戦士となるべき、喜びあふれる子供たちとなるのです。アーメン。

3月18日

コロサイの信徒への手紙 第1章12-14節 光の中にある聖なる者たちの相続分に、あなたがたがあずかれるようにしてくださった御父に感謝するように。御父は、わたしたちを闇の力から救い出して、その愛する御子の支配下に移してくださいました。わたしたちは、この御子によって、贖い、すなわち罪の赦しを得ているのです。

愛する天の父。このように私どもはあなたに感謝して、用意をしているのです。常にあなたに感謝の言葉を述べ、あなたの御国にあることを喜び、私どもになお必要である、救いを待ち望むことをです。そうして私どもは私どもの存在の根底からあらゆることに自由になり、あなたの御名を賛美し、感謝し、ほめたたえるの

です。飢えつつ、渴きつつあなたのもとへと参ります、多くの人々と共にいてください。そしてどうか誠実な人々が救いを経験しますように。そうしてその人たちにすべてが明らかになりますように。あなたの御国の力が、私どもの主イエス・キリストにおいてまことにこの地上にあるのだと言うことを！アーメン。

3月19日

ローマの信徒への手紙 第9章26節 『あなたたちは、わたしの民ではない』と言われたその場所で、彼らは生ける神の子らと呼ばれる。」

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。私どもはあなたの子供たちであり、たとえ苦しみや試練があっても、あなたにお仕えすることが許されています、一つの民なのです、とあなたが私どもにおっしゃってくださったからです。どうかイエス・キリストの恵みが私どものうちにありますように、それにより私どもに人生がもたらすすべてのものを克服することができますように。そしてこんなにも多くの民を取り巻いている苦しみにもちこたえますように。主であり、私どもの神であるあなたは、私どものただひとつの避け所であり、まもなく悪に終わりをもたらし、イエス・キリストの勝利が現れ、私どもはあなたの民として、歓声をあげて喜ぶことができますのです。アーメン。

3月20日

ヨハネの黙示録 第12章10-11節 わたしは、天で大きな声が次のように言うのを、聞いた。「今や、我々の神の救いと力と支配が現れた。神のメシアの権威が現れた。我々の兄弟たちを告発する者、昼も夜も我々の神の御前で彼らを告発する者が、投げ落とされたからである。兄弟たちは、小羊の血と自分たちの証しの言葉とで、彼に打ち勝った。彼らは、死に至るまで命を惜しまなかった。

主、私どもの神、喜びの声をあげて私どもはあなたの御国と御国をあなたがお治めになるのを仰ぎのぞみます。御国であなたは、イエス・キリストを主となさいます。そしてキリストは、天においでだけでなく地においても、すべての人間の中で勝利されるのです。そして人間は良いものとなるでしょう。お互い同士にも。人間は平和を見出し、すべてはあなたの御心のままになります。なぜなら、天においてのように地においても、まったく徹底してあなたの御心のとおりにならねばならないからです。どうかあなたの御霊によって私どもと共にいてください。私どもがあなたの子どもたちとしてしっかりと立ち続け、次のように歓声をあげることがゆるされる瞬間まで。あらゆる悲しみから出で行こう！あらゆる悪、あらゆる死から出で行こう！あなたに向かって出で行こう。天にいらっしゃる私どもの父のもとへと！私どもがなおため息をついている今日も、あなたの御名がほめたたえられますように！あなたの御国がたたえられますように。あなたが私どもにお与えくださいました、私どもの救い主イエス・キリストがたたえられますように！アーメン。

3月21日

イザヤ書 第32章 15－17節 ついに、我々の上に 霊が高い天から注がれる。 荒れ野は園となり 園は森と見なされる。そのとき、荒れ野に公平が宿り 園に正義が住まう。正義が造り出すものは平和であり 正義が生み出すものは とこしえに安らかな信頼である。

主、私どもの神、私どもはあなたの聖なる霊を仰ぎ望み、祈り願います。どうか私どもを聖霊と結びつけて、私どもをみ霊の子供として下さいますように。そして私どもの全生涯において、あなたのみ霊により治められますように。この地上には、私どものまわりに、他にこんなにもたくさん、私どもを教えようとし、また私どもにとって真実であろうとするものがあるのです。そればか

りか、結局は、あなたのみ霊だけがまったく唯一の助けなのではないかと、私どもは恐れるのです。そしてあなたのみ霊は私どものもとに慰め主、助け主として来てくださいます。それを通して私どもは、私どもが歩むべき道を見いだすのです。ですからどうか、あなたが導こうとされ、あなたが私どもの主イエス・キリストにおいて救い主でいてくださろうとされている、あなたの子供として私どもの声をどうかお聞き下さいますように。アーメン。

3月22日

エフェソの信徒への手紙 第1章5－6節 イエス・キリストによって神の子にしようと、御心のままに前もってお定めになったのです。神がその愛する御子によって与えてくださった輝かしい恵みを、わたしたちがたたえるためです。

愛する天の父。どうか私どもをあなたの子供たちとしてあなたのみもとへと、あなたの御霊のもとへと来させてください。それにより私どもの地上での生涯の中に、確信と忍耐とによって何ものかが生まれて、私どもが働き、希望を持ち、努力する中で、常に忠実であり続けることができますように。単なる地上的なもののためではなく、あなたの御国とあなたの御国の正義のために、私どもに委ねられたもののためにも。どうか繰り返し常に人間の中で新しい光をのぼらせてください。どうかあなたの御声を聞く時には、多くのものたちにそれを理解させてください。それにより彼らが勇気を失ったままでいるのではなく、あらゆる人間の世界のずっと中へと、大なる福音が宣べ伝えられますように。その福音が私どもをあなたの子供たちにしてくださるのです。アーメン。

3月23日

イザヤ書 第49章8節 主はこう言われる。 わたしは恵みの時にあなたに答え 救いの日にあなたを助けた。 わたしはあなたを形づくり、あなたを立てて 民の契約とし、国を再興して

荒廃した嗣業の地を継がせる。

主、私どもの神。あなたの御霊によって私どもを守り、私どもがしばしば耐え忍び、苦しむ時にも、私どもの心に力をお与えください。そして私どもがなお希望を持ち続けることができ、繰り返し常に救いの日を体験することが許されますように。私ども一人一人を守り、この日々においても、あなたが私どもにしてくださったことを、ほめたたえ、感謝して、どうか私どもの心がそのことを喜びますように。ますますあなたが示す道を見たいのです。そして私どもがあなたの御心にかない、あなたの僕でありますように。アーメン。

3月24日

ハバクク書 第2章3節 定められた時のために もうひとつの幻があるからだ。 それは終わりの時に向かって急ぐ。 人を欺くことはない。 たとえ、遅くなっても、待っておれ。 それは必ず来る、遅れることはない。

愛する天の父。完全な静けさの中に私どもはあなたの御前に赴き、あなたに、あなたの御霊を、私どもに課せられた待ち望みの中において、願い求めます。そこにおいて私どもは、人の照明を希望し、努力するのです。そして人間の多くの死の中にまでも光が差し込み、私どもに正しい道を歩ませないようにと、たとえ外側の生活が、私どもを飲み込み、渦の中に引きずり込もうとするかのように、私どものまわりで荒れ狂おうとも、私どもは私どもの内側でもあきらめることは許されないのです。しかしあなたは私どもを守ろうとして下さっています。私どもはあなたに願い求めます。私どもを試練の時においてもお守り下さい。私どもがあなたの守りの中にあり続け、私どもすべてともに、まことに尊い命を、復活の命を目指して、あなたを喜んで待ち望むためなのです。アーメン。

3月25日

詩編 第103編 13-14節 父がその子を憐れむように 主は主を畏れる人を憐れんでくださる。主はわたしたちを どのように造るべきか知っておられた。 わたしたちが塵にすぎないことを 御心に留めておられる。

主、私どもの神。天にいらっしゃいます全能の父、憐れみ深い神。私どもはあなたに祈り願います。私どもをあなたの子供たちとしてご覧下さい。私どもはなお、皆共に、あなたの子供たちであることが許されており、あなたが私どもにしてください、なお私どもにしようとしてくださいます良いことすべてについて、あなたをたたえる歌を歌うことが許されているのです。私どもが一人ひとり、あなたのもとへと来て、私どもが祈り願う時、どうかお聞き下さいますように。あなたの御心が私どもに行われ、あらゆることがあなたの良い計らいに従って整えられ、私どもが、深刻な、悲しみにある時にも、喜んで、あなたがお約束くださいましたことに断固としてしっかりととどまりますように。アーメン。

3月26日

ペトロの手紙二 第3章9節 主は約束の実現を遅らせておられるのではありません。そうではなく、一人も滅びないで皆が悔い改めるようにと、あなたがたのために忍耐しておられるのです。愛する天の父。私どもは心からあなたに感謝致します。あなたが私どもに約束のいのちをお与えくださり、その約束によって、私どもは私どもの信仰すべてを、常に繰り返して、明るく輝いたものとするをお許し下さったからです。その約束とは、あなたの父としてのお名前がすべての民を貫いてたたえられるために、ついに来て、全世界に打ち勝ち、すべての人間に救いをもたらすという、最も大いなるものを約束するのです。一人一人において私どもを強めてください。私どもが困難や苦しみにある時においてもです。病める者、試練を受けている者を強め、どうかその人

たちがこの約束を待ち望み、自分たちもついには助けられることを見させてください。あなたの御名が、主なる神、私どものもとであがめられますように。あなたの御国が来て、あなたの御心が天においてのように、地においてもなりますように。アーメン。

3月27日

コリントの信徒への手紙二 第1章20節 神の約束は、ことごとくこの方において「然り」となったからです。それで、わたしたちは神をたたえるため、この方を通して「アーメン」と唱えます。
主、私どもの神。私どもはあなたの御前に集まっています。あなたはすべての人間に、とりわけあなたの民に、大いなる約束を与えて下さったのです。私どもはあなたの御前で喜びます。あなたの約束は確かで、あなたの御業はあなたのお名前をたたえるために、明らかにされるからです。私どもの信仰がイエス・キリストの恵みのうちに常にありますように。そして私どもは持ちこたえ、あらゆる悪の中にあっても、あなたがお治めになり、なお正しく行われるとの希望を持つことができますように。主、私どもの神。私どもの父。私どもはあなたに叫びます。鹿が新鮮な水を叫び求めるように、私どもの魂も私どもの時代にあって、あなたに向かって叫びます。天におられる私どもの父。あなたの御名が聖なるものとされますように！あなたの御国が来ますように！あなたの御心が天においてのように地においてもなりますように！と。
アーメン。

3月28日

コリントの信徒への手紙一 第15章25－26節 キリストはすべての敵を御自分の足の下に置くまで、国を支配されることになっているからです。最後の敵として、死が滅ぼされます。
主、私どもの神、私どもの父。私どもは、あなたの大いなる御言葉を見つめます。そして、あなたがあなたの正義とまこととによ

って造ろうとされる、新しい世界の輝きを見るのです。私どもは、あなたが私どもに、私どもが持つあらゆる苦勞のまっただ中に、地上においてこの喜びをお与え下さいましたことを感謝致します。私どもはあなたの御言葉を見つめます。あなたはすべてを新しくされます。そして、そこへと私どもの人生が目指されているのです。そこへと向かって、あなたは私どもをお召しになったのです。そしてそこにおいて、私どもはあなたに永遠に忠実であろうとするのです。あなたのお名前がたたえられますように。あなたは今日、すでに私ども人間の子供に大いなることを行ってくださいます！アーメン。

3月29日

詩編 第91編 15－16節 彼がわたしを呼び求めるとき、彼に答え 苦難の襲うとき、彼と共にいて助け 彼に名誉を与えよう。生涯、彼を満ち足らせ わたしの救いを彼に見せよう。

主、私どもの神。愛する天の父。私どもは私どもの心をあなたに向けるのです。あなたはあらゆる私どもの苦しみをご存じであり、私どもがどうすればわからないような時にも、常に助けを備えてくださっています。私どもが歩むことができ、主にあって喜ぶことができる道をあなたはお持ちなのです。主は私どもを統べ治めて下さり、それにより私どもは喜ぶことができるのです。あなたの御名が私どもによって常にたたえられますように。そしてあなたの助けが私どもの目の前にあり、それによって私どもが、この地上において正しい仕方でああなたの御名をたたえるために、あなたの子供たちであることができますように。アーメン。

3月30日

詩編 第33編 20－22節 我らの魂は主を待つ。 主は我らの助け、我らの盾。我らの心は喜び 聖なる御名に依り頼む。 主よ、あなたの慈しみが 我らの上にあるように 主を待ち望む我

らの上に。

主なる神。私どもはあなたに感謝致します。あなたはこの地上において、諸々の罪、諸々の苦しみ、諸々の悩みのただ中で、御自身をお示しくくださったからです。あなたが昔より、あらゆることごとにおいて私どもの救い主であられる、イエス・キリストによってしてくださいました、多くのことごとにおいても、私どもは喜びを持つことが出来るからです。あなたに賛美と感謝とがささげられますように。そして私どもの心が、あなたとあなたの御業に対する喜びのうちに高まりますように。終わりの時まで私どもは忠実でありたいのです。そして、私どもの歩む道行きにおいて私どもを助け、私どもを祝福してくださいます、あなたの御霊によって、あらゆることごとにおいて打ち勝ちたいのです。あなたは、あなたを呼び求め、あなたに喜びを持とうとする、すべての人間に助けを与えようとしていてくださるのです。アーメン。

3月31日

ヨハネの手紙一 第5章20節 わたしたちは知っています。神の子が来て、真実な方を知る力を与えてくださいました。わたしたちは真実な方の内に、その御子イエス・キリストの内にいるのです。この方こそ、真実の神、永遠の命です。

主、私どもの神。私どもは私どもの顔をあなたに向け、あなたに願い求めます。この地上の、しばしば苦しみの中にある人間たちとどうかお会いください。どうか、私どもにあらゆる救いをお約束してください、主イエス・キリストにおいて強くしてください。たとえ私どもは未だ見ていなくても、ついにはあなたの御国が明らかに示され、すべてのものがなお良いものへと変えられますように。あなたのお名前が、あなたの父のお名前が、すべての日々において私どもにおいて大いなるものとなりますように。そしてあなたの恵みを、あなたの父のお名前において、私どもは確信し、私どもにとって厳しい時においても私どもは信じよ

うとするのです。あなたがその時をお変えになることができる方であり、悲しみの中からさえ、ついには良いものを生じさせてくださる方であることを、信じようとするものでありますように。どうか苦しみの中にある者、心配の中にある者、一人ひとりすべてが、あなたが助けてくださいますこと、あなたの恵みとあなたの救いとが、常に私どものまわりにありますことを、経験させてください。ただ目を上げれば、私どもはそれを知り、見ることができるのです。ですから私どもはあなたに感謝し、あなたを常に賛美して、ついには、あなたをたたえ賛美しつつ、永遠の救いに至りたいのです。アーメン。

4月1日

ローマの信徒への手紙 第5章11節 それだけでなく、わたしたちの主イエス・キリストによって、わたしたちは神を誇りとしています。今やこのキリストを通して和解させていただいたからです。

主、私どもの神。私どもの父。あなたが私どもにお与え下さいます、すべての光について。私どもがすみずみまで経験することが許されています、すべてのご好意について。私どもはあなたに感謝します。そして私どもはあなたの御前に立つのです。そうすればあなたが私どもを照らして下さり、そして私どもが地上で歩むべき道を常に指し示して下さいます。どうか地上にも天のことを明らかにお示し下さい。そして私どもは、あなたが地上の人間にお与え下さいますあらゆる善いもの、美しいものを喜ぶことが許されるのです。そして自分の罪、自分の闇から解き放たれた時、人間はついにはあなたの栄光を認めることでしょう。この目標に向けて私どもの希望をお強めください。多くの人々の心の中で、あなたが治め、造り、ご支配ください。そうすればその人々を通して、すべての人間のもとに、あなたのほまれが宣べ伝えられるであります。アーメン。

4月2日

イザヤ書 第5章6節 天に向かって目を上げ 下に広がる地を見渡せ。 天が煙のように消え、地が衣のように朽ち 地に住む者もまた、ぶよのように死に果てても わたしの救いはとこしえに続き わたしの恵みの業が絶えることはない。

主、私どもの神、あなたにあって私どもは強くありたいのです。あなたにあって私どもは、私どもの時代にあっても持ちこたえ、あなたが備えようとしてくださっています終わりが来ることを喜びたいのです。そして約束されていますように、あなたの救いが地上に来て、あなたの義が明らかに示されます。ですから私どもと、私どもがイエス・キリストにあって持っている、私どもの交わりと共にいてください。そしてどうか私どもを常に繰り返し、新鮮で生き生きとしたものとしてください。それにより私どもがこの地上において、たとえ困難になるようなことがあったとしても、生きることが出来ますように。困難にもかかわらず私どもは生き、イエス・キリストがもたらしてくださいました恵みにより、強くなりたいのです。そして喜びをもって、つぶやくことなく、嘆くことなく、辛抱強く待ち続けたいのです。主なる神、あなたのお名前がたたえられますように。あなたの御国が来て、あなたの御心が、あなたがお定めになりましたように、私どもになりますように！アーメン。

4月3日

イザヤ書 第2章3節 主の教えはシオンから 御言葉はエルサレムから出る。

愛する天の父。私どもはあなたに感謝致します。私どもがあなたを、あなたのみ霊の光を持っているからです。そして私どもはくり返し常に、あなたが私どもにお与えになる課題に対してしっかりとしていることが許されているのです。私どもはただ短く過ぎ去ってしまうものの中にいるだけなのではなく、永遠なるものの

なかにいるのであり、私どものため、すべての人類のための未来を、喜びあふれる希望をもって見あげることが許されているのです。私どもを、あなたのみ霊のうちにお守り下さい。どうかくり返し常に新しい真実を私どものうちにやどらせてください。どうか私どもを共に、それ自身が内に光を持ち、その光によって人生のあらゆる戦いと試練のもと歩み続けることができる民へと属する者としてください。そして私ども一人ひとりが次のように言うことが許されますように。この私も、地上のあらゆる民のように、このお方のみ霊によって、日々より良くなって行くのだと。アーメン。

4月4日

ヨハネによる福音書 第1章32、34節 そしてヨハネは証した。「わたしは、”霊”が鳩のように天から降って、この方の上にとどまるのを見た。わたしはそれを見た。だから、この方こそ神の子であると証したのである。」

愛する天の父。どうかあなたの子供として、本当に何かをあなたから受けさせてください。そして、私どもの人生が、あなたとの結びつきの中に入れられて、私どもが私どもの人生において、私どもを傷つけようとするすべてのもの、悪から来るすべてのものを、乗り越えることができますように。そして私どもが、あなたの御国がますます貫き通り、あなたの御心になり、人の救いとあらゆる悪から解き放たれるために、あなたの御子、イエス・キリストが世の光として知られますように、私どもがこれらに携わることができますように。私どもを守り、あなたの霊が私どもとともにありますように！アーメン。

4月5日

詩編 第62編6-7節 わたしの魂よ、沈黙して、ただ神に向かえ。 神にのみ、わたしは希望をおいている。 神はわたしの

岩、わたしの救い、砦の塔。 わたしは動揺しない。

愛する天の父。私どもは、今日この日のことも、そしてあなたが私どもにしてくださる、すべてのあなたの恵みのわざにも感謝致します！どうかこれからも私どもをあなたの守りとあなたの助けのもとに居続けさせてください。あなたの務めとして私どもがすることが許されているものにおいて私どもを祝福して下さい。それにより私どもがすべての人々に対して常に愛のうちにとどまりますように。この夜も私どもを守り、私どもと共にいてください。どうかこの世界においてもあなたの御心があらゆるところでなり、それによりついには混乱もやみ、サタンのわざは滅んで、あなたの御心が天においてのように地上でもなることを、あなたの子どもたちが喜ぶことが許されますように。アーメン。

4月6日

コリントの信徒への手紙一 第2章2節 なぜなら、わたしはあなたがたの間で、イエス・キリスト、それも十字架につけられたキリスト以外、何も知るまいと心に決めていたからです。

主、私どもの神。あなたは私どもすべての父です。私どもの救い主イエス・キリストの御名により私どもの交わりを祝福してください。そしてどうかあなたの御霊が、人には決してできないことすべてを整えてくださいますように。そして私どもすべてが、私どもの心の中に何か力強いもの、喜ぶもの、永遠なるものを感じ取りますように。そして私どもが、こんなにもたくさんの悪が、こんなにもたくさんの悩みが、こんなにもたくさんの痛みが私どもにふりかかる、この人生を耐えることができますように。しかしあなたは私どもをあなたのもとへと引き寄せ、私どもの霊を、私どもの魂と、私どものからだとともに、過ぎゆくもの、地上的なものよりも高い、もうひとつの別の世界で生きるようにしてください。そしてそのことに対して私どもは常に忠実であり続けたいのです。そしてひとつの心から、ひとつの口により、あ

あなたの賛美を来たらせ、イエス・キリストの御名前を私どものうちに輝かせ、私どもにあらゆる正しく、永遠なるものに至る道を示してください。アーメン。

4月7日

ヨハネによる福音書 第14章16-17節 わたしは父にお願いしよう。父は別の弁護者を遣わして、永遠にあなたがたと一緒にいるようにしてくださる。この方は、真理の霊である。世は、この霊を見ようとも知ろうともしないので、受け入れることができない。しかし、あなたがたはこの霊を知っている。この霊があなたがたと共におり、これからも、あなたがたの内からである。

主、私どもの神、私どもの父である方。私どもはあなたに感謝致します。あなたは私どもに、私どもをあなたと結びつける御霊をくださったからです。どうかこの御霊から私どもに常に何か新しいものを与えて下さい。それにより私どもは前進することができ、私どもがこの地上で歩まなければならない道筋も明るく照らされ、私どもの全生涯において光が来て、私どもは、あなたが作り出してくださいます多くの体験の中で喜ぶことが許されるのです。なぜならあなたはあなたの御霊により力あるお方であり、私どもを助け、すべてのことをなるべきものにならせることがおできになるからです。それにより私どもは時と共に過ぎ去ってしまうものではなく、永遠であるものにしてくださいるのです。アーメン。

4月8日

マタイによる福音書 第17章20節 イエスは言われた。「信仰が薄いからだ。はっきり言うておく。もし、からし種一粒ほどの信仰があれば、この山に向かって、『ここから、あそこに移れ』と命じても、そのとおりになる。あなたがたにできないことは何

もない。」

主、私どもの神、私どもはあなたに感謝致します。あなたは、あなたの御支配を、私どもすべてのためにも明らかにお示し下さるからです。そのようにならなければならないものに、皆がならねばなりません。信仰を通してあなたがお与え下さった神に属する事柄から。信仰は神に属する事柄に結びついているのです。私どもが生き抜かなければならない、あらゆる戦いのもとでも、あらゆる過ぎ去ることがらのもとでも、そこにおいて私どもをお守り下さい。ただひとつのこのために、どうか私どもを繰り返し常に自由にしてください。それはただあなたの御国が私どもの内に、また私どものまわりで、あなたがイエス・キリストにおいてお与え下さいました、永遠の真実が、ほめられ、たたえられるためなのです。アーメン。

4月9日

ヨハネによる福音書 第14章18節 わたしは、あなたがたをみなしごにはしておかない。あなたがたのところに戻って来る。

主、私どもの神、愛する天の父。私どもは私どもの主イエス・キリストにあって、あなたの御前に集まりました。あなたが私どもの救い主イエス・キリストを明らかにお示しくくださいますように。私どもにはそれが必要なのです、主なる神。私どもは他のようにしたのでは、ほぼ決して通り抜けることはできないのです。どうかこの救い主を明らかにお示しくください。そして私どもも私どものこれからの日々に、このお方からまことの感銘を受けることができますように。そしてこのお方により、また、このお方により来る、あなたの御国により、私どもの時代のあらゆる困難を高く乗り越えさせてください。どうか私どもの心をすべての日々において強くしてくださいまして、常に繰り返し新鮮で喜ばしいものとしてください。それによりあなたがこの地上においても天のようすべてを導いて、ついには私どもに、あなたがその

礎を築き、この世のいかなる王国よりも大きく、ずっと栄光に満ちており、そこにおいて私どもが永遠に慰めを受けることができます、御国の勝利をお与えください。アーメン。

4月10日

ローマの信徒への手紙 第14章7-8節 わたしたちの中には、だれ一人自分のために生きる人はなく、だれ一人自分のために死ぬ人もいません。わたしたちは、生きるとすれば主のために生き、死ぬとすれば主のために死ぬのです。従って、生きるにしても、死ぬにしても、わたしたちは主のものです。

主なる神。私どもを、復活された方、生きておられる方、イエス・キリストと結びつけて下さい。そうすれば私どもの人生は、イエス・キリストにおいて、あなたの御心であることにすべて飲み込まれてしまいます。私どもを、私どもをこの世的にしばろうとするすべてのものから引き離して下さい。そして私どもを、常に自分の頭を高く持ち上げる自由な人間にしてください。私どもの救いが近づいているからです。ですから全能の神。私どもは困難な時もあなたを信頼致します。すべての民をかえりみて下さい。このすべての民をあなたは、あなたの御国へと集めようとされているのです。神よ、あなたは、私どもの避けどころ、私どもの助け。あなたを私どもは終わりまで信頼しています。アーメン。

4月11日

ヨハネによる福音書 第12章26節 わたしに仕えようとする者は、わたしに従え。そうすれば、わたしのいるところに、わたしに仕える者もいることになる。わたしに仕える者がいれば、父はその人を大切にしてくださる。

愛する天の父。私どもは今日のことについてもあなたに感謝致します。あなたが私どもを守って下さったからです！あなたの恵み、あなたの愛の中にいて、どうか私どもが喜び、また楽しくあるこ

とができますように。そして、私どもがますます、あなたの愛のうちに来て下さいました、救い主に従う者でありますよう、どうか助けてください。常に私どもに恵み深くいてください。そしてあなたの地上のすべての民を助けて下さい。あなたはその者たちすべてをご存じであり、その者たちが考えていることをご存じであり、この地上でいかに戦わなければならないかを、いかに多くの試みの中に立たされているのかをご存じなのです。どうかすべての者を、また、なおあなたから遠く離れている者をも、あなたの御言葉と、あなたが約束してくださったすべてのことについて、開かれた心を持つことが出来ますよう、助けて下さい。ですから、この夜も、私どもは、あなたのみ守りの中におゆだね致します。私どもを助け、私どもを祝福し、あらゆる罪、あらゆる欠けのもとにある、この世にあっても、すべての事柄があなたの御心のままになりますように。御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。あなたの御国を来たらせたまえ！アーメン。

4月12日

フィリピの信徒への手紙 第3章20節 **しかし、わたしたちの本国は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、わたしたちは待っています。**

主、私どもの神。あなたは私どもを、あなたが私どもに備えてくださいます静けさの中に、あなたのみもとへと引き寄せてくださいます。その静けさの中で私どもと私どもの心に何かが起こり、私どもが私どものまわりに広がるあなたの御国を知ることが出来ますように。そして私どもが霊においてそこに住むことができ、私どもの歩みは天にあるものとなるのです。そこでは心配する必要もなければ、悩む必要もなく、あなたの御力が私どものうちにあるすべてとなるのです。そして御力はしばしばこんなにも私どもを苦しめる地上の生活の中にも入り込んで来ます。私どもはあなたに感謝致します。あなたが全力で私どもをとらえて、私ども

に力強い道筋を備えてくださったからです。ですから私どもは、たとえ迷うことがあったとしても、目標から道をそれることはあり得ません。私どもは、あなたが私どもに感じさせてくださいます、あらゆる善について感謝致します。それらを私どもは地上的なものとして見ることは許されないのです。そうではなくて、私どもには見えなくても、こんなにも力強く、こんなにも美しく、こんなにも気高く、私どもの心に迫ってくるものを見るのです。アーメン。

4月13日

**詩編 第143編 10節 御旨を行うすべを教えてください。
あなたはわたしの神。 恵み深いあなたの霊によって 安らかな
地に導いてください。**

主、私どもの神。あなたは大きいなる方。全能者。その御霊は天と地とを満たしておられるお方です。私どもはあなたに感謝致します。あなたは私どもの父であられ、私どもはあなたによって、私どもの歩む道すべてにおいて避け所を得ているからです。私どもはこの地上において、常に父であるあなたにお仕えして、その道を歩まねばなりません。そしてあなたの命が私どものうちに啓示され、私どもを通してこの世界へと流れ出て、この世界は、こんなにも父親として私どもを心配してくださっている、あなたによって祝福を受けるのです。私どもをお守りください。私どもが悩み悲しみのうちにありましても強くあることができますように。そして私どもがたとえ新しい道に歩み出さねばなりません時にも、あなたがあなたの御霊をお与えくださいますして、その道行きが正しいもの、あらゆるものが善いものとなりますように。あなたに、父の栄光のためにです。どうか私どもが、大きいなる、力強い希望を持って、霊において一つとなり、あなたの御心が天においてのように地においてもなり、私どもが、あなたの愛とまこととによって、あらゆるものをつらぬいて、私どもの道行きがしっかりま

っすぐなものとするを、常に確信して喜びますように！アーメン。

4月14日

ヨハネによる福音書 第11章25－26節 イエスは言われた。
「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。生きていてわたしを信じる者はだれも、決して死ぬことはない。このことを信じるか。」

愛する天の父。あなたは私どもを生きているものとしてくださり、また復活へと召してくださるのです。あなたを私どもはすべてのことについて信頼します。あなたは、あなたの人間の子供たちが、自分たちが召されているところへと至るように助けようとしてくださるのです。この地上のあなたの教会の共同体をお守り下さい。どうかすぐにもこの教会の共同体にあなたの栄光を見させてください。そしてイエス・キリストが人間の運命の中へと、人間の命の中へと入り込んで来てくださって、そこにおいて教会の共同体すべてが驚き、天の父であるあなたのみ栄えのために、自分たちはただイエスだけを愛し、拝まなければならないことを知らなければならないのです。私どもは、あなたの御言葉においても、あなたが私どもに与えて下さいました、あらゆる良いことに対して、あなたに感謝致します。それにより私どもは、この地上においてあなたの道を見出し、あなたの子供たちとなることができるのです。私どもを祝福し、私どもに聖なる霊を与えて下さい。どうかこの夜も私どもをお守り下さい。悪いものは何も私どものもとへと来ることが許されませんように！アーメン。

4月15日

フィリピの信徒への手紙 第4章4－5節 主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい。あなたがたの広い心がす

すべての人に知られるようになさい。主はすぐ近くにおられます。
愛する天の父。私ども、あなたの子供たちを、あなたの喜びのうちにお守り下さい。そしてどうか、体験するあらゆることのただ中で、私どもの人生を明るく、軽くするものが、すべてそこから来ますように。どうか私どもをあなたの喜びのうちに、あなたに仕える者としてくださいます、私どもが常に平和を知る者となりますように。そしてこの平和のため、しばしば暗い世界の領域の中へと、悲しむ心の中へと、私どもからも何かが発せられますように。天の父、どれほどたくさん悲しむ者たちが、なお上を見上げて、どこへ行けば良いのか知らないことでしょうか！しかしあなたはこれらの者たちにお会い下さいます。ですから私どもはあなたに祈り願うのです。どうかこの悲しむ者たちにお会い下さいます、その者たちがイエス・キリストにある喜びを見出し、あなたの救いを目指して慰めを受けますように！アーメン。

4月16日

ヨハネの手紙二 4節 あなたの子供たちの中に、わたしたちが御父から受けた掟どおりに、真理に歩んでいる人がいるのを知って、大変うれしく思いました。

主、私どもの神。私どもはあなたとの交わりの中に立ち、あなたに祈り願います。この地上のあらゆる事柄の中にあつて、あなたのまことによって私どもをお守りください。そしてどうか私どもを、私どもがすでに見出したこと、あなたの御霊によって私どもの心のうちに、私どもに証ししてくださるものの中にあつて、私どもを迷わせないでください。それにより地上的なことがらの移り変わりの中にあつても、私どもを苦しめようとする、多くの面倒事、多くの困難の中にあつても、私どもが堅く立ち続けることができますように。そして私どもはなお常に堅く立ち続け、私どもが最後の目標にたどり着くまで、さらに、さらに導いて行く、道をまっすぐに見出すことができますように。アーメン。

4月17日

ヘブライ人への手紙 第4章9-11節 それで、安息日の休みが神の民に残されているのです。なぜなら、神の安息にあずかった者は、神が御業を終えて休まれたように、自分の業を終えて休んだからです。だから、わたしたちはこの安息にあずかるように努力しようではありませんか。

愛する天の父。私どもがひととき休みを得て振り返ります時、思い出すことが許されます、すべてのことについて、私どもはあなたに感謝致します。あなたが私どもにして下さいましたことが、私どもにとって常に生き生きとしたままでありますように、そうすれば私どもは明るい目で前を見ることができ、私どもの人生があなたの御手のうちにあつて、私どもがくり返し常に何か新しいもの、大いなるもの、栄光あるものに導かれることができますことを、心にとめますように。そしてあなたの民すべてに、あなたを知り、人々のもとで、あなたの働き人であるべきすべての者に、あなたはくり返し常に休息をお与えになります。最後の、大いなる休息の時が来るまで。その休息の上に、あなたの御国は完全に打ち立てられることができるのです。アーメン。

4月18日

ヨハネの黙示録 第3章8節 わたしはあなたの行いを知っている。見よ、わたしはあなたの前に門を開いておいた。だれもこれを閉めることはできない。あなたは力が弱かったが、わたしの言葉を守り、わたしの名を知らないと言わなかった。

愛する天の父。私どもはあなたに感謝致します。あなたは私どもすべてのことをご存じであり、私どもの心の奥深くまで、安かろうが難しかろうが、私どもが生き抜かなければならない、あらゆる事柄の内々までご覧下さっているからです。私どもはあなたに感謝致します。私どもは一人だけで立っているのではなく、あなたに届く、あらゆる人間の子の静かな溜息までも、聞こうとして

下さるのです。暗闇は光へと、悲しみは喜びへと、不安はふたたび力と勇気へと、導かれるに違いありません。なぜなら、あなたは、すべての事柄を貫き通し、また私どもの目の前にある事柄ばかりか、これから起こること、あなたが行われ、整えてくださる事柄までをも通して、私どもを導いて下さるからです。それが私どもの強めであり、力であり、すべての事柄を通して保たれ続けるのです。ですから、私どもはあなたに、私どもが既に体験した限りなくたくさんの事柄に心から感謝し、そのようなことをあなたから体験することが出来たことに、驚嘆するのです！ですからどうか私どもをさらに、子供としての意味で、私どものために主イエスがなしとげられたような、あなたの交わりの内にお守り下さい。私どもが、そのお方のお名前において、あなたのお名前をほめたたえるために、歓声をあげることができるためにです！アーメン。

4月19日

エフェソの信徒への手紙 第5章20節 そして、いつも、あらゆることについて、わたしたちの主イエス・キリストの名により、父である神に感謝しなさい。

愛する天の父。私どもはあなたに祈り願います。あなたが私どもに経験させてくださいましたすべてのことについての、私どもの感謝を、今日、お受けください。私ども、あなたの子どもたちを助けてくださいまして、私どもが救い主に、正しい心と霊とによって従うことができますように。私どもをあらゆる悪とサタンのわざとからお守りください。どうか私どもの時代にあなたの奇跡とあなたの御支配とを経験させてください。イエスの御名によって私どもはあなたに祈り願います。あなたが、あなたの御力をもってご自身を明らかにお示し下さい。そしてどうかあなたの御心が天においてのように、地においてもなって、自分たちがあなたの御手のうちにありますこと、あなたがすべてを正しくしようと

されますことを、人間が経験しますように。ですからこの夜も私どもと共にいてくださり、私どもを祝福し、私どもを強めて、私どもにゆだねられております、あらゆる仕事をなさしめてください。アーメン。

4月20日

イザヤ書 第65章24節 彼らが呼びかけるより先に、わたしは答え まだ語りかけている間に、聞き届ける。

大いなる神。あなたはなお隠されていますが、それでもなおこのように明らかにお示しになり、お近くにおられるのです。私どもはあなたに感謝致します。あなたは私どもが気づくよりも早く、私どものうちにおいて御業を行われたからです。そして私どもが理解しない時でさえも、あなたは私どもを導いて、その御手で守ってくださいます。どうかそのように私どもを守り、私どもの霊を正しい時に目覚めさせてください。そして私どもが体験する痛々しい出来事も私どもを驚かせることなく、私どもが常に、目をさまし、祈り、そしてしっかりと信頼するように、備えられますように。それにより私どもは、このようになお戦いの中にある地上にありましても、見捨てられることなく、すべての人々のために次のように告げられる時が来るのを望むことが許されますように。「見よ、新しい天と、新しい地である。あなたがたが神の栄光をすべてのことがらのうちに見ることを学んだからである！」と。アーメン。

4月21日

詩編 第55編19節 闘いを挑む多くの者のただ中から わたしの魂を贖い出し、平和に守ってくださる。

愛する天の父。どうか私どもをあなたの子供たちとしてあなたの御前に来させてください。そして私どもが必要とするものをお与え下さい。それにより私どもが人生の不安の中にとどまることな

く、あなたの子供たちとして聖なる安息を得させて下さい。あなたの子供たちは養われ、この時代のあらゆるわざわいをもつらぬいて、慰めを受けて歩き続けることが許されているのです。なぜならその歩む道は永遠の天の父であるあなたへと至るからです。私どもが墮落することがありませんように、過ぎ去ってしまう事柄の中で苦勞する必要がありませんように、私どもをお守り下さい。そしてあなたの御光によって、永遠の中で、生命の永遠の真理の中で私どもを強くしてください！アーメン。

4月22日

ルカによる福音書 第12章35－36節 腰に帯を締め、ともし火をともしていなさい。主人が婚宴から帰って来て戸をたたくとき、すぐに開けようと待っている人のようにしていなさい。

主、私どもの神、私どもは待っています！この地上に大きな困難が起きようとも、私どもはなお焦がれて待ち望みます。あなたの日が来て、最後の困難も過ぎ去り、あなたの御国が力と栄光のうちに興り、世界全体にイエス・キリストのご支配が広がりますことを。あなたの約束が成就され、あなたの御心が地上で行われますよう、信じ、その信仰により、主なる神、来て下さい！と祈る人々が常に地上にありますように。来て下さい、主なる神、人間は生きるということを理解していないのです。私どもに、救い主、主であり、死んでいる者と生きている者との裁き人、イエス・キリストを遣わして下さい。そして罪と死とを終わらせてください！私どもはあなたに感謝致します。あなたは私どもにこのような信仰をお与え下さり、私どもは常に願うことが許されているからです。ああ、来て下さい、主イエス、すぐにも来て下さい、主イエス！と。私どもはあなたに願い求めます。あなたは私どもをこの信仰において常に守って下さり、あなたの御名をたたえるためにこの信仰を成就して下さい。アーメン。

4月23日

創世記 第49章18節 主よ、わたしはあなたの救いを待ち望む。
主、私どもの神。この私どもの困難な時にいる私どもを助けてください。そして私どもが、天において、また地においても主であられるイエス・キリストの 때가、それに続くこととなります、その時を待ち望むことができますように。私どもは祈り願います。私どもをお強めください。そしてたくさんのかんことをやり遂げなければならない、全世界のすべての者たちを、また困難に苦しむ者たち、死に行く者たちをも強めてください。どうか天の軍勢をもたらし、さまざまな惨めな者たち、悲しんでいる者たちを迎え入れてください。それによりあなたの御名が、生きる時も、死ぬ時も、私どもがなし遂げなければならないあらゆることにおいて、たたえられますように。なぜなら、今がいかなる時であっても、またいかなる時が来ようとも、あなたは私どもによりたたえられねばならないからです。あなたのほまれと、神であるあなたが、すべての人間の父であることの喜びが、私どもの心の中にあらねばならないからです！アーメン。

4月24日

ペトロの手紙二 第1章19節 こうして、わたしたちには、預言の言葉はいつそう確かなものとなっています。夜が明け、明けの明星があなたがたの心の中に昇るときまで、暗い所に輝くともし火として、どうかこの預言の言葉に留意しててください。
主なる神。私どもはあなたに感謝致します。あなたが私どもにこの地上において光をお与え下さったからです。この地上はしばしば、しばしば全くの闇となるのです。しかしこの闇の中に、イエス・キリストのお名前が預言の言葉として輝いています。慰めを受けなさい。闇に逆らい光が来る。夜に逆い昼が来る！と。私どもはどのように、この光を、あなたに感謝したらよいのでしょうか。イエスが生きておられ、なおすべてに立ち向かって敵の力に対す

る勝利を経験する、私どもにとってどれほどの喜びでありましょう！ですからどうか私どもの時代を、常にただイエス・キリストのお名前のゆえにのみ、お覚えください。私どもは私ども自身について、何一つ得たいとは思いません。地上的な平安さえ得たいとは思いません。私どもはあなたの平安が欲しいのです。主なる神。それによってすべては新しくなり、悲しみの中においても新しく生まれ、あなたのお名前を永遠にたたえるためです。アーメン。

4月25日

ヨハネの黙示録 第1章17-18節 恐れるな。わたしは最初の者にして最後の者、また生きている者である。一度は死んだが、見よ、世々限りなく生きて、死と陰府の鍵を持っている。

主、私どもの神。私どもは心からあなたに感謝致します。イエス・キリスト、生きておられる方が、救い主として、今日に至るまで、私どもを通して信じられ、そのお名前が呼ばれることを許してくださっているからです。救い主は、私ども人間の、あらゆる深さのところにある悲惨の中までも、ご覧下さっており、呼びかけてくださいます。「恐れるな。憐れな人間よ。恐れるな！私はあなたのそばにいる。私は生きている。私はあなたを助ける。あなたがなお、そんなにちっぽけでも、恐れるな。なぜなら私、イエス・キリストが、あらゆる闇を、罪の闇、死の闇を照らし、人間のところに来る、また既に来ている審きの闇を照らすからである」と。あなたの御名がたたえられますように。主、私どもの神。大いなる方。全能の方。私どもの理解を超えている方！しかしあなたの救い主を、私どもは理解しています。そして私どもが、この方において、あなたの御前に交わりをもつことが許されておりますことを喜ぶのです。アーメン。

4月26日

詩編 第147編1節 わたしたちの神をほめ歌うのはいかに喜ばしく 神への賛美はいかに美しく快いことか。

私どもはあなたに感謝致します。主、私どもの神よ。ああ、私どもの人生において、あなたはどれだけたくさんの善いことを既にしてくださったことでしょうか！そして私どもには、毎日毎日、なおどれだけ感謝しなければならないことがあるのでしょうか！繰り返し常に新たに私どもは経験するのです。あなたが私どもを助けてくださること、また、この地上の生活を天においてのようにしてくださることがおできになることを。どうかあなたの御国を全世界の上へと来させてください。なぜならすべての人間は信仰と憐れみとを慕いこがれているからです。すべての人間はなおあなたの家に、良き羊飼いいイエス・キリストの杖のもとに集まらねばなりません。ですからこの夜も私どもをお守りください。どうかあなたの助けが全世界へと広く及びますように。どうすればよいか正しく理解できないような時にも、あなたを呼び求めるすべての人のかたわらにお立ちください。私どもを助け、あなたの御名をほめたたえるために、どうか救い主を来させてください。アーメン。

4月27日

詩編 第138編3節 呼び求めるわたしに答え あなたは魂に力を与え 解き放ってくださいました。

愛する天の父。私どもはあなたの子供たちです。そしてあなたはあなたのまなざしを私どもに注ぎ、私どもの心の中にあるすべてのものをもご覧になろうとしてくださり、私どもが心に抱くすべての願いもご覧になろうとしてくださいます。そしてあなたは私どもの願いを正しい時に聞き届けてくださるのです。私どもが弱い時、私どもがしばしば押しつぶされ、何をすればよいかわからず、どのようにしてあなたを見出せば良いか分からない時、どう

かあなたの御手を私どもの上に強くしてください。しかしあなたはあらゆる苦しみにおいて、多くのもろさ、多くの誤りにおいても、私どもと共にいてくださいます。あなたはあらゆるものを貫いて、私どもの人生がそこへと至るべき目標へと私どもを導いてくださいます。そして私どもひとりひとりすべてが、あらゆることを貫いて、あなたの父というお名前をたたえるために、あなたがしてくださいましたことを喜ぶことができますように。アーメン。

4月28日

詩編 第16編 11節 命の道を教えてください。 わたしは御顔を仰いで満ち足り、喜び祝い 右の御手から永遠の喜びをいただきます。

愛する天の父。このように私どもはあなたの子供たちとなりお互いに喜んでいるのです。そしてあなたは私どもを守ってくださいます。どうかこの地上の私どもの全生涯においてしっかりとしたものとしてください。どうか私どもに、大いなる恵みの御業のように私どものまわりにあることができる、あなたの御国について、あなたの天について、すぐにも何かを見させてください。そして私どもがさらに戦い続け、愛する方のうちにあって喜ぶことができますように。ですから私どもはあなたに、まことの神に、自らをゆだねるのです。そしてあなたに感謝するのです。アーメン。

4月29日

詩編 第9編 10-11節 虐げられている人に 主が砦の塔となってくださるように 苦難の時の砦の塔となってくださるように。主よ、御名を知る人はあなたに依り頼む。 あなたを尋ね求める人は見捨てられることがない。

主、私どもの神。私どもは私どもの心の困難、世界全体の困難、

多くの困難の中で、あなたを仰ぎのぞみ、あなたに願い求めます。どうかあなたの民の上に光を来たらせ、地上全体にあなたの勝利を、あなたの助けを受けることが許されますように。みじめな者たち、病める者たち、貧しい者たちを心にとめてください。この人たちにあなたの生きる力を分け与えて下さい。そしてこの人たちが終わりに至るまで喜びをもって持ちこたえることができ、自分が受けている苦しみを負うことができますように。私どもすべてを心にとめてください、主、私どもの神！私どもはそれが必要なのです。私どもは弱く、貧しく、私どもだけではそれができないのです。あなたの霊が助けてくださらねばなりません。救い主が私どものところに来ますように。どうか私どもの心の中に、救い主の恵みを、そのお力を生じさせて下さい！アーメン。

4月30日

ルカによる福音書 第22章41-42節 そして自分は、石を投げて届くほどの所に離れ、ひざまずいてこう祈られた。「父よ、御心なら、この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしの願いではなく、御心のままに行ってください。」

愛する天の父。私どもはあなたを仰ぎのぞみます。あなたはこの地上のことがらをなるがままにお過ぎ去らせになるのです。あなたの御子も苦しみ、死ななければなりませんでしたが。しかしあなたのご計画は完成しているのであり、あなたの御心は決定されているのです。そしてあなたは私どもの時代においてもあなたの御心を行われるのです。ですから私どもは祈り願うのです。あなたの御心がなりますように。あなたの御心がです！あらゆる悲しみの中で、あなたの愛が、人間がそのことを理解することができる場所で、ここでもかしこでも明らかに示されますように。今までと同じように、これからも常に私どもをお守りください。あなたはたくさんのお名前を私どもにしてくださいました。そして私どもはあなたのお名前をたたえたいのです。私どもは常に、あなた

を知り、あなたをたたえる人間でありたいのです。なぜならあなたは、あなたに希望を置く者を、誰一人として損なわれさせません。ですからこの夜も私どもと共にいてください。私どもを助け、私どもに必要な力をお送りください。それにより私どもが、この地上のことがらにおいても、あなたにお仕えしますように！アーメン。

5月1日

エレミヤ書 第29章11節 わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。

主イエス。あなたを私どもは仰ぎ見ます。あなたは天のあなたの父のもとの王座にお座りになっています。どうか私どものために、私どもの心のうちの平和の主となってくださいますように。どうか常に私どもが自らを克服し、私どもが平和を保つことが出来ますように、そして、あなたの御心が地上のあなたの弟子において行われ、世界全体において、平和の力が私どものまわりから発せられますように。そして平和の主であられるあなたのお名前が、地上において栄光あるものとなりますように。それゆえ私どもはあなたを困難な時にも焦がれて待ち望むのです。しかし困難な時には、かえってそのことがしっかりと私どもの心のうちに生きていますように。あなたのために、主イエスよ、あなたをたたえるために、信仰において、希望においてしっかりと生きていますように。なぜならあなたは突然おいでになるからです。あなたがお約束なさった通り、すべての人々のもと、地上において神のご意志を行うためにです。アーメン。

5月2日

詩編 第142編6節 主よ、あなたに向かって叫び、申します

「あなたはわたしの避けどころ 命あるものの地で わたしの分となってくださる方」と。

主、私どもの神。あなたのみ光の中に私どもは立ちたいのです。そして、あなたに願い求めます。あなたのみ光を私どものまわりに広く照らし、私どもが、この世的に生きるだけではなく、永遠であられ、生きておられ、あなたの御父のお名前をたたえるために、私どもの人生を永遠へともたらしめてくださる、あなたにおいて生きるようにしてください。あなたの御言葉を私どもの心に響かせ、私どもが、あなたのお名前においてすべてのことに耐えることができ、あなたが私どもの心へと与えようとしてくださいます、愛のうちにとどまる、正しい人間となることができますように。私どもの救い主、人間に対し、あらゆる事柄に忍耐された、イエス・キリストのおそばにいる、正しい人間でありますように、どうか私どもを目覚めさせてください。ですから私どもと共にいてください、主、私どもの神よ。あなたは常に私どもの助け、避けどころなのです。アーメン。

5月3日

ペトロの手紙一 第2章20-21節 善を行って苦しみを受け、それを耐え忍ぶなら、これこそ神の御心に適うことです。あなたがたが召されたのはこのためです。というのは、キリストもあなたがたのために苦しみを受け、その足跡に続くようにと、模範を残されたからです。

愛する天の父。救い主は私どもと共に地上にいてくださいました。そしてこのお方に私どもは今日もなお付き従い、あなたの御心とあなたの御支配を待ち望むのです。なぜならあなたの御国は来なければならず、あなたの御心はならねばならず、約束されたものすべてが成就しなければならぬからです。なぜならあなたは神であり、全能者であるからです！私どもはお願いいたします。あなたの御心を行ってください。あなたの御国をすべての民の下でお建て

ください。今日、それがただ少ない人間の中だけであったとしても。しかしあなたはそれがおできになるのです。もろもろの心は悔い改め、あなたの御名はたたえられ、私どもに約束されたものはすべて成就するのです。私どもがそれによって生きることが許されています、あらゆる希望に感謝します。私どもの地上での仕事においても私どもをお守りください。そしてその仕事があなたにお仕えするものとなりますように。あらゆることがらにおいて、御国を建てるため救い主が来ます、との私どものあこがれの心を呼び覚ましますように。ですからこの夜も私どもと共にいてくださいまして、あなたの大きいなる慈しみとまことにより私どもを祝福してください。アーメン。

5月4日

出エジプト記 第33章14節 主が、「わたしが自ら同行し、あなたに安息を与えよう」と言われる

愛する天の父。私どもはあなたに感謝致します。あなたはその尊い御力で私どもの道行きを導いてくださり、暗闇をも貫いて繰り返し常に私どもを光の道へと導いてくださるからです。その終わりには私どもは感謝することしかできません。どうか私どもの心をあなたの御前に来させてください。そして私どもが心静かに、慰めを受けますように。私どもがなお待つことが許されている時においてもです。なお多くの人間を縛る縄目にある私どものことを思い起こしてください。どうか闇の中にある人々にも大きいなる解放が与えられる時を来たらせてください。そして私どもがあらゆる事柄の中に生き、次のように言うことを許してください。あなたは願いと理解を超えて、すべてまことをもって行ってくださいました、と。アーメン。

5月5日

創世記 第32章11節 わたしは、あなたが僕に示してください

ったすべての慈しみとまことを受けるに足りない者です。

主、私どもの神、それゆえに私どもはあなたに感謝致します。私どもがあらゆる事柄においてお互いに希望を持ち、あなたの力強い御手により、くりかえし常に新しいことを体験することができるのだということにおいて、あなたは私どもの心をひとつに保とうとしてくださるのです。あなたが私ども召してくださいましたところにおいて、私どもをお守りください。どうかさらに遠くの世界へも何かを来たらせてください。闇があるところにもです。そして全世界において、あなたに向かってため息をついている者たちをお覚醒くださいますように。そしてあなたの御手により何かが起こり、あなたの大いなる、驚くべき御恵みにより、諸々の民、諸々の国々の光となりますように！アーメン。

5月6日

ヨハネの黙示録 第21章3-4節 そのとき、わたしは玉座から語りかける大きな声を聞いた。「見よ、神の幕屋が人の間にあって、神が人と共に住み、人は神の民となる。神は自ら人と共にいて、その神となり、彼らの目の涙をことごとくぬぐい取ってくださる。」

主、私どもの神、私どもはあなたを仰ぎのぞみます。そこには私どもの救い主イエス・キリストがおられるのです。私どもはあなたに願い求めます。私どもに常に新しく、あなたの恵みとあなたの力とを、私どもの命の中へと送り込んでくださいますように。そうすれば私どもは暗い時にも、つらい苦しみの中でも、光を持ち、救い主において打ち勝ち、あなたの御国を待ち望むことにおいて忠実であるのです。どうか私どもがあらゆることを受け入れて、からだと魂とをもって、私どもに備わっているあらゆることをもって、あなたにお仕えする準備ができますように。そして私どもがあなたに向かい、この世界と、今日なお、多くの悲しみの中にいるすべての人を慰めるため、新たに来ます、あなたの御国

を待ち望む群れに属する者となりますように。そうです主なる神、私どもの時代と世界とをあわれんでください！あなたのしるしをすぐにでもお示し下さい。そして私どもがあなたがお約束下さったすべてのことがついに満たされることを、感謝し、たたえることができますように！アーメン。

5月7日

ヨハネの手紙一 第4章13節 このことから、わたしたちが神の内にとどまり、神もわたしたちの内にとどまってくださることが分かります。

愛する天の父。私どもは心をこめてあなたに感謝致します。あなたが私どもの手を取ってくださり、反抗、争い、苦しみ、私ども自身のうちにある不明確さをも貫いて、私どもの歩む道すべてにおいて導いてくださっていることを、私どもが知ることを許されているからです。私どもを切り離すことをせず、守り、最終的には善へと導く、あなたの愛に逆らうものはすべて何ものなのでしょうか。私どもに重くのしかかるものから、十分な解放を私どもにお与えください。どうかますます私どもの霊と私どもの魂を自由にしてくださり、私どもが全力で、私どもにあるすべてでもって、私どもにとってあなたがどのようなお方であるかを、ただなおたたえて、感謝することだけができますように。アーメン。

5月8日

詩編 第46編1〔2〕、8節 神はわたしたちの避けどころ、わたしたちの砦。 苦難のとき、必ずそこにいまして助けてくださる。万軍の主はわたしたちと共にいます。 ヤコブの神はわたしたちの砦の塔。

主、天と地の全能の神。どうか私どもをあなたの子どもたちとしてあなたのみもとに行かせてください！あなたは私どもを福音を通して選び、イエス・キリストが私どもを受け入れてくださり、

私どもは避けどころとして、心やすまることのない、悪い時代にも、あなたの御もとに行くことを許してくださるのです。私どもはあなたの御言葉に向かいます、主なる神。そして私どもは、すべてのキリストの教会が常にくり返しあなたの御言葉へと導かれるのだということを喜びます。あなたの御言葉に仕える者すべてを、あなたとイエス・キリストの恵みを仰ぎのぞむ者すべてを、どうかお強めください。そして私どもが、国のどこにあっても、希望と喜びを持つことが許されますように。すべてのことにおいて、地上的な関わりごとにおいても、あなたが私どもになお助けをもたらしてくださいますように。地があなたの賛美を告げ、あなたのお名前を聖なるものとしますように。あなたの御国が来ますように。あなたの御心がなりますように。天においてのように地上においても。アーメン。

5月9日

イザヤ書 第60章19節 太陽は再びあなたの昼を照らす光とならず 月の輝きがあなたを照らすこともない。 主があなたのとこしえの光となり あなたの神があなたの輝きとなられる。

主、私どもの神よ、父。私どもはあなたに感謝致します。あなたは、この地上の、すべての夜に、あらゆる悲しみの中に、あなたの民に属するすべての人びとに、あなたの希望を明るい光として出でさせてくださるからです。あなたのお名前を貴いものとし、イエス・キリストにおいて罪赦され、新しい命への復活にあずかる、私どもは皆、あなたに属しています。あなたのお名前がたたえられますように。イエス・キリストがたたえられますように。私どもの心を慰め、教え、導くことがおできになる、聖霊がたたえられますように。そうです、天の父、私どもが、恵みにあふれ、希望にあふれ、あなたの御国が来て、全世界がついには救いへと、平安へと至るとの、確信にあふれる、ひとつの民であることが許されるのに、どれだけ十分に感謝できることでしょうか！アーメ

ン。

5月10日

詩編 第14編7節 どうか、イスラエルの救いが シオンから起こるように。 主が御自分の民、捕われ人を連れ帰られるとき ヤコブは喜び躍り イスラエルは喜び祝うであろう。

主、私どもの神。私どもの天の父。私どもの集会を祝福してください。人間はあらゆる愚かさの中に立ちつくしておりますから、あなたに希望を置き、あなたの助けを、この地上で待ち望むために、一つ心となった私どもを祝福してください。あなたはあなたの御言葉で私どもを祝福しようとしてくださり、私どもに御霊を与えようとしてくださいます。聖なる霊をです。それにより私どもの霊は生きる力を取り戻し、悲しみの中にあっても喜ぶことができるのです。この世の悲しみだけではありません。私ども自身にとっても、私ども自身の生活にとってもです。私どもはこの地上で生きなければならないのですから。どうかあなたが助けて下さり、あなたが、私どもが身を委ねて良い、御力を私どもに与えて下さるということを、あらゆるところで気づかせて下さい。毎日毎日、毎年毎年、繰り返し常に新しく、起きうる、あらゆる状況のもとで、あなたが助けをお示し下さいますように。そのことを私どもは感謝し、あなたのお名前をたたえるのです！アーメン。

5月11日

コロサイの信徒への手紙 第3章3-4節 あなたがたは死んだのであって、あなたがたの命は、キリストと共に神の内に隠されているのです。あなたがたの命であるキリストが現れるとき、あなたがたも、キリストと共に栄光に包まれて現れるでしょう。主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。あなたは私どもを、永遠に隠されたままではおられず、おそらくは私どもの時代においてまもなくにも、その命が明らかにされます、イエス・

キリストを避けどころとし、確信とすることによって、ひとつの交わりにしてくださいました。主なる神。どれだけ長い間、どれだけ長い間、あなたの子供たちはすでに待ち続けたことでしょう！今や新しい時が来ています。終わりの時です。そしてまたあなたがお裁きにならねばならない時であり、罰せられねばならない時であります。私どもは喜びます。何が来ようとも、私どもは慰めを受けます。私どもはあなたの未来のうちに生きているのです。イエス・キリストの未来です。その大いなる日に、人間は御霊を受けて、古いわざをもはや続けることはできないのです。ですから私どもと共にいてください。私どもをこの夜も祝福し、どうかあなたの助けが、私どもの心にかかる、特別な事柄においても、私どもと共にありますように。私どもはこんなにもたくさんの事柄を心にかけているのです。あなたはすべてのことをご覧になっています。そして私どもが必要としているものを、すべてご存じなのです！主なる神。あなたの恵みはこの地上の悲しみにも勝利するのです。そしてあなたのお名前は地上においても聖なるものとされるのです。少なくとも、信じる、まことにあなたの助けを待つ教会共同体において。あなたの御名がたたえられますように！あなたは私どもに限りなくたくさんのことをしてくださいました。あなたはさらにもっと多くのことをしてくださるのです。アーメン。

5月12日

ヨハネによる福音書 第14章23節 イエスはこう答えて言われた。「わたしを愛する人は、わたしの言葉を守る。わたしの父はその人を愛され、父とわたしとはその人のところに行き、一緒に住む。

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。私どもはあなたの御霊の子供たちであることができ、あなたは私どもを永遠の賜物へと召してくださいますから、たとえたくさん悲しみ、苦

しみが私どもに重くのしかかろうとも、私どもは耐えることができるのですから。なぜならあなたは私どもの命であるからです。あらゆる闇の中にあっても、死の闇の中にあっても、あなたは私どもに光と力と喜びに満ちた希望をお与えくださるからです。そのことによって私どもをお守り下さいまして、私どもがあなたについて私どもの心の中に持つもの、日々あなたへと導いてくださるもの、あらゆることについて常に明るい光をお与え下さいますように！アーメン。

5月13日

コリントの信徒への手紙二 第4章6節「闇から光が輝き出よ」と命じられた神は、わたしたちの心の内に輝いて、イエス・キリストの御顔に輝く神の栄光を悟る光を与えてくださいました。

主、私どもの神。私どもは、私どもが見ることを許されています、たくさんの善いことについてあなたに感謝致します。そして私どもはその中で、明るくされ、慰められたいのです。そしてそれは、なおこんなにもたくさんの闇、こんなにもたくさんの私どもを苦しめるものが、私どものまわりにあってもです。私どもは確かな者とされ、慰めの中にあり続け、常に、あなたが私どもの心の中に置いてくださいましたものを見、その中にあなたを認めたいのです。どうかあなたの御霊をもって私どもと共にいてくださいますように、どうか私どもを導いて、私どもがますますはっきりと、私どもがあなたの栄光のために造られたことを知ることが許されますように！アーメン。

5月14日

ローマの信徒への手紙 第5章2節 このキリストのお陰で、今の恵みに信仰によって導き入れられ、神の栄光にあずかる希望を誇りにしています。

主、私どもの神、全能であるあなた、聖なる方。あなたはあなた

の栄光をこの地上に広めてくださいました。それにより私ども人間はあなたに喜びを見出し、あなたが私どもに地上的にも与えてくださいますすべての善いものの中で、喜んで生きることを得させてくださるのです。すべての人間の上に、喜んでいる者たちの上に、悲しんでいる者たちの上に、勇気ある者たちの上に、弱い者たちの上に、あなたの祝福の御手を広げてください。そしてあなたの愛によって、あなたがキリスト・イエスにおいてお与えくださり、聖霊によって私どものうちに確固たるものとしてくださいました、大いなる恵みにより、彼らの背後にお立ちください。どうか私ども人間を低い所にとどめないでください。私どもすべてを、私どもの心において、過ぎ去るものを越えるように高めてください。なぜならあなたは私どもに、それにより生きるために、永遠なるものを心のうちに与えてくださるからです。私どもをすべての日々において助けてください。それにより私どもが私ども自身のため、他の多くの人々のため、ついには地上のすべての諸々の民のために、目標へと至ることができますように！アーメン。

5月15日

詩編 第100編3節 知れ、主こそ神であると。 主はわたしたちを造られた。 わたしたちは主のもの、その民 主に養われる羊の群れ。

天の父。まことによって私どもに洗礼を授けてください。私どもの生涯すべてにおいて、私どもにはそれが必要なのです！どうか賜物をくださり、それによって、私どもが、私どもが何者であるのか、私どもがどのようなになるかを知ることが出来ますように。私どもの目からあらゆる幻想を取り除いてください。私どもがもう二度と地上的なことがら、過ぎ去ってしまうことがらにおいてだまされないためです。どうか私どもが、私どものうちに、私どものまわりに永遠を見る、明るい目を手に入れさせてください。どうか私どもを子どもたちとしてください。そうです子どもたち

です。子どものように目を覚まし、歓声を上げて、喜び、あなたに感謝するのです。父、子、聖霊なる神さまにです！アーメン。

5月16日

ヨハネによる福音書 第17章3節 永遠の命とは、唯一のまことの神であられるあなたと、あなたのお遣わしになったイエス・キリストを知ることです。

主なる神、私どもはあなたに感謝致します。あなたはイエス・キリストにおいて、命を明らかにお示し下さいました！どうか、あなたがお与え下さいました恵みにより私どもをこの命の中へとお入れください。私どもがイエスにおいて私どもの主を見、このお方を信じ、イエス・キリストのお苦しみと復活との実りとして来ることになっております、あらゆる良いものを待ち望むことが許されますように。世界全体において、死んでいる者に対して生きておられる方の栄光が明らかになり、死者もまだ信じていない者たちも、目覚めさせられ、キリストの命を仰ぐことが許されますように。ですからどうかこれから、あなたがお与え下さいましたものにより、私どもをお守り下さい。信仰の力、あらゆる私どもの悲しみの中で忍耐する力を強めてください。すべての民のもと、あなたのお名前がまもなく大いなるものとなり、敵対する思いが止んで、あなたの大いなる日の前ぶれが、新たな心と新たな思いのもとへと来ますように！ですからどうかこの夜も私どもを守り、私どもを祝福し、繰り返し常にあなたのお約束に従って私どもを助けてください！アーメン。

5月17日

ヘブライ人への手紙 第4章14節 さて、わたしたちには、もろもろの天を通過された偉大な大祭司、神の子イエスが与えられているのですから、わたしたちの公に言い表している信仰をしっか

り保とうではありませんか。

愛する天の父。私どもはイエス・キリストを仰ぎ臨みます。このお方はあなたの右に座し、このお方によってあなたは、この世界に対する助けを約束してくださったのです。どうかわたくしどもを、このお方と結び付けてください。それにより私どもも、あなたの御心に従って人々を助ける全権を得させてください。あなたの御名は私どもの中で聖なるものとされねばなりません。あなたのすべての子供たちは、あなたが与えてくださった、あなたの救い主を喜ばなければなりません！ですからあなたを信じて、祈り願う者たちに、あなたがすでにお示し下さったことすべてに、私どもはあなたに感謝しなければならないのです。私どもはこう祈ります。その時を早めてください。そしてあなたの日が、あなたがイエス・キリストにお与えになる栄光のうちに来ますように。そしてこのお方があらゆる悪に勝利し、これを支配し、ついには、あなたがこの世界に与えようとしてくださり、私どもがそれを待ち望んでいます、平和をもたらしてくださいますように！アーメン。

5月18日

ローマの信徒への手紙 第8章17節 もし子供であれば、相続人でもあります。神の相続人、しかもキリストと共同の相続人です。キリストと共に苦しむなら、共にその栄光をも受けるからです。主、私どもの神、私どもすべての父。私どもはあなたに祈り願います。どうか私どもに、いくらかでもあなたから私どもの心に経験をさせてください。私ども一人一人は異なっているのです。一人一人が繰り返し何か特別なものを必要としているのです。しかし私どもは皆、あなたの子供たちです。そして私ども皆が、あなたの御霊のものにならねばなりません。そして私どもは、私どもの人生の困難な時においても、たくさんの戦い、たくさんの試み、たくさんの苦しみににおいても強くあり続け、あらゆることのうち

に命の勝利を持っている、あなたの御霊のものであり続けるのです。私どものあらゆる道行きにおいて、私どもを守り、私どもを強めてください。あなたがすでにしてくださったこと、あなたが私どもを助けてくださったことすべてのゆえに、あなたがたたえられますように！アーメン。

5月19日

詩編 第18編2-3節 主よ、わたしの力よ、わたしはあなたを慕う。主はわたしの岩、砦、逃れ場 わたしの神、大岩、避けどころ わたしの盾、救いの角、砦の塔。

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝します。私どもがすでにしばしば経験してまいりましたように、あなたは私どもの近くにおいてくださいまして、弱い者も強くしてくださるからです。

どうか私どものことを顧みてくださいますように、それぞれの召しにおいて、私どもに必要なものをお与えくださいますように。人間のことを大いに顧みてくださいますように、霊とまこととをもって私どもが前進することができますように。多くの闇の中にある諸々の民に新しい光を与えてください。そしてあなたの御国と御支配とが明らかにされ、あなたのお名前がついにはすべての者によってほめたたえられますように。アーメン。

5月20日

テモテへの手紙一 第2章4節 神は、すべての人々が救われて真理を知るようになることを望んでおられます。

主、私どもの神。私どもはあなたに願い求めます。あなたの御霊を私どもにお与え下さい。そして私どもが私ども自身を理解することを学び、あなたが私どもに定めてくださいました使命を理解することを学びますように。私どもはあなたに、あなたが私どもにお与え下さいます、あらゆる光を感謝致します。そしてあなたに願い求めるのです。どうか私どもと多くの人々が、さらにもつ

と先へと進みまして、真理を認め、天にいらっしやいます私どもの父である、あなたに関わるあらゆる事において、安息へと至らせてください。あなたの尊い御手のうちにあります、また私どもが味わうことが許されているあらゆる善いことにおきまして、今も、そして常に、私どもをお守り下さい。そして私どもが、困難な日々も耐えることができ、人生の戦いに勝利へと導かれますように。アーメン。

5月21日

ローマの信徒への手紙 第1章16-17節 わたしは福音を恥としない。福音は、ユダヤ人をはじめ、ギリシア人にも、信じる者すべてに救いをもたらす神の力だからです。福音には、神の義が啓示されていますが、それは、初めから終わりまで信仰を通して実現されるのです。「正しい者は信仰によって生きる」と書いてあるとおりです。

主、私どもの神、私どもはあなたに祈り願います。どうか私どもにあなたの義を理解させてください。それにより私どもが、間違った人間たちの中にあっても、あなたの義により生きることが出来ますように。そして福音に価値を得て、それにより私どもが喜ぶことが出来ますように。試練のただ中にあっても、もろもろの思いとの戦いの中にあっても、私どもをお守りください。そして私どもは、自由で、高くとどまりまして、私どもに希望を与え、なお助けを必要とする、たくさんの、たくさんの人間のためにも希望を与えます、あなたの良い、まことの義の中に、あなたのことを思いますように。それにより彼らが、『彼ら』の命も、過ぎ去るものではなく、永遠の価値を持つものであることを意識しますように。アーメン。

5月22日

詩編 第22編23節 わたしは兄弟たちに御名を語り伝え 集会の中であなたを賛美します。

主、私どもの神。天にいらっしゃいます全能の父。あなたの御前に私どもはあなたの子どもたちとして立ちます。この時代のあらゆる苦しみの中にあっても、あらゆる罪、あらゆる死の中にあっても、あなたが守ろうとしてくださるあなたの子どもたちなのです。私どもはあなたをたたえます。あなたは私どもに困難な時代のまっただ中にあっても、こんなにもたくさんの平安を与えてくださいます。こんなにもたくさんの助けを待ち望ませてくださいます。そしてたとえ私どもが苦しんでいる時でさえ、苦しみの暗闇の中になどとどまることはしないで、立ち上がってあなたをたたえ、賛美したいと思うのです。なぜならあなたの御国が来るからです。あなたの御国はもうここに来ています。あなたの御国が私どもを慰め、私どもを助け、そしてあなたの御国は全世界を導くのです。そしてあなたの御心が天においてのように、地上にも行われるのです。アーメン。

5月23日

ヨハネによる福音書 第17章16-17節 わたしが世に属していないように、彼らも世に属していないのです。真理によって、彼らを聖なる者としてください。あなたの御言葉は真理です。

愛する神であり、私どもすべての父である方。私どもは、あなたの御前に立ち、あなたにお願い致します。あなたは、あなたの御霊によりわたくしどもに触れようとして下さり、私どもの人生が真理と、あなたのお名前を喜ぶことにより形作られて、わたくしどもに課せられた事柄をあなたにお仕えすることによっても、やり遂げることができるようにしてくださいます。あなたの御顔を私どもの上に、あなたに向かっているところの、あらゆる乏しいものたちすべての上に輝かせてください。そしてあなたからの力

が増し加わり、この世においてもあなたの事柄が大いなるものとなり、ついには諸々の民が元気づけられますように。アーメン。

5月24日

ルカによる福音書 第4章18－19節 「主の霊がわたしの上におられる。貧しい人に福音を告げ知らせるために、主がわたしに油を注がれたからである。主がわたしを遣わされたのは、捕らわれている人に解放を、目の見えない人に視力の回復を告げ、圧迫されている人を自由にし、主の恵みの年を告げるためである。」

私どもはあなたに感謝致します。愛する天の父。あなたが私どもにさせてくださいます、こんなにもたくさんの経験についてです。それにより私どもは、いかなる闇の中でも、いかなる弱さの中でも、いかなる病の中でも、ひるまないでよいのです。そしてあなたは私どもの心からの願いをも聞いてくださり、私どもが救い主を愛し、それにより御名がたたえられますなら、私どもが愛するそのものによって、私どもを愛してくださるのです。どうか私どもがこの御霊のうちにとどまって、あなたの御力をたくさんのもので証ししつつ、私どものところに来てください。あなたの御名をたたえるために、ただ、この心の静けさのうちに。この心の静けさだけが、あなたがイエス・キリストにおいて私どもの父であることを理解することができるのです！アーメン。

5月25日

コリントの信徒への手紙一 第1章9節 神は真実な方です。この神によって、あなたがたは神の子、わたしたちの主イエス・キリストとの交わりに招き入れられたのです。

主、私どもの神。私どもはあなたの御前に立って、私どもが主イエスを通して、あなたとの交わりにありますことを喜びたいのです。どうか私どもをあなたの御霊によって明るくし、私どもの心に生きるための力をたくさん与えてください。そして私どもに必

要な生きるための道をも開いてください。それにより私どもは、この地上で生きるためのすべての悲しみにおいても喜び、また慰めを受けるのです。どうかすべての人間の子供たちに、あなたに身をゆだねさせ、彼らがそれを知っていても知らなくても、彼らを力強くお治めください。そしてこの世界の歴史もあなたの御手の中にあり、すべての人間の人生があなたによって恵みを受けますように！アーメン。

5月26日

マタイによる福音書 第5章3節 心の貧しい人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである。

愛する天の父。私どもはあなたに感謝いたします。あなたは私どもを幸せにしようとしてくださり、また私どもの地上の生活もこれほど確かにあなたの御手のうちに置いてくださるからです。どうかそのことについての確信を私どもに持たせてください。この地上の事柄に対しても信仰の光を与えてください。そして私どもが、あなたの御心にかなうために、自由に通ることが許されるような、扉が開かれるまで、待つことができますように。ですから私ども皆を祝福してください。私どもの生活を祝福してください。イエス・キリストが私どもにお与え下さいましたものを通して、キリストが私どもを立たせてくださっている基礎によって、どうか私どもが幸せで、喜びにあふれるようにしてください。そしてあなたの神の御業が、あなたの父としての愛が、私どもの人生において、私どもを高め、支えてくださいますように！アーメン。

5月27日

コリントの信徒への手紙二 第13章13節 主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にあるように。

主、私どもの神、天にいらっしゃいます私どもの父。私どもはあ

あなたに感謝致します。あなたが私どもを地上において、あらゆる地上の状況の中で、こんなにもたくさんの善いものを与えてくださるからです。そして私どもは、あらゆる欠け、あらゆるあやまち、あらゆる心配事にもかかわらず、私どもの人生を喜ぶことができますのです。あなたは私どもに天の賜物をくださいます。そして私どもは地上においても天を歩むことが許されるのです。そのことを私どもは喜びます！あなたの御霊が私どもに与えてくださいます、すべてのことによって、イエス・キリストが地上において、すべての人間のかたわらに、いてくださり、またかつておられたこと、そしてこれからもいてくださること、それらすべてによって、私どもをお守り下さい。アーメン。

5月28日

テサロニケの信徒への手紙一 第5章5－6節 あなたがたはすべて光の子、昼の子だからです。わたしたちは、夜にも暗闇にも属していません。従って、ほかの人々のように眠っていないで、目を覚まし、身を慎んでいきましょう。

愛する天の父。私どもはあなたに感謝致します。私どもがあなたの子供たちであることを許してくださり、そのことを私どもにも、御霊を通して、私どもがあなたの子供たちであるのだと、心のうちに与えてくださっているからです。ですから私どものまわりのすべてが困難なものとなろうとしても、たくさんの闇が私どもを覆っても、私どもはあなたの子供たちであり続けるのです！また私どもがしばしば、私どもがどのように生きれば良いかわからなくなっても、私どもからすべてが奪われそうになったとしても、私どもはあなたの子供たちであり続けます！また罪と死とが私どもを囲み、私どもが正しくないと言って、私どもをも責め立てようとしても、私どもはなおあなたの子供たちであり続けます！そしてあなたの子供たちとして、私どもはあなたの御手に身をゆだね、私どもは私どもの生涯において、仕事において、行いや、わ

ぎ、すべてにおいて、あなたからもたらされたもののうちにあること、
続け、私どもの救い主キリストにあって喜ぶのです。アーメン。

5月29日

エフェソの信徒への手紙 第2章4－6節 しかし、憐れみ豊かな神は、わたしたちをこの上なく愛してくださり、その愛によって、罪のために死んでいたわたしたちをキリストと共に生かし、キリスト・イエスによって共に復活させ、共に天の王座に着かせてくださいました。

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。私どもにあなたの御力を経験することを許してくださるからです。私どもが、ただ地上的な事柄にだけ関わっているのではなく、あなたの御霊がくり返し常に私どもを危機から救い出してくださるからです。どうかそのように私どもを守ってください。たくさんの心が、何と恵みが私どもに与えられていることかと感じて、この過ぎ去ってしまう事柄の下、多くの愚かな事柄のただ中で、私どもの霊とともに天にまで歩み、まったき確信の中、次のように言えますように。「私どもを悩ますものはすべて過ぎ去る。私どもを苦しめるものはすべて過ぎ去る。そして私どもは、あなたのますます強くなって行く御国に向かって、喜び慰められて歩むのだ」と。アーメン。

5月30日

詩編 第103編1－2節 わたしの魂よ、主をたたえよ。わたしの内にあるものはこぞって 聖なる御名をたたえよ！ わたしの魂よ、主をたたえよ。 主の御計らいを何ひとつ忘れてはならない！

主、私どもの神、聖なるお方。私どもはあなたに感謝致します。私どもは、私どもの霊をもって、自分の存在から出で行くことが許されているからです。私どもは、あらあゆる過ぎ去って行くも

の、人間的なものを越えて高く立ち、私どもをなお囲んでいるあらゆる悪、人間にのしかかる千も重なる悲しみにもかかわらず、あなたのうちに喜びを持つことを許されているからです。それにもかかわらず、それにもかかわらず、なお、あなたのうちに、そして、あなたが私どもにしてくださり、さらにしてくださろうとしていることがらのうちに、喜びを持つのです！この喜びの声のうちに私どもをお守り下さい。私どもがお互いに喜びのうちにあり、お互いに重荷となることなく、お互いに助けあい、この地上をも、あなたが豊かに祝福して下さった人々の中にあって、歓声で満たして下さい。私どものすべての罪を許して下さい。私どもの欠けを治し、私どもの魂をとらえようとする、たくさんの墮落から私どもを救い出して下さい！アーメン。

5月31日

ヨハネの手紙一 第2章25節 これこそ、御子がわたしたちに約束された約束、永遠の命です。

主、私どもの神。私どもはあなたを喜び、あなたが、この地上の人間のために、私どもに約束してくださいましたすべてのことを喜びたいのです。それにより、いかなる痛みの中にあっても、あなたの御心にかないますこと、人間の心の中へと、あなたの栄光のためになりますことが備えられますように。どうか私どもが、私どもが生きている中で、あなたが約束してくださいましたものから多くを経験しますように。それにより私どもが常に喜んで前進し、困難な時代からも、また困難な状況の中へも、私どもが常に新たに立ち上がることが出来ますように。あなたの御力によって私どもをお守りください。そして私どもに恵みをお与えくださいますように！アーメン。

6月1日

エレミヤ書 第3章 17節 その時、エルサレムは主の王座と呼ばれ、諸国の民は皆、そこに向かい、主の御名のもとにエルサレムに集まる。彼らは再び、かたくなで悪い心に従って歩むことをしない。

愛する天の父。あなたの御言葉に私どもは身をゆだねます。それは命の言葉、救い主イエス・キリストにおいて私どもに与えられた永遠の命の言葉なのです。この御言葉を私どもは私どもの日々において信頼するのです。こんなにもたくさんの者たちが弱くなり、また貧しくなってしまう日々において。こんなにもたくさん身をこがすものが心の中にある日々において。そしてあなたは私どもの希望が損なわれるままにしておかれませんか。なぜならあなたが語られたことは、来なければならぬからです。そしてイエス・キリストにおいて約束されたことは、ならねばならぬからです。少ない者たちにおいてだけではありません。全世界においてです。なぜなら全世界のためにキリストは死なれ、死者の中から復活されたからです。ですから私どもと共にいて、どうか私どものもとに生き生きとしておいで下さい。そして私どもの命が、私どもが体験することが許されている善いものの中で輝きますように。そして私どもが、私どもを攻撃しようとする、あらゆる悪を克服する者となりますように。私どもはあなたに感謝致します。あなたは私どもを繰り返し常に生へと呼び覚まし、繰り返し常に新しいものをお与えくださるからです。私どものうちに永遠にあなただの御名がたたえられますように！アーメン。

6月2日

詩編 第104編 1-2節 わたしの魂よ、主をたたえよ！ 主よ、わたしの神よ、あなたは大きいなる方。 栄えと輝きをまとい 光を衣として身を被っておられる。

主、私どもの神、天におられる私どもの父であるあなた。あなた

は私どもにこの地上において喜びを与えてくださり、あなたの輝く光を天より私どもに注いでくださいます。ですから私どもの心はあなたに感謝したいと願うのです。あなたは私どもにより、あなたが私どもの心にお与えくださいます光についても讃えられねばなりません。それによって、私どもはあなたにおいて、あなたの御霊において、あなたが約束してくださいました、あらゆる善いことにおいて一つとなって、私どもはお互いに大いなる喜びを持つことが許されるのですから。どうか私どもをあなたの子どもたちとしてください。どうか私どもに、私どもが歩むことができる、あなたが常に私どもと共にいてくださって、私ども自身では得ることができないものをあなたがお与えくださいます。私どもの人生があなたを讃え、私どもの一息一息があなたのものであり、からだも魂も霊もあなたのお守りにより、あなたとの交わりによって守られるような、そのような道を常に見出させてください。あなたが私どもにしてくださいましたことすべてに、これからもなおしてくださいますすべてのことに感謝をさせていただきます！アーメン。

6月3日

エレミヤ書 第33章9節 わたしがこの都に与える大いなる恵みについて世界のすべての国々が聞くとき、この都はわたしに喜ばしい名声、賛美の歌、輝きをもたらすものとなる。彼らは、わたしがこの都に与える大いなる恵みと平和とを見て、恐れおののくであろう。

愛する天の父。私どもはあなたに感謝致します。そしてあなたに願い求めます。どうか私どもを、あなたの御民の子どもたちとして結びつけて下さい。そして私どもが、すでに生きて来た人々、今、生きる人々すべてとともに、一つの群れとして結ばれますように。あなたにお仕えすることを望み、あなたがたくさんの善いものをお与えになることができる群れとなって、ますます忠実に、

ますます喜びをもって、私どもがあなたに属するものとなりますように。どうか地上的なものをあなたの御手の下に来させ、この地上においてあなたの子どもたちを導いて下さい。私どもを他の人々の益となるように導いて下さい！そして私どもが苦しむ時には、御力をお与え下さり、あなたの御心を理解させて下さい。そして私どもを、今日も、あらゆる日々においてお守り下さい！アーメン。

6月4日

哀歌 第3章 22－23節 主の慈しみは決して絶えない。 主の憐れみは決して尽きない。それは朝ごとに新たになる。 あなたの真実はそれほど深い。

愛する天の父。私どもはあなたに感謝致します。あなたは私どもをこの地上においてあなたの子供たちとして導いてくださり、私どもは、私どもが体験するすべてのことがらにおいて、繰り返し常に喜ぶことが許されているからです。なぜならあなたは悪い日々においても、悲しい経験のもとでも善いものを与えてくださるからです。あなたの善とあなたの誠実とが、なおすべてを貫いて、ついには、ああ、ついには、私どもの心の中へと迫りますように。そして私どもが、あなたの御霊が私どもを導き、私どもがどこにいても一人ではなく、私どもの戦い、生涯の仕事においても、私どもを助けてくださいます、御力を受けていますことを、どれだけ幸運にも知ることが許されていますことを、経験することが出来ますように。そしてすべてが、良いことも、悪いことも、生きることも、死ぬことも、苦しみ、健康も、すべてが、実りをもたらしますように。あなたの御霊が働いて、すべてがあなたにお仕えしなければならないのです。アーメン。

6月5日

イザヤ書 第12章 2節 見よ、わたしを救われる神。 わたしは

信頼して、恐れない。 主こそわたしの力、わたしの歌 わたしの救いとなってくださった。

天の愛する父。私どもはあなたに感謝致します。あなたは私どもにこんなにも近くいてくださり、私どももまたあなたの近くにいることが許されているからです。そして、私どもが生きるために、まことと善いものを受け取るため、救い主を通して、あなたが私どもに与えてくださる力について証しするため、私どもは心をつくし、思いをつくして、全生涯あなたに従い続けます。あらゆる事柄について私どもをお守りください。私ども一人ひとりの心の中まで、なおこんなにもたくさん、平らかでなく、明らかでない、私どものあらゆる状況をもご覧ください。そして私どもを悪から救い出してください。なぜなら御国はあなたのものでなければならず、あなたから力が来なければならず、人々により、永遠にたたえられ、感謝されるため、あなたの栄光は私どもの人生から輝かねばならないからです！アーメン。

6月6日

ヨハネによる福音書 第16章8節 その方が来れば、罪について、義について、また、裁きについて、世の誤りを明らかにする。

主、私どもの神、私どもはあなたに感謝致します。くり返し常に、新たに、あらゆる時代を貫き通し、あなたが私どもに、あなたの御霊をお与え下さったからです。私どもはあなたの御霊によってイエス・キリストを理解し、私どもの地上の日々すべてにおいて、キリストにお従いすることができるのです。私どもを祝福し、この世界においても、あなたの御霊の大いなる啓示をもたらしてください。聖霊の新たな注ぎを、もろもろの心の中にまで、もろもろの民の中にまで、あらゆる国々の中にまでもたらしてください。なぜならもろもろの罪はなお罰せられねばならず、正義のゆえに、裁きのゆえに、この世界は罰を受けねばならないのです。なぜならあなたは主であり、全能の神であり、サタンも、この世の権力

者も、あなたのご意志には逆らえないからです。なぜならあなたお一人だけが、聖霊により御心を行われるからです。私どもは、私どものすべての日々においてイエスにお従いします。それが私どもの喜びとなるに違いありません。そうです。喜びに満たされて主イエスにお従いするのは、すばらしいことなのです。あなたの御名がたたえられますように。私どもはあらゆる日々において、福音を通して、このお方と、このお方の証しとを受けるのです。あらゆる日々において新鮮に、しばしば大いなる悲しみにあっても、喜んでこのお方にお従いし、聖霊によって強められるのです！
アーメン。

6月7日

詩編 第91編 1－2節 **いと高き神のもとに身を寄せて隠れ 全能の神の陰に宿る人よ 主に申し上げよ 「わたしの避けどころ、砦 わたしの神、依り頼む方」と。**

主、私どもの神。永遠に私どもの逃げ場である方。私どもを祝福してください。私どもはあなたの御前に集い、この地上におけるいかなる苦しみにおいても、私どもの個人的な事柄ばかりでなく、もろもろの民、全世界の人類のあらゆる苦しみにおいても、あなたの方を向くのです。どうか私どもを、自分の人生においても、自分の職業においても、たとえ苦々しい思いになろうとも、素直に信じ、忍耐することができる、あなたの子供たちにしてください。そして私どもはあなたに感謝致します。あなたが私どもにこんなにもたくさん恵みをくださり、常にくり返し助けをお示しくださったからです。そのことを私どもは喜ぶことができます。あなたを賛美したたえることができます。あなたは私どもの父であり、私どもを決してお見捨になることはないのです。あなたのお名前が私どものすべての上に、私どもすべてによってたたえられますように。あなたのお名前が人類の全世界においてもたたえられますように。そして地上においてすべてのものがあ

なたを知り、自分に必要なものをあなたから受けることができますように。アーメン。

6月8日

箴言 第10章28節 神に従う人は待ち望んで喜びを得る。 神に逆らう者は期待しても裏切られる。

主、私どもの神。私どもは昼ごと夜ごとにあなたを待ち焦がれています。私どもはあなたを信じるあなたにより義とされた者として待っているのです。そしてあなたは私どもの願いを聞き届けてくださいます。私どもはあなたに祈り願います。私どもを祝福して下さい。どうかあなたの御名が聖なるものとされますように。どうかあなたの御国が来ますように。主、私どもの神。地上のもろもろの民の中で、私ども一人一人の人間に、どうかあなたの御心になりますように。そしてあなたの御心が天においてのように、私ども人間に対しても明らかとされますように。あなたの目で全人類を、諸々の民をご覧下さい。彼らをご覧いただきたいのです。どうか新しきものを芽生えさせてください。そして平和が生まれますように。あらゆる思いをこえる平和です。あなたからの、主、私どもの神からの平和をです！アーメン。

6月9日

ゼファニヤ書 第3章17節 お前の主なる神はお前のただ中におられ 勇士であって勝利を与えられる。 主はお前のゆえに喜び楽しみ 愛によってお前を新たにし お前のゆえに喜びの歌をもって楽しまれる。

主、私どもの救い主。あなたは私どもの主であり、私どもの助けなのです！あなたを繰り返し常に私どもの心の中に、困難な時においても助けてくださいます、力強い救い主としてお示してください。あなたに向かってため息をついている多くの人々のことをお

覚えくださいますように。そして彼らを全能の神の守りのもとに導いてください。彼らが苦しみ、悲しんで、心配や不安を耐えなければならない時に、そうです彼らが死ぬような時にもです。主イエスよ、あなたは私どもの慰めであり、私どもの助けであります。私どもが体験するあらゆることにおいてあなたは、神の御心を行われ、この地上で私どもと共にいて成し遂げてくださるのであります。アーメン。

6月10日

詩編 第67編2-3節 神がわたしたちを憐れみ、祝福し 御顔の輝きを わたしたちに向けてくださいますように あなたの道をこの地が知り 御救いをすべての民が知るために。

主、全能の神、あなたは私どもの父です。私どもはあなたの子供たちです。そしてあなたのため、私どもはイエス・キリスト、私どもの主にあって生きたいのです。どうか私どものため、常にくり返し新たに私どもの心をお強めください。たとえ臆病と不安とが私どもを惑わそうとしても、どうか聖霊によって助けてください。そして私どもがなお起こるであろう、あらゆることにおいて私どもが持ちこたえることができますように。なおどんなに困難なことが起きましても、あなたの御心はなりません。そしてそれは良いものとなるでしょう。そしてあなたの御名は聖なるものとされ、あなたの御国はすべての民の上に来るのです。そうですすべての民にです。なぜなら彼らはすべてあなたのものであり、すべての者は、イエス・キリストはあなたの、御父の栄光のために主なのだ！と告白しなければならないのです。アーメン

6月11日

詩編 第36編6、8節 主よ、あなたの慈しみは天に あなたの

真実は大空に満ちている。神よ、慈しみはいかに貴いことか。 あなたの翼の陰に人の子らは身を寄せ〔る！〕

主、私どもの神。私どもは私どもの心と思いをあなたにお向け致します！あなたが私どもと共にいてくださって、私どもにあなたの御霊を送ってくださいますように。どうか私どもにあなたの御言葉を祝福してください。私どもはあなたに感謝致します。私どもが私どもの救い主、イエス・キリストにより、このあなたの御言葉を持つからです。全世界に、あなたの御手を広げてください、全能である神。そしてどうかあなたの御霊により、新しい時を来たらせてください。真理と義と愛の時です。主なる神、あなたがくださる平和の時です。私どもはあなたの子供たちですから。あなたの子供たちとして私どもはイエス・キリストの御名により祈るのです。あなたは私どもの祈りを聞こうとしてくださいますから、あなたの預言者たち、とりわけあなたの御子イエス・キリストを通して、あなたが語らせたこと、すべてが成就します時を喜んで待ち望むのです。私どもと共にいてくださいます、あなたの御霊により私どもをお集めください！アーメン。

6月12日

ヨハネによる福音書 第16章8節 その方が来れば、罪について、義について、また、裁きについて、世の誤りを明らかにする。

主、私どもの神、私どもはあなたに感謝致します。くり返し常に、新たに、あらゆる時代を貫き通し、あなたが私どもに、あなたの御霊をお与え下さったからです。私どもはあなたの御霊によってイエス・キリストを理解し、私どもの地上の日々すべてにおいて、キリストにお従いすることができるのです。私どもを祝福し、この世界においても、あなたの御霊の大いなる啓示をもたらしてください。聖霊の新たな注ぎを、もろもろの心の中にまで、もろもろの民の中にまで、あらゆる国々の中にまでもたらしてください。なぜならもろもろの罪はなお罰せられねばならず、正義のゆえに、

裁きのゆえに、この世界は罰を受けねばならないのです。なぜならあなたは主であり、全能の神であり、サタンも、この世の権力者も、あなたのご意志には逆らえないからです。なぜならあなたお一人だけが、聖霊により御心を行われるからです。私どもは、私どものすべての日々においてイエスにお従いします。それが私どもの喜びとなるに違いありません。そうです。喜びに満たされて主イエスにお従いするのは、すばらしいことなのです。あなたの御名がたたえられますように。私どもはあらゆる日々において、福音を通して、このお方と、このお方の証しとを受けるのです。あらゆる日々において新鮮に、しばしば大いなる悲しみにあっても、喜んでこのお方にお従いし、聖霊によって強められるのです！
アーメン。

6月13日

**詩編 第40編 11節 恵みの御業を心に秘めておくことなく
大いなる集会であなたの真実と救いを語り 慈しみとまことを
隠さずに語りました。**

主、私どもの神。イエス・キリストの恵みのうちに、私どもは、天においても、地上においても私どもの父であるあなたに向かいます。どうか人間に、あなたを、信仰をもって、確かな信頼をもって仰ぎのぞみ、多くの事柄がただ人間だけによって行われているように見える、この地上において、今日もあなたの御心が行われるのだということを学ばせてください。しかしあなたの御心はあらゆるもののなかにあるのです。そしてあなたの御心のうちに私どもは見るのです。あなたの御心のうちに私どもは立っているのです。あなたの御心のうちに私どもは希望をいただくのです。あなたの御心のうちに私どもは、あらゆることがらが、あなたのお名前のゆえに、正しく良いものとなるのだということを知ります。アーメン。

6月14日

ヨハネの手紙一 第5章4節 神から生まれた人は皆、世に打ち勝つからです。世に打ち勝つ勝利、それはわたしたちの信仰です。主、私どもの神。イエス・キリストの恵みにより、私どもは、あなたに祈り願います。どうかあなたの御心が私どもに、全世界になりますように！あなたが私どもを愛してくださっているとの、私どもがあなたの愛の中に生きているとの、あなたの愛の中に日々希望を抱き、こんなにもたくさんの方の不安と、こんなにもたくさんの方の災いがある、この地上で平和を得ているとの信仰を、イエス・キリストにより私どもにお与えください。どうか私どもが常に堅く立ち、忠実なものとしてください。私どもをあなたの平和のうちに、あなたが私どもに与えてくださいます、あなたの平安のうちに御守りください。なぜならイエス・キリストは世に打ち勝たれたからです。そうです主は世に打ち勝たれたのです。それを私どもは喜びます。そして私どもはあなたを、全能の神をたたえます。あなたがイエス・キリストを遣わしてくださったからです。キリストが世に、あらゆる悪に、あらゆる罪に、あらゆる死に打ち勝たれたからです。そして私どもは常にあなたの御前で喜ぶことが許されているのです。アーメン。

6月15日

ヨハネによる福音書 第1章14節 言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。

主なる神、私どもを助けて下さい。私どもあなたの御言葉を聞いたのです。私どもを助け、私どもの心がまったく救い主のもとへと至りますように。救い主は私どもをあなたの御腕の中へと導きます。どうか私どもの切なる願いを聞き届け、あなたの御顔を全世界に輝かせて下さい。あなたはまもなく新しい時を送ろうとされています。この地上での新しい救いです。あなたのお

名前をたたえるために。そして私どもがあなたから知っていますことがまこととなるのです。私どもの全生涯がまことへと至り、あなたの御名をたたえるため、天国へと入ることが許されているのです。ですから私どもの声をお聞き届け下さい、主なる神よ！あなたがずっと遠いところにおいでなのではと思うことしばしばなのです。しかし私どもの声はなおあなたのもとへと届きます。あなたの働き人により、あなたの聖霊により、主イエスをお助けしなければならぬのです。聖霊をすぐにお遣わし下さい、主なる神よ。私どもをあらゆる光へと、あらゆるまことへと導く慰め主をです！ですから私どもは私どもの日々の生活をあなたにおゆだね致します。私どもは忠実でありたいのです。そしてあなたは私どもを助けようとしてくださいます。それにより私どもはあなたの子供たちとなり、一步一步常に次のことを心に留めたいのです。私どもはあなたのもの、主なる神よ。たとえこんなにも地上が暗くとも、それでもなお、それでもなお、私どもはあなたのもとにあり、永遠にあなたの子供たちなのです。アーメン。

6月16日

ルカによる福音書 第9章23節 それから、イエスは皆に言われた。「わたしについて来たい者は、自分を捨て、日々、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。」

愛する天の父。あなたは、私どもの負債と私どもの惨めさとを担わせるために、私どもに主イエスを遣わしてくださいました。そして私どもをあらゆる悪から救い出すことができるように、このお方が既に来てくださったのですから、今日この日に至るまで喜ぶことが許されているのです。このお方が歩まれた十字架の道を理解するように私どもを教えてください。そしてどうかいつもこのお方の後を従わせてください。たとえ私ども自身が十字架と苦しみとを持つことがありましても。そして私どもが喜びをもってこの道を歩むことが許されますように。このお方があなたのお名

前をたたえるために歩まれた道をです、天におられる父よ。私どもはあなたの子どもたちとなりました。そしてあなたの栄光が来て、世の救い主イエス・キリストにおいて始まりましたこと、すべてが完成する時まで、あなたは私どもを守り、保ってくださいなのです。このお方の御言葉において私どもを祝福してください。私どもが歩む道すべてにおいて私どもを祝福してください。そして私どもを助けてくださいまして、私どもがイエスの正しい弟子となりますように！アーメン。

6月17日

詩編 第68編20-21節 主をたたえよ！ 日々、わたしたちを担い、救われる神を。この神はわたしたちの神、救いの御業の神 主、死から解き放つ神。

主、私どもの神、父。私どもはあなたに感謝致します。あなたは私どもにイエス・キリストの道を歩ませてくださるからです。思いのままに何が来ようとも、私どもは救い主のもの。私どもはあなたの子供たちであり、喜びたいのです。信仰にあふれ、希望に満ち、忍耐に満ちたいのです。なぜならあなたの憐れみは私どもを導き抜いてくださるからです。そうです。私どもはただ一人で歩む必要はありません。常にひとつの助けがありますから、私どもは日々、それを認めることが許されているのです。とても大きな危機の中にあってもです。どれほどの数、次のように口にせずにはいられないことを、私どもは体験することが許されるのでしょうか。「神よ感謝致します。神はここで助けてくださいましたし、あそこでも助けてくださいました。この世界のあらゆる悪にもかかわらず、神はすべての日々において助けてくださいます。この方に賛美と感謝と誉れが永遠にありますように！」と。アーメン。

6月18日

テモテへの手紙二 第1章9-10節 神がわたしたちを救い、聖

なる招きによって呼び出してくださったのは、わたしたちの行いによるのではなく、御自身の計画と恵みによるのです。この恵みは、永遠の昔にキリスト・イエスにおいてわたしたちのために与えられ、今や、わたしたちの救い主キリスト・イエスの出現によって明らかにされたものです。キリストは死を滅ぼし、福音を通して不滅の命を現してくださいました。

主、私どもの神、全能である方、いかなる時も明るく、光り輝く、力ある神。私どものかたわらにもいてください。そして私どもがイエス・キリストの恵みにより持つておりますものを強め、それが全世界に知らされ、あなたの御名があらゆるところであがめられますように。私どもはあなたに祈り願います。私どもを祝福し、どうかあなたの祝福が、あなたの御名がほめたたえられるために、私どもからさらに発せられますように。あなたが私どもにこんなにも長い年月、聞かせてくださいました、み恵みを、私どものうちに強めてください。そしてどうか、あなたの御言葉に属するすべてのものを生き生きとしたものとしてください。どうかこれを外の世界においても生き生きとしたものとしてください。なぜならあなたの祝福の中に私どもは行動したいからです。あなたの義とまこととをたたえるために、あなたの祝福の中に私どもは立ちたいからです。アーメン。

6月19日

イザヤ書 第54章10節 山が移り、丘が揺らぐこともあろう。しかし、わたしの慈しみはあなたから移らず わたしの結ぶ平和の契約が揺らぐことはない **あなたを憐れむ主は言われる。**

主、全能の大いなる神。私どもはあなたに感謝致します。あなたが救い主を賜物としてくださり、そこにおいて私どもは一つとなり、地上に平安を得ることができるからです。どうか救い主を人々

のもとで力強く働かせて、あなたの霊がもろもろの心の中にまで送られますように。そして人々は学ぶのです。あなたを自分たちの導き手として、神として知ることを。そして自分の人生において喜ぶことができることを。永遠の生命に定められている人生を。どうかあなたの御言葉によって私どもを祝福してください。どうか、あなたが私どもにしてくださる善いことすべてを祝福してください。信仰において、忍耐において、あなたが私どもに向けてくださるあらゆる恵みのうちに、どうか私どもの心が、常にしっかりとしたものとなり、強いものとなりますように。イエス・キリストの御名において、あなたのものであるべきすべての民を顧みてください。そしてあらゆる民が、父である神の栄光のゆえ、イエス・キリストは主であると告白できますように。私どもはあなたをたたえます。大いなる新しい日を、あなたがお造りになったすべての人間のもとにおこる救いを、あなたが約束して下さったからです。そして人々は知るので。何が自分たちの本来のつとめであるかを。何が自分たちに救いをもたらすことができるのかを！アーメン。

6月20日

テサロニケの信徒への手紙 第5章8－9節 しかし、わたしたちは昼に属していますから、信仰と愛を胸当てとして着け、救いの希望を兜としてかぶり、身を慎んでいましょう。神は、わたしたちを怒りに定められたのではなく、わたしたちの主イエス・キリストによる救いにあずからせるように定められたのです。

主なる神、全能のお方。あの日をもたらして下さい。イエス・キリストの日です。そのことにより私どもは一つとならなければなりません。そして私どもが兄弟、姉妹として、自分が人間であることを認め、この地上で平和を持つのです。新たにあなたの霊をお与え下さい、主なる神。どうか心を明るい、自由なものとしてくださり、あなたがお与え下さった御言葉を認め、苦難の中、悪

い時代においても、すべての約束を確信させてください。私どもと共にいてください！私どもの民と共にいてください！私どもの時代においても、私どもを助けてください、主なる神。私どもはあなたの平和を、ひとつの新しい平和を待ち望んでいるのです。古い平和ではありません。もう再び、心地良いもの、快樂、欲望ではありません。あなたの平和が私どもを天上の生活へと導き入れてくださいますように。そこで私どもはイエス・キリストを、生きておられるお方を、私どもの羊飼いであり、導いてくださるお方を見いだすのです！アーメン。

6月21日

ヨハネによる福音書 第17章24節 父よ、わたしに与えてくださった人々を、わたしのいる所に、共におらせてください。それは、天地創造の前からわたしを愛して、与えてくださったわたしの栄光を、彼らに見せるためです。

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。あなたはあなたの御子イエス・キリストにおいてあなたの栄光を明らかにされたからです。それゆえに私どもは今日もなお、それを見、感じる事ができるのです。それはこの世に対する勝利のゆえにイエス・キリストから来る、この栄光ある恵みです。あなたを信じるすべての人間のために来る、この力強い助けです。どうか『この』栄光も明らかにお示しくください。人間の心の中に信仰を、苦しみと悲しみがあるこの地上における、すべてに打ち勝つことが許されています信仰を、あなたが人間にお与えくださいました、この力を明らかにお示しくください。その力によりあなたを仰ぎのぞみ、あなたにあつて静けさを得、あなたにあつてあなたの助けが来ることを、すぐに、私どもが考えることができるよりもすぐに来られるということを常に希望しますように。なぜなら救い主が「見よ、私はすぐに来る！」とおっしゃいましたように、突然このことは来るからです。ですから私どもは終わりまで希望をいただき、

信じ、慰めを受けたいのです。アーメン。

6月22日

**ヨハネによる福音書 第20章21節 イエスは重ねて言われた。
「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」**

主、私どもの神。復活され、生きておられる方として私どもを囲んでくださる方、イエス・キリストの御名において、私どもはあなたに向かって私どものまなざしを上げます。そしてあなたに祈り願うのです。私どもを祝福してください！あなたの御言葉によって私どもを祝福してください。そしてどうか私どもの心をあなたにおいて静め、私どもをあらゆる不安から解き放ってください。今日の時代における不安からもです。なぜなら私どもはあなたに属するものだからです。この世に属するものではないのです。私どもはあなたにおいて平安を持ちたいのです。あなたに私どもはとどまりたいのです。そしてあなたは私どもをあなたの子供たちのためにと心をかけてくださいます。あなたは永遠に子供たちのことをお忘れになることはありません。ですから私どもを祝福してください。どうか私どもをあなたの御恵みによって豊かにしてください。あらゆる日々に新鮮に、繰り返し常に新しくです。なぜならあなたは、主、私どもの神は、私どもの父でい続けてくださるからです！アーメン。

6月23日

コロサイの信徒への手紙 第3章14－15節 これらすべてに加えて、愛を身に着けなさい。愛は、すべてを完成させるきずなです。また、キリストの平和があなたがたの心を支配するようにしなさい。この平和にあずからせるために、あなたがたは招かれ

て一つの体とされたのです。いつも感謝していなさい。

主、私どもの神。あなたの平和を私どもの心の中に置き、どうか私どもを、まことの平和と罪の赦しとのうちに、あなたにお仕えすることが許されている、あなたの子どもたちとしてください。この世とこの世のもろもろの罪を、あなたの目でごらんくださいまして、どうかこんなにも不幸で、人生における多くの苦しみの中でため息をつかないではいられない、すべての人間の住む全世界に新しいものを来たらせてください。しかしあなたの恵みは大きいのです。あなたの憐れみには境界がありません。救い主であられ、私どものためにご自身の血を流してください、今、苦しみと惨めさとの中にある人びとをも訪ねてくださることがおできになり、そしてご自身の平和と力とを彼らの心に置いてくださって、死が命となり、すべてがあなたをたたえるために仕えることになる、イエス・キリストにおいて、大いなる日が訪れる時、イエス・キリストのゆえにあなたは、この世に約束であります救いをもたらそうとしてくださるのです。主、私どもの神、天におられる私どもの父よ。私どもを祝福し、私どもの民を祝福してください！どうか天における命が、あなたを理解し、あなたの民となる人びとにおいて大いなるものとなりますように。主なる神よ、あなたの御国が完全に来て、全世界がそれを見ることが許される時まで。どうかあなたがあなたの御心をならせてくださいますように。イエス・キリストは、神であり、父である方の栄光のために、主であられるのです！アーメン。

6月24日

詩編 第123編2節 御覧ください、僕が主人の手に目を注ぎはしためが女主人の手に目を注ぐように わたしたちは、神に、わたしたちの主の目に目を注ぎ 憐れみを待ちます。

主、私どもの神、私どもは、あなたに向かい、私どもの心を高くあげます。あなたは、私どものあらゆる危機において私どもの助けなのです！あなたは私どもに、困難な時にもたくさんの良いことをしてくださいますから、私どもは多くの事柄の中に、常にあなたの光を見、あなたの助けを見ることが許されているのです。私どもは、この多くの事柄を、全能の神であるあなたにおいて耐えなければなりません。あなたはついには助けて下さいますから、私どもの時代はあなたにおいて明るくなるのです。ですからどうか私どもを、私どもの心に語りかけられるあなたの御言葉によって祝して下さい。そして私どもが歩むあらゆる道行きにおいて、あなたの大いなる恵みにより受けた通り、あなたにお仕えするため、私どもがすることを許されているあらゆることにおいて、私どもを助けて下さい！アーメン。

6月25日

ローマの信徒への手紙 第15章13節 希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる喜びと平和とであなたがたを満たし、聖霊の力によって希望に満ちあふれさせてくださるように。
主、私どもの神。私どもはあなたに祈り願います。私どもの心を強くし、私どもがあなたに常に支えられることがゆるされて、今日の時代が私どもにもたらすものを、喜んで担いますように。そしてなおこんなにも多くの悪が起きようとも、あなたの平安がすでに備えられていますことを、私どもは知っているのです。あなたの平安を私どもは待ち望み、あなたの御心が望みますとおりに、地上のあなたの民に善いことを、あなたが備えてくださいますとおりに、なるのだと、私どもはかたく信じる事がゆるされているのです。そしてついには、信仰によりこの世に打ち勝つあなたの民によって、他の諸々の民も何かを得ることがゆるされ、平安のうちにある、まことと、義と、救いの神である、あなたを見上げなければならなくなりますように。ですからすべての日々にお

いて私どもと共にいてください、主なる神！私どもを助けてください。私どもを祝福してください。そしてどうか善いことをし、必要なところで助けをもたらそうと試みるすべての者を祝福してください。私どもにより常に、あなたの御名がたたえられますように！アーメン。

6月26日

ヨハネの手紙一 第1章3節 わたしたちが見、また聞いたことを、あなたがたにも伝えるのは、あなたがたもわたしたちとの交わりを持つようになるためです。わたしたちの交わりは、御父と御子イエス・キリストとの交わりです。

主なる神。どうか私どもをあらゆる日々においてあなたとの交わりのうちに立たせてください。どうか、あなたの戒めを満たすために、私どもの心に備えができてるようにしてください。そしてあらゆることがらにおいて、あなたがお望みになることができますように、備えができてるようにしてください。もろもろの民のためにも、この世界のためにも、全世界のためにも、どうか私どもの祈りをお聞き届け下さい。どうかあなたの聖なるみ心になりますように。苦しみに悩んでいる者たちすべてにお心をおとめください。そして正しい道へと導いてください。あなたが導いてくださいます、どのような道を歩もうとも、どうか私どもが常に喜びのうちにあることができますように！あなたのみ名が私どもを助けてくださいますように。あなたの栄光が来ますように。世界があなたの愛と力と栄光によって満たされますように。アーメン。

6月27日

ペトロの手紙一 第1章15－16節 召し出してくださった聖

なる方に倣って、あなたがた自身も生活のすべての面で聖なる者となりなさい。「あなたがたは聖なる者となれ。わたしは聖なる者だからである」と書いてあるからです。

主なる神。聖なる方。私どもを聖なる者としてくださり、私どもを苦しめようとする、あらゆる地上のものから解き放ってください！私どもにあなたの御霊をお与え下さり、私どものなす事が正しいものとなりますように。隠れていることがらのうちでも、どうか私どもを常にあなたの御手のうちに歩ませて下さい。たとえもし全世界が誤った事をしようとしても、どうか、地上の至る所にいるあなたの子供たちをお守り下さり、正しいことを行わせて下さい。私どもの業をも聖なるものとしてくださり、あらゆる事柄においてあなたの御前に正しいものとなりますように。もろもろの民のもとでも、あなたの御恵みが大いなるものとなりますように。あなたの御手が強められて、あなたの時が来ますように。あらゆるものが新しいものとなる、あなたの日が来ますように。あなたの御名が聖なるものとされますように。あなたの御国が来ますように。あなたの御心が天になるように、地にもなりますように！アーメン。

6月28日

ローマの信徒への手紙 第8章19、21節 被造物は、神の子たちの現れるのを切に待ち望んでいます。つまり、被造物も、いつか滅びへの隷属から解放されて、神の子供たちの栄光に輝く自由にあずかれるからです。

主なる神。私どもはあなたに、あなたが私どもに、私どもがその中で栄えるようにと、あなたの創造の中に見させてくださるものすべてに感謝致します。どうかあなたの知恵と御力とが人間の事柄の内にも明らかにされますように。そして死と滅びとがその意志をとげることなく、あなたの善い、恵み深い御心が成りますように。どうか私どもの時代にも、人間ではなくあなたが、力ある

ものであり、ついにはあなたが、約束してくださっている、善いことすべてを行われるのだということを経験させてください。その義と聖なるものがもたらされるあなたの日には、あらゆるみじめさが、あなたの大きい憐れみにより取り除かれますように。あなたが私どもを今、守っていてくださいますように、私どもをお守り下さい。そしてどうかこの夜も私どもをあなた御守りの中にいさせてください。そして不運がありますところには、あなたがあなたの御心をもって、共にいてくださいますように。そしてあなたの御心が地上においても天においてのように成りますように。アーメン。

6月29日

詩編 第59編 17節 わたしは御力をたたえて歌をささげ 朝には、あなたの慈しみを喜び歌います。 あなたはわたしの砦の塔、苦難の日の逃れ場。

主なる神。私どもはあなたの御名をほめ、私どもの声が全世界へと出て行きますようにと願います。なぜならあなたは私どもに大きいなることを行ってくださり、私どもはイエス・キリストによってあなたのもとに来て、あなたを拝み、あなたをほめたたえ、あなたがわたくしどもにしてくださいます、こんなにもたくさんの良いものに感謝することができるからです。どうかあなたの子供たちすべてを守っていてくださって、信仰のうちにとどまり、福音を宣べ伝えることにも忠実でありますように。ですからどうか、あなたが今日してくださったすべてのことについて、私どもが今日もあなたに感謝をささげ、ほめたたえるものとしてください。私どもの知らない多くの心のうちにおいてもです。しかしあなたの御霊はすべ治められ、人々をあなたのもとへと呼ばれます。そして彼らも天の父であるあなたのもとへと来るのです。ですから私どもを守り、私どもをさらに祝福してください。そしてあなたの民に属する私どもを助けてください。そしてどうか私どもをお

守りください。この夜においてもです！アーメン。

6月30日

マタイによる福音書 第11章25節 そのとき、イエスはこう言われた。「天地の主である父よ、あなたをほめたたえます。これらのことを知恵ある者や賢い者には隠して、幼子のような者にお示しになりました。

主、私どもの神。私どもの光であり力である、あなたの御言葉に私どもは感謝致します。私どもはあなたに、あなたが私どもに与えてくださいます、すべてのことに感謝するのです。私どもが愚かな者、未熟な者に属することを許してくださいますことをあなたに感謝致します。私どもはこの世において大いなる者になろうとは願いません。私どもはただあなたのおそばで、あなたの子どもたちでいたいのです。未熟で小さな子どもたちです。しかしすべての人間の造り主であり父であるあなたに見守られているのです。ですからどうか私どもを祝福してください。日々の仕事においても私どもを助け、良い者、正しい者にしてください。そして私どもはあなたの子どもたちとなることができ、あなたが私どもにお命じになったことをすることができるのです。あなたのお名前が常に聖なるものとされますように。あなたの御国が来て、あなたの御心が、天においてのように地においてもなりますように。私どもの日々のパンを私どもに今日お与えください。私どもの負い目を許してください。私どもに負い目のある人を私どもも許しますから。私どもを試みにあわせないでください。そうではなく私どもを悪よりお救いください。国と力と栄えとは永遠にあなたのものだからです！アーメン。

7月1日

ルカによる福音書 第13章29節 そして人々は、東から西から、また南から北から来て、神の国で宴会の席に着く。

愛する天の父、全能の神！どうか朝から夕べまで、東から西まで、南から北まで、もろもろの民をあなたの御支配へと、あなたの裁きのもとへと来させてください！なぜならすべての民のもとで、あなたの御心はならねばならず、あなたの御名があがめられねばならないからです。もろもろの国はあなたのものです。なぜならあなただけが御国をお持ちだからです。あなたの天の御国は来なければなりません。人間がついには安息へと至り、自分たちがあなたの子どもたちであって、あなたに従わなければならないことを学ぶためです。なぜならあなたのキリストが、あなたの良い、恵み深い、まったき御心を、全世界にお打ち立てになられるからです。私どもはあなたに、あなたが私どもに与えようとしてくださいます、すべての良いことを感謝致します。どうかあなたの御使いが、この夜も私どもを守り、私どもがなし、またおゆだねなければならないすべてのことにおいて、私どもと共にいてくださいますように。あなたの御手の力を強めてください。そして私どもも、あなたが私どもにお与え下さいました、すべての良いことについて、私どもの心のうちに喜ぶことができますように！アーメン。

7月2日

箴言 第4章 11節〔原文12節〕 わたしはあなたに知恵の道を教え まっすぐな道にあなたを導いた。

愛する天の父。あなたは私どもの神であり、私ども人間を支配し、導くことがおできであり、私どもまわりにあつて私どもの心を揺り動かし、それ自身が私どもを混乱の中に引き入れようとする、多くの危機の中にあつても私どもの確信でありつづけてくださいます。しかし私どもはあなたに祈り願います。私どもを守り、どうかあなたの尊い神の御手が私どもを治めますように。それにより私どもが、あなたが私どもを何のために召しておられるのかを意識し続けて、あなたにお仕えすることができるように、私ども

の人生の中へと常に光を射し込ませてくださいます。もろもろの心があなたを感じ、イエス・キリストの御力が明らかにされようとする、地上の至る所で力強くいてください。そしてそれらの心があなたの栄光のためにその御業を知りますように。あなたがあなたの御手の中にいさせてくださいます、最も小さな、最も隠されてしまっている子供たちのかたわらにも、どこにでもいてください。それにより彼らが共に働く者たちとなり、地上のすべての民に、あなたがご自身を明らかにお示しになろうとされます、その時が来ますまで、勇気と確信をもって待ち続けますように。アーメン。

7月3日

フィリピの信徒への手紙 第1章6節 **あなたがたの中で善い業を始められた方が、キリスト・イエスの日までに、その業を成し遂げてくださると、わたしは確信しています。**

愛する天の父。私どもはあなたに感謝致します。あなたがなしてくださる御業について。あらゆる職業につくあらゆる種類の人々を通して、あなたが善いものをお与え下さったたくさんの心を通して、してくださる御業について。私どもはあなたに感謝致します。あなたの大いなる御業について。そのいただきには主イエスがおられます。忍耐と柔和とをもって、イエスはこの世を乗り越えられるのです。常に扉を大きくお開きになっておられます。貧しい者たちの中の最も貧しい者すべてがあなたのもとへと、天においでになる父のもとへと行けるように！私どもが光を持っている限り、どうか私どもを常にしっかりと立たせてください。私どもを試みにあわせず、悪より救い出してください。国と力と栄えとは限りなくあなたのものであるからです！アーメン。

7月4日

ローマの信徒への手紙 第8章31-32節 では、これらのことについて何と言ったらよいだろうか。もし神がわたしたちの味方であるならば、だれがわたしたちに敵対できますか。わたしたちすべてのために、その御子をさえ惜しまず死に渡された方は、御子と一緒にすべてのものをわたしたちに賜らないはずがありませんか。

主、私どもの神。天においても、地においても私どもの父である方。私どもは、あなたに願い求めます。あなたの子供たちである私どもを祝福して下さい。私どもはあなたの子供であることの他には、何も望まないからです。そして、イエス・キリストを通して、この地上に救いの御業をおはじめになり、私どもの救い主である、このお方を通して救いを完成しようとされている、全能の神である、あなたに、私どもが属するものであるとの思いのうちに、楽しみと喜びとを持ちたいのです。ですから、どうか私どもに対するあなたの御言葉を祝福して下さい。苦しみや悲しみの中においても私どもを強めてください。あらゆることにおいて、私どもにとって、しばしばつらいことになろうとも、私どもはあなたに仕えることがゆるされているからです。わたくしどもにおいてあなたの御名が聖なるものとされますように。あなたの御国は来ます。あなたの御心は、この大地があるぐらい確かに行われます。あなたの御心は、天においてのように、地上でも行われるのです！アーメン。

7月5日

ローマの信徒への手紙 第8章22-24節 被造物がすべて今日まで、共にうめき、共に産みの苦しみを味わっていることを、わたしたちは知っています。被造物だけでなく、“霊”の初穂を

いただいているわたしたちも、神の子とされること、つまり、体の贖われることを、心の中でうめきながら待ち望んでいます。

わたしたちは、このような希望によって救われているのです…

主、私どもの神。あなたが私どもにお与え下さった大いなる使命に感謝致します。この時代、この世界のあらゆる悪事の中においても、先駆けとなる使命です。信仰において、希望において、あなたが私どもを良いゴールへと導いて下さり、あなたの子供として、私どもを解き放ってくださいます。そうすることにより、全人類に、新しい霊と、新しいいのちと、新しい力とが来て、今も、永遠にまでも、あなたに仕え、先駆けするという使命です。あなたのお名前がたたえられますように。私どもが常に希望を持ち続けることが許されますように、そうすることにより、いかなるものも私どもを失望させることはないのです。すべてが、あなたの大いなる目的に従って良いもののために共に働くに違いないのです。私どもはあなたに祈り願います。あなたのあわれみが全世界へと来ますように。イエス・キリストによる恵みの中で、あなたが目を注いで下さっているすべての人々に、あなたのあわれみが来ますように。あなたはキリストを私どもの真ん中に救い主として置かれたのです。アーメン。

7月6日

ローマの信徒への手紙 第8章 15－16節 あなたがたは、人を奴隷として再び恐れに陥れる霊ではなく、神の子とする霊を受けたのです。この霊によってわたしたちは、「アッバ、父よ」と呼ぶのです。この霊こそは、わたしたちが神の子供であることを、わたしたちの霊と一緒にあって証ししてくださいます。

愛する天の父。私どもの心を開いてください。そして私どもが父よと口に出して言う時に、私どもが高きものを理解できますよう

に。そしてあなたと結ばれることが許されますように。そこにこそ私どもに必要な、すべての生きる力があるのです。すべての救いもあるのです。それにより私どもは正しく、またまことに生きることができるのです。たくさんの経験により私どもにのしかかる圧力をどうか私どもから取り除いてください。そして私どもをまったく自由に、あなたの御手のうちにある人間として立たせてくださいますように。あなたがイエス・キリストにより私どもに与えてくださる力により、すべてが克服されますから、私どもは喜ぶことが許されるのです。不安とすべての悪しきものから私どもをお守りください。そしてあなたが善い、大きな目標を、地上の人間にお示しくださることを、ますますお証ししてください。そして今日、なおあります、あらゆる圧力の下でも、人々が幸せになりますように。アーメン。

7月7日

イザヤ書 第65章17節 見よ、わたしは新しい天と新しい地を創造する。 初めからのことを思い起こす者はない。 それはだれの心にも上ることはない。

主、私どもの神。私どもはあなたに、あなたが今私どもにしてくださいますこと、またこれまでしていただきましたことすべてに感謝致します。苦難と死からのあらゆる救出に、あなたが私どもを聞き届けてくださるのだと、あなたが私どもに与えてくださいますしるしに感謝致します。私どもはあなたに私どもの希望を置いて、何事においてもあきらめることなく、何事においても弱くなりませんので、罪も死も私どもを恐れさせないのですから。なぜならあなたは私どもと共にあらゆるところにおいていてくださいます。私どもの不完全さによっても、あなたが私どもにますます良いものをお与えくださいますことをさまたげることはない

からです。どうか私どもの心の中の光を決して消さないでください。それにより私どもは天と地とをのぞき込むことができ、今日、私どもに向かって来ます、良いものを認めることができるのです。どうか私どもに喜んでいさせてください。あなたをたたえるため、生きて行くあらゆる道行きにおいて力強い、交わりにありますように。アーメン。

7月8日

**詩編 第34編 18－19節 主は助けを求める人の叫びを聞き
苦難から常に彼らを助け出される。主は打ち砕かれた心に近くいまし 悔いる霊を救ってくださる。**

主、私どもの神、天と地の私どもの父。私どもはあなたに感謝致します。あなたはわたしのものである！とあなたが呼んでくださいます一つの民を持っていてくださるからです。どうか私どもをそれに加わらせてください。どうか私どもを常に、私どもがあなたのものであるとの、信仰において強くしてください。それにより私どもも、あなたの御支配とあなたの御支配の正義とを経験することができるのです。わたくしどもの歩むあらゆる道行きにおいて、地上における私どものあらゆる時において私どもをお守り下さい。悪い時なのです。しかし何が来ようとも、私どもはひとりひとりが私どもの心において、私どもはあなたのものである！との確信を持っています。あなたが私どもをもうずっと長く守り、保って来てくださったのです。私どもは常に私どもの信仰の告白を口に致します。主、私どもの神よ、イエス・キリスト、私どもの救い主を通して、私どもはあなたのものです！と。アーメン。

7月9日

エフェソの信徒への手紙 第3章 16節 どうか、御父が、その豊かな栄光に従い、その霊により、力をもってあなたがたの内なる人を強めて〔くださるように〕

主、私どもの神。あなたは私どもの父であり、私ども人間は、私どもの内なる人と共に、私どもがどこに属しているのかを知っていて、あなたに祈り願うのです。あなたの御霊により、私どもをかたくとらえてください。それにより私どもが低い所へと至ることなく、私どもの目的地である、高いところ、永遠であるところにとどまりますように。どうか私どもが体験するあらゆることが、私どもに最も善いように働いて、あなたがあなたの御霊によって私どもを支配してくださっていることを確信し、また外の世界でも善をおすすめになり、ますます多くの人間がすべての善いもの、正しいもの、完全であるものに対して、繊細で敏感な感情を持つようになりますことを確信して、私どもが常に喜び続けることができますように。アーメン。

7月10日

詩編 第95編6－7節 わたしたちを造られた方 主の御前にひざまずこう。 共にひれ伏し、伏し拝もう。主はわたしたちの神、わたしたちは主の民 主に養われる群れ、御手の内にある羊。 今日こそ、主の聲に聞き従わなければならない。

主、私どもの神。あなたから来るもの、永遠であるもの、善いもの、正しいもの、まことであるものを、どうか私どもにおいて強いものとしてください。そしてそれが外に向かっても、ますます働いて、苦難と死をも乗り越えて、私どもが勝利することができますように。そしてまた私どもにとってなお謎であることすべてにおいても、「あなたの御霊とあなたのお名前をたたえるため、善いもの、いのちあるものが来るに違いない」と確信して、安らかに待つことができますように。私どもはみずからあなたの御手にゆだねます。私どもとともにいてください。私どもの人生が召しである職を得て、私どもの外面的な仕事においても、私どものすることすべてにおいても、あなたの御霊が私どもの内に置いてくださいました、高貴なものを感じる事が許されますように！ア

ーメン。

7月11日

ヘブライ人への手紙 第10章22節 心は清められて、良心のとがめはなくなり、体は清い水で洗われています。信頼しきって、真心から神に近づこうではありませんか。

主、私どもの神。私どもをまことにあなたの一人子イエス・キリストと結びつけてくださり、キリストの力が私どもに明らかとなることができますように。そして私どもが、私どもがまことにあなたにお仕えすることができる、新しい人生を見いだしますように。あらゆる誤りから私どもを守り、あなたの御霊と共に私どものもとにいてくださり、私どもがまことの人となりますように。もろもろの時がますますあなたの御心で満たされますように。あなたの御心が新に来て、新しい創造がもたらされ、私どもに与えられました御約束による、新しい天と、新しい地とがもたらされますように。あなたのお名前が私どもにおいて大いなるものとなりますように。あなたの御国が来て、天においても地においてもすべてがあなたの御心の通りになりますように。アーメン。

7月12日

ガラテヤの信徒への手紙 第2章20節 生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。わたしが今、肉において生きているのは、わたしを愛し、わたしのために身を献げられた神の子に対する信仰によるものです。

全能の神。あなたはあなたの目を私どもの上に開いてくださり。イエス・キリストはどなたでられるのか、という事の中へと導いてくださいます。それによりイエス・キリストは私どものうちで生き生きしたものとなられます。まことに生き生きしたものとなられるのです。そして私どもは喜びに満たされて、天にある世

界に属するものとなることが許され、すべての日々に、あなたの御子イエス・キリストへの信仰に生きることが許されるのです。あなたが私どもに既に体験させてくださいました、こんなにもたくさんの方のことを、あなたに感謝致します。私どもはあなたに心から感謝致します。あなたは、いまだ完全な信仰にあるわけでない私どもにも、それにもかかわらず大いなる憐みにより、こんなにもたくさんの方の善いことをしてくださるからです。そして私どもはあなたに祈り願うのです。どうか私どもの心を光の中に置いてください。忍耐と敬虔さの中に置いてください。なぜなら、そうであるならば、貧しい人の子供たちである私どもに、ますますあなたの御名をたたえるためのことが起きうるからです！アーメン。

7月13日

ヨハネの手紙一 第3章2節 愛する者たち、わたしたちは、今既に神の子ですが、自分がどのようになるかは、まだ示されていません。しかし、御子が現れるとき、御子に似た者となるということを知っています。なぜなら、そのとき御子をありのままに見るからです。

主、私どもの神。あなたは力あるお方であり、私どもを子供たちと呼んでくださり、それにより私どもはあなたの御霊からいくらかでも得ることができるのです。私どもを窮乏している者たちとしてごらんください。常にあなたからいくらかでも満たされることが必要であり、それにより私どもの人生において強められて、私どもにふりかかる、戦いを貫き通すことができるのです。暗闇のあるところに、なお多くの闇が支配しており、いったいどうなるのか私どもにはわからないところにも、どうか光を来たらせてください。どうかあなたのまことと正義のみを勝利あふれるものとしてくださり、すべての人間のための私どもの願いをお聞き届けください。どうかすべての人間があなたが約束してくださいましたものへと来て、自分たちも、あらゆることを貫いてあなたの

子供たちであることを知ることが許されますように。アーメン。

7月14日

ホセア書 第2章 21－22節 わたしは、あなたととこしえの契りを結ぶ。 わたしは、あなたと契りを結び 正義と公平を与え、慈しみ憐れむ。わたしはあなたとまことの契りを結ぶ。 あなたは主を知るようになる。

主、私どもの神。私どもはあなたに祈り願います。私どもの心と思いの中に正しい光を灯してください。そしてそれにより私どもが自らを知り、私どもがあらゆる誤りと、不真実とから自由になることができますように。どうかこの正義の光を、このさばきを、あらゆる民のうちに行ってください。そしてあなたの恵みとまこととが、正しい基盤の上に据えられ、もはや言葉ではなく御業の上に、あなたがさばいて、私どもの地上での生活を正しくしてくださる、あなたご自身の上に据えられますように。私どもはあなたに感謝し、多くの経験の中で、たとえそれが痛々しいものであっても、次のように言えますように。どれほど苦しみがあろうとも、恵みの神が、私どもの上に御翼を広げてくださったのではないかと。アーメン。

7月15日

イザヤ書 第61章 10節 わたしは主によって喜び楽しみ わたしの魂はわたしの神にあって喜び躍る。 主は救いの衣をわたしに着せ 恵みの晴れ着をまとわせてくださる。 花婿のように輝きの冠をかぶらせ 花嫁のように宝石で飾ってください。

主、私どもの神、私どもはあなたに祈り願います。どうか私どもにあなたの御霊の力を見出させてください。それにより私どもの人生をより高いものとし、私どもが低いところにとどまらないで、

力を与えられて人生の戦いを自分で引き受けることができるようにしてください。どうか私どもを御霊の子どもたちとし、御霊のうちを歩ませてください。あらゆる怠慢から私どもを守り、私どもが常に強くなることができ、喜んで、私どものあらゆる道行きにおいて御言葉と助けとを与えてくださって、私どもがあなたをほめたたえ、あなたが私どもの神であり、私どものまことの助けであると、証しするものとしてください。アーメン。

7月16日

ミカ書 第7章7-8節 しかし、わたしは主を仰ぎ わが救いの神を待つ。 わが神は、わたしの願いを聞かれる。わたしの敵よ、わたしのことで喜ぶな。 たとえ倒れても、わたしは起き上がる。たとえ闇の中に座っていても 主こそわが光。

愛する天の父。私どもはあなたの子供たちとしてあなたの御前に立ち、貧しい者たち、困窮している者たち、しばしば、みじめで、苦しみを受けている者たちとして、あなたを仰ぎのぞむのです。どうか、あなたが、あなたの目を私どもにとめてくださり、私どもが必要とする助けを与えてください。私どもがイエス・キリストのお名前により集まります時には、私どもを祝福してください。どうか私どもがお互いにひとつの群れとなって、たとえしばしば困難で厳しくなろうとも、人生のあらゆる道行きにおいて、あなたにお仕えすることを学びますように。あらゆる瞬間において、私どもに正しい信仰、喜び、信頼を与えてください。そしてあなたがあなたの子供たちとともにいてくださり、救いが来る大いなる時まで永遠にいつづけてくださいますように。その時、私どもは、過ぎ去ったすべての人々、また今日生きている人々とともに、喜ぶことがゆるされるのです。アーメン。

7月17日

イザヤ書 第61章1-2節 主はわたしに油を注ぎ 主なる神

の霊がわたしをとらえた。 わたしを遣わして 貧しい人に良い知らせを伝えさせるために。 打ち砕かれた心を包み 捕らわれ人には自由を つながれている人には解放を告知させるために。 主が恵みをお与えになる年 わたしたちの神が報復される日を告知〔させるために。〕

主、私どもの神。あなたはイエス・キリストにある人々の光であります。喜びにあふれ、確信して、私どもはあなたに願い求めます。どうか、あなたの全能と、あらゆる闇、あらゆる罪、あらゆる死、あらゆる縄目に対するあなたの力と私どもを結びつけてください。このあなたの全能の代わりに私どもを入れて、私どものため息をお聞き下さい。私どもはあなたの子供たちであり、そうありつづけるのですから。あなたは私どもに救いと解放を約束してくださいました。私どもは皆共にその約束の中にあり続け、あなたの御前で言うのです。「私どもは、救い主、あなたが遣わしてくださいましたイエス・キリストにあって、あなたの子供たちであるのです」と。どうかあなたの子供たちの願いをお聞き届けください。あなたの子供たちである一人ひとりすべてを祝福してください。一つの民として、この時代、この世界の、あらゆる悲惨の中で、あなたに仕えることが許されている一人の僕として祝福してください！アーメン。

7月18日

ヨハネによる福音書 第4章23-24節 しかし、まことの礼拝をする者たちが、霊と真理をもって父を礼拝する時が来る。今がその時である。なぜなら、父はこのように礼拝する者を求めておられるからだ。神は霊である。だから、神を礼拝する者は、霊と真理をもって礼拝しなければならない。

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。あなたは、わたくしどものもとで、私どもの父となってくださいからです。そして私どもは、地上においてあなたの子供であることが許されて

います。あなたの子供となって、私どもも、自分の人生を、霊とまことにおいて見いだす事ができるのです。地上においても、私どもの人生が、どのようにあなたの御霊によって高められることができるのか。人間として持つ事ができないようなものへと、どのように導かれることができるのかを、私どものひとりひとりに気づかせ、体験させて下さい。そして、私どもの地上での職業も、人生の外側のものに対するあらゆる努力、あらゆる戦いも、いくらかより高いものを得て、低いもの、小さいもの、過ぎ去ってしまうものではあるが、なお私どもが関わらなければならない、地上的な事柄へと陥ってしまうことがありませんように。あなたがあなたの子供たちに、むかしからしてくださいましたことすべてに感謝致します。私どもをさらに助けて、あなたにお仕えすることに喜び、日々、あなたに感謝致しますように。アーメン。

7月19日

コリントの信徒への手紙二 第12章9節 **すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。だから、キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。**主、私どもの神。私どもがあなたの子供たちと呼ばれることが許されていますのを私どもは喜びます。そしてあなたに祈り願うのです。あなたが私ども、弱い者たちを、あなたの御手のうちに支えてくださり、私どもを、希望において、信仰において強めてくださいますように。私どもの生活は正しい道へと向かわねばなりません。それは私どもが強い者たちであるからではなくて、あなたが私どもを守ってくださるからなのです。どうか私どもに、あなたの御霊によって、あなたが私どもと共にいてくださいますことを、ますます経験させてください。そして、あなたが私どもに何かを告げようとされます時には、日々の生活の中にあっても私どもに注意深さをお与えくださいますように。あなたの御名をた

たえるために、この地上においてあらゆる善いものと真理とが促されますように、どうかあなたがあなたの御国の力と栄光とを、多くの人間の中で明らかにお示してください！アーメン。

7月20日

エレミヤ書 第32章38－39節 彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる。わたしは彼らに一つの心、一つの道を与えて常にわたしに従わせる。それが、彼ら自身とその子孫にとって幸いとなる。

主、私どもの神。私どもにまことの心をお与えくださり、私どもが力を感じて、その心から生まれたものでないものは拒むこともできますように。それにより私どものもとですべてのことがまこととなり、偽りが忍び入ることがありませんように。そうではなくて正直なこと、善いことが私どもの心に生まれ、すべてのまこと、すべての福音、すべての大いなる希望をたたえますように。その希望はあなたが福音により人間にお与えくださるのです。私どもの心の中で私どもをお守りください。そして善いものが植えられたものには、あなたの守りがあり、それが成長し、増し加わり、実りをもたらしますように！アーメン。

7月21日

詩編 第84編2－3節 万軍の主よ、あなたのいますところはどれほど愛されていることでしょうか。主の庭を慕って、わたしの魂は絶え入りそうです。命の神に向かって、わたしの身も心も叫びます。

主なる神。私どもの魂はあなたと、あなたの栄光を思い焦がれるのです。そしてついに御心は成った。今やあなたの御国が来る。すべてのものが明らかとなって、私どもも自分たちが体験したすべてのことを振り返る、あなたの日が来る、そう言われます、その日を思い焦がれるのです。私どもはあなたに感謝致します。私

どもは恐れることなく生きることが許されており、繰り返し常に生き生きとしたもの、新しいものとされて、あなたがこの地上でお与えくださいます、善いものを待ち望んでいるのです。私どもが歩むべき道を常に私どもにお示してください。私どもの心を祝福し、私どもの心が、苦しみや死にある時も、悲しみや不安にある時も、常に光を持ち、力を持つことができますように。救いはあなたのものであり、私どもの魂の救いはあなたものなのです！あなたこそ救いなのです、主、私どもの神。あなたを私どもは今日も、すべての日と同じように信頼するのです。私どもはあなたの御名をたたえ、全世界にあなたの日を備えてくださいます、あなたに希望を置くのです。そして人びとの心に光が生まれるのです。アーメン。

7月22日

ルカによる福音書 第22章28－29節 **あなたがたは、わたしが種々の試練に遭ったとき、絶えずわたしと一緒に踏みとどまってくれた。だから、わたしの父がわたしに支配権をゆだねてくださったように、わたしもあなたがたにそれをゆだねる。**

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。私どもはあなたの子供たちであり、あなたの御霊に希望を置くことが許されているからです。御霊は私どもを、あなたがあなたのために育てようとされ、この地上におけるその人生において、あなたに仕えることが許されている人間として、ご支配されるのです。私どもはあなたに願い求めます。どうかわたくしどもを子供らしくさせてください。そしてあなたの御霊がわたくしどもをますます支配することができますように、またそれによりあらゆるところにいる多くの人々に、良いものを生じさせてください。自分たちがただ

過ぎ去ってしまう命ではなく、あなたにおいて生き、行い、あなたにおいてさらに良いものを体験することが許されることを知りますように。そしてそれは地上のあらゆる民の上に起こるべきことです。アーメン。

7月23日

使徒言行録 第4章 12節 ほかのだれによっても、救いは得られません。わたしたちが救われるべき名は、天下にこの名のほか、人間には与えられていないのです。〔ただイエスの名のみ他には、救われません。〕

愛する天の父。私どもはあなたに感謝致します。あなたは私どもに、あなたの御子のお名前として、イエス・キリストのお名前を明らかにお示しくくださったからです。この方は私どもをあなたの子供たちとしてあなたのみもとへと導いてくださいます。どうかあなたの御手を私どもの時代に、苦しみ、死んで行く、すべての者たちの上に、明らかにお示しくください。そしてどうかあなたがあなたの御手を働かせてくださり、まもなく新しい時が、まことの神の時、救い主の時代が来ますように。それはもうずっと前から約束されておりましたことが成就する時なのです。私どもを、この夜もお守りくださり、私どもを祝福して、どうかあなたの御手を苦しみにある時も私どもの上に強くしてください。悲しみの中にある時も、あなたの御名があがめられますように。この世界のあらゆる悪い存在のまっただ中を貫いて、あなたの御国が来ますように。そしてあなたの御心が天においてのように地にもなりますように！アーメン。

7月24日

詩編 第102編 26－28節 かつてあなたは大地の基を据え

御手をもって天を造られました。それらが滅びることはあるでしょう。しかし、あなたは永らえられます。すべては衣のように朽ち果てます。着る物のようにあなたが取り替えられるとすべては替えられてしまいます。しかし、あなたが変わることはありません。あなたの歳月は終ることがありません。」

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。あらゆる日々において、あらゆる年々において、あなたは光を照らしてください、困難な時代においても、私どもは、その右手がすべてを整えて、正しいものとしてくださる、あなたを仰ぎ見る事が許されているからです。どうか、私どもがこのような時代にも持ちこたえて、あなたをたたえることができますように、私どもの心を強めて下さい。あなたはこの地上において、欲するままに何が起きようとも、あなたは変わらずにおられるのです。あなたは私どもの神です。あなたは私どもに救い主を遣わしてくださいました。あなたのもとへと私どもは行くことができますのです。なぜならあなたの約束が私どもを堅く立たせて、あなたのお名前をたたえるために、あなたの日は来て、真実と正義とが実現するのです。どうか多くの心があなたの方へと向いて、彼らすべてがあなたを拝み、私どもの救い主イエス・キリストをたたえるために、助けを呼び求めることができますように。アーメン。

7月25日

詩編 第90編 17節 わたしたちの神、主の喜びが わたしたちの上にありますように。 わたしたちの手の働きを わたしたちのために確かなものとし わたしたちの手の働きを どうか確かなものにしてください。

愛する天の父。あなたはこの地上に良いもの、美しいもの、喜びに充ち満ちたものをお造りになって、人間があなたのみわざのうちに働くことができるようにしてくださいます。私どもは、私どもが体験する、このすべての良いことをあなたに感謝致します！

どうか私どもを、あなたに仕えるために結ばれた、あなたの子供としてください。そしてどうか私どもの人生を、他の人々にとっても喜びとしてください。そして私どもが、私どもを感嘆させ、力づけ、たとえつらくとも、あらゆる日々に私どもを助ける、あなたの大きいなる、力強い愛のうちに止むことなく良いことをなしますように。あなたの御名が世界中でたたえられますように。あなたの御国が来ますように。あなたの御心が天においてなるように、地においてもなりますように。アーメン。

7月26日

詩編 第119編89節 主よ、とこしえに 御言葉は天に確立しています。

主、私どもの神。私どもはあなたにあなたの御言葉を感謝致します。御言葉は私ども人間の生において最も大きいなるものであり、最も栄光あるものであり、私どもはすべての日々において、あなたが私どもにしてくださること、あなたがいかに私どもを助けてくださるかということにおいて、喜びたいのです。繰り返し常に、私どもは新たな助けを、生きるための新しい力と新しい勇気とを体験することができるのです。それによって私どもは喜びます。なぜならあなたの御言葉がそれを私どもに与えてくださるからです。そして私どもは永遠の生命であるイエス・キリストを見出すため、求めに求めます。あなたの御国を建てるため、主は確かにおいでになります。永遠なる、栄光なる、全能の神、あなたの御名がほめたたえられますように！貧しい、小さな人間である私どもと共にいてください。そして御霊により私どもを強めてください。そしてあなたの御言葉が約束してくださいました、すべてが成し遂げられるまで、私どもが忍耐できますように！アーメン。

7月27日

ヨハネによる福音書 第10章16節 わたしには、この囲いに入

っていないほかの羊もいる。その羊をも導かなければならない。その羊もわたしの声を聞き分ける。こうして、羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる。

主、私どもの神。私ども人間をひとつのものとしてください！あなたの御霊をお与えください。それにより私どもがあなたを知ることが許してください、私どもの心が、私ども自身のためだけではなく、他の人々のためにも喜ぶものとしてください。地上の悪を滅ぼしてください。反抗、あらゆる嘘と欺き、もろもろの民が持つ、あらゆる憎しみを滅ぼしてください。あなたを知ることにより、ひとつとなれないこと、あらゆる争いを滅ぼしてください。それによりあなたの御国が地上に成り、私どもも、人間がすでに地上に持つことを許されています、永遠の御国を喜ぶことが許されますように。そして人間が幸せになり、まことにあなたの子供たちとなりますように。そうですあなたの子供たちに私どもはなりたいのです、主なる神よ。あなたの御手のうちにある、あなたの民、あなたの人間になりたいのです。それによりあなたの御名が聖なるものとされ、あなたの御国が来て、あなたの御心が、天においてのように地上においてもなりますように。アーメン。

7月28日

ローマの信徒への手紙 第5章20-21節 律法が入り込んで来たのは、罪が増し加わるためでありました。しかし、罪が増したところには、恵みはなおいっそう満ちあふれました。こうして、罪が死によって支配していたように、恵みも義によって支配しつつ、わたしたちの主イエス・キリストを通して永遠の命に導くのです。

主、私どもの神。私どもは祈り願い、乞い求めつつ、あなたの御前に歩み出るのであります。あなたは世が必要とするものをこの世にもたらそうとしてくださいます。そして世はあなたに仕え、人間はあらゆる苦しみから救われたいと願うのです。どうかこの私ども

の時代にあつて、私どもの罪を担って下さった、イエス・キリストの御力が明らかに示されますように。そしてこの地上には正義が行われ、人間は生きることを許され、時が満ちれば、あなたがもたらして下さるあなたの救いを見るのです。どうか外にあるこの世でも、あなたの御力が明らかに示されまして、あなたの御心が行われ、あなたの御名が聖なるものとされ、この心乱れる厳しい時代の中でも、すべてが正しく行われますように。あなただけが助けることがおできになるのです。主なる神よ。あなただけがすべての民の上で救い主であられるのです。あなたはあなたの大いなる憐れみにより平和を生み出すことがおできになります。ですから私どもはあなたを仰ぎ望むのです。そして私どもがあなたの御言葉を味わうなら、あなたが、私どもの時代に成就されなければならない大いなる約束をお与えくださったことを、私どもは思うのです。アーメン。

7月29日

ローマの信徒への手紙 第14章9節 キリストが死に、そして生きたのは、死んだ人にも生きている人にも主となられるためです。主、私どもの神、あなたが私どもにお示し下さいます愛に感謝致します。それにより私どもは、弱さと病とから、罪とみじめさとから救われ、私どもの天の父である、あなたに誠実にお仕えするための力を得るのです。どうか私どもを、私どもの心に掛かるあらゆることにおいて、私どもの人生において祝福してください。人生の戦いが、あなたの憐れみにより正しく導かれるためなのです。どうか私どもを、私どもの時代において祝福してください。正義が優勢となり、私どもは平安の中においても、再び生きることが許されて、あなたを永遠にたたえるためなのです。ですから

私どもを、あなたの子供たちとして永遠にお守り下さい。そしてどうかあなたの御名があがめられ、あなたの御国が来て、あなたの御心が天においてのように地においてもなりますように。アーメン。

7月30日

テモテへの手紙二 第1章7節 神は、おくびょうの霊ではなく、力と愛と思慮分別の霊をわたしたちにくださったのです。

主、私どもの神。私どもはあなたの子供たちであり、あなたに祈り願います。あなたは、私どもの心にかかることすべてにおいて、聞き届けようとしてくださいます。なぜならあなたから私どもは助けをいただきたいからです。人からではありません。思想や演説からでもありません。あなたの御力が私どもの時代に明らかに示されますように。なぜなら私どもは、平安が来り、人も別物と変えられる、新しい時代を慕いこがれているからです。私どもは、貧しく、うちひしがれた人類の上に、あなたの御力が明らかに示されます、あなたの日を慕いこがれます。ですから私どもと共にいてください。そして私どもの心に、私どもがとどまり続けることができ、イエス・キリストの恵みによって強くなれる何かをお与えください。アーメン。

7月31日

詩編 第4編7節 恵みを示す者があろうかと、多くの人はいまします。主よ、わたしたちに御顔の光を向けてください。

主、私どもの神。心をつくして私どもはあなたの御前に歩み出ます。私どもの心は言葉と、あこがれと、信仰とをもって、常にあなたの御前にあるべきなのです。あなたが私どものもろもろの問題を正しく導いてくださるために。どうか私どもを、私どもの神

として、父としてお守り下さい。危険に陥りそうな者、すでに危険の中に陥ってしまっている者すべてをお守り下さい。どうか死に行く者たちに、あなたの大きい愛とあなたの啓示とを心の中に知らしめてください。そして私どもの心を互いに集めて、私どももあなたのうちに、あなたへの信仰のうちに、そしてあなたへの希望のうちに交わりを持つことができますように。どうか私どもを、夜においてもお守り下さい。あらゆる私どもの問題にあっても休息を得るために。なぜならあなたは、一人ひとりの人のそれぞれの問題をも、それを御手の内にお持ちであるからです。なぜならあなたの御手のうちに私どもはあるからです。主なる神、私どもの父。あなたの御手のうちに私どもはあり続けたいのです。あなたの御手はすべてのものを良くしてくださることができるのです。あなたの御名がほめられますように！アーメン。

8月1日

コリントの信徒への手紙一 第2章9－10節 しかし、このことは、「目が見もせず、耳が聞きもせず、人の心に思い浮かびもしなかったことを、神は御自分を愛する者たちに準備された」と書いてあるとおりです。わたしたちには、神が”霊”によってそのことを明らかに示してくださいました。”霊”は一切のことを、神の深みさえも究めます。

主、私どもの神。私どもを共に、あなたの御霊によって祝福して下さい。そして、あなたと結ばれ、あなたのご支配に入れて下さいますことにより、私どもの心が慰められますように。私どもが生き、その人生において戦い、そして忍耐しなければならない事柄においても、私どもを慰め続けてください。なぜなら、私どもはあなたのものであり、私どもをあなたの子供として支配し、導いて下さるからです。あなたに願い求める者すべてを限りなくお

守り下さい。たとえあなたのことをしばしば理解しないようなことがあっても、すべての良い心をお守り下さい。彼らを守り、あなたの御国を来たらせて下さい。あなたの御心がますます多くの人々を通してなりますように。もうその人たちは、あなたを問はずね、あなたの御心である良いものとまことであるものとの問はずねる他ないのです。どうか私どもも、多くの者たちとともに、私どもの全生涯をもってあなたにお仕えさせて下さい！アーメン。

8月2日

エフェソの信徒への手紙 第1章3－4節 わたしたちの主イエス・キリストの父である神は、ほめたたえられますように。神は、わたしたちをキリストにおいて、天のあらゆる霊的な祝福で満たしてくださいました。天地創造の前に、神はわたしたちを愛して、御自分の前で聖なる者、汚れのない者にしようと、キリストにおいてお選びになりました。

私どもはあなたに感謝致します。天の父。私どもはあなたの導き、あなたのご支配を感じる事が許されているからです。私どもは繰り返し常に、困難な日々にあっても、喜びに満たされあなたを賛美したたえる、生き生きと生きる者たちに加わることが許されています。そうですまさにそのような時にこそ私どもは感謝する者たち、繰り返し常に確信の中に生き、あなたがこの地上にお与えくださいます、善いものを体験することが許されています、喜ぶ者たちに加わりたいのです。そしてこの人間の世界は栄え、ついにはあなたの御手に入るのです。アーメン。

8月3日

ヨハネによる福音書 第1章4、9節 言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。

愛する天の父。私どもはあなたに感謝致します。私どもはあなたの子供たちであることが許されており、あなたはあなたの霊を私どものうちに与え、私どもが現実にもそうあることができるようにしてくださるからです。私どもをあなたとの交わりのうちにお集めください。そして私どもの感覚と、私どものうちにあるすべてが、あなたが私どもに与えてくださったものによって、どれほど私どもが幸せであることができるかを感じ、知ることができますように。そして今日の世界が、不安と疑い、たくさんの外側にあることがらの中にあっても、どうかあなたが私どもに、静かさの中に、信仰の力を与えてくださり、私どもが、あなたがどのようなお方であり、あなたがかつて、主イエス・キリストにより、どのようなお方になろうとしてくださったかを、体験することができますように。アーメン。

8月4日

エフェソの信徒への手紙 第4章2-3節 一切高ぶることなく、柔和で、寛容の心を持ちなさい。愛をもって互いに忍耐し、平和のきずなで結ばれて、霊による一致を保つように努めなさい。

愛する天の父。私どもはあなたに、あなたが私どもにこの地上でお与えくださいます良いものに感謝致します。そこにおいて、あなたの賜物によって、あなたのみわざによって、あなたの子どもたちのわざによって、私どもは信じ、救われることが許されるのです。この私どもの家にあっても私どもをお守りください。そしてどうか私どもを、あなたが私どもにお備えくださいました道を歩みます時、必要な時には、常に繰り返し新たに、賜物と力を得て、私どもはあなたにあって喜び、目標に至るまで慰めを受けるのです。アーメン。

8月5日

ヨハネによる福音書 第6章68-69節 シモン・ペトロが答え

た。「主よ、わたしたちはだれのところへ行きましょうか。あなたは永遠の命の言葉を持っておられます。あなたこそ神の聖者であると、わたしたちは信じ、また知っています。」

愛する天の父、私どもはあなたのみもとに参ります。そしてあなたとの交わりの中に立つのです。なぜなら私どもは、あなたからあらゆる命が来ること、人のあらゆる前進と、私どもの本質とが、あなたの御霊によって強められることを知っているからです。私どもを守り、繰り返し常に新しい力をお与え下さい。それによりあなたの御心が私どものもとで成り、たとえしばしば困難なものとなろうとも、私どもの人生の中で私どもすべてが強くなるのです。そして私どもはあなたに仕える者であり続けます。そして何が起きようとも、喜びをもって迎えることができるのです。ですからどうか私どもを今日この夜も祝福してください。そしてあなたの約束の通り、今日も、すべての日々も、私どもと共にいて下さい。アーメン。

8月6日

イザヤ書 第44章22節 わたしはあなたの背きを雲のように罪を霧のように吹き払った。 わたしに立ち帰れ、わたしはあなたを贖った。

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。あなたが私どもをしっかりとした土台の上に、あなたの御言葉とあなたの約束の上に置いてくださったからです。これらはたくさんの心からも語られます。たくさんの慕いこがれる心から、たくさんの希望から、低い所にとどまることを望まない、何かより高いものを仰ぎのぞんで、自分たちにも約束が成就することが許されていることを喜ぶ、たくさんの、たくさんの人々から語られるのです。それゆえ私どもも、今日そこに、あなたが私どもに与えてくださり、喜ばせてくださり、未来に対して喜びの声をあげることができます、来たるべき時のために立つことができるのです。そこであな

たは、私どもと、共に助けてくれる人々、共に助けるために召されるすべての人々に、あなたの御霊を与えようとしてくださるのです。アーメン。

8月7日

ヨハネによる福音書 第12章36節 光の子となるために、光のあるうちに、光を信じなさい。

天にいらっしやいます愛する父。あなたの子どもたちとして、私どもはあなたの御前に立ちます。あなたは、あなたから発せられます光によって、私どもを導いてくださいます。そして私どもはあなたの子どもたちとして、あなたに対して責任ある者になるために、内的に生まれかわります。私どもがあなたに、あなたが私どもの多くの者たちにしてください、こんなにもたくさんの善いこと、こんなにも力強い助けを感謝します時にも。どうか私どもも祝福して下さい。私どもの感謝があなたの御前に届きますように。そしてどうか私どもが、あなたがしてくださる善いことを、常に思い起こすことができますように。どうか私どもが前に進むことができますように助けて下さい。あなたの御国が完成するまで、常に前に向かってです。そしてどうか私どもの人生が、主イエスにあって、またすべての人の神でありすべての人の父であるあなたへの愛にあって、決して無駄にはなりませんように。私どもが願いと祈りとにおいてあなたのところへともたらしめますものが、どうか無駄にはなりませんように。そしてあなたの御国がすぐにも来ますように。そうです、主イエス、来て下さい！すぐにもこの地上に来て下さい。すべての人々がまことの神を知り、あなたを愛するためにです。アーメン。

8月8日

フィリピの信徒への手紙 第2章5節 互いにこのことを心がけなさい。それはキリスト・イエスにもみられるものです。

主、私どもの神、イエス・キリストの大いなる御名によって、私どもはあなたの御前に参ります。そしてあなたが私どもに、すでにこの生活において、この大いなる御名を通してお与え下さいました、すべての希望、すべての喜びをあなたに感謝するのです。あなたの御霊を通して、私どもの中に何かが生まれますように。そして、イエス・キリストがそうであられたのと、私どもが同じ心となりますように。そして、私どもが人々とふれあうあらゆる時に、私どもが次のように経験することが許されますように。支配するよりは、忍耐をし、思いのまま治めるよりは、仕えることを。力をもって他の者たちを押さえつけるよりは、もっとも弱いものであることを。どうぞそのような思いを私どもにお与え下さい。多くの人々の中にそのような思いを生まれさせて下さい。そして言葉と考え方においてキリスト者であるというだけでなく、隣人を愛することができるとの思いと、一歩いっぽ、救い主の思いをもって歩む、キリスト者でありますように。アーメン。

8月9日

マタイによる福音書 第18章20節 二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである。
主、私どもの神、私どもの父であるあなた。私どもはあなたをたたえます。私どもは、私どもにあなたに対する目を開いてくださった、イエスのお名前によりお互いに交わりを持つことが許されているからです。私どもの人生におきまして、たとえその人生が暗く見え、厳しいものとなろうとも、どうか私どもの心を明るいものとしてください。いかなる試練、戦いの中にあっても、私どもをお守りください。私どもを救い出し、あなたのものであり、この地上にあってもすでに永遠の命にあずかることが許されている、自由な人間にしてください。アーメン。

8月10日

ローマの信徒への手紙第8章35、37節だが、キリストの愛からわたしたちを引き離すことができます。艱難か。苦しみか。迫害か。飢えか。裸か。危険か。剣か。しかし、これらすべてのことにおいて、わたしたちは、わたしたちを愛してくださる方によって輝かしい勝利を収めています。

そうです、愛する天の父。私どもは強くありたいのです。そしてあなたは私どもの願いをお聞き届け下さいますから、力は繰り返し常に新しくなることが許されており、その力のみにより私どもは強くなることができますのです。それはあなたの御霊による力なのです。あなたが私どもに今までしてくださいましたあらゆることに感謝致します。そしてこれからも私どもを助けてくださいます、人間の子供たちすべてのもとで、あなたの栄誉のため、地上の善のために、すべてに勝利するまで、勝利から勝利へと至らせてください。アーメン。

8月11日

イザヤ書 第52章7-8節 いかに美しいことか 山々を歩き巡り、良い知らせを伝える者の足は。 彼は平和を告げ、恵みの良い知らせを伝え 救いを告げ あなたの神は王となられた、とシオンに向かって呼ばれる。その声に、あなたの見張りは声をあげ 皆共に、喜び歌う。 彼らは目の当たりに見る 主がシオンに帰られるのを。

主、私どもの神。どうか私どもを、あなたが私どもの時代においてどのようなお方であられるか、私どもの日々においてあなたが何をしてくださるかを見るのが許されている、あなたの見張り人としてください。あなたがすでにしてくださったことすべてに、私ども諸々の民の発展すべてに私どもは感謝致します。民はあなたの御心のもとに身をかがめねばなりません。そしてあなたによって導かれなければ、もう何も起こらなくなるでしょう。もし必

要な時には、私どもを裁いて、私どものどこが正しくなく、どこがあなたの御霊に完全に従えていないかに、私どもの目を開いてくださいますように。私どもと共にいて、私どもを強くして、至る所に見張り人を増やしてくださいますように。あらゆる説教壇に、あらゆる所、ひとつひとつの部屋の中でも、至る所、心を揺り動かすようなことが起こるところでは、見張り人が務めについて、次のように言いますように。「これは神から来るのです。もし私どもがなお多く苦しむのなら、苦しまれ、死なれたが、復活された方である、イエス・キリストから来るのです」と。あなたのためにそのような見張り人をおつくりください。小さな者も大きな者も。あなたの御名をたたえるため、この地上至る所に。そしてあなたに対して歓声をあげ、感謝しながら御前に集う、ひとつの民が生まれますように。アーメン。

8月12日

詩編 第28編7節 主はわたしの力、わたしの盾 わたしの心は主に依り頼みます。 主の助けを得てわたしの心は喜び躍ります。歌をささげて感謝いたします。

主、私どもの神、私どもを、大きなもろもろの民のもとにあって、あなたにお仕えしようとする、一つの民としてごらんください。私どもがあなたの御名を説教する時、あなたについて証しすべき時には、たとえ私どもがあらゆる試みを通して歩む時にも、この地上において多くの事柄が困難にあわせようとも。どうか私どもの心を強くして下さい。しかしあなたは力強く、私どもを守ることがおできになり、光で満たしてくださるのです。そして私どもが繰り返し常に、新鮮に、喜びをもって、主イエス・キリストにおいて、あなたの全能の慈しみと憐れみとによってもたらされる、この救いを宣べ伝えることができるのです。アーメン。

8月13日

イザヤ書 第5 1章 1 1節 主に贖われた人々は帰って来て 喜びの歌をうたいながらシオンに入る。 頭にとこしえの喜びをいただき 喜びと楽しみを得 嘆きと悲しみは消え去る。

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。あなたは私どもの心に善き確信を与えてくださったからです。ですから私どもは、あなたが私どもに与えてくださいます、すべての善いしるしを、あなたに感謝するのです。私どもは、なおその中に私どもが立たされています、たくさんの危機の中にあっても慰めを受けました。私ども個人をも取り巻いている、たくさんの人間の死の中にもありましても、慰めを受けたのです。私どもはあなたに感謝致します。私どもが、どこにいても、いつでも、立ち上がることができるように、なおこんなにもたくさんの苦労がある、私どもが共に生きる世界のために、善いものを見出す希望を持つことができるようにと、あなたが私どもを慰めてくださったからです。私どもの世界を祝福してください、主なる神。高い所からの力と、たくさんの人々に善いものをもたらすことができる、たくさんの賜物をもって祝福してください。私どもの世界を祝福し、諸々の罪から、諸々の墮落から、あらゆる種類の絶望から、世界を救ってください！私どもの世界を祝福してください、主なる私どもの神！あなたが私どもを祝福してくださいように、あなたの御名をほめたたえるために全世界を祝福してください！アーメン。

8月14日

イザヤ書 第4 8章 1 8節 わたしの戒めに耳を傾けるなら あなたの平和は大河のように 恵みは海の波のようになる。

主、私どもの神。私どもはあなたに祈り願います。どうかあなたの御霊を通して、私どものもとにいてください。私どもとお語り下さい。何が私どもをあなたとますます力強く結びつけるのかを理解することが私どもにとってどれほど必要であるかを。私どもに対して、また、すべての人々に対して、あなたの御手を力強く

してください。さばきの時にも、私どもはあきらめることなく、あらゆる悲しみの中でも勇気を捨てません。あなたが強くいてくださり、私どもも強くなり、救い主イエス・キリストによって、この世に打ち勝つことができますように。アーメン。

8月15日

コロサイの信徒への手紙 第1章3－6節 わたしたちは、いつもあなたがたのために祈り、わたしたちの主イエス・キリストの父である神に感謝しています。あなたがたがキリスト・イエスにおいて持っている信仰と、すべての聖なる者たちに対して抱いている愛について、聞いたからです。それは、あなたがたのために天に蓄えられている希望に基づくもので〔す。〕

主、私どもの神、あなたの御名をたたえます。あなたが私どもに今までお与え下さいました、すべての良いものについて、私どもが見るもの、私どもが聞くものを、私どもも証しすることが許されているからです。どうか私どもを堅く忠実なものとして結びつけてください。あなたの大いなる日が来て、あなたの全能の御手が私ども人間のところにあるたくさんの悪に打ち勝ち、これを止めさせてくださり、あなたの御名がすべての民のもとでたたえられて、そしてあなたの貴い御名前をたたえるためにすべての人がひとつの新しい装いを手にします時まで。アーメン。

8月16日

シラ書 第2章3節 主に寄りすがり、決して離れるな。 そうすれば、豊かな晩年を送ることになる。

愛する天の父。私どもはあなたの御前に立っています。私どもひとりではどうして良いかわからない者ですが、ただあなたの御霊のみによって生きる私どもに、あなたの子どもたちとして必要なものをあなたが与えてくださるためなのです。どうかあなたが私どもを、あなたの御言葉によって照らしてくださいますように。

あなたの御言葉はあなただけがお与えになることができ、またあなたはそれを与えようとしてくださり、それにより私どもは、私どもがあなたにどのようにお仕えすることができるかを、またイエス・キリストにおいてこの地上に明らかにされます、あらゆる真理に、どのようにお仕えすることができるかを、かたく、確かに、そしてはっきりと知ることができるのです。あなたの御手によって私どもをお守りください。そしてどうか私どもを、私どもが苦しみの中にある時も、強くなり、私どもがおじけづいてふるえることなく、むしろ私どもの心の中に喜びと忍耐とを持ちますように！アーメン。

8月17日

ヨハネによる福音書 第14章27節 わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える。わたしはこれを、世が与えるように与えるのではない。心を騒がせるな。おびえるな。

愛する天の父。私どもはあなたに感謝致します。あなたはそこにおいて、私どもにイエス・キリストが与えくださる平安が、私どもの心の中に来るような道を常に開いてくださっているからです。嵐が吹く世においても、そのことによって私どもをお守りくださり、私どもの心の中になお多くの戦いと多くの不安とが来ようとも、私どもに平安をお与えください。なぜなら私どもの力は私ども自身の中にあるのではなく、私どものそばにいてくださり、私どもを捨て去ることはなさない、今生きておられ、力を与えてくださり、その光を繰り返し常に新たに私ども人間のもとで輝かせてくださり、たくさんの人間を照らし、私どもと約束してくださいました、やがて来たり、私どもの希望すべてを満たしてくださいます日へと導いてくださる、そのお方のもとにあるのです。アーメン。

8月18日

詩編 第73編23-24節 あなたがわたしの右の手を取ってくださるので 常にわたしは御もとにとどまることができる。あなたは御計らいに従ってわたしを導き 後には栄光のうちにわたしを取られるであろう。

私どもはあなたに感謝致します。大いなる神、父よ。あなたは私どもに確信を心の中にお与えくださり、まだ確信を見出していない者たちのためにも、私どもは慰めを受けることができるからです。また私どもは人間の生活についてのあらゆる問いについて慰めを受けることができます。そして繰り返し常に「あなたは栄光のうちに私どもを取られる」ことを体験することが許されているからです。あなたは私どもの前に存在するものをご存じです。あなたはなお動かされなければなりません山々をご存じです。あなたは私どもを疲れさせようとする逆らう者をご存じです。そしてあなたは解こうとしてくださいます。そしてついにはあらゆる闇の中にあなたの光を輝かそうとしてくださいます。このことについて私どもは喜びます。このことについて私どもは感謝致します。その中に私どもはあり続けたい。この信仰のうちに勇ましい者になりたいのです。アーメン。

8月19日

詩編 第73編25-26節 地上であなたを愛していなければ 天で誰がわたしを助けてくれようか。わたしの肉もわたしの心も朽ちるであろうが 神はとこしえにわたしの心の岩 わたしに与えられた分。

愛する神、私どもの父。どうか私どもを、あなたの御霊の下に歩ませて下さい。そしてあなたの御光の中に立たせ、私どもの心に触れてくださり、私どもが、みずから召されている、まことに尊いものを理解しますように。そして私どもが、困難に苦しみます時にも、不安になりませんように、繰り返し常に私どもも助けて自由にしてください。なぜならあなたの御手が私どもとともにあ

って、救い出し、私どもに、そしてさらにすべての人々に、善いことをなそうとしてくださいからです。その人々の中で私どもは生きています。そしてその人々に私どもは共感し、その人々のためにあなたに祈り願うのです。「あなたの救い主をすべての人々のところへ遣わせてください！」と。アーメン。

8月20日

ローマの信徒への手紙 第8章1節 従って、今や、〔肉ではなく霊に従って歩んでいる〕キリスト・イエスに結ばれている者は、罪に定められることはありません。

主、私どもの神。あなたは私どもに御霊を与えてくださいます。どうか私どもをあなたの子供たちとしてください。そしてあなたが必要なものを与えて、地上の生活のつらさの中にあっても、その外面的なものだけでなく、内面的なものも、その心も強くしてください。そして私どもが、人間社会の中にあって、なお変わり行くに違いないものにも、打ち勝つことができますように。弱さから私どもを守ってください。そしてどうか、あらゆる忍耐をもって、あらゆる希望を抱いて、あなたの御力が常に私どもとともにありますように。なぜならあなたはあくまで善を主張され、私どもはそれを待つことが許されているからです。アーメン。

8月21日

フィリピの信徒への手紙 第4章8-9節 終わりに、兄弟たち、すべて真実なこと、すべて気高いこと、すべて正しいこと、すべて清いこと、すべて愛すべきこと、すべて名誉なことを、また、徳や称賛に値することがあれば、それを心に留めなさい。わたしから学んだこと、受けたこと、わたしについて聞いたこと、見たことを実行しなさい。そうすれば、平和の神はあなたがたと共におられます。

愛する天の父。私どもは高貴な人間でありたいと願います。あなたの御霊がお命じになるのを待ち、心を騒がせるようなことなく、むしろ、あなたの子供たちとしてふさわしく自らを示します。そして私どもも困難な境遇にあっても、もっとも困難な時にも、私どものうちにあるあなたの御霊をたたえるため、高貴であり、慰めを受け続けるのです。私どもを、今も、そして永遠にまでも、あなたの、神の平安のうちにお守り下さい！アーメン。

8月22日

詩編 第42編 2－3節 涸れた谷に鹿が水を求めるように 神よ、わたしの魂はあなたを求める。神に、命の神に、わたしの魂は渴く。 いつ御前に出て 神の御顔を仰ぐことができるのか。主、私どもの神、私どもが心に抱くものすべてをもって、また、今なお私どもを悲しませようとするものすべてをももって、私どもの悩みと困窮すべてをもって、あなたの御前に立っています。しかしまた、すべての希望をもって、私どもの人生がうち沈むことはあり得ず、大いなるものについて考えることができるとの、あなたが私どもにお与え下さる、すべての経験をもっても、あなたの御前に立っているのです。どうかあなたの御霊の光を今日も、また常に、私どもに照らしてください。アーメン。

8月23日

ペトロの手紙二 第1章 10、11節 だから兄弟たち、召されていること、選ばれていることを確かなものとするように、いっそう努めなさい。これらのことを実践すれば、決して罪に陥りません。こうして、わたしたちの主、救い主イエス・キリストの永遠の御国に確かに入ることができるようになります。

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。あなたが私どもにすでに何か新しい目を与えて下さり、すでにたくさんの事柄

が形を変え、私どもが喜び、慰められて、私どもが歩む道に行くことが許されているからです。そしてなお残っているすべての事柄についても希望を持ち続けることができるからです。あなたへの感謝が私どもの心に生きていなければなりません。そして私どもは強くありたいのです。どれほどたくさんの事柄がなお別のものに変化しなければならぬかということから、目をそらすことがありませんように。そうすれば私どももあなたのぶどう園の働き手の一部となることができるのです。あなたが私どもにお与え下さいました光によって私どもをお守り下さい。そして約束してくださったことを、ますます明るく燃えさせてくださいますように。アーメン。

8月24日

エフェソの信徒への手紙 第6章16節 なおその上に、信仰を盾として取りなさい。それによって、悪い者の放つ火の矢をことごとく消すことができるのです。

主、私どもの神。あなたの光のもとに私どもは立ちたいのです。そしてあなたの御力の中に私どもは生きたいのです。それにより私どもがあなたの御心にかなうことを、あなたの御国をこの地上に推し進めることを行うことができますように。悪い者から私どもを守り、どうか火の矢が私どもを傷つけませんように。私どもがどうすれば分からないところでは、繰り返し常に道が備えられますように。しかし私どもは知っているのです。あなたが私どもの父であり、そのことによって強くあり続けようとすることを。そして終わりまであなたの御名のために忍耐し、あなたが私どもの人生から、あなたに実りをもらたらすことができますように。アーメン。

8月25日

ローマの信徒への手紙 第12章2節 あなたがたはこの世に倣

ってはなりません。むしろ、心を新たにしてお自分を改めていただき、何が神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なことであるかをわきまえるようになりなさい。

私どもにあなたの御霊をお与えください。主、私どもの神。そして善く、御心にかない、また完全なことが、なおこの世界にも与えられるために、共に戦う喜びをも私どもにお与えください。私どもが立ち、歩んで、働くところで、あなたに仕えるために、あなたに導かれるように、私どもに熱心さをお与えください。それによりあなたの御心が行われ、あなたの御国が来て、たとえただ希望においてだけであっても、私どもは今日既に喜ぶことができるのです。アーメン。

8月26日

詩編 第25編4-5節 主よ、あなたの道をわたしに示し あなたに従う道を教えてください。あなたのまことにわたしを導いてください。 教えてください あなたはわたしを救ってくださる神。 絶えることなくあなたに望みをおいています。

主、私どもの神、しばしばこれほどひどく厳しくて、しばしばあらゆることが、私どもに逆らおうとする、この地上においても、子供たちのために心を配ってくださいます、私どもの父でいてください。私どもの生の、永遠の力である、あなただけに、そして、この世の救い主であられ、私どもが危機にあります時には、私どものもとへと来てくださいますことを約束し、またあなたが私どものもとへと遣わそうとしてくださいますお方である、イエス・キリストだけに、忠実で、力強くあり続けますように、どうか私どもの内側もお守りください。あなたの御手を、しばしばなすすべを知らない、すべての人々の上に強くしてください。そして永遠にあなたの御名をたたえるために、私どもが歩むことができる道をお与えください！アーメン。

8月27日

詩編 第27編7-8節 主よ、呼び求めるわたしの声を聞き 憐れんで、わたしに答えてください。心よ、主はお前に言われる「わたしの顔を尋ね求めよ」と。 主よ、わたしは御顔を尋ね求めます。

私どもはあなたに感謝致します。愛する天の父。あなたは私どもの心にあなたの御顔の光を照らしてくださいます。そしてあなたに祈り願うのです。どうかあなたの御顔が、強く清らかな目で私どもの時代をもご覧くださいますように。そして人間が、自分たちが見ているものだけから見られているのではないことに気づいて、力強い神であり、父であるお方が自分たちをご覧になっていることを感じますように。私どもの道行きをもお守りくださいますように。そしてあなたの御光が、あなたのお名前をたたえるために、私どもがなすあらゆる行為において、ますます力強くなりますように。アーメン。

8月28日

詩編 第93編1節 主こそ王。 威厳を衣とし 力を衣とし、身に帯びられる。 世界は固く据えられ、決して揺らぐことはない。 主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。私どもがあなたの御手の内に立たせていただくことを許して下さっているからです。そして身体の悪、魂の悪が、私どもを損ない続けることを許されません。あなたはくり返し常に私どもをまことの命へと持ち上げて下さるのです。この命は、力を持ち、地上的なものに打ち勝ちます、また光を持っていて、私どものうちに起こる、あらゆることの内にあって機敏さを持っていて、慰めを受け、しっかりとどまることを得させてくれるのです。そしてイエス・キリストにおいて私どもに約束された神の御国という大いなる目標を目指すのです。アーメン。

8月29日

ヘブライ人への手紙 第13章9節 恵みによって心が強められるのはよいことです。

主、私どもの神、天の愛する父。あなたは地上にいる私どもに、私どもの救い主イエス・キリストを通してあなたの御手を伸ばしてください。私どもはあなたに、あなたが私どもの人生においてしてくださるすべてのことに感謝致します。私どもの身をおゆだね致します。あなたが私どもの人生を治めておられることが大切なのだということを知っているのです。ですから、私どもの人生は、常にあなたの力とあなたの光の中に前進し、私どもは常に、たとえそれが戦いや試練を通してであっても、私どもがする新しい体験の中に喜びを持つことが許されているのです。あなたの力強い御腕が、それがどのようなやり方でも、この地上においてあなたのお名前を呼ぶものと共にありますように。あなたはその人たちの心をご覧になり、誠実な者たちをご存じであり、その者たちに、あらゆる悪、あらゆる闇からすくい上げてくださる、救い主をお遣わしになります。今日、そしてこれから毎日常に、私どもと共にいてください！アーメン。

8月30日

ヨハネによる福音書 第10章27-28節 わたしの羊はわたしの声を聞き分ける。わたしは彼らを知っており、彼らはわたしに従う。わたしは彼らに永遠の命を与える。彼らは決して滅びず、だれも彼らをわたしの手から奪うことはできない。

愛する天の父。私どもはあなたに感謝致します。あなたが私どもの心に触れてくださいます。私どもはあなたの子どもたちですと、私どもに言わせてくださるからです。私どもが不安と、悪と、心配と、痛みの中にある時でさえも、あなたは私どもをさいわいとしてくださり、あなたは私どもをあなたの右の手で支えてくださり、ついには私どもをあらゆる悪から救ってくださると、私ど

もは永遠に言うことができるのです。どうかあなたの御霊をあらゆるところで働かせてください。そして私ども自身の心の内に、私どもと暮らす世界、なおあなたのものである人間の中に、たとえ時間を必要としたとしても、私どもに忍耐を与えてください。私どもを御力によってお守りください。それによりもっとも厳しい重荷でさえも私どもを押しつぶすことなく、私どもが希望をもって喜びの声をあげることを許してくださいますように。なぜならあなたの御名をたたえるために、あなたはすべてを正しくしてくださるからです。アーメン。

8月31日

コリントの信徒への手紙一 第4章1-2節 こういうわけですから、人はわたしたちをキリストに仕える者、神の秘められた計画をゆだねられた管理者と考えるべきです。この場合、管理者に要求されるのは忠実であることです。

愛する天の父。私どもの心をお開き下さい。そして私どもが、私どもの人生において何が善いものであるかを、見、感じることが出来ますように。そしてそこから私どもが喜びと感謝とをもって、私どもがさらになお何を生きるべきかを臨み見ますように。あなたは私どもに何ものかをお与え下さったのです。どうか私どもが忠実でありまして、私どもが、過ぎ去り行くもののうちに、再び自らを見失うことがありませんように。そうではなくて、あなたが私どもの心の中に置いて下さいました、この永遠なるもののうちにとどまり、あなたの御名が聖なるものとされ、イエス・キリストにおいて、私どもの人生が新しく形作られ、私どもも強くなり、人生の悪を克服し、喜び、慰めを受けて、未来へと向かいますように。その未来においてあなたの御国の諸々の力はますます明らかになるのです。アーメン。

9月1日

コリントの信徒への手紙二 第5章17節 だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。

愛する天の父、私どもの心を高くあげ、私どもの人生において何が良いものであるかを見、感じさせてください。私どもの心の中に光を輝かせ、私どもがキリストのうちにある人間的なものの永遠であるものから、何が私どもに与えられるかを見させ、認識させ、そしてその中に生きることができるようにしてください。過ぎ去ってしまうものが、私どもの目を閉ざし、耳を閉ざすことのないように。私どもが私どもの苦しみの中にあっても立ち上がることができ、完全なもの、新しいものを、忍耐をもって待ち望むことができますように、私どもをお守り下さい。あなたの御名がほめたたえられますように。私どもも次のように言うことが許されています。古いものは過ぎ去った、見よ、すべては新しくなった！と。アーメン。

9月2日

コリントの信徒への手紙二 第6章4、9節 あらゆる場合に神に仕える者としてその実を示しています。大いなる忍耐をもって、苦難、欠乏、行き詰まり、人に知られていないようであり、よく知られ、死にかかっているようで、このように生きており、罰せられているようで、殺されては〔いない。〕

愛する天の父。あなたは私どもをこの地上において囲んでいてくださいます。私どもはあなたに、あなたが私どもの人生に置いてくださいます、すべての愛を感謝致します。そして私どもは、たくさんの試練、戦いの下にありましても喜ぶことができます。どれほどたくさんあなたはすでに私どもにお与えくださったのでしょうか。またあなたはどれほどたくさんの危機から、私どもをす

でに引き離してくださったのでしょうか。そして私どもを繰り返し常に明るい命の光で照らして下さったのです。しかもただひととき私どもを照らしただけではありません。未来をも私どもに見させてくださり、それによって私どもは現在、過去、未来にわたり、あなたの御名をたたえるため、強くなり、また慰められたいのです。アーメン。

9月3日

コリントの信徒への手紙二 第4章17－18節 わたしたちの一時の軽い艱難は、比べものにならないほど重みのある永遠の栄光をもたらしてくれます。わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。私どもの悩みのうちにおいても、私どもがこの地上で忍耐しなければならないことにおいても、あなたが大きいなる方であり、力強くいてくださるからです。そしてあなたは助けに来てくださり、力を与えてくださり、私どもの内において、すべての人間の内において、ますます善く、ますます明るくならなければなりません。私どもはあなたに感謝し、あなたに祈り願います。どうか、見えないものから見えるものへと来る、あなたの静かな力を、ますます働かせてください。すべての人が、昨日も今日も、永遠に至るまで変わらない、イエス・キリストを仰ぐ、その日が来るまで。アーメン。

9月4日

テトスへの手紙 第3章5－7節 神は、わたしたちが行った義の業によってではなく、御自分の憐れみによって、わたしたちを救ってくださいました。この救いは、聖霊によって新しく生まれさせ、新たに造りかえる洗いを通して実現したのです。神は、わたしたちの救い主イエス・キリストを通して、この聖霊をわたした

ちに豊かに注いでくださいました。こうしてわたしたちは、キリストの恵みによって義とされ、希望どおり永遠の命を受け継ぐ者とされたのです。

主、私どもの神。どうか私どもの心の中に、あなたのみ光を輝かせてください。私ども人間を喜ばせ、私ども自身を安らかにするものへと導くことのできる光です。私ども人間のうちに生まれた高貴なものが、どうか、ますます力を持ち、ますます強くして、低いもの、過ぎ去っていくものが勝利を保つことなく、むしろ私どもが打ち勝つことを許され、最高に善いものを得ようとするのが許されていることを、私どもの心が喜ぶことができますように。なぜなら私どもはあなたの子どもたちであって、永遠なるものまでにもあずかることができるからです。アーメン。

9月5日

テモテへの手紙二 第4章6－8節 わたし自身は、既にいけにえとして献げられています。世を去る時が近づきました。わたしは、戦いを立派に戦い抜き、決められた道を走りとおし、信仰を守り抜きました。今や、義の栄冠を受けるばかりです。正しい審判者である主が、かの日にそれをわたしに授けてくださるのです。しかし、わたしだけでなく、主が来られるのをひたすら待ち望む人には、だれにでも授けてくださいます。

私どもはあなたに感謝致します。天の父。あなたが私どもと関わろうとして下さるからです。あなたは、これほど多くの御業、多くの助けによって、私どもをあなたと結びつけて下さり、私どもが歩む希望の道筋がいよいよ力強いものとなって、私どもをいよいよ確かに歩ませて、この時代この世界のあらゆる悪に抵抗することができ、慰めを受けることを知ることができるからです。たとえ私どもが否と言わなければならないときも、様々な事柄を乗り越えなければならないとも、すべては正しくあらねばならないのです。尊い、永遠なる目標へと、私どもすべてが向かわなければ

ばならず、あなたの御国があなたの御名前をたたえるために来なければならぬのです。そしてそれを通して、すべての人間が高められ、あなたに従わなければなりません。あなただけがまことの助けであり、まことの生命だからです。アーメン。

9月6日

マルコによる福音書 第10章14-15節 子供たちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。はっきり言うておく。子供のように神の国を受け入れる人でなければ、決してそこに入ることはできない。愛する天の父。私どもはあなたにどれだけ感謝すれば良いのでしょうか？あなたたが私ども子供たちにお与えくださるすべてのもののことを。あなたが私どもが子供たちとして歩む道に備えてくださいます、大いなる知恵と御力とを。そうです。私どもはあなたの御前で喜びたいのです。たとえ私どもがしばしば泣きたくなるような時でさえも、泣きたくありません。嘆きたくないのです。私どもはただ、私ども子供たちをお守りください！と祈り願いたいのです。この地上にいるあなたの子供たちすべてをお守りください。どうか彼らに降りかかる痛みを、この世の救いのために取り除いてください。たとえ私どもがしばしば困難な道を歩まねばならない時にも、私どもが苦しみ、忍耐しなければならないものすべてを、一つの戦いにかえてくださいますように。天の御国をより大きなものとするための。あなたの御心を地にもたらすための。大いなる憐みを諸々の民にもたらすための。全世界に大いなる赦しをもたらすための戦いにかえてくださいますように。その御赦しは人間を再び新たに生まれ出でさせ、ついにはすべての者があなたの子供たちと呼ばれるようになるのです。私どもを守り、私どもを助け、私どもを祝福してください！そしてどうか救い主を私どものもとに住まわせてください。それにより私どもは、からだも魂も、ますます強くなるのです。アーメン。

9月7日

ペトロの手紙一 第1章3節 わたしたちの主イエス・キリストの父である神が、ほめたたえられますように。神は豊かな憐れみにより、わたしたちを新たに生まれさせ、死者の中からのイエス・キリストの復活によって、生き生きとした希望を与え〔てくださいました。〕

主、私どもの神。あなたが私どもの霊の中に、私どもの生の中にしてくださったことを、繰り返し常に私どもに思い起こさせてください。それにより私どもは復活への確信を勝ち取るのです。そしてそこにおいて私どもは生きることが許されるのです。あなたが私どもに体験させてくださいます、すべての善いこと、大いなることによって私どもをお守り下さい。そして私どもに、私どもがますます戦い獲得するとの確信をお与え下さい。今日なお闇と死の陰の中にある者たちの救いのためにも。どうか私どもを今日も喜ばせ、あらゆる戦いの中で忍耐強くあらせてください。そしてすべての迷える者たちのために希望を持たせてください。彼らがお闇の中にある間も、なおあなたの御手のうちにあるのです。そしてまたなお光へと導かれなければなりません。そしてすべての人間のもとであなたの大いなる御名がたたえられるのです。アーメン。

9月8日

詩編 第77編10-11節 「神は憐れみを忘れ 怒って、同情を閉ざされたのであろうか。」わたしは言います。「いと高き神の右の御手は変わり わたしは弱くされてしまった。」

主なる神、天にいらっしゃいます私どもの父。こんなにも大きな圧力が私どもにかけられて、たくさんの試練が来ようとする、こ

の時代にあっても私どもはあなたの方に向けているのです。どうかあなたの光を私どもの心に輝かせ、私どもを辛抱強い、しっかりとしたものにして、私どもが試練の間中、耐えることができ、たとえそれが長く続いても、忍耐することができますように。あなたの御手はすべてを変えることができますのです。あなたの御手は私どもが生きる時をも短くすることができますのです。そしてあなたの光が闇から、死とあらゆる悪から輝き出るのであります。あなたの命が、あなたの子どもたち、全世界に明らかにされますように。私どもはあなたをしっかりと、忠実に待ち望み、あなたのおそばにとどまります。そしてあなたは、約束してくださいました通りに、私どもの神、父であります。そしてお約束通りに、正義と善と憐れみのため、あなたの御心を行われるのです。アーメン。

9月9日

エフェソの信徒への手紙 第6章10-11節 最後に言う。主に依り頼み、その偉大な力によって強くなりなさい。悪魔の策略に対抗して立つことができるように、神の武具を身に着けなさい。主なる神、私どもはあなたに感謝致します。あなたは私どもを強くしようとしてくださるからです。あなたが御顕現くださいますことにより強く、あなたの御旨を行い、地上において、人間のもとにおいて勝利者であり続ける、イエス・キリストにより強くしようとしてくださるのです。私どもは、この私どもの時代において、霊においてあなたと、あなたの御国を迎えることができるためには、私どもの魂は強くならねばなりません。私どもの心も確かなものとならねばなりません。ですからどうか私どもが無気力になろうとするような時にも、聖霊によって祝福して下さい。それにより私どもが、あなたの御力のうちにあり続け、あなたの御力によって信じ、望みを抱いて、あなたの御力のうちに、全世界の喜びのために来たるべき、救いを見ますように。アーメン。

9月10日

使徒言行録 第18章9-10節 [主はパウロ言われた。]「恐れるな。語り続けよ。黙っているな。わたしがあなたと共にいる。だから、あなたを襲って危害を加える者はない。この町には、わたしの民が大勢いるからだ。」

主、私どもの神。私どもはあなたの御前に立っています。そしてあなたは私どもを、あなたが自分たちをあなたの力強い御手で助けるのでなければ、助けを得られないことを知らない、弱く貧しい人間の子供たちとしてご覧になろうとしてください。私どもはあなたを信頼致します。あなたは私どもを助けようとしてください。あなたは常に私どもと共にいてくださろうとされ、厳しい時の中にあっても、善へと向けられる、あなたの御心を行おうとされるのです。ですからあなたの御言葉を聞こうと、私どもが皆共にいます時に、どうか私どもを今日も祝福されたものとしてください。どうか私どもを常にあなたの御言葉によって強くあり、また喜ぶものとしてください。なぜならあなたの御言葉は私どもと全世界の中で勝利して、そしてあなたの御心は地上においても天においてのようになるからです。アーメン。

9月11日

イザヤ書 第53章11節 彼は自らの苦しみの実りを見 それを知って満足する。 わたしの僕は、多くの人々が正しい者とされるために 彼らの罪を自ら負った。

主、私どもの神。天にいらっしゃる私どもの父。私どもはあなたに感謝いたします。あなたは私どもの過ち、私どもの罪が、あなたの御前に来ることを許してください。それにより私どもは、私どもがいるすべての事柄において、善いことにも、悪いことにも、弁護者を持つことができるのです。そして私どものすべての時代は、すべてのことが既にあなたの聖なる御顔の前に出たのだという、慰めを受けることが許されています。こうして私どもの

日々のひどいことも良いものへと整えられ、災いのうちからも救いが、死からも命が来るのです。あなたの尊い、全能の御名前がたたえられますように！どうか、あなたのしもべである私どもを信じて私どもをお守りください！どうか常に私どもを強くしてください。たとえ私どもが痛みをおぼえなければならない時でさえも、それにもかかわらず強く、また勇気あるものとしてください。その時は来るのです。あなたの善があらゆる民のもと地上全体に明らかになる時が。アーメン。

9月12日

マルコによる福音書 第13章7、8、10節 戦争の騒ぎや戦争のうわさを聞いても、慌ててはいけない。そういうことは起こるに決まっているが、まだ世の終わりではない。民は民に、国は国に敵対して立ち上がり、方々に地震があり、飢饉が起こる。これらは産みの苦しみの始まりである。しかし、まず、福音があらゆる民に宣べ伝えられねばならない。

主、私どもの神、あなたは全世界をお治めになり、すべての民の中において、あなたのお考えとあなたのご意志とをご覧になろうとしておられます。私どもはあなたの御前に出で、あなたに願い求めます。私どもに、あなたの御言葉から力を見いださせてください。そして常に、あなたの御国が来ますことに希望を抱かせてください！この世界において荒れ狂うことがあろうとも、富める者たちが逆らい立ち、あらゆる悪があらわれるように思われようとも、どうかあなたが共にいてください。そして静かに、あなたの御名前の栄えのために、あなたの御国が前進して、私どもが待ち望む、私どもにイエス・キリストがお示し下さった目標へと近づきますように。あなたがお与え下さることになっています、キリストがおいでになる日に近づきますように。その日には、あなたの御力によって、あなたの御霊によって、すべてが新しく、すべてが良いものとなるのです！アーメン。

9月13日

エフェソの信徒への手紙 第2章8－9節 事実、あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。それは、だれも誇ることがないためなのです。

主、私どもの神。私どもは自分があなたの子どもたちであることを知っています。そしてこの確信によって、私どももまたお互いにひとつの共同体となってあなたの御前に集まり、あなたに祈り願うのです。私どもにあなたの御霊をお与えください。御霊は私どもにいくらかでも働いて、私どもをもさらに悩まそうとする、多くの悪から解放をもたらします。大いなる恵みをもって、力強い恵みをもって、あなたが私どもの心の中にいてくださいますように。そして私どもは打ち勝ち、多くの欠け、多くの間違いや罪にもかかわらず、私どもの限られた人生をも喜びの中へと導くことができますのです。あなたの恵みはなお大きく、私どもの失敗すべてよりも大きいのです。そしてそのことによって私どもは今日も、これからも常に、善き良心を持ちたいのです。なぜならあなたは私どもの神であり、私どもの父であるからです。アーメン。

9月14日

エレミヤ書 第31章33－34節 わたしの律法を彼らの胸の中に授け、彼らの心にそれを記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。そのとき、人々は隣人どうし、兄弟どうし、「主を知れ」と言って教えることはない。彼らはすべて、小さい者も大きい者もわたしを知るからである、と主は言われる。主、私どもの神。あなたに私どもは希望を置いているのです！ひ

とつのが私どもの心の中にとどまっています。あなたが約束してくださったこと。あなたが私どもの神に、イエス・キリストにおいて私どもの神になろうとしてくださいますこと。そこなのです！そこに私どもはとどまり、そこにわたくしどもは確信を持ち、慰めを受けようと致します。なぜならあなたの御言葉は確かであり続け、あなたのすべての御業はなお大いなる、大いなる時へと向かって続くからです。その時あなたは栄光をお受けになり、ついには私どもの心があなたを知ることにより解き放たれるのです。あらゆる人間のわざから解き放たれ、あらゆる恐れとためらいとから解き放たれ、あらゆる苦しみと悲しみとから解き放たれるのです。あなたは神、私どもの父です！と知ることにより解き放たれるのです。アーメン。

9月15日

イザヤ書 第55章8－9節 わたしの思いは、あなたたちの思いと異なり わたしの道はあなたたちの道と異なると 主は言われる。天が地を高く超えているように わたしの道は、あなたたちの道を わたしの思いは あなたたちの思いを、高く超えている。

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。私どもはあなたのみもとにおもむき、あなたがおいでになるその御前に立つことが許され、あなたが私どもを私どものあらゆる地上の生活の中で助けてくださり、あなたへの信仰において、あなたがなされることすべてに対する確信のうちに、私どもを強くしてくださるからです。私どもを祝福し、強くしてください。どうかあなたの御光も諸々の民のもとに輝かせて、民があなたの御心を知りますように。そしてあなたが御光をくださいます時には、あなたの御名前がたたえられ、私どもは新しい時代の中にあって再び喜ぶことができますように。なぜならあなたはお働きになって、これを成し遂げられるからです。あなたはこれを行われます。そして私ども

人間に、私どもの時代が何を望んでいるのか、まったく知らなくても、あなたはご存じです。あなたは御心を行おうとしておられます。あなたはあなたの御名前を聖なるものとされ、あなたの御国を来たらせ、すべてのものを最善なものへと向けてくださるのです。アーメン。

9月16日

ヨハネによる福音書 第15章26-27節 わたしが父のもとからあなたがたに遣わそうとしている弁護者、すなわち、父のもとから出る真理の霊が来るとき、その方がわたしについて証しをなさるはずである。あなたがたも、初めからわたしと一緒にいたのだから、証しをするのである。

大いなる神、あなたが私ども人間の子どもたちを、あなたの御手のうちに持とうとしてくださり、私どもがあなたとの交わりの中に、まことの命を学ばせて下さいます救い主。私どもはあなたに私どもがすでに受けております、すべてのことを感謝致します。そしてあなたに祈り願うのです。あなたの御霊によって、私どもの全生活において、さらに私どもを導き、先頭にお立ち下さい。あなたは私どもに、私どもの心を照らすことができる、御霊を与えようとしてくださいます。それにより私どもは、新しい勇気と、新しい力、そしてまことについての新しい認識をも見出すことができるのです。あなたは私どもによりたたえられねばなりません。しかしあなたは私どもの内に成し遂げなければならないのです。私どもが死の危機から自由になり、あらゆる圧力から解放されて、命を得ることを。そして私どもが常に、苦しみや戦いの中にあっても、あなたの尊さのうちにあって、この地上において、あなたの御名前をたたえることを成し遂げることができることを。アーメン。

9月17日

マルコによる福音書 第7章37節 この方のなされたことはすべて、すばらしい。耳の聞こえない人を聞こえるようにし、口の利けない人を話せるようにしてくださる。

主、私どもの神。あなたは天と地をあなたの御霊で満たし、あなたが私どもにお与えになることができるものに、私どもをあずからせてくださいます。私どもは、あなたが私どもにお与えくださいますもの、すでにお与えくださったもの、そしてさらに与えようとしてくださいますものすべてに感謝致します。私どもは貧しいのです。人間は貧しいのです。好んで多くを願い、多くをしたい焦がれ、多くを求めます。しかしあなたはあなたの御霊を通し、何かを呼び覚ましてくださらねばなりません。それにより私どもは善き目標へと向かって前に踏み出すことができるのです。どうか私どもを人間がなすものに引っかかって動けないままにさせないでください。私どもが心に抱く最も大きなものは、あなたがしてくださることなのです。私どもひとりひとりがそれについて何かを語ることができます。私どもひとりひとりが、考えもしないうちに、気づかずに助けを受けているのです。どれほどたくさんのかをあなたは私どもにしてくださったのでしょうか。どれほどたくさんのかをもろもろの民にしてくださったのでしょうか！そうです。私どもは私どもの今日の時代についても感謝致します。そしてこの時代が私どもにとって、しばしば貧しく、悲しく思えても、なお、人間に益する、あなたの御力は生きており、人間は命を得ることが許されるのです。私どもの霊が、今自分たちがその中にいる飢えから解き放たれる時が来るのです。そして私どもは、イエス・キリストを通して、あなたが私どもにくださいます、貴い命に満ち足りることが許されるのです。アーメン。

9月18日

ヨハネの黙示録 第21章21-23節 都の大通りは、透き通ったガラスのような純金であった。わたしは、都の中に神殿を見な

かった。全能者である神、主と小羊とが都の神殿だからである。この都には、それを照らす太陽も月も、必要でない。神の栄光が都を照らしており、小羊が都の明かりだからである。

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。あなたが私どもに素晴らしい未来をいしずえとして与えてくださったからです。その上に私どもは生きることができるのです。その上に私どもは私どもの今現在の悲しみを忘れ、信じることができるのです。死に逆らい、罪に逆らい、あらゆる悪に逆らって、善いものが、今日すでに私どもに触れることが許されているのだということ。どうか私どもの心を軽くして、やがて来る大いなる助けを待ち、忍耐する時に、強くありつづけることができますように。そしてどうか今現在の世界の歴史を、あらゆる謎を解き明かすために前進しますように、少しでも助けてください。私どもはあなたの御名前をたたえます。天にいらっしゃいます私どもの父！私どもはあなたをたたえます。あなたが私どもに今日すでに良くしていただき、あなたの御名をたたえるために、さらにあらゆるものを地上において明らかにしてくださるからです。アーメン。

9月19日

出エジプト記 第19章4-5節 あなたたちは見た わたしがエジプト人にしたこと また、あなたたちを鷲の翼に乗せて わたしのもとに連れて来たことを。今、もしわたしの声に聞き従いわたしの契約を守るならば あなたたちはすべての民の間において わたしの宝となる。 世界はすべてわたしのものである。

主、私どもの神。私どもの父。私どもはあなたに、あなたが、この地上を照らして下さる、すべての光について感謝致します。その光は、私どもの心を喜ばせ、私どもはあなたの創造のうちに生きていることを学び、開かれた目と開かれた心、そして子供の心とをもって、あなたの御手からすべての良いものを受け取るのです。たくさんの悲しむ心のうちに、あなたはどれだけたくさんの

良いものをもたらせてくださるのでしょうか。弱さ、貧しさ、病の中に立つ者たちに、あなたはどれだけたくさんの力づけをもたらせてくださるのでしょうか！何があなたからもたらされるかを私どもに見せて下さい。そして私どもの心が打ちひしがれてしまうのでなくて、繰り返しくりかえし驚のような翼をもって高くのぼり、常に次のように言えるように学ばせて下さい。「どれだけたくさんの困難があっても、恵みの神が私どもに御翼を広げて下さらなかったことがあったらどうか！」と。アーメン。

9月20日

詩編 第90編 1-2節 主よ、あなたは代々にわたしたちの宿るところ。山々が生まれる前から 大地が、人の世が、生み出される前から 世々としえに、あなたは神。

主なる神。私どもの助け。私どもはあなたに感謝致します。あなたが私ども人間のあいだを、たくさんの、たくさんの者たちが体験することが許されています、あなたのみ守りをもって歩んでくださるからです。死ぬ時にもなお、あなたはまことに守りであり、助けです。それにより私どもは生命に入ることを許され、死の中に入らないのです。それゆえに私どもの心をあなたに向けて高く上げてください！私どもの時代において、どうか私どもを明るく保ち、あなたの御前に真剣に立たせてください！主なる神。悪しきものから善を作りだしてください！どうか光を闇の中に昇らせてください！あなたの約束を成就してください。人間の願いではありません。そうではなくてあなたの約束を私どもの心に置いてください。あなたがそれを成し遂げてくださいます。そして私どもは言わなければならないのです。私どもが信じたのはむだではなかった。望みを抱いたことはむだではなかった。あなたは主、私どもの神。あなたは何千倍も私どもに善いものをくださいました、と。アーメン。

9月21日

ヨハネによる福音書 第7章37-38節 イエスは……大声で言われた。「渴いている人はだれでも、わたしのところに来て飲みなさい。わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その人の内から生きた水が川となって流れ出るようになる。」

愛する天の父。私どもはあなたに感謝致します。あなたはこの世を生きている低い地盤に尊い力と尊い本質を送って下さり、それにより私どもは他の人々のためにも生きること、あなたからいただいているものによって生きingことを許されているのです。どうか私どもを素直でいさせて下さい。子供らしくいさせて下さい。安心していさせて下さい！そして自分自身に疑いを抱く者には、信頼することができるように、どうか救い主へと至る道をお与え下さい。私ども皆に信頼の道をお与え下さい。私ども自身を信頼することも、人々を信頼することも、あなたの御心なのですから、すべての人々が助けられますように。アーメン。

9月22日

詩編 第103編8-10節 主は憐れみ深く、恵みに富み 忍耐強く、慈しみは大きい。永久に責めることはなく とこしえに怒り続けられることはない。主はわたしたちを 罪に応じてあしらわれることなく わたしたちの悪に従って報いられることもない。

主、私どもの神。私どもは、あなたに向かって立っています。あなたは大きいなる約束を、あなたを恐れる者たちにお与え下さいました。どうかあなたの御言葉によって、信仰において、忍耐において、希望において、私どもを強い者としてください。あなたを呼び求めるすべての者とともにおいてください。そしてあなたがこの私どもの時代にあつて、その者たちを助けてくださいますように。なぜならこの時代は私どもに善いもののために役に立たなければならぬからです。そして私どもは、人間の罪と死とあらゆる

る悪にもかかわらず、あなたがなされることについて喜ばなければなりません。私どもはあなたを呼び求めます。主なる神。どうかあなたの御手が明らかにされ、人間の手だけが争い、人間の手だけが戦うのではなく、あなたの御手が多くの人間に、この地上のすべての民にも明らかにされますように。あなたの御名が聖なるものとされますように。主なる神。あなたの御国が来て、あなたの御心が天においてのように、地においてもなりますように。アーメン。

9月23日

エフェソの信徒への手紙 第4章8節 高い所に昇るとき、捕らわれ人を連れて行き、人々に賜物を分け与えられた。

私どもの愛する天の父。私どもはあなたに感謝致します。あなたは私どもに、高い所において主イエスをお与え下さったからです。私どもはこのお方と共に高い所に昇り、過ぎ去って行くものただ中で喜ぶことが許されているからです。なぜなら、心配と危機、死の中にあっても、あなたが私どもを、このお方にあって、あなたの御手の中で支えてくださるからです。どうかこのお方と共にさらに信仰の歩みを続けさせて下さい。そのためにどうか私どもにあなたの御霊をお与え下さい。なぜなら私どもの霊は弱く、私どもの魂は貧しいからです。どうか私どもにあなたの尊い聖霊をお与え下さって、私どもの弱さの中にあって感じさせて下さい。どれほど大いなることをあなたが私どもにしてくださったのか。このお方、主イエスと共にあれば、どれほど力強く、どれほど勝利に満ちているのかを。このお方、私どもの救い主は、からだと、魂と、霊において、永遠に私どもの救い主なのです。アーメン。

9月24日

ヨハネによる福音書 第12章25節 自分の命を愛する者は、それを失うが、この世で自分の命を憎む人は、それを保って永遠の

命に至る。

愛する天の父。私どもはあなたの子供たちとなり、善い、真実の、永遠の命に向かい成長したいのです。私どもをそのためにあなたの愛のうちに祝福してください。あなたの愛は地上において、たくさんの苦しみ、たくさんの誘惑のもと歩む、子供たちに対してお持ちのものなのです。私どもが誤らないように、私どもをお守りください。そしてどうかあなたが私どものうちに置いてくださいましたものを、ますます増し加え、ついには、あなたをほめ、あなたの栄光のため、なにか完成したものとなりますように。どうか私どもの心の中に常に喜びがありますように。そして私どもがむだに戦ったり、苦しんだりせず、私どもが忠実であるなら、むしろ私どもがあらゆる善いもののために実りをもたらすことを許してくださいますように。アーメン。

9月25日

ヨハネの黙示録 第21章 1、5節 わたしはまた、新しい天と新しい地を見た。最初の天と最初の地は去って行き、すると、玉座に座っておられる方が、「見よ、わたしは万物を新しくする」と言い、また、「書き記せ。これらの言葉は信頼でき、また真実である」と言われた。

主、私どもの神、私どもの父。私どもは、あなたの大いなる御言葉を見つめ、あなたが、あなたの義とまことにより、お造りになろうとされている新しい世界の輝きを見るのです。私どもは感謝致します。あなたは私どもの持つあらゆる苦労のもと、そのまっただ中に、この喜びを地上にお与えくださったからです！私どもはあなたの御言葉を見つめます。あなたはすべてを新しくし、それへと私どもの命を向かわせてくださいます。それに向かいあなたは私どもをお召しになり、それに向かい私どもは永遠にあなたに忠実であり続けたいのです。あなたの御名がたたえられますように。あなたは今日既に大いなることを私ども人間の子供たち

にしてくださいました！あなたの御言葉により私どもをお守りください。そしてどうか多くの人間が光を見いだして、終わりに至るまで純粋な信仰と忠実とにより、あなたを仰ぎ望んで、私どもがあなたの栄光と恵みとを全世界に見ることが許されますように！アーメン。

9月26日

ヨハネの黙示録 第3章20節 見よ、わたしは戸口に立って、たたいている。だれかわたしを聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入ってその者と共に食事をし、彼もまた、わたしと共に食事をするであろう。

主、私どもの神。私どもはあなたの子供です。そしてあなたの御前に私どもは立っているのです。あなたは私どものそばにしようとしてくださいます。そして私どもの生活がどんな状況にあっても、あらゆる困難、あらゆるみじめさ中にあっても、私どもの光でいてくださいます。あなたは私どもにとって、今までそのようであられたのです。どうかあなたの力を明らかにお示してください。私どもがあなたを知っているように、世界もあなたを知らなければならぬのです。あらゆる闇をつらぬいて明るく光が輝いて、あらゆる悪がしりぞけられ、あなたのお名前が讃えられる、あなたの日が来ますまで、辛抱強く待ち望む、大いなる喜びをお与え下さい。アーメン。

9月27日

詩編 第138編 1-2節 わたしは心を尽くして感謝し 神の御前でほめ歌をうたいます。聖なる神殿に向かってひれ伏し あなたの慈しみとまことのゆえに 御名に感謝をささげます。その御名のすべてにまさって あなたは仰せを大いなるものとされました。

愛する天の父、あなたに感謝致します。あなたは、古い時代にも、

新しい時代にも、私どもに憐れみ深くいてくださいました。そしてあなたの大きいなる優しさと御力とを明らかにしてくださったのです。私どもは、あなたの啓示により生きております。主なる神、全能である方。あなたは地上に奇跡をお起こしになり、天を統べ治め、それにより天は私どもの地上の道行きを祝福し、助けることができるようにしてください。あなたのいつくしみが明らかにされますように。全世界にあなたの正義が明らかにされますように。立ち上がってください。主なる神。あなたを信じる私どものうちで、光となってください。全世界の光となってください！あなたの御名に栄光がありますように。あなたは確かに私どもの天においても地上においても父であり、今も永遠にまでも私どもの人生に確かさを与えてください。アーメン。

9月28日

詩編 第107編 1－2節「恵み深い主に感謝せよ 慈しみはとこしえに」と 主に贖われた人々は唱えよ。 主は苦しめる者の手から彼らを贖〔てくださった。〕

主、私どもの神。私どもの父であるあなた。私どもはあなたに、あなたがすでに私どもの人生にしてくださいました、あらゆる善いことに感謝致します。あなたがあなたの御霊によってますます私どもと、すべての人間になそうとしてください、あなたの慈しみによりなお希望することが許されていますすべてのことに感謝致します。そして私どもは何らかの人間的な性質のうちにじっとしていることをせず、尊い目標へと向かって前進することが許されるのです。あなたの御守りのうちに私どもをお守り下さい。どうか私どもを、私どもが心に抱きます、あらゆる特別な関心事において、その一つ一つが力強い慰めを得て、私どもがさらに喜び、あなたの御名への賛美を心の中に持つことが許されますように助けをお与え下さい。アーメン。

9月29日

ヨハネによる福音書 第16章21-22節 女は子供を産むとき、苦しむものだ。自分の時が来たからである。しかし、子供が生まれると、一人の人間が世に生まれ出た喜びのために、もはやその苦痛を思い出さない。ところで、今はあなたがたも、悲しんでいる。しかし、わたしは再びあなたがたと会い、あなたがたは心から喜ぶことになる。その喜びをあなたがたから奪い去る者はいない。

愛する天の父。私どもにあなたの御霊をお与え下さい。それにより私どもが、この地上において救い主イエス・キリストにより、あなたと結ばれますように。どうかあらゆる真理が光のように私どもに明らかとなり、私どもが体験するあらゆることにおいて喜ぶようになりませう。私どもは多くの痛みの中にいるのです。どうかそれが産みの苦しみとなって、そこから新しい命が生まれますように。そしてその命にあれば、私どもが、この地上における戦いに備えられ、その戦いへと招集され、その戦いにおいて勝利へと導かれる、あなたによって造られた人間であることを喜ぶことができますように。どうかなお私どもを囲む、この闇に私どもの目がくらまされませぬように。私どもに明るい光を与えて下さい。そして来るべき新しいものへ、イエス・キリストはすでに地上においでになり、そこにおられ、とどまっておられるのですから、実はすでにそこにあるものに、そして救い主イエス・キリストによって、なお来るべきものに、私どもの目を向けさせてください。どうか私どもをお守り下さい、驚くべき神よ。私どもを囲み、ますます私どもを囲もうとしてくださいます、この驚くべきものうちに、私どもをお守りくださいますように。そしてこの地上が、あらゆる痛みとともにについては克服され、私ども人間があなたの愛と大いなる善きものとを、私どもに、ここにおいて与えられるすべてのことにおいて、たたえることが許されますように。アーメン。

9月30日

ヨハネによる福音書 第16章33節 これらのことを話したのは、あなたがたがわたしによって平和を得るためである。あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。

愛する天の父。私どもはあなたに祈り願います。あなたの御霊によって、私どもにあなたの天の御国の喜びと、私どもがあなたにお仕えして生きて行くための力をお与え下さい。どうかあなたが、苦しみを忍び、なお心配と不安と悲しみの道を歩み行くすべての人々のことを心におとめくださいますして、あなたの御名をたたえるために、その人々に賜物をお与え下さり、助けてくださいますように。あなたの大いなる憐れみとまこととによって、待ち望み、希望を持つことが許されておりますものにおいて、どうか私どもすべての者を一つとならしめてください。アーメン。

10月1日

ローマの信徒への手紙 第12章12、15節 希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。

主、私どもの神。私どもはあなたに、あなたの大いなる福音を感謝致します。その福音を私どもは、それによって私どもが、私どもの日々において幸福であるように、心に抱く事が許されているのです。それはたとえ多くの痛みが私どもを囲み、多くの人々が大いなる痛みに至り、私どもの心が同情し、人々が苦しんでいるものを共に担うことができるような時にもです。どうかあなたが お助けになることができる場所に貧しさが来ますように。あらゆる痛み、あらゆる心配や悲しみの中へと、先頭に立って行かなければならない時にも、どうか私どもが喜んでそこにとどまり続

けさせてください。なぜなら約束が私どもとともにあり、私どもがあらゆる痛みの中で祝福されますように。あなたの御国が来ます事、イエス・キリスト、救い主により、さらに善くならねばならないとの知らせについて、あなたのお名前が私どもにより永遠にたたえられますように！アーメン。

10月2日

詩編 第31編2-3節 主よ、御もとに身を寄せます。 とこしえに恥に落とすことなく 恵みの御業によってわたしを助けてください。あなたの耳をわたしに傾け 急いでわたしを救い出してください。 砦の岩、城塞となってお救いください。

主、私どもの神、私どもはあなたに祈り願います。私どもにあなたの御霊をお与えください。そして私どもがこの地上においてあなたの道を見いだして、守りのうちに、希望を抱いて生きることが出来ますように。たとえ多くの悪、多くの不正を私どもが見る時も、なおすべてのものがあなたの御手のうちにあるとの確信のうちに生きることが出来ますように。どうかあなたが私どもをあなたの守りのうちにとどまらせてくださり、あなたの戒めのうちにあつて、私どもにまことを証しするあなたの御霊のうちにあつて、私どもの生活を高めようとしてくださいます。そしてついにはそれがすべての人間におよびますように。すべての人間があなたから触れていただいて、彼らも、あなたのものとへと来て、命をうけるべきなのであります。アーメン。

10月3日

コリントの信徒への手紙二 第5章19節 つまり、神はキリストによって世を御自分と和解させ、人々の罪の責任を問うことなく、和解の言葉をわたしたちにゆだねられたのです。

主、私どもの神。あなたは天におられる私どもの父。私どもはあなたのみもとに、あなたの子供として参ります。そして願い求め

るのです。私どもを祝福して下さい！私どもが不安におびえるような日々にも、どうか私どもを祝福して下さい。そしてどうか、あなたが私どもに約束して下さいましたように、あなたの助けをお示し下さい。イエス・キリストにおける大いなる助けです。このお方は全世界の救いのために来なければなりません。私どもに対するあなたの御言葉が祝福されたものでありますように。そして私どもが繰り返しくりかえし生き生きとしたものとなり、また繰り返しくりかえし、私どもの助けである、あなたの御名前に、そしてまた、イエス・キリストによる救いと和解とに、忠実で堅く立つ者となりますように。アーメン。

10月4日

マルコによる福音書 第7章34－35節 そして、天を仰いで深く息をつき、その人に向かって、「エッフアタ」と言われた。これは、「開け」という意味である。すると、たちまち耳が開き、舌のもつれが解け、はっきり話すことができるようになった。

天の父。私ども人間の子どもたちは貧しいのです。耳が聞こえず、口もきけません。しかしあなたは私どもを毎日、目覚めさせてくださいまして、私どもにエッフアタを聞かせてくださるのです。このことを私どもはあなたに感謝し、あなたが私どもにしてくださることを喜ぶのです。私どもを助けてくださいまして、私どもが、私どもの主イエス・キリストによる大いなる終わりを待ち望むことにおいて、一つとなりますように。そして、このお方がすべての人間の前であなたの御子として、救い主として認められますように。そのお方において全能であるあなたは私どもに会ってください、また全能であるあなたは、光あれ、生きよ、死の闇より出て、生命が生れよ、と、そのお方により新しい言葉を語ってくださいるのです。このお方はすべての人間の、また、なお深い闇の中に立っている人の、救い主とされるのです！天の父、あなたの御名がたたえられますように！アーメン。

10月5日

イザヤ書 第49章6節 わたしはあなたを僕として ヤコブの諸部族を立ち上がらせ イスラエルの残りの者を連れ帰らせる。だがそれにもまして わたしはあなたを国々の光とし わたしの救いを地の果てまで、もたらす者とする。

大いなる神。私どもはあなたに感謝致します。あなたはあなたの御光を全世界へと輝かせてくださるからです。そしてあなたがすべての人間の父であること、近くにいる者も、遠くにいる者も、悪しき者たちも、善い者たちもです。時の流れとともに人間をあなたのもとへと導いてくださいますことを明らかにしようとしてくださいます。そしてあなたの御名は聖なるものとされ、正しいものとされるのです。あなたの御業がこの地上に、あなたへの賛美がすべての心の中に宿ることができるよう。そして私どもはあなたの御手により生きることが許されますように。どうかあなたがイエス・キリストにおいて輝かされる御光が、私どもも明るく照らしますように。そしてその御光が私どもの心に迫って、私どもがこのあなたの御光へと喜びをもって立ち上がり、地上におけるあなたの救い主を拝むことができますように。私どもを祝福し、私どもにあなたの御霊をお与え下さい。それなしでは私どもは何もできないのです。どうか私どもすべての日々に私どもの人生に役立つ何かを受けることができますように。アーメン。

10月6日

ヨハネによる福音書 第17章25-26節 正しい父よ、世はあなたを知りませんが、わたしはあなたを知っており、この人々はあなたがわたしを遣わされたことを知っています。わたしは御名を彼らに知らせました。また、これからも知らせます。わたしに対するあなたの愛が彼らの内にあり、わたしも彼らの内になるためです。」

主、私どもの神。あなたは私どもの父であり、いかなる時にも私どもを支配し、私どもが身も魂も前進することができるようにと、私どもをさらに導こうとしてください、その愛をもって私どもを愛してくださっているのです。私どもはあなたに願い求めます。あなたの御霊をお与えください。あなたがあなたの御手を明らかにしてくださいまして、私どもが行うことは、人間的なものではなく、自分の心があなたに忠実であり、自分にまかされた仕事を行う、すべての人間の子供たちにとっては、あらゆることがあなたから来て、私どもがするすべてのことがら、この地上では礼拝となりますように。今までも私どもと共にあり、これからも私どもと共にある、あなたの大いなるいつくしみとまこととによって私どもをお守りください。アーメン。

10月7日

ヨハネによる福音書 第10章14－15節 わたしは良い羊飼いである。わたしは自分の羊を知っており、羊もわたしを知っている。それは、父がわたしを知っておられ、わたしが父を知っているのと同じである。わたしは羊のために命を捨てる。

愛する天の父。私どもはあなたに感謝致します。あなたの声が私どもの心の中へと入って来て、私どもは喜んでこう言うことが許されているからです。「私どももあなたに属しています。私どもはあなたのものです！」と。そして、私どもはもう決して立ち止まることなく、もう二度と小さなことにこだわろうとはしないと、そのように自らを整えたいと願います。むしろそうでなく常に、イエス・キリストがそれである、力において強くあり続けますように。ですからどうかこの家をお守り下さい。一人ひとりの人の子らをお守り下さい。私どもが歩むあらゆる道行きにおいて私どもをお守り下さい。私どもを取り囲む多くの危険の下において、どうか強い神であるあなたが、私どもと共にいてください。そしてどうか常に私どもを喜んでいる者としてください。なぜなら私

どもの名前は天に書き記されているからです。アーメン。

10月8日

ペトロの手紙二 第3章17-18節 不道德な者たちに唆されて、堅固な足場を失わないように注意しなさい！わたしたちの主、救い主イエス・キリストの恵みと知識において、成長しなさい！

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。あなたが私どもに、ただおひとりの主イエスにより、強固な砦を与えてくださったからです。この主イエスを私どもは、荒れ狂い、醜く、むなしい、残酷な全世界に対立させることができるのです。何が来ようとも、イエス・キリストの御旗を私どもは高く掲げ、このお方において、あなたの大いなるみわざを、あなたの御国がこの地上のすべての民の上に完成されることを待ち望みたいと願います。あなたは私どもの神、私どもの父です。私どもを守り、私どもの心の中に光を与えて、私どもが常に喜ぶことができ、あなたに永遠に希望を置くことができますように。アーメン。

10月9日

ヨハネの黙示録 第15章3-4節 全能者である神、主よ、あなたの業は偉大で、驚くべきもの。諸国の民の王よ、あなたの道は正しく、また、真実なもの。主よ、だれがあなたの名を畏れず、たたえずにおられましょうか？ 聖なる方は、あなただけ。

主なる神。私どもはあなたに感謝致します。私どもの時代の私どもも、あなたが今働いておられることを、感じ、気づくことが許されているからです。そのことにおいて私どもは慰められ、喜ぶのです。そしてたとえ、地上において悲しませる事どものため、しばしば涙が流れることがあっても、私どもはなお立ち上がるのです。私どもはなお喜びを持ちます。なぜならあなたが今働いておられるからです。あなたが、あなたのみ心であり、私どもの命、私どもの救いをも含むものを、あなたは成し遂げてくださるので

す。私どもはあなたに願い求めます。どうかこの私どもの時代にあっても実りがもたらされますように。それはあなたの御手のうちにあるのです。どうかあらゆる所において、もろもろの民のうちに、多くの人々があなたのもとに来て、自分たちの危機においてはあなたに向かい、その人たちが助けられた時には喜ぶことができますように。あなたの御名が聖なるものとされますように。あなたの御国がきますように。あなたの御心が、天においてのように、地にもなりますように。アーメン。

10月10日

ローマの信徒への手紙 第3章〔22〕23－24節 そこには何の差別もありません。人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、ただキリスト・イエスによる贖いの業を通して、神の恵みにより無償で義とされるのです。

主、私どもの神。私どもはあなたのお名前をたたえます。あなたが地上に恵みの御座をお据えになったからです。そしてイエス・キリストの血により私どもの罪を赦して下さいます。あなたの恵みが多くの人々の心に力強いものとなりますように。すべての民にあなたの光を照り輝かせて下さい。あなたの栄光が人々に知られ、その心の中にあなたの栄光が現れて、あなたのお名前がたたえられるため、なお不幸である多くの人々が救われますように。奇跡を起こすあなたの御言葉において私どもをお守りください。イエス・キリストが地上にもたらしてくださったすべてのものによって私どもをお守りください。私どもはそれを誠実に純粹に用いて、多くのものをなしとげます。それにより、あなたのお名前がほめたたえられ、私どもがこがれて待ち望むイエス・キリストの日を迎えられるようにしてください。アーメン。

10月11日

詩編 第37編4－5節 主に自らをゆだねよ 主はあなたの心

の願いをかなえてくださる。あなたの道を主にまかせよ。 信賴せよ、主は計らい

愛する天の父。私どもはあなたがお示しになる道に心をとめ、これを尊びます。たとえそれが辛い道であったとしてもです。私どもは勇気ある、力強いものでありたいのです。主よ、私どもを助けて信じさせてください！死のただ中にある何千、何百万の人々を助け、はかりなく大きな自己否定により、すべてを乗り越える、信仰へと至るようにしてください。そしてどうかあなたの光が、この時代の諸々の民の生命を照らしますように。あなたの光が私どもを導き、先頭に立たねばなりません。そしてそれが平安になりますように。私どもが今までに経験したものよりも、なおより高い平安にです。私どもすべてに、ひとりひとりに心をおとめください。そしてどうか私どもの人生のさまざまな戦いが平安のために役立ちますように。そしてもしわたくしどもに辛い道が定められましたならば、どうか私どもがしっかりと立ち、もっとも厳しい日々にあっても、決して重荷を嘆くことがありませんように。なぜならこの悲しみを通して、道はあなたへと続いているのですから。アーメン。

10月12日

マタイによる福音書 第6章12節 わたしたちの負い目を赦してください、わたしたちも自分に負い目のある人を赦しましたように。

主、私どもの神。私どもはあなたに、あなたがこの世界を貫いて照らす大いなる御光に感謝致します。そして私どもは知ることが許されるのです。あなたが人間を赦してくださいますことを。いかなる罪もあなたが赦すことができないほどに重すぎることも、大きすぎることもないのです。しかし人間に呼びかけさせてください。私を憐れんでください、ああ、神よ！と。人間に祈る霊を心にお与えください。彼らが呼びかけますように。父よ、私ども

の罪責をお赦してください！と。あなたの聖なる霊をお与えください。まことの、へりくだる霊を心にです。そして罪をも赦してください！ひとつの霊がため息をつくところ、一人の人があなたに祈り願うところで、お聞き届けくださいますように！私どもの願いをあなたの王座に来させてください。私どもの祈り願いをお聞き届けてください！私どもの心にかかることはこんなにも多いのです。私どもはどれほどたくさんの方が心にかかるのか、口にすることができないのです。しかし私どもは他の人々のことも祈り願うのです。父よ、彼らをお赦してください！と。私どもを妨げるものを取りのけてください。そしてあなたが赦してくださいました、すべての人々へのさばきがやわらぐことが可能でありますように。私どもと共にいてください！私どもをイエス・キリストのひとつの共同体としてください。キリストの血により洗われた、いかなるこの世の怒りに対しても、いかなる憎しみに対しても、いかなるつらさに対しても強い共同体にです。そして私どもは許すことができ、私どもの呼びかけも変わらないのです。われらに罪を犯す者をわれらがゆるすごとく、われらの罪をもゆるしたまえ！と。アーメン。

10月13日

ガラテヤの信徒への手紙 第4章6－7節 あなたがたが子であることは、神が、「アッバ、父よ」と叫ぶ御子の霊を、わたしたちの心に送ってくださった事実から分かります。ですから、あなたはもはや奴隷ではなく、子です。子であれば、神によって立てられた相続人でもあるのです。

愛する天の父。私どもはあなたの御前にあなたの子供たちとして歩み出ます。そして私どもがあなたの子供たちであり、そうあり続ける事が許されていて、あの大いなる日に至るまで、あなたの御名をたたえるために、主イエスの御守りと御導きのもとに生きることが出来ますことを、あなたの御霊によって聞き、学びたい

のです。なぜならあなたのすべての約束は人間の子供たちにおいて成就しなければならないからです。苦難の日々にあっても私どもを強めてください。私どもを危険がおびやかそうとも、悪が私どものもとに来ようとも、私どもを助けてください。そしてあらゆる悪から私どもを救ってください。なぜなら国と力と栄えとは永遠にあなたのものであるからです。アーメン。

10月14日

詩編 第85編9－10節 わたしは神が宣言なさるのを聞きます。主は平和を宣言されます 御自分の民に、主の慈しみに生きる人々に 彼らが愚かなふるまいに戻らないように。主を畏れる人に救いは近く 栄光はわたしたちの地にとどまるでしょう。主、私どもの神、あなたは、私どもが通り抜けなければなりませんあらゆることの中にありまして、私どもの助け、私どもの慰め、私どもの命であるお方なのです。あなたの御前に私どもは、弱く貧しい者として集います。しかしあなたは私どもを、豊かに、そして生き生きとしたものにするのがおできになりますから、あなたの御心であり、この地上においてあなたの義とならねばならないことのうちに、私どもは生きるのです。私どもの心の中で、あなたの御名をたたえるため、私どもが体験しますあらゆることのうちに、どうか私どもを霊においてひとつのものとしてください。そしてどうかあらゆる世界の中へと、あなたの栄誉と、多くの人々からの感謝が、出で行きますように。なぜならあなたは助けであり、あらゆる悪からの救いであるからです！アーメン。

10月15日

マタイによる福音書 第9章12－13節 医者を必要とするのは、丈夫な人ではなく病人である。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである。

愛する天の父。私どもは、たくさんの愚かな事を行い、たくさん

の破滅の中に立つ、不完全で、罪深い子供たちとしてあなたの御前に立っています。私どもは父であるあなたの御許に参ります。そしてあなたは私どもに対して永遠に父の愛を持ってくださっていることを知っているのです。ですから私どもに恵み深くあって、私どもを、私どもが、この地上の生活の中で自分が受けなければならない、あらゆる害から助けてください。どうか人間の罪が、あなたの御国が地上へと来て、ついにはすべての人間のもとへと来ることによる、恵みによって滅ぼされますように。それにより、あなたが助けてくださったのですから、すべての人間はあなたの子供たちとして喜び、歓声を挙げるのが許されるのです。あなたの御名がすべての人間の上でたたえられますように！アーメン。

10月16日

コリントの信徒への手紙一 第1章4-5節 わたしは、あなたがたがキリスト・イエスによって神の恵みを受けたことについて、いつもわたしの神に感謝しています。あなたがたはキリストに結ばれ、あらゆる言葉、あらゆる知識において、すべての点で豊かにされています。

主、私どもの神。あなたはこんなにも近くへと来てくださいますから、私どもは自分をあなたの子供であると感じることが許されています。そして私どもがこの地上で生きる時に伴うあらゆること、あらゆる困難、あらゆる誘惑、私どもを苦勞させるあらゆることをたずさえたまま、私どもはあなたの御手の中にあることを知ることが許されています。だから私どもはあなたに感謝致します。感謝をするため共にみもとへと参ります。そして私どもの感謝も、私どもを苦勞させようとするあらゆることに対して勝利を手に入れるのです。そしてこの地上においてなお、公平でなく、まっすぐでなく、正しくないことも、私どもを損なうことはあり

得ません。あなたが私どもにお与えくださる光によって、どうか私どもをお守りください。そして私どもが私どもの霊において、人生におけるあらゆる状況において理性的であることができますように。そしてあらゆる低いもの、過ぎ去ってしまうもの、重要でないものに高くまさるものであることができますように。アーメン。

10月17日

ローマの信徒への手紙 第13章12節 夜は更け、日は近づいた。だから、闇の行いを脱ぎ捨てて光の武具を身に着けましょう。

私どもはあなたに感謝致します。天の父。あなたは私どもに光を与えて下さり、明るい日へと向かう大きな希望をお与えくださるのです。その日は私どもには作れません。しかしあなたのうちにはあるのです。その日は来ることになっており、私どもは今日すでに触れることができますのです。ですからどうか私どもの心をしっかりとしたものにしてくださって、私どもがこのように弱い人間の中にあっても揺れ動くことがありませんように。そしてどうか私どもが常に愛を守るものとしてください。その愛はあなたが私どもに恵みのうちにお与えくださり、光と知識とに満ちあふれており、そのことを私どもが喜ぶことを許されているのです。アーメン。

10月18日

マタイによる福音書 第22章37-39節 『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の掟である。第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』

主、私どもの神。あなたへの愛の中に私どもは立ちたいと願っています。あなたの御霊によって私どもを助け、私どもの目を開いてください。それにより私どもが、この世の悲しみの中にあって

も、私どもがあなたの子どもたちとしてその中に入れられています、あなたの慈しみとあなたのまこととを見ますように。全能である方、私どもはあなたを仰ぎのぞみます。この私どもの時代にあつて、私どもをお守りください！どうか私どもの父なる国をあなたにゆだねさせてください。それによりこの困難な時代にあつても、あなたへの愛に目覚めますように。あなたのみもとへの他、いったい私どもはどこへ行けば良いと言うのでしょうか？またあなたが遣わしてくださいましたイエス・キリストの他、どこに私どもは助けを見出せば良いと言うのでしょうか？イエス・キリストはこの地上に打ち勝ち、あらゆる悪はキリストにより屈服させられ、天においても、地においても、地の下においても止み、キリストはあなたの御名をたたえるために主となられるのです。アーメン。

10月19日

エゼキエル書 第34章16節 わたしは失われたものを尋ね求め、追われたものを連れ戻し、傷ついたものを包み、弱ったものを強くする。しかし、肥えたものと強いものを滅ぼす。わたしは公平をもって彼らを養う。

主、私どもの神。私どもにあなたの御霊をお与えください。そして私どもがあなたの平安を理解して、私どもの祈りにおいても、力あるお方であられ、聖なるお方であられ、この地上に平安があることを望んでおられる、あなたのみによってどうなるべきであるかを知りますように。あなたの平安はあらゆる理性よりも尊く、あなたの平安は天においても、地上においても、地下においてもあり、あなたの平安はあらゆる罪とあらゆる死とに逆らつてあり、いかなるものと呼ばれようとも、あらゆる悪を取り除こうとするのです。ですから私どもはあなたを、主なる神を待ち望みます。ですからあなたが私どもの願いをお聞き届けくださいますように。そして私どもがこんなにも長く戦いの中に立っていなければなら

ないとしても、私どもは忍耐深く待つのです。なぜなら私どもはあなたの子供たちなのですから。そしていかなる疑いも来ることなく、あなたの御名が聖なるものとされ、すべてがあなたの御心の通りとなり、地に平安が来ますように。あなたの平安がです！
アーメン。

10月20日

詩編 第33編 8－9節 全地は主を畏れ 世界に住むものは皆、主におののく。主が仰せになると、そのように成り 主が命じられると、そのように立つ。

主、私どもの神。私どもはあなたの御前に集い、あなたに願い求めるのです。どうかあなたの御光を私どもの心の内に輝かせてください。それによって私どもが苦しみ、悲しむ時にも強くなりますように。あなたが、この世のあらゆる嵐を貫いて、あらゆる苦しみを貫いて、あなたを信頼する者たちに、御守りを与えてくださいます、力あるお方であることを、どうか私どもに経験させてください。あなたの御国がなお力強いことを、私どもに経験させてください。そしてこの世のあらゆる王国が立ち上がる時にも、あなたは私どもと共にいてくださいます、あなたの御国に希望を持ち続けて来ました私どもが、悪い日々にも、あなたの尊い聖なる御統治によって、何事かが起こらねばならないと希望を持ちますように。アーメン。

10月21日

ヨハネの黙示録 第8章 3－4節 また、別の天使が来て、手に金の香炉を持って祭壇のそばに立つと、この天使に多くの香が渡された。すべての聖なる者たちの祈りに添えて、玉座の前にある金の祭壇に献げるためである。香の煙は、天使の手から、聖なる者たちの祈りと共に神の御前へ立ち上った。

主なる神。私どもはあなたの御前に立ち、あなたに願い求めます。

私どもの心と思いとをあなたに、あなただけに向けさせてください。あなたは全世界の上に力あるお方であり、すべてのことをあなたの御心に従い、人の心の中に行くことがおできになるのです。どうか私どもの時代の中に光がありますように。そしてどうか、すでにあなたのもとへと届いております、多くの願いをお聞き届けくださいますように。何百年も前からすでにあなたの御座の前に昇っております願いです。この地上にあなたの御国とあなたの御心を求める願いなのです。なぜならこの地上は悪しき者の獲物とされてしまっているからです。そして私ども人間は貧しく、みじめです。あなただけが、私どもを助けることがおできになるのです。ですからどうか私どもを助けてください、主、私どもの神であり父であるお方。そしてどうか悲しみの後には、あなたの時が来ますように。あなたの大いなる日が、全世界の上にすべての民の上に来ますように。アーメン。

10月22日

申命記 第10章12節 イスラエルよ。今、あなたの神、主があなたに求めておられることは何か。ただ、あなたの神、主を畏れてそのすべての道に従って歩み、主を愛し、心を尽くし、魂を尽くしてあなたの神、主に仕え〔ることではないか〕。

主、私どもの神。私どもの天の父。私どもがここに集まっております時に、私どもと共にいてください。そしてあなたの御霊により何かを私どもの心の中にお与えください。そうすることにより私どもは、あなたに正しくお仕えして生きることが、私どもに与えられた課題であることを理解するのです。あらゆる善い事の中で私どもをお守りください。あらゆる悪と妨げ事から私どもをますますお救いください。私ども皆と、あらゆる所の私どもにつながる者たちに対して親しくいてください。あなたに向かってため息をついて、地上のものに打ち勝とうと、天からのものをあなたに祈り願う、一人一人の人間の心に耳をお傾けください。アーメ

ン。

10月23日

コリントの信徒への手紙二 第1章3－5節 わたしたちの主イエス・キリストの父である神、慈愛に満ちた父、慰めを豊かにくださる神がほめたたえられますように。神は、あらゆる苦難に際してわたしたちを慰めてくださるので、わたしたちも神からいただくこの慰めによって、あらゆる苦難の中にある人々を慰めることができます。キリストの苦しみが満ちあふれてわたしたちにも及んでいるのと同じように、わたしたちの受ける慰めもキリストによって満ちあふれているからです。

主、私どもの神、私どもはあなたに感謝致します。あなたは私どもの苦しみを、命へ至る道としてくださったからです。私どもはあらゆることにおいて慰めを受けることが許されており。あらゆることにおいて感謝することができるからです。あなたはまさに私どもにとり困難となることにおいて、もっとも良いものをなすことがおできになるからです。あなたの御名がたたえられますように。あなたは死と罪とを貫く一つの道を私どもに与えてくださいました。あらゆる悪を貫いて、救いの道をお与えくださいました。そのことにより、あなたの御名がたたえられますように！
アーメン。

10月24日

ヨハネによる福音書 第16章27節 父御自身が、あなたがたを愛しておられるのである。あなたがたが、わたしを愛し、わたしが神のもとから出て来たことを信じたからである。

愛する天の父。私どもはあなたに感謝致します。私どもは貧しく、過ち多く、罪深い、死へと落ち行く生活を送っておりますのに、あなたの愛のまもりの中にあることが許されているからです！私どもはあなたに感謝致します。私どもが、どのようなものである

うとも、また一人ひとりが自分自身のことを気に向け、また自身の性質が不足したものであることを気にかける者でありましても、私どもはあなたに感謝致します。私どもはそれでもなお、皆、あなたの子どもたちであるからです！私どもはあなたに願い求めます。私どもの全存在の中深くへと。肉と血との中へと、私どもに、あなたの聖なる霊を十分にお与えください。それにより、私どもは、あらゆる戦いの下にも、あらゆる不幸の下にも、信仰のうちにいつづけることが出来るのです。あなたの御霊をお与えください。それにより、私どもも、私どもの主イエス・キリストにおいて、希望に満ち、確信に満ちて、未来を見ることが出来るのです。このお方は今ここにおられ、かつておられ、またここにおいでになります。このお方の勝利が私どもの目の前に置かれていますから、私どもは決してためらうことなく、不安にならなくてもよいのです。どうか私どもにあなたの御霊をお与えください。それにより、そのような真理が、私どもの中に生まれ、私どもがますます、あなたがこの世へとおいでになることに、備えをすることが出来ますように。そしてあなたが良いことをなして下さっており、あなたのお名前をたたえるために、ついにはすぐにお助けくださるのだということを、今日にも体験することが許されますように。アーメン。

10月25日

ルカによる福音書 第18章7-8節 まして神は、昼も夜も叫び求めている選ばれた人たちのために裁きを行わずに、彼らをいつまでもほうっておかれることがあろうか。言うておくが、神は速やかに裁いてくださる。しかし、人の子が来るとき、果たして地上に信仰を見いだすだろうか。

天の父。私どもは、キリストが来てくださるという、あなたの愛の中に立っています。そして私どもは日々、主イエスご自身に対しても、主イエス来てください！と言うのです。もしあなたが、

今日は、ふさわしい時とは違うということになってしまって、私どものところにも、特別においでになることができないならば、世界の中へと来てくださいますように。いよいよますます世界の歴史の中へと来てくださいますように！どうかますますあなたのご性質が、あなたの善がもろもろの心の中へと来てくださいますように！どうか早く来てくださいますして、悪い敵対者が、あらゆる恐ろしい、敵意に満ちた性質を持った世の権力が止み、清らかな日が、天の父の明るい光が、主イエス、あなたによって来てくださいますように。そうです、主イエス来てください！アーメン。

10月26日

ヨハネによる福音書 第17章11節 わたしは、もはや世にはいません。彼らは世に残りますが、わたしはみもとに参ります。聖なる父よ、わたしに与えてくださった御名によって彼らを守ってください。わたしたちのように、彼らも一つとなるためです。

主イエス・キリスト、私どもの救い主。あなたは私どもの隣にしようとしてくださり、私どもの地上のあらゆる時において私どもを守ろうとしてくださいます。どうかあなたによって神の栄光を私どものもとへと運んで来てください。そしてあなたが遣わされたこと。天と地とはなお神の全能の御心の前に伏さねばならないことが明らかに示されますように。私どもに力をお添えください。私どもがあなたの御言葉を聞き、受け入れ、理解することができますように！私どもの人生のあらゆる時に、私どもに力をお添えください。苦しみの時にもです。そして必要なら死ぬ時にも！どうかあなたの恵みが私どもと共にありますように。常に助けてくださいいますして、私どもの神であり、天の父であるお方の御心によってしっかりと強くなりますように！アーメン。

10月27日

コリントの信徒への手紙二 第4章8、10節 わたしたちは、四

方から苦しめられても行き詰まらず、途方に暮れても失望せず、
2004:10 わたしたちは、いつもイエスの死を体にまもっています、
イエスの命がこの体に現れるために。

主なる神、私どもはあなたにあなたの御声を感謝いたします。たとえあなたの御声が深刻なものであったとしても、私どもが苦しまねばならず、悲しみを耐えなければならなくてもです。私どもにお語りくださいますのはあなたの声です。そしてあなたの御声の中で喜びたい、あらゆる地上的な生活に対して勝利したいのです。ですからひとりひとりすべての生活の中で、私どもと共にいてください。私どもが体験したことすべてが良いものであったと、どうか私どもに認識させてください。もろもろの民の上に力強い主となってください！すべての人びとの上に、力強い避けどころ、神となってください！そして罪と悲しみの、恐ろしい時代を過ぎ去らせてください。すぐにです、そうです、すぐにです。こう言われているのです。「元気を出しなさい。私はすぐに来る！この恐ろしいことすべては過ぎ去らねばならない。私の意志は行われる。わたしの名前は聖なるものとされなければならない。わたしの国とわたしの支配は来なければならない！だから元気を出しなさい。あなたがたの神を天の父をいつも仰ぎのぞみなさい！」と。アーメン。

10月28日

詩編 第50編 14－15節 告白を神へのいけにえとしてささげ
いと高き神に満願の献げ物をせよ。それから、わたしを呼ぶがよい。 苦難の日、わたしはお前を救おう。 そのことによって お前はわたしの栄光を輝かすであろう。

愛する天の父。私どもはあなたを共に賛美し、あなたに心から感謝したいのです。なぜならあなたは私どもにたくさんの善いことをしてくださり、多くの苦難の中で救いを見させてくださったからです。私どもの感謝をお受けください。私どもが歩むあらゆる

道行きにおいて、私どもの心が常に喜び続けるようにしてください。そして、あなたが私ども、あなたの子供たちに備えてくださいます、あらゆる事柄において、あなたを喜んでお迎えしますように。一人一人の時には、どうか私どもを祝福してください。交わりの中にいる時には、どうか私どもを祝福してください。あらゆるところに向けて、あなたの御霊の輝きを輝かせてください。そしてその輝きが、諸々の心を慰め、立ち上がらせ、信仰においてお強めください。あなたの御名が永遠にたたえられますように！アーメン。

10月29日

詩編 第89編 16節 いかに幸いなことでしょう 勝利の叫びを知る民は。 主よ、御顔の光の中を彼らは歩きます。

愛する天の父。どれほどあなたは私どもにご好意をお持ちくださったことでしょうか。どれだけたくさん、あなたは私どもに善いものをすでにお与えくださり、何度も何度もそれを経験させてくださることでしょうか！ですから私どもの心は喜んでいます。ほんとうに喜んでいます。そして喜びの感謝をもって私どもは安らぎに入りたいのです。あなたの子供たちとして心に喜びを抱きたいのです。それが昼も夜も私どもの礼拝となります。それ以上を、あなたは決してお望みにはなりません。しかしそのことにより私どもは忠実でありたいのです。喜びたいのです。喜びをもって私どもの生活を見つめたいのです。そして私どもに闇がせまっても、あなたの救いは来る、と、なお私どもは希望を持ち続けるのです！主、私どもの神。現在のように、未来についても、そのことを私どもは喜びます。私どもはあなたが今日すでにくださっているものについて喜ぶのです！アーメン。

10月30日

詩編 第117編 すべての国よ、主を賛美せよ。 すべての民よ、

主をほめたたえよ。主の慈しみとまことはとこしえに わたしたちを超えて力強い。 ハレルヤ！

主、私どもの神、私どもはあなたに感謝致します。私どもはあなたのみもとへと来ることが許されており、私どもの霊はあなたの助けと、あなたの慰めへと高められるからです。どうか私どもを、私どもの父であるあなたとの交わりの内に強めてください。どうか私どもが、私どもがあなたの子供たちであって、あなたがその守りであり、助けであることを、あなたのあらゆる道において経験することが許されている、あなたのまことの子供たちであると意識させてくださいますように。私どもの世界を覚え、多くの心を目覚めさせ、たとえば、今日こんなにもさまざまに多くの人々の上に来る、恐怖と危機においても、それらの心があなたの方へと向かいますように。静かに、あなたの御霊がもろもろの心の中へと明らかに示され、多くの経験がされることが許されますように。主、私どもの神であるあなたと、その御国についての経験です。ですからどうか私どもを、この地上のあらゆるところ、多くの国々の、あらゆる日々においてお守りください。なぜならもろもろの民はあなたのもものだからです。民もまた自分の命を持たねばなりません。あなたから祝福を受けなければならないのです。そしてついにはあなたの御国が、永遠にあなたの御名をたたえるため、世界中に明らかにされなければならないのです。アーメン。

10月31日

詩編 第118編8－9節 人間に頼らず、主を避けどころとしよう。君侯に頼らず、主を避けどころとしよう。

主、私どもの神、愛する天の父。私どもはあなたに感謝致します！何度あなたは私どもをあらゆる不安と苦しみとから救ってくださったのでしょうか！何度あなたは私どもの祈りを聞き届けてくださったのでしょうか！私どもはあなたに祈り願います。どうか私どもの心を常にみずみずしく、喜びあふれるものとしてください。あ

あなたが私どもの祈りを聞き届けて下さるのですから。私どもはこの世においてはもう他に何も持たないのです。私どもはただあなたののみに希望を置かねばなりません！あなただけが私どもの時代を、諸々の民を、一人ひとりの人間を、お助けになることができるのです。他のものすべては――もうこれについては問うことをいたしません！主なる神、あなただけが私どもの助けであり、私どもの慰めであり、私どもがさらにこの地上で生きるための私どもの力なのです。アーメン。

11月1日

キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、諭し合い、詩編と賛歌と霊的な歌により、感謝して心から神をほめたたえなさい。（コロサイの信徒への手紙第3章16節）

愛する天の父。私どもはあなたとあなたの御国とを求め、また、あなたの御言葉のまわりに集まるものともなりたいのです。それにより私どもは私どもの心の中に力を得て、私ども自身の生活において、他の人たちの生活と同じようにしっかりと立ち、しっかり信じたいのです。そしてあなたの御心があらゆる小さいもの、大きなもののなかに成り、私どもも、あなたの栄光がこの地上に新たに来ますことを、さらに体験することが許されますように。それにより私どもが、たんなる地上的な事柄に悩み、これにかかずらわる必要がなく、むしろ天的な事柄により囲まれて、あなたの善い、恵み深く、憐み深い、完全なる神のご意志により、すべてが新しくなりますように。アーメン。

11月2日

コロサイの信徒への手紙 第3章1-2節 さて、あなたがたは、キリストと共に復活させられたのですから、上にあるものを求め

なさい。そこでは、キリストが神の右の座に着いておられます。上にあるものに心を留め、地上のものに心を引かれないようにしなさい。

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。あなたは私どもにこんなにもたくさんのおことを体験させてくださるからです。そして私どもは天にあるものを見、常にあなたを仰ぎ臨み、次のように言うことができるからです。私どもにイエス・キリストによって天にあるものを送ってください。ひとつひとつの生活の中へ送ってください。もろもろの民の生活の中にも送ってください。天にあるものを送り、何か善いものが生じ、悪魔がほまれを得ることがありませんように。そうではなくあなたの御霊が、あなたの天の御霊が、唯一のほまれを得ますように。人間が誤ったものからもほまれを得ますように。なぜならあなたはすべてものを変えることがおできになるからです。人々は悪くしようと考えますが。あなたはそれを善くすることがおできになります。そこに私どもはとどまるのです！ですから私どもはあなたに希望を置きます。ですから私どもの人生をあなたの御手のうちに置いてください。それによりあなたがこの人生を天にある善いものと力とによって祝福してくださいますように。アーメン。

11月3日

テサロニケの信徒への手紙一 第1章2-3節 わたしたちは、祈りの度に、あなたがたのことを思い起こして、あなたがた一同のことをいつも神に感謝しています。あなたがたが信仰によって働き、愛のために労苦し、また、わたしたちの主イエス・キリストに対する、希望を持って忍耐していることを、わたしたちは絶えず父である神の御前で心に留めているのです。

主、私どもの神、私どもの上に力あるお方でいてくださり、私どもにあなたの御光をお与えください！どうかあなたの御霊が私どもと共にありますように。そして御霊は私どもの心の中で、すで

に起きたことを確かなものとするのです。そして私どもの心は喜び、この人生の数々の苦しみの中にあっても慰めを受けるのです。あまねく闇の中で、この世界を、すべての人間を照らしてください。そしてどうか私どもが何のために人間となったのかを、私どもに示すものを、ますますもたらしてください。どうか私どもを、将来を信じる信仰において、あらゆる善いものへの信仰においても強くしてください。たとえまだこのように隠されているとしても、最後には明らかにならねばならないからです。そしてどうか私どもにあなたへの感謝を、讃美と誉れとを、私どもと、全世界からもたらされるようにしてください。アーメン。

11月4日

ヘブライ人への手紙 第12章22-23節 **しかし、あなたがたが近づいたのは、シオンの山、生ける神の都、天のエルサレム、無数の天使たちの祝いの集まり、天に登録されている長子たちの集会、すべての人の審判者である神、完全なものとされた正しい人たちの霊**

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。あなたが私どもを救い出してください、私どもは、自分たちが、聖なる人々と結びつけられており、イエス・キリストのまわりに集い、毎年まいねん、より大きく、より強くなって行く、天上の世界、人間の世界全体と結びつけられているのだと、感じる事が許されているからです。私どもはあなたに感謝致します。私どもも、そこに加えられているからです。そして祈り願うのです。どうかこのことが私どもの心の中に生き生きと保たれて、私どもが喜び歩む人間の子供たちでありますように。救われ、ますます大いなる救いへと歩み出す、賛美と感謝に満ちあふれた、確信と喜びに満ちあふれた、人間でありますように。ですからどうかそれを私どもに分かち与えてください。なぜなら私どもは、あなたの御国に礎を置いて建てられた、あなたの救いの御力によって生まれた、あな

たの民であるからです。どうか私どもをあなたの賜物によって、あなたの御力によってお守りください。どうか私どもと全世界を、あなたの御救いによってお守りください。諸々のからだ喜んで賛美をし、あなたがすでにこの地上において私どもにお与えくださいましたこの命を、喜ぶことが許されますまで。アーメン。

11月5日

シラ書 第34章19節 主の目は、主を愛する者の上に注がれている。主は、力強い盾、堅固な支え、熱風から守る避難所、真昼の日ざしを防ぐ陰、転ばないように防ぎ、倒れないように助ける者。

主なる神。全能のお方。あなたは全世界の上にあなたのまなざしを注がれているのです。私どもは、私どもを囲んでいます、あらゆる悪の中であなたの御前に立っています。どうか私どもの人生をあなたの御手の中においてください。そしてあなたの御力を与えて、私どもが悩みと苦しみの中にありましても、私どもの人生を無事に切り抜けさせてください。なぜなら私どもはあなたのもものだからです。主なる神。そしてあなたはご自分のために、強くなり、あらゆる悪から解き放たれるようにと、あなたの民を選んでくださったからです。私どもは祈り願い、また請い焦がれるのです。私どもを助けてください。どうかあなたが私どもと共にいてくださることを私どもに経験させてください。そして、あなたの御名が永遠にたたえられるために、どうかあなたの御言葉が私どもにおいて祝福されたものとなりますようにと。アーメン。

11月6日

イザヤ書 第25章7-8節 主はこの山で すべての民の顔を包んでいた布と すべての国を覆っていた布を滅ぼし 死を永久に滅ぼしてくださる。主なる神は、すべての顔から涙をぬぐい 御自分の民の恥を 地上からぬぐい去ってくださる。これ

は主が語られたことである。

主なる神。あなたの御国が来ます。あなたの助けが私どものもとに来ます。そして私どもの苦しみが大きい時には、あなたを見上げるのです。さらに良くなるようにと、地上においてもあなたの民が生き、あなたの民が力を得て、あなたを信頼し、忍耐と喜びとをもって、あなたを待ち望むため、あなたは私どもに約束を与えてくださったのです。主、私どもの神、どうかあなたの御手を私どもの上に置いてください。そしてどうかあなたの救い主の力を私どもに明らかにお示してください。あなたは私どもが何を必要としているかをご存じです。ひとりひとりの心のうちをごらんになられて、あなたがおっしゃってくださった通り、私どもを助けてくださるのです。どうか私どもを祝し、助けてください。私どものうちに、あなたの御名が聖なるものとされますように。あなたの御国が来ますように。あなたの御心が天においてのように地にもなりますように。アーメン。

11月7日

シラ書 第3章 18節〔原文第2章 22－23節〕 わたしたちは、自分を、人の手にではなく、 主の御手にゆだねます。 主の憐れみは、 その尊厳と同じく、偉大なのですから。

天の愛する父。あなたは天においても地においても強い神でおられます！私どもはあなたに願い求めます。どうか私どもを、あなたが私どもに贈って下さいました御言葉によって、また、あなたが、あなたの憐れみとまこととを通して既になさってくださったすべての事柄によって、私どもが生きる者となりますように。困難な日々、苦しみの日々にあっても、どうか、私どもと共に永遠にあり続け、私どもの足のしっかりとした踏みどころとなります、あなたへの確信の中にあって、私どもが生き生きとした、喜びに満ちあふれた者としてありつづけることができますように。そして、私どもが常にほめたたえ、感謝することができる者とな

りますように。主なる神、なぜならあなたは私どもの神であり、私どもの父となってくださるからであります。あなたはご自分の子どもたちを、今までも、これからも、決してお見捨てにならないお方であるからです。アーメン。

11月8日

ヨハネによる福音書 第5章24節 はっきり言うておく。わたしの言葉を聞いて、わたしをお遣わしになった方を信じる者は、永遠の命を得、また、裁かれることなく、死から命へと移っている。主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。あなたが私どもにイエス・キリストの御名をお与えくださったからです。その御言葉は今日まで生き生きとしてあり続けているのです。あなたはその御言葉を永遠に生き生きとしたものにされ、イエス・キリストの御名により歌い、喜びの声を上げることは、全能の神であり天の父であるあなたのためのもとなるのです。私どもすべてに心をおとめください。私どもが持つ、一人一人の苦しみに心をおとめください。イエス・キリストの御言葉を通してこの世界にいてください。どうか御言葉があなたの力強い天使となって、あまねく広まりますように。たくさんの心をつかみ、これを立ち上がらせ、慰め、これを助け、必要なところでは奇跡を起こしますように。あなたの御名が、この強い、力あるイエス・キリストの御言葉によってたたえられますように。アーメン。

11月9日

ペトロの手紙二 第3章13節 しかしわたしたちは、義の宿る新しい天と新しい地とを、神の約束に従って待ち望んでいるのです。主、私どもの神、愛する父。あなたの御光のうちに私どもをお集めください。私どもの心にあなたの御霊と御力を与えてくださり、私どもがあなたにしっかりとおすがりすることができますように。あなたは私どものもとに助けとして、頼りとして、慰めとして、

私どもの全人生において永遠にとどまってください。私どもに世の救い主イエス・キリストを送ってください。そしてこのお方によって繰り返し常に何か新しいものをもたらしてください。それにより人間は生き生きとしたものとされ、死者の中から復活された方、その地上の御生涯において始められた、御業を完成するために再び来られるお方に注意を向けさせてください。私どもはあなたの約束を思い起こします、主なる神。そしてあなたから離れることをいたしません。なぜなら私どもの力は乏しく、私どものようなものによってでは、あなたは完成をもたらすことはおできにならないからです。あなたがついには来たらせ、あなたの御業すべてを完成されるために送られる、イエス・キリストによってそれを成し遂げられるのです。アーメン。

11月10日

ヨハネの黙示録 第1章7-8節 見よ、その方が雲に乗って来られる。すべての人の目が彼を仰ぎ見る、ことに、彼を突き刺した者どもは。地上の諸民族は皆、彼のために嘆き悲しむ。然り、アーメン。神である主、今おられ、かつておられ、やがて来られる方、全能者がこう言われる。「わたしはアルファであり、オメガである。」

主、私どもの神、私どもはあなたに感謝いたします。私どもに対しても、そして私どもにとってはしばしば荒んだ、悲しくなってしまう人生に対しても、大いなる御告げをくださったからであります。ご覧ください、それでもなお、あなたは私どもすべての人生を新しいものにしてくださるのです。そしてもし私どもが長く苦しみを受けていても、ついには命の光が喜びに満ちてのぼり、その光のうちに私どもは喜ぶことを許されるのです。ですからどうか私どもを、私どもの共同体をこれからもお守りください。ど

うか私どもを生き生きとしたものにしてください。あなたが信じるようにと、耐え忍ぶようにと呼び集めてくださったのです。そしてたとえなお、どんなに悲しく、厳しいものとなろうとも、私どもは耐え忍びます。主、私どもの神よ。私どもは誓います！私どもは耐え忍び、喜んで、自由に言うのです。イエス・キリストがおいでになる。すべてを新しくしてくださる！と。アーメン。

11月11日

マタイによる福音書第24章36, 42節 その日、その時は、だれも知らない。天使たちも子も知らない。ただ、父だけがご存じである。だから、目を覚ましていなさい。いつの日、自分の主が帰って来られるのか、あなたがたには分からないからである。愛する天の父。私どもをあなたの恵みの中に立たせてください。約束された時についてののしかりとした信仰によって、どうか私どもを常にお守りください。なぜならあなたの救いは、この地上のあらゆる民にこなければならないからです。私どもに不安が生まれます。人間はそれに耐え得るでしょうか？人間はあなたの御言葉に注意を払うことを学ぶでしょうか？私どもは約束されていることを体験することが許されておりますから、苦しいときにも持ちこたえ、地上的な事柄から自由でいて、その時をご存じであり、その時をお定めになる、あなただけに目を向けるでしょうか？ですからどうか、この時代の私どもを祝福してください。あなたの御手を全世界の上で強くしてください。なぜならあなたが、ただお一人の主であり、大いなる悲しみから私どもを助けることができになる、唯一の力なのですから。アーメン。

11月12日

テサロニケの信徒への手紙一 第5章2, 4節盗人が夜やって来るように、主の日は来るということを、あなたがた自身よく知っているからです。しかし、兄弟たち、あなたがたは暗闇の中にい

るのではありません。ですから、主の日は、盗人のように突然あなたがたを襲うことはないのです。

主、私どもの神。私どもは共にあなたとあなたの約束によって結ばれているのです！そして私どもに多くのことが隠されているとしても、ひとつのことが私どもには与えられています。それはあなたがあなたの御声を、「目さめよ、そして祈り願いなさい。あなたがたはあなたがたの主イエス・キリストの日を待ち望まなければならないのだから。そして今すでに、戦いや争い、多くの悲しみ、不安、苦しみの中でも喜んで良いのだから」と、私どもの上に声高に響かせてくださるということです。私どもはあなたに、あなたの力強い御言葉を感謝致します。そしてなおまだ長く続くとしても、あなたの御言葉は永遠に保たれ、成就を迎えるのです。そしてあなたのお名前はあなたの御言葉においてたたえられ、あなたの御国が来て、あなたの御心が天においてのように、地上においてもなるのです。アーメン。

11月13日

ダニエル書 第2章44節 この王たちの時代に、天の神は一つの国を興されます。この国は永遠に滅びることなく、その主権は他の民の手に渡ることなく、すべての国を打ち滅ぼし、永遠に続きます。

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。私どもがあなたの御業の下にあって、生きることを許してくださっているからです。私どもが、あらゆる十字架のそばにいるときも、あなたがお与え下さる憐れみの中にあるのです。あなたにおいてこそ、私どもは喜び、あなたのあらゆる助けの御業が来て、あなたの御国が地上に生まれるまで。忍耐深く持ちこたえたいのです。どうか一人ひとりにおいて私どもをお守りください。どうか私どもの心

を強くしてください。そして常に救い主イエス・キリストにおいて喜び、常に希望を持ち、信じ、もろもろの民のもとに御国を建てるため、イエス・キリストにおいておいでになる、全能の神である、あなたを常に仰ぎ望む者でありますように。ついにはこのお方の真実が十分に完全に明らかにされ、あなたの助けの御業があらゆる民のもとへと来ますように。それは善と悪とがあなたの御顔の前に来て、あなたの憐れみとまこととによってさばかれるためなのです。アーメン。

11月14日

ヨハネの黙示録 第1章5－6節 わたしたちを愛し、御自分の血によって罪から解放してくださった方に、わたしたちを王とし、御自身の父である神に仕える祭司としてくださった方に、栄光と力が世々限りなくありますように！

主、私どもの神。あなたの御恵みを私どもの心のうちに働かせてください。そしてあなたの愛が、約束の栄光あふれる実りのうちに私どものもとに届き、私どもの共同体がお互い共に、あなたをたたえ、私どもの時代にあってもあなたに祈り願い、あなたのものであり、あなたが助けをもたらしてくださる、一つの民となりますように。私どもはあなたに願い求めます。どうか私どもへのあなたの御言葉を祝福してください。その御言葉をどのように守らなければならないか、それにより私どもがまことにあなたの子供たちとなることを、常に繰り返し私どもに教えてください。たとえ多くの悲しみが私どもにふりかかろうとも、どうか私どもの心を強めてください。あなたの御心をあらゆるところで明らかに示してください。あなたが治めてくださり、私どもを助けてくださることを、あなたがこれより後、永遠にまで常に私どもと共にいようとしてくださることを、あらゆるところで知らせてください。なぜならあなたのもとにわたくしどもの名前は記されており、わたくしどもはあなたのもとに居続けたいと願うのです。天の

父！この世において、他の何ものでもないあなたの子供たちになりたいのです。いつも永遠にあなたがお守り下さる、あなたの子供たちにです。アーメン。

11月15日

詩編 第67編7-8節 大地は作物を実らせました。 神、わたしたちの神が わたしたちを祝福してくださいように。神がわたしたちを祝福してくださいように。 地の果てに至るまで すべてのものが神を畏れ敬いますように。

主、私どもの神。この世界が祝福されるために、私どもを祝福してください！この世界全体が助けられるために、私どもを助けてください！イエス・キリストにより私どもに恵み深くあってください。イエス・キリストは全世界のためにその命をお捨てになったのです。そしてどうか、あなたの御国が確かにありまして、終わりまで、善い、祝福された終わりまで至ることを、すぐに明らかにしてください。ですからどうか私どもすべてを一人一人においても、私どもが心に抱いています、すべての関心事と願いにおいて祝福されたものとしてください。私どもがすべての日々において賛美し感謝することが許されますことを得させてください。どうかあらゆる恐怖を貫き通して、あなたの御心が明らかになりますように。それによりまた死に行く人々もまた、あなたをほめたたえ、苦しまなければならない人々もあなたの御顔を仰ぎ、あなたの御光を認め、ほめたたえ、感謝することが許されますように。ですからすべてのことをあなたにおゆだねします、主なる神！私どもはあなたを待ち望むのです。あなたの御心が成らねばなりません。そのことを私どもは知っています。そしてあなたの御名がたたえられねばなりません。そのことを私どもは知っており、また信じているのです。それゆえに私どもは喜び、あなたに感謝致します！アーメン。

11月16日

ヘブライ人への手紙 第11章1節 信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです。

主、私どもの神。あなたのもとへと私どもは信仰と確信と、あなたの御業への希望の交わりにあっておもむくのです。どうか私どもの心が、この時代のいかなる痛みのもとにあっても、この世界において、こんなにもたび重なって起きる争いの中にあっても強められますように。どうかあなたの御心が明らかに示されますように、全能の神よ。そしてあなたがあなたのために選んだ人々をお守りください。その人たちが導き、治めますように。どうかあなたの御心がその人たちに明らかに示されますように。そしてあなたの民をこの時代においても助けてください、主なる神。それにより民が力を得て、善いものを待ち望み、それをめざして生き、仕えることができますように。労苦する者は、あなたの助けに身をゆだねますように。私どもはみな、困難な時代においても私どもを支えてくださいます、力あるお方であるあなたの助けを信じます。アーメン。

11月17日

イザヤ書 第14章32節 シオンの基を据えられたのは主である。 苦しむ民は、そこに身を寄せる

主、私どもの神。あなたは私どもの確信なのです！あなたを私どもは待ち望みます。あなたのみむねは確かであり、あなたの約束は実現するのです。そのことを私どもは堅く信じることを許されています。そしてそこにおいて私どもはいかなる日にも強くあることが許されるのです。またたとえ私どもが悲しみを体験する時にも悲しむことをいたしません。あなたの時が来るまで、私どもは希望を持ち、信じ、耐え忍びたいと思います。あなたの御国は来ます。そしてそのもとであなたはひとつの民を、地上においてあなたのためにお守りになるおつもりです。この世界のあらゆる歴

史のもと人間は存在するでしょう。人間は、時が満ちるまで、あなたに希望を持ち、あなたの民であり、イエス・キリストの恵みのうちに堅く立つのです。アーメン。

11月18日

ゼカリヤ書 第9章9節 娘シオンよ、大いに踊れ。 娘エルサレムよ、歓呼の声をあげよ。 見よ、あなたの王が来る。 彼は神に従い、勝利を与えられた者 高ぶることなく、ろばに乗って来る 雌ろばの子であるろばに乗って。

主、私どもの神。私どもはあなたの御前に立って、喜びます。あなたが私どもの助け主、私どもの父となろうとしてくださるからです！私どもは、悪い、闇の時代に住んでいるのです。諸々の民々はため息をつき、悲しまねばなりません。私どもの苦しみは、天にいらっしゃいますあなたのもとへと昇ります。私どもは呼びかけます。「私どもを助けて下さい。主、私どもの神！助けてください。あなたの御心があらゆることからのうちになりますように。あなたの御国が来ますように」と。なぜなら、あなたに対して私どもがなすべきことは、常にあなたに呼びかけて、祈り願うことだからです。「来て下さい、主なる神。全世界の主であり、救い主であられるイエス・キリストにおいて！」と。東でも、西でも、南でも、北でも、すべての民々の中で、イエス・キリストは主であり、救い主であられるからです。あなたがこの主を私どもにお与えくださったのだと、あなたの御名前がたたえられますように。アーメン。

11月19日

コリントの信徒への手紙一 第1章27節 ところが、神は知恵ある者に恥をかかせるため、世の無学な者を選び、力ある者に恥をかかせるため、世の無力な者を選びました。

主、私どもの神、貧しい者たち、しかし富んでいる者たちとして、

弱い者たち、しかし強い者たちとして、私どもはあなたの御許へと参ります。そしてあなたに祈り願うのです。どうかイエス・キリストによって約束を来たらせてください、私どもの愛する主、救い主、と。どうか天が開け、地に一つの新しい光が射し込む、その時を開始してください。それは、あなたをほめたたえるため、あなたに感謝するため、あなたのみもとで永遠の安息と祝福を受けるためなのです。たくさんの人びと、今日、困難に陥っている人びとのことをお覚えください。私どもの父なる国のことも、私どもの父なる国のために働かなければならない人びとのこともお覚えください。彼らを祝福し、彼らを助けてください！死に行く人びとをも助けてください、主なる神！どうかその人たちがあなたのみもとに参りますように。なぜならその人たちはあなたのもものだからです。ですからあなたは助け、死から命をつくり、悲しみと苦しみとから喜びをつくりだしてくださるのです。あなたの御名があがめられますように、愛する天の父、あなたの御国が来て、あなたの御心が天においてのように地にもなりますように。アーメン。

11月20日

エレミヤ書 第16章19節 主よ、わたしの力、わたしの砦 苦難が襲うときの逃れ場よ。あなたのもとに 国々は地の果てから来て言うでしょう。我々の先祖が自分のものとしたのは 偽りで、空しく、無益なものであった。

主、私どもの神、あらゆる危機、多くの苦しみの中、あなたのみもとに私どもは参ります。しかしあなたはあらゆることのうちに光をおつくりになり、あなたの大いなる慈しみとまことにより、再び助けてくださいます。だから私どもは、私どもの助けである、あなたのみもとに参ります。そしてあなたの御言葉によって強くなりたいのです。私どもがこの私どもの時代において、しっかりと立ち、あなたの助けを待ち望むことができるように。私どもが

あなたの助けを待っている時にはもう既に、しっかりとされていて、喜ぶために。なぜならあなたの御国が来て、あなたの御心が天になるように地にもなるからです！

アーメン。

11月21日

エフェソの信徒への手紙 第6章17－18節 また、救いを兜としてかぶり、霊の剣、すなわち神の言葉を取りなさい。どのような時にも、”霊”に助けられて祈り、願い求め、すべての聖なる者たちのために、絶えず目を覚まして根気よく祈り続けなさい。主なる神、全世界において、天と地において力あるお方。私どもは、あなたにおいて強い者になりたいのです。あなたは、あなたが私どもと共にいてくださること、私どもが会うあらゆることながらにおいて私どもを助けてくださることを、千重にも証明してくださいました。ですからたとえ私どもが困難に出会っても、かえってより力強い者となり、かえってより強くあなたに希望を置いて、あなたの勝利を待ち望む者になりたいのです。どうか私どもの祖国を思い起こしてください。それによってあらゆる危機、あらゆる苦しみの中でも、この国は強くなり、あなたのうちに力を見いだすのです。どうか生きる時も死ぬ時も、すべてのものにあなたのみ光を照らしてください。なぜなら国と力と栄えとは永遠にあなたのものであるからです！アーメン。

11月22日

ヤコブの手紙 第5章7－8節 兄弟たち、主が来られるときまで忍耐しなさい。農夫は、秋の雨と春の雨が降るまで忍耐しながら、大地の尊い実りを待つのです。あなたがたも忍耐しなさい。心を固く保ちなさい。主が来られる時が迫っているからです。

主、私どもの神。私どもの祈りをお聞き届けください。そしてどうかあなたの御手が私どもの日々において明らかに示されますよ

うに。どうかすべてのことが成り、あなたが来られる時が迫り、この世界があなたを、私どもの父のみもとへと導く救い主として仰ぐことが許されるようにしてください。私どもに与えられるあなたの御言葉を祝福してください。そして私どもの心が強められて、常にあなたの御前に生きることが出来ますように。私どもは私どもの命をあなたの御言葉、あなたの約束から汲むのです。そして私どもは、私どもの主であり、救い主であるイエス・キリストに希望を置くのです。全世界において力あるお方でいてください。そして神の御心により導いてください、主イエス。それにより、私どもが神の栄光が来て、その御心が天においてのように、地において成りますことを見て、私どもが喜ぶことが許されますように。アーメン。

11月23日

マタイによる福音書 第24章43-44節 このことをわきまえていなさい。家の主人は、泥棒が夜のいつごろやって来るかを知っていたら、目を覚ましていて、みすみす自分の家に押し入らせはしないだろう。だから、あなたがたも用意していなさい。人の子は思いがけない時に来るからである。

主、イエス、私どもの救い主。私どもは天を見上げます。そこからあなたは父の栄光のうちに来てくださるのです。どうか私どもを自らの職務にしっかりと立たせてください。見張り、すべての日々に祈り、毎時間ごとに、あなたを待ち望みます務めに。あなたは地上においてすべてのものになお秩序をもたらしてくださるのです。私どもと私どもの民を祝福してください。あなたがあなたに仕える者を通して、諸々の民の救いのために役立つことをされる時には、どうか私どもに喜びを体験させてください。ですから私どもと共にいて、私どもを祝福してください。どうか繰り返し常に私どもの心の中に新たに生き生きとあなたの御言葉を働かせ、私どもが、これからおとずれるすべての日々に、日曜日ごと

に、祝いの日ごとに、喜ぶことが許されますように。私どもをお守りください！私どもを祝福してください！私どもの心のうちにあなたの御名がたたえられますように！アーメン。

11月24日

マタイによる福音書 第5章17、20節 わたしが来たのは律法や預言者を廃止するためだ、と思っ**て**はならない。廃止するためではなく、完成するためである。言**っ**ておくが、あなたがたの義が律法学者やファリサイ派の人々の義にまさ**っ**ていなければ、あなたがたは決して天の国に入ることができない。

主なる神。私どもに新しい心、この地上での新しい御教えをください。そしてすべての人間があなたの御言葉に従って何かを行うことにより、あなたの戒めのうちにひとつとなりますように。あなたはこのことを、あなたが約束してくださいました、あなたの聖なる御霊によりしてくださ**ら**ねばなりません。あなたはこのことをしてくださるでしょう。そしてこの地上はひとつのパラダイスに、あなたの御心にか**な**う天の御国になるのです。ですからどうかあなたの御言葉が私どもの心のうちに書き記し、私どもが人々と関わる時は常に、い**か**なる日にも私どもを助けてください。それにより私どもがあなたの戒めを満たしますように。なぜならそのために戒めは与えられたからです。私ども愚かな、罪深い人間により、あなたの戒めは満たさなければなりません。そして私どもは完全なものとなり、私どもの罪は許され、あなたの御前ですべてが正しいものとなりますように。私どものもとにいてください、主なる神、私どもの父よ！あらゆることにおいて私どもを助けてください。どうか私どもの時代において、あなたの御心にか**な**いますように、まもなく新しいものが来ますように。あなたの戒めを心の中にお与えください。それによりあなたの御名をたたえるために、再び平和が来ることができますように。アーメン。

11月25日

詩編 第97編 1、6節 主こそ王。 全地よ、喜び躍れ。 多くの島々よ、喜び祝え。天は主の正しさを告げ知らせ すべての民はその栄光を仰ぎ見る。

主、私どもの神。私どもは、私どもの助けである、あなたに向かいます。そしてあなたに願い求めるのです。私どもの祈りを聞き、どうか私どもの叫びをあなたのもとに届かせてくださいと。それはあなたが、私どももろもろの民の時代の中におられて、大いなる助けを送ることをお望みになっていただきたいと願うからです。これからも私どもをお守りください。とりわけ悪から、とりわけ死と滅びとからお守りください！私どもをお守りください。なぜなら私どもはあなたの子供たちなのですから。私どもはあなたの子供たちとして、全能の神であり、あらゆるものをもっとも良いものへと変えることがおできになる、あなたに向かいます。私どもに恵みを与えてください、主なる神。あなたのお名前のゆえに、私どもを助けてください。私どもの父なる国と、国に仕える者たちすべてを助けてください！助けてください、主よ。すべてのものがもっとも良いものになるように、あなただけがお与えになることができるのです。ですから私どもは、イエス・キリストにおいて、あなたがお与えくださった、あなたの御言葉すべてにおいて、あなたの御前に立ち、確かに知るのです。あなたが私どもの願いを聞いてくださるのだと！アーメン。

11月26日

イザヤ書 第64章 1節〔63章 19節、64章 1節〕どうか、天を裂いて降ってください。 御前に山々が揺れ動くように。柴が火に燃えれば、湯が煮えたつように あなたの御名が敵に示されれば 国々は御前に震える。

主、私どもの神、私どもの時代においても、あなたはあなたの子供たちの祈り願い、叫び声を聞いてくださいます。私どもには叫

び求めることが必要なのです。なぜなら人間の子らはまだあなたのものとなっておらず、今はさばきと痛みの中にいるからです。そして何千もの人びとが死に行き、そうでなくても悪しき体験をしなければなりません。しかし彼らもあなたのものとならねばなりません。すべての人たちがです！そう、すべての者があなたの子供たちとならねばならないのです。ですから私どもはあなたに叫び求めます。どうかあなたのお名前を地上に明らかにお示してください、明るく輝かせてください。それによりひとつの新しい時を来たらせ、あなたの御手により大いなる奇跡を起こしてください。それによりあなたの御名があがめられ、あなたの御国を来たらせ、あなたの御心が天においてのように地にもなりますように。アーメン。

11月27日

詩編 第25編 8－9節 主は恵み深く正しくいまし 罪人に道を示してください。裁きをして貧しい人を導き 主の道を貧しい人に教えてください。

主、私どもの神、天にいらっしゃいます愛する父。私どもはあなたに感謝致します。私どもがあなたの子どもたちであることを許してくださいっているからです。あなたはあなたの子どもたちの先頭に立って、悲しみの時にも導いてくださり、決して見捨てることはなさいません。あなたが私どもとともにいてくださるからです。主、私どもの神。どうか昔のように、今再び、私どもが置かれたあらゆる状況において、導いてください。この時代においても私どもをお守り下さい。たとえ私どもが多く、多くの苦しみを経験するのだとしても、私どもが力をこめ、忍耐して待ち望むことができますように。あなたはそれでもなお、私どもの先頭に立ち、導き、助けてくださるのです。そのことを私どもは喜びます。そして常にあなたに感謝致します。この私どもの時代にあってもです！どうかあなたの御手を、あなたの御力をすぐに

も明らかにお示し下さい。なぜなら、あなたの右の手がまもなくすべてをお変えになってしまうからです。アーメン。

11月28日

ヨハネによる福音書 第10章11-12節〔10-11節〕

わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。わたしは良い羊飼いである。良い羊飼いは羊のために命を捨てる。

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。あなたがあなたの羊飼いの杖で私どものもとで導いてくださるからです。それにより私どもは何度もなんども元気づけられることができ、何度もなんども、あなたが私どもにしてくださることについて喜びを持つことが許されているのです。そうすることにより私どもは新鮮に喜んで信じる事が許されているのです。悲しみの中、何度もなんどもあなたが与えてくださいます善いものを仰ぎのぞむ時においてもです。ですから私どもはあなたに感謝して、この感謝の中にあり続け、また祈り願うのです。もろもろの民の上に力強い主でいてください。私どもドイツの父なる国をお守りください。そしてどうかあなたの御支配を明らかにお示しください。そうすることによりあなたが、あなたが目にお捉えになることができる者たちをお守りくださいます。なおたくさんの恵みを、死のただ中でたくさんの命を、すでに死んでしまっているなら、たくさんの復活をお与えくださいますように。主なる神、祈り願いを聞き届け、祝福してください。どうかあなたの御心が、天においてのように地上においてもなりますように。それによりあなたの御国が来て、あなたの大いなる思し召しにより、ついには正義がなりますように！アーメン。

11月29日

ヨハネによる福音書 第14章12節 はっきり言うておく。わた

しを信じる者は、わたしが行う業を行い、また、もっと大きな業を行うようになる。わたしが父のもとへ行くからである。

主、私どもの神。私どももあなたに呼びかけます。アッバ、愛する父よ！と。私どもを、あなたの御霊が、救い主イエス・キリストのもとへと、キリストの福音へと駆り立てるからです。私どもはあなたの御国の中に立ち、あなたに呼びかけます。常に強くあり、私どもがその中に立っています、苦しみの中にあっても耐えぬくことができますよう、私どもを助けてください、と。どうかあなたの御手を私どもの上に、互いに争う諸々の民の上にとずっととどまらせてください。あなたの御手が治めて、あなたの御手があなたの御心が定められたことを成し遂げてくださいますように。あなたがすべてを整えてくださり、地上に平和をももたらしてください、その時をまもなく来させてください。あなたの御名を前もっておたたえします。あなたはそうしてくださいますし、まもなくそうしてくださるからです。あなたの御国は来なければならず、あなたの御心は天においてのように、地においてもならねばならないからです。そしてすべては、あなたが決定なさいました通りにならなければならないからです！アーメン。

11月30日

詩編 第66編 1、2、5節 全地よ、神に向かって喜びの叫びをあげよ。御名の栄光をほめ歌え。 栄光に賛美を添えよ。来て、神の御業を上げ 人の子らになされた恐るべき御業を。

主、私どもの神、どうかあなたの奇跡を私どもの上にもたらして、あなたの諸々の御業によって私どもを祝福して下さい。こんなにも多くの人々の救い主、イエス・キリストによって私どもを祝福して下さい。あなたの御国が私どものもとに来て、ついには、あなたの御心を成し遂げます、あなたの大いなる奇跡が来ますように。そしてあなたの御心にかなうことをしてください。主なる神、天の父、あなたを私どもはたたえます。あなたのうちに生きるの

です。あなたを私どもは信じるのです。あなたに私どもは希望を置くのです。あなたのうちに私どもは生きたいのです。一時間一時間、一日一日と。そしてあなたの御名が私どものもとで聖なるものとされますように。なぜならあなたは私どもの神であり、全世界の神なのですから。全人類のもと、どうかあなたの光を輝かせ、あなたの御名が何百万人の中で、また諸々の民の中でもたたえられて、ついには諸々の民が来て、あなたを拝むようになるべきです。ですから今日私どもをお守り下さい。これからの時もずっと私どもを祝福して下さい。どうかあなたが、私どもが元気になることを許されるような、何かを常に起こらせて下さい。アーメン。

12月1日

マタイによる福音書 第21章9節 そして群衆は、イエスの前を行く者も後に従う者も叫んだ。「ダビデの子にホサナ。主の名によって来られる方に、祝福があるように。いと高きところにホサナ。」

主、私どもの神、私どもはあなたに感謝致します。あなたは人間の心の中にホサナの言葉がわき起こるようにしてくださいます。暗い時代にはますますたくさん、ますます力強く起こるようになってくださるからです。そして私どもはあなたに「助けてください、全能の神。あなたの王イエス・キリストがついにその勝利に至るよう助けてください」と呼びかけることが許されているからです。なぜなら勝利者にこのお方はならねばならないからです。恵みと、平安と、命による勝利者、地上においても天のように、あらゆる善をもたらしてください。私どもの人生においていかなる時も勝利者です。そして私どもは悲しみ、不安、苦しみ、そうです死ぬ時でさえ持ちこたえることができます。あなたによる勝利者イエス・キリストであります。勝利者にホサナ！神、全能者、地上においてこのお方を宣べ伝え、あなたの御名を賛美するため、

このお方の道を明らかにしてください。アーメン。

12月2日

詩編 第118編24-26節 今日こそ主の御業の日。 今日を喜び祝い、喜び躍ろう。どうか主よ、わたしたちに救いを。どうか主よ、わたしたちに栄えを。祝福あれ、主の御名によって来る人に。 わたしたちは主の家からあなたたちを祝福する。

主なる神、私どもの心は、あなたの約束に対して賛美と感謝にあふれています。そしてこの約束によって、あなたは私どもに、あらゆる日々において、慰めと助けとを与えてくださり、私どもは、あらゆる苦しみの中にあっても堪え忍ぶことができるのです。私どもの時代において、私どもをおぼえてください。そしてどうかたくさんのホサナの言葉が、もろもろの心の中におき起こりますように。どうか明るく照らしてください。あなたが主イエスのまわりを照らしてくださり、主が王、救い主として姿をお現しになられましたように。そのようにどうか私どもをお守りくださり、私どもを祝福してくださいますように！私どもの国と、国に仕えるすべての人びとを祝福し、どうかあなたの御霊が彼らと共にいてくださいますように。なぜならあなたの御心はならねばならないからです。そのことは確かであり、それを私どもは信頼し、それに希望を寄せます。私どもはあなたをたたえます、主、私どもの神。ホサナ！いと高きところに、ホサナ！アーメン。

12月3日

ルカによる福音書 第1章78、79節 これは我らの神の憐れみの心による。この憐れみによって、高い所からあけぼのの光が我らを訪れ、暗闇と死の陰に座している者たちを照らし、我らの歩みを平和の道に導く。

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。あなたがすべ

ての日々、すべての年々においても光を輝かせてくださるからです。そして私どもは常にあなたを仰ぎのぞむことが許されています。困難な時代にあっても、あなたの右の手がすべてのものをととのえ正しくしてくださるからです。どうか私どもの心が強められますように。それにより私どもがこの時代の中でも耐え抜いて、あなたをたたえることができますように。そうです、この地上において、自分の思い通りにしようとは何が来ようとも、あなたは変わらずいてくださるのですから。あなたは私どもの神であり、あなたは私どもに救い主を遣わしてくださいました。あなたを私どもはお迎えすることができるのです。なぜならあなたの約束は私どものもとに確固としてあり、あなたの日は来たり、まことと正義とがこの地上にあなたのお名前をたたえるために来るのです。どうかたくさんの方があなたへと向かいますように。それにより私どもの救い主イエス・キリストをたたえるため、それらの心すべてがあなたに祈り願い、あなたに助けを呼び求めますように。アーメン。

12月4日

ヨハネの黙示録 第3章 10－11節 あなたは忍耐についてのわたしの言葉を守った。それゆえ、地上に住む人々を試すため全世界に来ようとしている試練の時に、わたしもあなたを守ろう。わたしは、すぐに来る。あなたの栄冠をだれにも奪われないように、持っているものを固く守りなさい。

主、私どもの神、私どもの心を、今日この日もあなたの御言葉によって強めてください。あなたは私どもの父です。そして私どもはあなたの子どもたちなのです。ですから私どもは私どもの全生涯においてあなたを信頼したいのです！いかなる道を歩む時にも私どもをお守り下さい。そして私どもがあなたの御国が来ますことに、私どもの主イエス・キリストの将来に、常に目を注ぎ続ける者でありますように。私どもの時代に起きる多くの事柄によっ

て、どうか私どもが誤ることがありませんように。むしろ私どもを助けて常に自由であり続けることができますように。そしてわたくしどもが、その自由にあつて、あなたにお仕えして、たとえこの世において、思いのまま行ふ何ものが来ようとも、何ものにも誤らせられることがありませんように。何よりも私どもに聖なる霊をお与え下さい。なぜならあなたの霊なくしては、私どもは何もできないからです。私どもを助けてください。そしてまた、あなたが私どもをすでにいくえにも助けてくださいましたこと、すべてについてあなたの御名がたたえられますように！アーメン。

12月5日

イザヤ書 第40章3節 呼びかける声がある。 主のために、荒れ野に道を備え わたしたちの神のために、荒れ地に広い道を通せ。

主、私どもの神。どうか私どもの耳と心とを開いて、私どもがあなたの声を聞き、私どもの心に迫る声に聞き従うことができるようにしてください。どうか私どもを、あなたのために道を備える一つの民としてください。そして私どもに力を与えて下さり、正しい瞬間にすべてを捨て去り、こう考えるようにしてください。わたしのためにもこの道は平らにならなければならない！と。わたしのまわりにおいても、全世界でも、この道は平らにならなければならないなりません！なぜなら、今、イエス・キリストにおいて私どもを照らす光こそ光であるからです。そこにおいて私どもは、あなたの御名をたたえるため、私どもの助けのために強くなりたいからです。主の御声を私どもが聞くことが、私どもの助けとなるからです。私どもに近づいてくる助けがあります。主イエスの力強い御手が私どもの上にあり、私どものあらゆる困難においても助けて下さいます。なぜならそのためにこそ、主はおいでくださったのであり、それを私どもは信じる事が許されているのであつて、そこにおいて私どもはさらなる経験をしたいからです。そ

れぞれの関心事で祈る、私ども一人ひとりの声をお聞き届け下さい。あなたの民として私どもを一つに結びつけ、私どもがあなたに仕えることを許し、地上においても心に希望を抱かせてください。そうです、天の父。あなたの御名がたたえられますように。そのためにあなたは私どもを地上においてくださいます。その地上で戦い、勝利しておられるお方、イエス・キリストによって、私どもも強い者となることができますのです。アーメン。

12月6日

ヨハネの黙示録 第22章17節 ” 霊 ” と花嫁とが言う。「来てください。」これを聞く者も言うがよい、「来てください」と。渇いている者は来るがよい。命の水が欲しい者は、価なしに飲むがよい。

主、私どもの神、天の父。あなたは私どもと共にいようとしてくださり、あなたの御顔を私どもの上に輝かせようとしてくださいます。あなたの子どもたちであり、人のあらゆる時間においても、あなただけを求め、あなたの御心と、あなたの御国、そしてあなたが人間のために約束してくださいました、あらゆることを求めます、私どもの上にです！どうか私どもが考え、感じるものすべてのうちに力を見出させてください。それにより私ども人間の生活があなたに属するものとなり、私ども自身すべてと、私どもが持っているものすべてが、私どもの思いによってであっても、あなたの御手のうちに入りますように。なぜなら私どもは、あなたの子どもたちでありたいからです。全能の神、私どもはあなたの御心を得たいのです。私どもはあなたの御国を欲しています。私どもは主、私どもの神を欲しているのです。あなたもそれを欲してくださいます。ですからそのことは、あなたの御名をたたえるためになされねばならないのです！アーメン。

12月7日

ミカ書 第4章1-2節 終わりの日に 主の神殿の山は、山々の頭として堅く立ち どの峰よりも高くそびえる。 もろもろの民は大河のようにそこに向かい 多くの国々が来て言う。 「主の山に登り、ヤコブの神の家に行こう。 主はわたしたちに道を示される。 わたしたちはその道を歩もう」と。 主の教えはシオンから 御言葉はエルサレムから出る。

主、私どもの神。悩み苦しみが満ちており、不運に満ちており、私どもを不安にしかねないこの世界から、私どもは出て、あなたの御前に集まっているのです。しかし私どもはこの世界だけに行くように命じられているわけではありません。私どもは全能の神であるあなたのもとへと来ることができるのです。あなたは私どもの父です。そしていかなることが起ころうとも、最後には私どもはあなたの祝福された子供たちであるのです！ですから私どもを今日この時もお守り下さい。そして多くの悪が私どものところに入り込み、私どもの心が苦しくなっても、あなたはそれでもなお私どもを支えてくださいます。私どもがこの時にも、あなたに希望をおき、私どもと同じようにあなたの人間であります、すべての人間に対するあなたの御業によって、忍耐できますように、あなたは私どもを強くしようとしてくださいます。あなたの御名が私どもの心の中で永遠にたたえられますように！アーメン

12月8日

ヨハネによる福音書 第8章12節 イエスは再び言われた。「わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、命の光を持つ。」

主、私どもの神。私どもはあなたに祈り願います。どうか私どもの霊に、あなたの御霊とあなたの愛とを認めさせてください。そして私どもの命が、いくらかはより高く高められて、過ぎ去ってしまうものが私どもを飲み込むことのできないようにして下さ

い。あなたが私どもにすでにお与えくださいましたことによって、また私どもが体験することが許され、たとえ新たな戦い、悲しみに取り囲まれようとも、さらに体験することが許されます、あらゆる善いことによって、私どもをお守りください。先頭に立たねばなりません多くの人びとのもとに、どうか力強い光を輝かせてください。そしてあなたの御国が来て、あなたの御名が人びとの多くの業のもとにおいてもたたえられますように。そしてあなたを人間の命として認めますように。アーメン。

12月9日

申命記 第4章29節 **しかしあなたたちは、その所からあなたの神、主を尋ね求めねばならない。心を尽くし、魂を尽くして求めるならば、あなたは神に出会うであろう。**

主、私どもの神、私どもは、あなたの御顔を尋ね求め、あなたを見いだしたいのです！どうか、あなたが、大いなる奇跡とたくさんのおしるしとともに、あなたのものである人びとにお会いくださいました、あの昔の時代のように、あなたを見いださせてください。どうか私どもの心が、あなたによって、あなたへの信頼と畏れとによって、強くなりますように。そしてどうか私どもの時代が、多くの人びとがあなたを尋ね求め、あなたにおいて、慰めと助けとを見いだすために、働きますように。あなたは大いなる力を、貧しい人びと、惨めな人びと、苦しんでいる人びと、死にゆく人びとに、確かにお与えになることができますのです。どうか私どもの時代が無駄になってしまうことがありませんように、大いなる、力ある、全能の神よ！そうです新しい時代が来なければならないのです。今日、この日々より、新しいものが生まれなければならないのです。それがあなたの御心であるのです。そしてそれを私どもは信頼しているのです！アーメン。

12月10日

マラキ書第4章2節〔3章20節〕しかし、わが名を畏れ敬うあなたたちには **義の太陽が昇る。** その翼にはいやす力がある。主、私どもの神。私どもは、あなたを信頼してきたすべての人たちのことをおぼえます。永遠にあなたのお名前が私ども人間のもと、この地上をふるさととするために、あなたが奇跡とするしを行われたすべての時代を思います。私どもは残りの者に属する者たちです。どうか私どもがあなたの御霊により忠実な心を持ちつづけますように！そして私どもの日々において困難なことになり、すべてのものが崩れようとしても、世界も滅びることはありませんが、神であるあなたが、私どもにとって確かに変わらずにとどまってくたさるのです！これは永遠に続くことです。そしてそのことによって私どもは常に忠実でありたいのです。あなたの大いなる日が来るまで、たくさんの一人一人の人に救い主の力も明らかに示されて、彼らも信じることができ、彼らすべての悲惨の中にも、信仰において助けと慰めを見出すことができるまで。アーメン。

12月11日

詩編 第16編1-2節 神よ、守ってください あなたを避けどころとするわたしを。主に申します。 「あなたはわたしの主。あなたのほかにわたしの幸いはありません。」

天にいらっしゃいます愛する父。私どもをあなたの子供たちとしてご覧ください。そして私どもがあなたにあって、今も永遠にまでも最も良いものを受けているのだと、感じるようにしてください。そして私どもが拒否しなければならなくても、多くのものを犠牲にしなければならなくても、あなたは変わらず私どもの財産、私どもの富、私どもの愛、私どもの喜びであり続けてくださいます。どうか私どもが、あなたにお仕えするひとつの民として強くありますように。私どもがどのように、また何をしなければならぬか、まだ理解していないところでも、どうかあなたの

霊を私どもにお与えください。あなたの御手のうちにあってどうか常に私どもをお守りください。そしてあなたの奇跡を体においても魂においてもお見せください。なぜならあなたは私どもの神、全能である方、あらゆることにおいて助けることを知っておられる方なのですから。アーメン。

12月12日

ヨハネによる福音書 第1章 11－12節 言は、自分の民のところへ来たが、民は受け入れなかった。しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた。主、私どもの神。私どもは、あなたが私どもにお与えくださった力のゆえにあなたに感謝致します。その力により、あなたの子どもたちと呼ばれ、ますますあなたの子どもたちとなって、地上においてあなたの御名を証しする者となるのです。そして地上においてイエス・キリストのお名前によって、からだと魂とのため、幸運な者たちと不運な者たちのため、いまだ誤りのうちにあるすべての人々のため、いまだこれほど多くの悲しみ、不安、危機を抱く、すべての者たちのため、ますます力をもたらししてください。私どもはあなたに感謝し、あなたのお名前をたたえます！さらに私どもを助けてください。しばしばおびえてしまう、私ども、弱い者を助けてください。あらゆる事において私どもを助けてください。特に私どもが心にかける事柄において私どもを助けてください。あなたが御名が聖なるものとされ、あなたの御国が来て、あなたの御心が天においてのように地上でもなりますように！アーメン。

12月13日

エゼキエル書 第36章 26－27節 わたしはお前たちに新しい心を与え、お前たちの中に新しい霊を置く。わたしはお前たちの体から石の心を取り除き、肉の心を与える。また、わたしの霊

をお前たちの中に置き、わたしの掟に従って歩ませ、わたしの裁きを守り行わせる。

主、私どもの神。あなたはあなたの御霊を天と地において吹かせ、すべてのものを生き生きとしたものにしてくださいます。どうか私どもにも触れさせてくださいます。あなたの約束のゆえ、あなたの御心のゆえに、私どもは願うことが許されておりますとおりの意味で、私どもの生活も生き生きとしたものにして下さい！どうか私どもを新しい人間にしてください。それによりこの世の悪が、また罪さえも私どもを支配することができませんように。どうか私どもを新しくしてください。それによりこの地上において、天にまでも届く、最も尊い善のために戦う戦士となれますように。この一日一日において、ひとつの心に、救い主を求めらうめきが起きている、あらゆるところで、どうかその願いをお聞き届けください。私どもは彼らすべてのために祈り願います。そしてあなたは私どもの願いを聞いてくださいます。あなたは御力をも送り、人間の心を高めることができるようにしてください。それによりなお大きな、喜びにあふれる民がこの地上に存在するのです。いかなる不正にもかかわらず、この世界の、いかなる反抗と危険にもかかわらず、なお喜びにあふれる民があらゆるところに存在するのです。その民はあなたを信頼し、あなたが私どもに与えてくださいます、あなたの大いなる恵みによって勝利を手にするのです。なぜなら私どもはあなたに私どものため、他のすべての人々のために祈っているからです。アーメン。

12月14日

ヘブライ人への手紙 第13章8節 イエス・キリストは、きのうも今日も、また永遠に変わることはない方です。

私どもはあなたに感謝致します。天の父。あなたは私どもを集め、私どもにひとつの扉を開いて下さったからです。そこへは誰もが入ることができるのです。子供らしく、あなたがあなたの御業を

行ってくださることを願う、一人の子供として入るのです。そして荒涼たる罪深い世界の歴史の内側に、生命が、主イエス・キリストのこの世での生命が立っているのです。誰もこの生命を殺すことはできませんし、まもなくこの生命は力強くなるのです。それは人が、イエス・キリストは、人間の救いのため、昨日も今日も、永遠に変わることがないことを見るためなのです。アーメン。

12月15日

詩編 第51編 12-13節 神よ、わたしの内に清い心を創造し新しく確かな霊を授けてください。御前からわたしを退けず あなたの聖なる霊を取り上げないでください。

主、私どもの神、愛する父。あなたはこの地上にお告げになりました。私どもがあなたを愛して良いのだということ。そして私どもはあなたから愛されるのだということ。私どもはあなたに祈り願います。あなたの御霊をお与えください。それにより私どもが、あなたが私どもの命とわざのためにお与えくださるものによって、私どもが強くなりますように。私どもが歩むあらゆる道行きにおいて私どもをお守りください。どうか、あなたに向かいため息をつくところ、あなたを呼び求めるところ、あらゆる場所においてあなたの子供たちの上にあなたの御手を強くしてください。そしてどうかあなたの御国が、あらゆる人間、あらゆる民、国々の上に、全世界に、ますます来させてください。そしてイエス・キリストにお仕えする者として、あなたの栄光のために、私どもがひとつとなりますように。アーメン。

12月16日

イザヤ書 第50章 4節 主なる神は、弟子としての舌をわたしに与え 疲れた人を励ますように 言葉を呼び覚ましてくださる。朝ごとにわたしの耳を呼び覚まし 弟子として聞き従うようにしてくださる。

主、私どもの神、私どもはあなたに、このことをもたらして下さいましたことを感謝致します。それは私どもが、あなたの僕イエス・キリストの御名前において、あなたにお仕えすることを許して下さい。そして私ども一人ひとりが、あなたの御心に従い、このお方にあずかることにより、いくらかでも何かをなしとげることを許して下さい。そのことにおいて、どうか私どもをお守り下さい！私どもは常に誠実でありたく、また常にお従いしたいのです。あなたは私どもの耳を開いて、私どもを助けて下さいます。そして私どもは、あなたの御心を仰いで、それを体験することが許されているのです。ですからどうか、この日々にも、私どもと共にいてください。そしてあなたの愛と、あなたの憐れみとを、あらゆる心の中で強くして下さい。そしてイエス・キリストの生命が、この地上において、あらゆる人々の間で、ますます強くなるようにして下さい。アーメン。

12月17日

ヨハネの手紙一 第1章2節 この命は現れました。御父と共にあったが、わたしたちに現れたこの永遠の命を、わたしたちは見て、あなたがたに証しし、伝えるのです。

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝いたします。あなたは私どもに命の光を与えてくださったからです。そして今、私どもは生きることを学ぶことができ、生きることを理解することを学ぶこともできるのです。それは十字架にかけられ、復活された主イエスにお触れすることによる、あなたの大いなる恵みによってなのです。どうかあなたがこのキリストの力を私どものうちに明らかに示して下さい、それによりキリストの命が私どもの命となりますように。そして私どもが、しばしば私どものまわりが、なお夜であり、暗くても、あらゆる疑いから、あらゆる不安から抜け出しますように。あなたの御言葉によって私どもをお守りください。天と地と、あらゆる深みの中においてならねばなり

ません、あなたの御心により全世界の上に強くあってください。
どうかあなたの御心がすべての天においてのように地にもなりますように！アーメン。

12月18日

詩編 第65編 1－2節〔2－3節〕 沈黙してあなたに向かい、
賛美をささげます。 シオンにいます神よ。 あなたに満願の献
げ物をささげます。祈りを聞いてくださる神よ すべて肉なるも
のはあなたのもとに来ます。

主、私どもの神、私どもの父。あなたが私どもに務めとしてお与
え下さっていることにおいて、どうか私どもをあなたの子供たち
としてお守り下さい。それにより私どもは正しい仕方であなたに
仕えることができ、あなたは私どもにも、私どもが必要としている
賜物を私どもにもお与えになることができるのです。それによ
り、私どもはあなたの御名前を証しして、あなたの御国に近づい
て行くのです。あらゆる点において私どもを助け、どうか私ども
の命をあなたの御手のうちに委ねさせてください。それにより私
どもが、私どもの神、救い主であるあなたにあって強くあり続け
ることが出来ますように！ アーメン。

12月19日

詩編 第126編 1－2節 主がシオンの捕われ人を連れ帰られ
ると聞いて わたしたちは夢を見ている人のようになった。その
ときには、わたしたちの口に笑いが 舌に喜びの歌が満ちるであ
ろう。

愛する天の父。あなたに、そして、私どもが心に抱く、あなたか
ら来る、私どもの人生においてかけがえなく良いものである約束
に、私どもは希望を置いています。困難になろうとする時にも、
どうか私どもをお守りください。どうか繰り返しくりかえし新た

にあなたの御言葉を明らかにし、共に希望を抱き、共に信じ、大いなる目的に向かって共に戦うことが許されるように、多くの心にあなたの約束を与える、あなたの霊が来ますように。その時私どもは全世界と共に喜びます。全世界のためにあなたの救いが来ますから、私どもは喜ぶことを許されるのです。アーメン。

12月20日

マタイによる福音書 第11章5節 目の見えない人は見え、足の不自由な人は歩き、らい病を患っている人は清くなり、耳の聞こえない人は聞こえ、死者は生き返り、貧しい人は福音を告げ知らされている。

主、私どもの神。私どもはあなたに感謝致します。あなたが私どもを栄光の日の中に入れてくださったからです！どうかあなたの御恵みの光を、イエス・キリストの恵みの光を、私どもの心の中に明るく輝かせてください。それにより私どもが霊によりまことに生まれ、つらい時にも、あなたに、あなたの子どもたちとしてお仕えしますように。あなたの御力により、あなたのご啓示により、あらゆる地上的な事柄から私どもを引きちぎってください。心配ごとからも、喜びからも私どもを引きちぎってください。私どもはあなたの子どもたちです、主なる神！私どもは天において、あなたの御前に、あなたの子どもたちとして現れるのです。そしてあなたは、私どもがあなたに道を備えるひとつの民となるように、私どもを受け入れてくださいます。ですからどうか、私どもが聞く、すべての御言葉が、私どもにおいて祝福されたものとし、私どもにイエス・キリストの日のことについて歓声を上げさせてください。イエス・キリストの日は、大いなる御力と栄光とによってはじまり、あなたの善い、憐み深い、完全である御心によって、すべてが完成したあかつきには、大いなる力と栄光とによってやむのです。そうです、神様、あなたの子どもたちが、あなた

い請い願います。私どもを受け入れてください。私どもの祈りを聞き届けてください。どうか私どもの心の中に光を燃えさせ、あなたの大きいなる日に至らせてください!アーメン。

12月21日

ヨハネによる福音書 第3章29-30節 花嫁を迎えるのは花婿だ。花婿の介添え人はそばに立って耳を傾け、花婿の声が聞こえると大いに喜ぶ。だから、わたしは喜びで満たされている。あの方は栄え、わたしは衰えねばならない。

主イエス・キリスト。あなたに向かい、私どもはまなざしをあげる事が許されています。あなたは私どもの死から出ておいでになり、命の栄光のうちに生きて、私どもにあなたの命をお与え下さり、私どもはその命をこの地上で持つのです。どうかこのあなたの命の力を今日も私どものうちに、クリスマスの日を祝おうと願う、多くの人々のうちに明らかにお示してください。そのためにあなたの御霊を与え、あなたが永遠の命の賜物を携えていてくださることを、私どもが理解し、耳にし、目にし、体験することが許されるように、私どもの心を動かして下さい。ですからこの日々も私どもを守り、この信仰により私どもを強めてください!どうかあなたの恵みを私どもの上に、また私どものうちに輝かせてください。あなたの男の弟子たち、女の弟子たちである私どもをお守りください。私どもの天の父との交わりのうちに、イエス・キリスト、あなたとの交わりのうちに、永遠に私どもを導いてください!アーメン。

12月22日

詩編 第124編2、3、8編 主がわたしたちの味方でなかったなら わたしたちに逆らう者が立ったとき そのとき、わたしたちは生きながら 敵意の炎に呑み込まれていたであろう。わたしたちの助けは 天地を造られた主の御名にある。

愛する天の父。私どもの願いをお聞き届けください。私どもの希望をお聞きください。私どもの信仰をお聞きください！私どもはあなたに向かいます。私どもの未来はあなたの御手の中にあるのです！もうためらうことのできないこと、たくさんの悪い世界の中でもう悲しむこともないこと、私どもが地上の事柄から自由となり、あなたにある私どもの霊のみと共にあって自由となり、あなたと結びつけられ、あなたの永遠にまで至る助けによって歩み、あなたと共に、あなたにあって希望を持ち、私どもが自分の命をまずしっかりと見出すことが許されることにおいて、全世界がなお光を見ることが許されていますことを、私どもひとりひとりの心の中にお示しくくださいますように。あなたの御霊によって、私どもを守り、私どもを祝してください！アーメン。

12月23日

テサロニケの信徒への手紙二 第2章16－17節 わたしたちの主イエス・キリスト御自身、ならびに、わたしたちを愛して、永遠の慰めと確かな希望とを恵みによって与えてくださる、わたしたちの父である神が、どうか、あなたがたの心を励まし、また強め、いつも善い働きをし、善い言葉を語る者としてくださるよう

に。
主、私どもの神、天におられる私どもの父、地上においても私どもの父であられる方。私どもの主であり、支配者である方。私どもはあなたに感謝致します。あなたが私どもを今日の日まで守り、導いてくださり、そしてまた私どもをたくさんの苦しみから救ってくださったからです！私どもが、明日の祝いが私どもに思い起こさせるような希望を、あらゆる妨げにもかかわらず、あらゆる不正にもかかわらず、あらゆる罪にかかわらず、あらゆる死にもかかわらず、死ぬことへのあらゆるおそろしさにもかかわらず、あなたの栄光のための何ものかになることが許されているのだとの希望を、私どもが心に抱きつつさらに巡礼し続けるなら、あな

たは私どもによりたたえられねばなりません。私どもは知っているのです。あなたが私どもを御手の中にいれてくださっていることを。そしてあなたのおかげで、私どもは前を見ることができ、常に繰り返し小さな一歩ずつ前へと進んで、あなたの御名をたたえ賛美するために、私どもは自分の命を持つことができることを。ですから私どもとともにいてください。私どもを祝してください！アーメン。

12月24日

ルカによる福音書 第2章14節 **いと高きところには栄光、神に
あれ、地には平和、御心に適う人にあれ。**

主なる神、天にいらっしゃいます私どもの父。あなたは私どもに救い主を生まれるようにしてくださいました。そして大いなる喜びをすべての民に受けさせてくださったのです。私どもは願い求めます。どうかあなたのお名前に栄えが与えられますように。この世界に、あなただけがお与えになることができる平和をお与えください。平和は、もろもろの心から生ずるべきものなのです。そして御心にかなうものに私どもをしてください。私どもがこの地上において苦しみ、耐えしのぶことがらにおいて、しっかりとした心を持って、ずっと守られ続けていますために、そのことが必要なのです。それは一人ひとりの人にこう告げることができるためです。イエス・キリストの恵みにあって強くありなさい！と。アーメン。

12月25日

イザヤ書 第9章5節 **ひとりのみどりごがわたしたちのために
生まれた。 ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。 権威
が彼の肩にある。 その名は、「驚くべき指導者、力ある神 永
遠の父、平和の君」と唱えられる。**

主、私どもの神。あなたは地上に光を輝かせてくださり、イエス・

キリストにおいて、あなたの天の御力を明らかにしてくださいました。そして私どもは闇の中においても、またこの時代のあらゆる悪しきことどもの中においても、喜ぶことができるのです。なぜなら私どもは救い主を持っているからです。どうかあなたの力が私どもの日々においても明らかにされますように。どうか新しいことに向かって、何かが起きますように。そうすることにより、あなたの御国がこの地上にも建てられて、もろもろの心があなたへと向かい、光を受けることができますように。あなたに感謝し、あなたがすでにしてくださり、なおしてくださること、すべてのゆえにあなたをたたえるためです。全世界があなたの御手のうちに入りますように。どうか人々を揺り動かしてください、主なる神、開かれる天によって。どうか彼らの心が目覚め、その悲しみの中に、救い主イエス・キリストより喜びが来ますように。私どもはあなたの子供たちですから、あなたがすべてのことを正しくしてくださり、私どもの悲しみの時においても、あなたの御手が備わります。そしてあなたはあなたの御心を明らかにされ、地上のあらゆる者に、あなたがアブラハムにおいて約束されたことを、お示してください。あなたの御名がたたえられますように、主なる神。あなたの御名が聖なるものとされますように。あなたの御国が来て、あなたの御心が天においてのように、地にもなりますように！アーメン。

12月26日

ヨハネによる福音書 第3章16節 神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。

主、私どもの神、私どもの光、私どもの命。あなたの御言葉のもと、あなたを私どもは仰ぎ臨みます。どうかあなたの御言葉を、私どもの時代、私どもの人生を理解するために、私どもの心にもたらしてください。そしてあなたの導きをすべての事柄において

認め、私どもの弱さ、私どもの罪と誤りとにかかわらず、すべての日々に立ち上がることができますように。私どもは喜ぶことが許されています。なぜならあなたの御国が来るからです。この時代のあらゆる痛みのもと、私どもは、あなたが私どものもとにいてくださることを感じることもできるのです。どうかイエス・キリストの光を輝かせ、あらゆる民の中へとあなたの平和の霊とあなたの恵みの霊を来たらせ、あなたがお望みになるようになりましょう。人間の多くの謎を解いてください。人間がしばられているものを解いて、良いもの、まことのもの、永遠のものへと解き放ってください。あなたのお名前が、私どものもとで、永遠に、そして今日も、たたえられますように！アーメン。

12月27日

ルカによる福音書 第1章68節 ほめたたえよ、イスラエルの神である主を。主はその民を訪れて解放し、主、私どもの神、天の愛する父、私どもはあなたの御前へと参ります。

主、私どもの神、天の愛する父、私どもはあなたの御前へと参ります。あなたに、あなたがご自身を、私どもに、私どものあらゆる悲惨の中でも光で照らすことがおできになるまことの、力強い、全能の神であることを明らかにしてくださいとお願いするためなのです。そうして悲惨が変わってしまって、私どもはイエス・キリストにおいて和解と救いとを得るのです。どうかあなたの御手が私どもの上に力強くのぼされますように！あらゆる国々、あらゆる民の中であなたの恵みと、罪とあらゆる不正との上への勝利とが明らかになりますように！どうかあなたの正義がこの世界の上に来ますように。人間の心の中と外側とに、あなたの平安がもたらされますように。どうか、私どもの体験するあらゆる事柄が最善のために用いられますように。そうして私どもが常にあなたを、あらゆるものを治め、あらゆる事柄において、正しい方へとお導きになる、大いなる力をお持ちである、私どもの主であり神

である、あなたを仰ぎ見ることができますように。アーメン。

12月28日

ガラテヤの信徒への手紙 第4章4-5節 しかし、時が満ちると、神は、その御子を女から、しかも律法の下に生まれた者としてお遣わしになりました。それは、律法の支配下にある者を贖い出して、わたしたちを神の子となさるためでした。

主なる神。私どもはあなたに、私どもが見、また聞くことが許されているものすべてを感謝致します。どうか私どもの心を、私どもが持っているものにおきまして、生き生きとしたものとならせてください。それにより究極のものを待ち望み、その究極のものの中に、すべての人間、すべての民、この地上のすべての人間の種族に対しての、あなたの究極の御心を見ることができますように。この私どもの日々の中で、私どもの願いをお聞き届けください。なぜなら私どもは、あなたの御国が来ますことを知っているからです。あなたの御国は私どもの目の前にあるのです。あなたの御言葉、あなたの助けは来るのです。そしてイエス・キリストにおいて全世界に光が昇るのです。あなたの御業がたたえられますように！すべてが私どもの目の前に示されますように。それにより私どもが終わりの時を待ち望みますことが生き生きとしたものとなりますように。うれしい、祝福された待ち望みとなりますように。喜びをもって、大きな楽しみと愛をもって、あなたの栄光のために来ます、終わりの時を待ち望みますように。アーメン。

12月29日

詩編 第106編1節 恵み深い主に感謝せよ、慈しみはとこしえに。

愛する天の父。あなたはこの地上におきまして、人間の子供たちのもとで力あるお方なのです。私どもはあなたに、あなたが私

どもに経験させてくださいます、すべての善いことについて感謝致します。私どもには困難であると思われることすべてについても感謝致します。それらのことを私どもの助け、力とらせてくださるからです。そして私どもは生きる時にも、死ぬ時にも、喜ぶ時も、悲しむ時も、大いなる、力ある神であるあなたに感謝できることを願うのです。あなたは私ども人間に繰り返し常に生を呼び起こし、さらに生きるように導いてくださるのです。あなたは私どもにイエス・キリストによって大いなる愛をお与えくださいました。そしえこの救い主は常に、私どもの目の前に立っていてくださり、心の中に居続けてくださり、私どもは常にこのお方によって喜んで、アッバ、愛する父よ、と！お呼びすることができるのです。アーメン。

12月30日

ルカによる福音書 第1章46－47節 **そこで、マリアは言った。「わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます。」**

主なる神。私どもの心はあなたに対して、あなたの天と、あなたの御霊とが明らかに示されることに歓声の声をあげるのです。御霊は私どもの心を満たすことができ、それにより私どもの地上でのすべての日々にしっかりと立つことができるのです。今なお地上には暗闇があります。今なお罪と死とが支配しているのです。しかし私どもはしっかりと立ち、悔い改めの中にあります。私どものあらゆる誤りの中、私どもはあなたを仰ぎのぞむのです。そして知っているのです。あなたが私どもの救い主であることを。あなたは私どもにあなたの栄光のうちにイエス・キリストを遣わしてくださっていることを。この世界は明るくならねばなりません。この世界で、またキリストを知らない世界においても、誠実な心は知らなければなりません。あなたが、イエス・キリストの父、私どもの父である方が、全世界の上でお一人の神であり、栄

光をお示しくださることを。そしてすべての民はあなたを拝み、あなたのもとへとおもむいて、あなたのお名前を永遠にたたえるため、光の中を歩むのです。アーメン。

12月31日

ヘブライ人への手紙 第10章35、36、39節 だから、自分の確信を捨ててはいけません。この確信には大きな報いがあります。神の御心を行って約束されたものを受けするためには、忍耐が必要なのです。しかし、わたしたちは、ひるんで滅びる者ではなく、信仰によって命を確保する者です。

主、私どもの神。この時代にあって、私どもはあなたの御前で伏し拝みます。なぜならあなたがさばきと困難なことがらでもって私どもをおたずねになるからです。私どもはあなたに祈り願います。あなたが地上の時間をひっくり返し、何か天的なものをもたらしてくださいように。それによりあなたの御心になり、あなたの憐れみがすべての民の上に来ますように。私どもはあなたに祈り願います。新しい年も、私どもすべての道行きで私どもを強めてくださいように。あなたがこの年になしてくださったことに感謝いたします！あなたの御名が常にほめられ、たたえられますように。私どもはあなたに従い、あなたの天的な生活の中にとどまります。アーメン。

聖書の言葉のリスト

創世記			51:12-13	1 2月 1 5日	123:2	6月 2 4日
32:11	5月 5日	55:19		4月 2 1日	124:2.3.8	1 2月 2 2日
49:18	4月 2 3日	55:23		1月 1 2日	126:1-2	1 2月 1 9日
		57:11		2月 2 8日	138:1-2	9月 2 7日
出エジプト記			59:17	6月 2 9日	138:3	4月 2 7日
19:4-5	9月 1 9日	62:6-7		4月 5日	142:6	5月 2日
33:14	5月 4日	65:1-2	1 2月 1 8日		143:10	4月 1 3日
34:6-7	2月 2 2日	66:1.2.5	1 1月 3 0日		145:1-2	1月 1 6日
		67:2-3	6月 1 0日		145:18-19	1月 2 6日
申命記			67:7-8	1 1月 1 5日	147:1	4月 2 6日
4:29	1 2月 9日	68:20-21	6月 1 7日			
6:4-5	1月 2 9日	73:23-24	8月 1 8日			箴言
10:12	1 0月 2 2日	73:25-26	8月 1 9日		3:11-12	2月 2 0日
		77:10-11	9月 8日		4:12	7月 2日
詩編			84:2-3	7月 2 1日	10:28	6月 8日
4:7	7月 3 1日	85:9-10	1 0月 1 4日			
9:2-3	2月 5日	89:2-3	6月 6日			イザヤ書
9:10-11	4月 2 9日	89:16	1 0月 2 9日		2:3	4月 3日
14:7	5月 1 0日	90:1-2	9月 2 0日		4:5-6	3月 1 4日
16:1-2	1 2月 1 1日	90:17	7月 2 5日		9:5	1 2月 2 5日
16:11	4月 2 8日	91:1-2	6月 7日		12:2	6月 5日
18:2-3	5月 1 9日	91:9-10	2月 9日		14:32	1 1月 1 7日
18:7	1月 2 1日	91:15-16	3月 2 9日		25:7-8	1 1月 6日
22:23	5月 2 2日	93:1	8月 2 8日		26:1.4	2月 1 0日
23:1-3	1月 1 7日	95:6-7	7月 1 0日		32:15-17	3月 2 1日
25:4-5	8月 2 6日	96:7.9.10	3月 6日		35:10	2月 2日
25:8-9	1 1月 2 7日	97:1.6	1 1月 2 5日		40:3	1 2月 5日
27:1	1月 1 1日	98:1-2	2月 1 7日		40:31	2月 1 8日
27:7-8	8月 2 7日	100:3	5月 1 5日		41:10	1月 2 0日
28:7	8月 1 2日	102:26-28	7月 2 4日		42:1	2月 2 5日
31:2-3	1 0月 2日	103:1-2	5月 3 0日		43:1-2	3月 1 2日
31:8	2月 6日	103:8-10	9月 2 2日		44:22	8月 6日
32:8	1月 2 8日	103:13-14	3月 2 5日		45:19	1月 2 4日
33:8-9	1 0月 2 0日	103:19.22	1月 2 3日		45:22-24	1月 3 0日
33:20-22	3月 3 0日	104:1-2	6月 2日		48:18	8月 1 4日
34:9	3月 1日	106:1	1 2月 2 9日		49:3-4	1月 4日
34:18-19	7月 8日	107:1-2	9月 2 8日		49:6	1 0月 5日
36:6-8	6月 1 1日	117	1 0月 3 0日		49:8	3月 2 3日
37:4-5	1 0月 1 1日	118:8-9	1 0月 3 1日		50:4	1 2月 1 6日
40:11	6月 1 3日	118:14-16	3月 7日		51:6	4月 2日
42:2-3	8月 2 2日	118:24-26	1 2月 2日		51:11	8月 1 3日
46:1-8	5月 8日	119:89	7月 2 6日		51:15-16	2月 2 4日
50:14-15	1 0月 2 8日	121:1-2	2月 2 6日		52:7-8	8月 1 1日

53:4-5 3月 3日
 53:11 9月 11日
 53:12 3月 16日
 54:10 6月 19日
 55:8-9 9月 15日
 55:10-11 3月 10日
 57:15 2月 15日
 60:1-2 1月 7日
 60:19 5月 9日
 61:1-2 7月 17日
 61:10 7月 15日
 62:1 1月 31日
 62:11 1月 3日
 63:16 1月 19日
 64:1 11月 26日
 65:17 7月 7日
 65:24 4月 20日

エレミヤ書

3:17 6月 1日
 16:19 11月 20日
 29:11 5月 1日
 31:33-34 9月 14日
 32:38-39 7月 20日
 33:9 6月 3日

哀歌

3:22-23 6月 4日

エゼキエル書

34:16 10月 19日
 36:26-27 12月 13日

ダニエル書

2:44 11月 13日

ホセア書

2:21-22 7月 14日

ミカ書

4:1-2 12月 7日
 7:7-8 7月 16日

ハバクク書

2:3 3月 24日

ゼファニヤ書

3:17 6月 9日

ゼカリヤ書

9:9 11月 18日

マラキ書

4:2 12月 10日

シラ書

2:3 8月 16日
 2:4-5 2月 13日
 2:22-23 11月 7日
 34:19 11月 5日

マタイによる福音書

2:1-2 1月 6日
 4:16 4月 3日
 5:3 5月 26日
 5:6 3月 13日
 5:14-16 1月 25日
 5:17-20 11月 24日
 6:9-10 1月 1日
 6:12 10月 12日
 9:2 1月 10日
 9:12-13 10月 15日
 11:5 12月 20日
 11:25 6月 30日
 11:28 1月 22日
 17:20 4月 8日
 18:20 8月 9日
 21:9 12月 1日
 22:37-39 10月 18日
 24:36.42 11月 11日
 24:43-44 11月 23日

マルコによる福音書

7:34-35 10月 4日
 7:37 9月 17日
 10:14-15 9月 6日
 13:7.8.10 9月 12日

ルカによる福音書

1:46-47 12月 30日
 1:68 12月 27日
 1:78-79 12月 3日
 2:14 12月 24日
 4:18-19 5月 24日
 9:23 6月 16日
 10:20 2月 12日

12:32 3月 5日
 12:35-36 4月 22日
 13:29 7月 1日
 17:5-6 1月 8日
 18:7-8 10月 25日
 22:28-29 7月 22日
 22:41-42 4月 30日

ヨハネによる福音書

1:4.9 8月 3日
 1:11-12 12月 12日
 1:14 6月 15日
 1:32.34 4月 4日
 3:16 12月 26日
 3:29-30 12月 21日
 4:23-24 7月 18日
 5:24 11月 8日
 6:68-69 8月 5日
 7:37-38 9月 21日
 8:12 12月 8日
 8:31-32 3月 17日
 10:11-12 11月 28日
 10:14-15 10月 7日
 10:16 7月 27日
 10:27-28 8月 30日
 11:25-26 4月 14日
 12:25 9月 24日
 12:26 4月 11日
 12:36 8月 7日
 14:6 2月 4日
 14:12 11月 29日
 14:16-17 4月 7日
 14:18 4月 9日
 14:23 5月 12日
 14:27 8月 17日
 15:26-27 9月 16日
 16:8 6月 12日
 16:13 2月 11日
 16:21-22 9月 29日
 16:27 10月 24日
 16:33 9月 30日
 17:3 5月 16日
 17:11 10月 26日
 17:16-17 5月 23日
 17:24 6月 21日
 17:25-26 10月 6日

20:21 6月22日

使徒言行録

4:12 7月23日

18:9-10 9月10日

ローマの信徒への手紙

1:16-17 5月21日

3:23-24 10月10日

4:24-25 2月14日

5:1 3月11日

5:2 5月14日

5:11 4月1日

5:20-21 7月28日

8:1 8月20日

8:14 2月8日

8:15-16 7月6日

8:17 5月18日

8:19-21 6月28日

8:22-23 6月5日

8:26 1月15日

8:31-32 7月4日

8:35. 37 8月10日

9:26 3月19日

12:2 8月25日

12:12. 15 10月1日

13:12 10月17日

14:7-8 4月10日

14:9 7月29日

15:13 6月25日

コリントの信徒への手紙一

1:4-5 10月16日

1:9 5月25日

1:27 11月19日

2:2 4月6日

2:9-10 8月1日

2:12 2月16日

4:1-2 8月31日

15:25-26 3月28日

15:57-58 1月9日

16:13-14 1月13日

コリントの信徒への手紙二

1:3-5 10月23日

1:20 3月27日

4:6 5月13日

4:8. 10 10月27日

4:17-18 9月3日

5:17 9月1日

5:19 10月3日

6:4. 9 9月2日

12:9 7月19日

13:4 1月14日

13:13 5月27日

ガラテヤの信徒への手紙

2:20 7月20日

3:26-27 2月3日

4:4-5 12月28日

4:6-7 10月13日

エフェソの信徒への手紙

1:3-4 8月2日

1:5-6 3月22日

2:4-6 5月29日

2:8-9 9月13日

3:14-15 1月2日

3:16 7月9日

4:2-3 8月4日

4:8 9月23日

5:20 4月19日

5:25-27 2月21日

6:10-11 9月9日

6:16 8月24日

6:17-18 11月21日

フィリピの信徒への手紙

1:6 7月3日

1:10-11 1月27日

2:5 8月8日

3:13-14 2月7日

3:20 4月12日

4:4-5 4月15日

4:8-9 8月21日

コロサイの信徒への手紙

1:3-6 8月15日

1:12-14 8月18日

3:1-2 11月2日

3:3-4 5月11日

3:14-15 6月23日

3:16 11月1日

テサロニケの信徒への手紙一

1:2-3 11月3日

5:2. 4 11月12日

5:5-6 5月28日

5:8-9 6月20日

テサロニケの信徒への手紙二

2:16-17 12月23日

テモテへの手紙一

2:4 5月20日

テモテへの手紙二

1:7 7月30日

1:9-10 6月18日

4:7-8 9月5日

テトスへの手紙

3:5-7 9月4日

ペトロへの手紙一

1:3 9月7日

1:15-16 6月27日

2:20-21 5月3日

4:12-13 3月2日

ペトロへの手紙二

1:10-11 8月23日

1:19 4月24日

3:9 3月26日

3:13 11月9日

3:17-18 10月8日

ヨハネの手紙一

1:2 12月17日

1:3 6月26日

1:7 3月9日

2:25 5月31日

3:1 2月1日

3:2 7月13日

4:13 5月7日

4:16 2月19日

5:4 6月14日

5:20 3月31日

ヨハネの手紙二

4 4月16日

ヘブライ人への手紙

4:9-11 4月17日

4:12 2月29日
4:14 5月17日
10:22 7月11日
10:35.36.39 12月31日
11:1 11月16日
12:2 3月4日
12:22-23 11月4日
13:8 12月14日
13:9 8月29日
13:20-21 3月15日

ヤコブの手紙

1:12 1月18日
5:7-8 11月22日
ヨハネの黙示録
1:5-6 11月14日
1:7-8 11月10日
1:17-18 4月25日
2:10 2月27日
3:8 4月18日
3:10-11 12月4日
3:20 9月26日
5:12 3月8日

7:9-10 2月23日
8:3-4 10月21日
12:10-11 3月20日
15:3-4 10月9日
21:1.5 9月25日
21:3-4 5月6日
21:21-23 9月18日
22:17 12月6日

.....

.....

.....

.....

祝いの季節のための祈り

第一アドヴェント 12月1日

棕櫚の日曜日 12月1日、12月2日

受難週 3月4日、3月15日、3月16日、4月30日、
7月29日、8月8日、9月11日、10月10日

受難の金曜日 3月3日、7月28日

イースター 3月28日、4月14日、5月16日、6月22日

キリスト昇天日 4月9日、4月12日、5月17日、11月2日

ペンテコステ 2月11日、2月16日、3月21日、4月7日、
6月12日、6月15日、9月16日

三位一体日 5月27日、7月18日、10月24日

宗教改革記念日 5月21日、11月8日

贖罪の日 6月27日、10月12日

夕べの祈り
一年すべての日々のために
クリストフ・ブルームハルト
祈りの学校 第三巻
訳：楠原博行
発行：2017年12月12日
